

## 歴史山手線ゲーム 第18部

**お題【バトンタッチ】** 2006/9/5 21:58 [No.14491 / 15916]

大江戸線の方を覗いて思いつきました。

歴史上の人物で甲さんの没年に乙さんが生まれた、という「偶然」を10組、あげてください。

単純に「へー、このヒトの死んだ年に、このヒトが生まれてるんだー」でもかまいませんが、出来れば、あたかも甲さんの事績を引き継ぐが如く、乙さんが生まれた、まるでバトンタッチしたかのような、歴史の巡り合わせになると、楽しいかな、と。

**#00 坂口安吾・野田秀樹=1955年**

無頼派の重鎮坂口安吾が脳溢血で倒れたのが2月。その年の12月に野田秀樹が生まれています。

のだ曰く「当時の霊界は鎖国していた。唯一の出口であった長崎を目指した安吾のレイは、ナガサキに着いたところであの世に行くのがめんどくさくなり、ノダヒデキとして生まれ変わることにした（笑）」

十月十日とも言いますので、丁度いい感じですかね。

桜ももぞうさん

**#01 足利尊氏・義満=1358年** 2006/9/5 22:15 [No.14492 / 15916]

まっさきい思い浮かんだのがこのペア。

1358年尊氏の死後、丁度100日目に孫の義満が誕生しています。

尊氏の死後も、南朝との抗争が続き、足利家の内紛である観応の擾乱以来、内部でも紛争が続いており、幕府内部の政争で失脚した細川清氏などの有力武将が南朝勢力に加担し、1361年には清氏や楠木正儀が京都を占領、赤松則祐の居城播磨国白旗城へ避難している。1367年（正平22年/貞治6年）に父義詮が病により死去すると、義満は11歳で3代將軍となります。

義満の時代に南北朝も統一され、室町幕府は東の間の安定を迎えることとなります。

ryoanpaku\_2006さん

**#02 徳川綱吉・家継=1709年** 2006/9/5 23:15 [No.14493 / 15916]

祖父と孫のすれ違い（こちらは義理ですが）という点で、尊氏・義満のケースによく似ています。

綱吉死去から家継誕生までの流れは、以下の通りです。

宝永6（1709）年1月10日 5代將軍綱吉死去

3月1日 生類憐みの令廃止

5月1日 家宣、6代將軍に就任

7月3日 家宣の四男・鍋松（後の7代

將軍家継）誕生

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

**#03 モーツァルト父子=1791年** 2006/9/7 5:56 [No.14494 / 15916]

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトは妻のコンスタンツェとの

間に6人の子を生しましたが、成人したのはうち2人だけでした。

末子のフランツ・クサーヴァーは1791年の7月に生を受け、

その年の12月に父アマデウスは世を去ります。

母コンスタンツェの意向もあり、作曲家としてモーツァルト2世を

名乗る立場になったフランツ・クサーヴァーでしたが、父から音楽に

ついての手ほどきを受けることができず、「天才」の子として高いプレッ

シャーだけは受け続けたのではないかと想像されます。

アマデウスの早世は多くの人の惜しむところですが、彼がもう少し

長生きしたなら自分の子にどんな音楽教育を施したかを観てみたいと

も思います。もう1人の子、カール・トーマスも音楽の道を志ざしま

すが、才能の無さに気づいたためか、会計官吏としての生涯

を歩んで

います。

sakisakiさん

**#04 勝海舟・池田勇人=1899年** 2006/9/7 11:18 [No.14495 / 15916]

咸臨丸でアメリカに行った勝海舟が死んだ年は、日米関係に腐心した池田勇人首相が誕生した年でもありました。ちょっと共通点があるかな。

クイズ パンチ de デートさん

**#05 明智光秀・小早川秀秋=1582年** 2006/9/7 22:36 [No.14496 / 15916]

天正10(1582)年、明智光秀は本能寺の変を起こして主君信長を討ち取ったが山崎の合戦に敗れて悲惨な最期を遂げた。この年に関が原の裏切り者・小早川秀秋が生まれている。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

**#06 仁孝天皇・和宮親子内親王=1846年** 2006/9/7 23:00 [No.14497 / 15916]

父と子がすれ違いになってしまった例の一つ。

徳川第14代將軍家茂の夫人となり波乱万丈の生涯を送った和宮親子内親王は仁孝天皇の第8皇女である。父・仁孝天皇は内親王が生まれる4ヶ月ほど前に崩御している。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

**#07 徳川家斉・伊藤博文** 1841年 2006/9/8 19:56 [No.14498 / 15916]

徳川11代將軍家斉は、たくさんの子供を作ったことでも有名ですが、將軍在任の時代は、文化文政のある意味江戸時代らしい、爛熟した時期でもあります。

その家斉は西暦1841年3月22日死亡。

それから約7ヵ月後の同1841年10月16日、伊藤博文が誕生します。

いうまでもなく、明治の日本近代化に活躍した政治家です。伊藤博文は、幕末や明治維新で有名な人物（例：西郷、大久

保、高杉、坂本竜馬など) の中では一番年下です。

多少強引かもしれませんが、「旧・江戸」から「新・明治」の交代がすでにこの年あたりから始まったということも言えないでしょうか？

なお私は、このコーナーへの投稿は初めてで、また歴史の知識に関しては、皆さんと比べると幕下、いや序の口かもしれません。

もし、今の説明でおかしいところがありましたら、お教えください。

一つ質問です。今回に限りませんが、たとえば今回で片方の人が現存ならば、「番外」ということでよろしいのでしょうか？

sin\*en\*onma\*hi さん

#08 大塩平八郎・板垣退助=1837年 2006/ 9/ 8 22:19 [No.14499 / 15916]

天保8年の3月27日、大坂町奉行の与力、大塩平八郎が天保の飢饉に苦しみ民衆とともに蜂起、しかし仲間内の密告によりすぐに制圧され自害いたしました。

その20日後の4月17日に後の自由民権運動で活躍する、板垣退助が生まれております。

板垣というと1882年、岐阜で遊説中に暴漢に襲われ負傷した際「板垣死すとも自由は死せず」と叫んだというのがありますが、実際には板垣はこのようなことは言っていない。

この事件の直後、小室信介(案外堂)というジャーナリストが岐阜で行った演説の題名「板垣死ストモ自由ハ死セズ」が、板垣自身の発言として世間に広まったものとされています。ryoanpaku\_2006 さん

#09 今川義元・石田三成=1560年 2006/ 9/ 9 0:00 [No.14500 / 15916]

1560(永禄3)年5月19日、今川義元は田楽狭間で織田信長の奇襲を受けて討たれました。

桶狭間の戦いに勝った信長によって、群雄割拠の戦国時代に天下統一の道筋が開かれました。

この年(永禄3年)に、天下統一の総仕上げとも言うべき関

が原の戦いの主役である石田三成が生まれています。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#10 大内義興／明智光秀=1528年 2006/ 9/ 9 14:16 [No.14501 / 15916]

やっとひとつ見つけたと思ったら#09と被ってしまった。戦国初期と中期(そんな区分があるのか?)との境でしょうか。

永\_井\_荷\_風\_さん

#10 藤原信頼・源義経=1159年 2006/ 9/10 0:05 [No.14502 / 15916]

義経が生まれた年に平治の乱が起こった。

平治元(1159)年12月9日、藤原信頼は源義朝を語らって平治の乱を起こした。しかし戦局を巡って義朝と対立し、平清盛の軍勢に敗れる。信頼は12月27日に処刑された。

翌年、義朝は敗走中に騙し討ちに遭って殺される。「悪源太」こと長男の義平は平家に捕えられて処刑。三男の頼朝は助命されて伊豆に流された。

義朝の愛妾・常盤は義朝との間に生まれた3人の幼い男児(義朝の七男・今若、八男・乙若、九男・牛若=当時2歳)とともに清盛のもとに出頭して助命を乞うた。母子4人は罰を与えられることもなく助命された。

常盤の子3人のうち一番下の牛若が、後の義経である。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

↓#11 2006/ 9/10 0:13 [No.14503 / 15916]

失礼しました。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#12 吉田松陰 片山潜 1859年 2006/ 9/10 13:25 [No.14504 / 15916]

安政の大獄で松陰が処刑されたあとの1859年12月に片山潜は生まれています。

二人に共通しているのは、「この国を変えよう」という強い意志の持ち主だったことでしょうか?そして、二人とも危険

人物とみなされ、投獄の経験もあります。

尾崎行雄が1859年生まれかなと思いましたが、1858年でした。

sin\*en\*onma\*hi さん

#13 豊臣秀次・松平忠直=1595年 2006/ 9/10 22:26 [No.14505 / 15916]

1595年、乱行により関白豊臣秀次は関白職を叔父の太閤秀吉によって解かれ、高野山へ追放の後切腹となりました。

同じ年徳川家康の次男秀康の嫡男松平忠直が誕生しております。

忠直は本来なら将軍職を継いでもおかしくない立場でありながら、将軍職を父の弟である徳川秀忠に奪われ、また大坂の陣での活躍の割りに加増もなくふてくされ、参勤も怠るようになり、将軍秀忠ににより蟄居謹慎となりました。

松平忠直も豊臣秀次同様、乱行によりという説もありますが、こちらも信憑性は少ないように思えます。

ryoanpaku\_2006 さん

#14 武田信玄・土井利勝=1573年 2006/ 9/10 23:29 [No.14506 / 15916]

土井利勝は元龜4(1573)年の生まれ。この年は武田信玄の死去、浅井氏朝倉氏の滅亡、将軍足利義昭の追放など戦国史の中でもとりわけ変化の多い年であった。

利勝は徳川家康に風貌がよく似ていたため、家康の落胤であると噂されている。秀忠が利勝を「兄のように」慕っていたというのもうなずける。

利勝は職制や法律の整備など幕府の重要政策のほとんどすべてに携わり、将軍の権威の強化と幕政の安定に大きく貢献した。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#15 藤原星窩／熊沢蕃山=1619年 2006/ 9/11 11:37 [No.14507 / 15916]

バトンの方は藤原星窩から林羅山へ渡ります。

熊沢蕃山へは中江藤樹からバトンが渡ります。

朱子学と陽明学なので、別々のチームでした。

永\_井\_荷\_風さん

#16 以仁王／後鳥羽院＝1180年 2006/ 9/11 11:38  
[No.14508 / 15916]

ということは、源平の争乱は、後鳥羽院が生まれたころに始まって、

即位した頃に終わったということになります。

平家が安德帝を奉じて都落ちする際に、念のためにと二宮も連れて行ったので、

後白河院は神器なしで即位させるしかない和三宮と四宮を呼んだら、

三宮はもじもじしていたのに、四宮はじいさんのひざの上に乗ってきて

可愛かったので、じいさんは四宮の方を天皇に据えたそうです。

即位してからはずっと関東方に押さえつけられていたので、今度は自分で喧嘩を吹かけます。

永\_井\_荷\_風さん

#17 山本長五郎・市川房江-1893年 2006/ 9/11 12:02  
[No.14509 / 15916]

清水の次郎長が死んだ年に、市川房江（婦人運動家・政治家）が誕生してます。草の根的な社会運動が、ちょっと共通してるかな。次郎長は清水港に浮か幕軍の兵士を葬ったり、開墾事業をしたりしてます。市川房江は婦人の参政権を獲得したりして、あまり地味とはいえないかもしれませんが。

クイズ パンチ de デートさん

#18 尾崎行雄・安倍晋三 =1954年 2006/ 9/11 21:22  
[No.14510 / 15916]

尾崎行雄といっても東映フライヤーズの投手ではありません。

大正期に普通選挙運動で活躍した政治家です、意外にも当初はポピュリズム化を危惧して普通選挙の早期施行には消極的であったが、大正デモクラシーの進展とともに普通選挙運

動に参加。同時に、次第に活発化していた婦人参政権運動を支持し、新婦人協会による治安警察法改正運動などを支援した。また軍縮推進運動、治安維持法反対運動など一貫して軍国化に抵抗する姿勢を示したが、政界では次第に孤立していきます。

戦後の1953年のバカヤロー解散による総選挙で落選して、政界を引退した。名誉議員の称号を贈られ翌年の1954年になくなっています。

その年に誕生したのが現在、自民党総裁選の最有力候補の安倍晋三、孤立化する轍は踏んでほしくありませんが。

ryoanpaku\_2006さん

#19 山東京伝／河竹黙阿弥＝1816年 2006/ 9/12 10:10 [No.14511 / 15916]

山東京伝は化政期を代表する戯作者の一人。

黙阿弥は幕末から明治までを生きた芝居の脚本家。

混乱と衰退の時代に、ひとり気を吐いていた感があります。

永\_井\_荷\_風さん

番外 ハチロー・イチロー=1973年 2006/ 9/12 10:51  
[No.14512 / 15916]

イチローが生まれた1973年、サトウハチローが病没しています。

、、、で？

桜ももぞうさん

#20 山本勘助・吉川広家＝1561年 2006/ 9/13 21:19  
[No.14513 / 15916]

1561年（永禄4年）、川中島の合戦のハイライトである第4次川中島の合戦の才に討ち死にしたといわれる、武田信玄の軍師です、甲陽軍鑑などの資料によるところが多く、実在が確認されたのは最近のことで実際には軍師とは程遠い伝令将校だったとも言われます。

同じ年に吉川元春の三男（毛利元就の孫）として吉川広家が生まれています母は顔が醜いことで有名だった熊谷信直の娘になります。

三男ゆえ家督は継ぐ存在ではなかったのですが、兄の死とともに吉川家の家督をつぎ毛利両川の一翼を担うこととなります。

関ヶ原の合戦では毛利本家に家康方に付くことを進言する前に三成方の総大将に担がれ、自身は毛利家の安堵を条件に家康に寝返ることを黒田長政を通じて工作します、関ヶ原では事実上の毛利家の総大将として布陣、南宮山に陣取るも一兵も出さずに退却しました、しかし戦後この約束は反故にされ、毛利家の改易が決まると吉川広家は猛抗議、結局広家に与えられる周防・長門2カ国を毛利家の領地とすることとなりました。

毛利家は中国地方の120万石の大大名から周防・長門2カ国30万石へと領地を4分の1へ削減され幕末まで苦しい環境におかれることとなります。

毛利家は吉川広家に岩国3万石を与えましたが、毛利家内では「岩国（吉川家）のせいで広島を失った」と以来冷遇されることとなります。

なお、この岩国吉川家は再三正式な藩として認めてもらえるよう幕府に働きかけるも認められず、参勤交代を行っているにも関わらず、正式な藩として認めてもらえたのは幕末になってからで、徳川からも冷遇されました。

ryoanpaku\_2006さん

番外 Sサイレンス・Dインパクト=2002年 2006/ 9/14 22:38 [No.14514 / 15916]

サンデーサイレンスとディープインパクトの親子です。

アメリカで二冠を達成したサンデーサイレンスは種牡馬として日本に輸入されてからも、数々の名馬を輩出してきました、そのサンデーサイレンスの死亡した2002年に誕生したのが、ディープインパクト。

セリでは決して高い評価を受けていたわけではありませんが、昨年は三冠馬そして年度代表馬にも輝きました、現在フランスに遠征中で、10月1日のG1凱旋門賞で武豊騎手を背にどんなレースをするか楽しみです。

ryoanpaku\_2006さん

# 21 武田信虎・結城秀康=1574 年 2006/ 9/15 1:21  
[ No.14515 / 15916 ]

1574（天正 2）年は武田勝頼軍が徳川の支配下にあった高天神城を落とすなど、東海の覇権を巡る武田氏と徳川氏の争いが再び活発になった年。

この年、武田信玄の父・信虎が信濃高遠にて死去。享年 81 歳。上方で暮らしていた信虎は、孫の勝頼によって武田領に住むことを許されたばかりであった。一方徳川家では、家康の二男・結城秀康が生まれた。秀康は豊臣秀吉の猶子（実質的には人質）を経て小田原征伐後徳川家に戻る。徳川傘下に入った関東の名族結城家に婿入りして結城姓を名乗った。関が原の合戦では上杉景勝軍の南進を防いで勝利に貢献。戦後、越前 68 万石の太守となった。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

**お題【 こだわりの土地 】** 2006/ 9/15 13:36 [ No.14516 / 15916 ]

範囲は、日本史世界史両方とします。

歴史的に知られる人物が、故郷であるとか、戦略的に重要であるとか、気に入ったとか、逆に嫌いだったなど、

さまざまな理由で、一種のこだわりを見せた「土地」を挙げてください。

「土地」の範囲は、小さな町内から国家や大陸までを含みます。

組み合わせが異なれば、人物、土地、それぞれの重複は可とします。

#00 津軽／太宰治

太宰は戦時中に十数年ぶりで津軽に帰り、津軽人としての自身の

ルーツを辿り、再確認する旅を行い『津軽』を物します。

太宰の生家の津島家は、津軽全域に影響があり、

都会で物書きをしている人物と言うよりは、津島家の

お坊ちゃんであることの方で信頼されていました。

永\_井 荷\_風さん

#01 福原／平清盛 2006/ 9/15 22:16 [ No.14517 / 15916 ]  
治承四年（1180 年）には高倉院や平家一門の反対を押し切って、福原遷都を強行しました。

清盛は大和田泊を築き福原を日宋貿易の拠点にしたい考えがあったようですが、公家衆の根強い反対でわずか 1 7 0 日ほどで都を京都に戻すこととなりました。

福原は現在の神戸市になります。

ryoanpaku\_2006 さん

番外 都の西北／早稲田実業 2006/ 9/15 22:23 [ No.14518 / 15916 ]

今夏の高校野球を大いに盛り上げてくれたのが優勝した早稲田実業の投手、ハンカチ王子なる愛称もある斉藤祐樹投手でした。

早稲田実業の校歌を今夏は 7 度聴くことになったのですが歌詞は

♪都の いぬみ 早稲田なる

で始まります

「いぬみ」は北西の方角をあらわすものですが、早稲田大学の校歌

♪都の 西北

を踏襲したものか。

さてこの早稲田実業、2 0 0 1 年にそのなのおり新宿区早稲田より国分寺市に移転となったのですが、校歌に歌われている通り、都のいぬみ（西北）にこだわって移転したとか。

ryoanpaku\_2006 さん

#02 沛／劉邦 2006/ 9/15 23:19 [ No.14519 / 15916 ]

沛は中国江蘇省の街で、漢の高祖劉邦の出身地です。

秦の末期、劉邦はここで反乱軍を組織し、「沛公」を名乗り各地を転戦、秦を滅ぼし、ライバルの項羽を打倒、天下を統一します。

天下統一後も各地で反乱鎮圧の親征を行いますが、その帰

途に

沛に立ち寄り、昔の友人や故老と宴をひらき、沛の民の賦税を

永代免除するという約束を取り交わしました。沛は劉邦にとつて

若き日の追憶が生きている場所だったのでしょう。

sakisaki さん

番外 尾道／大林宣彦 2006/ 9/17 22:00 [ No.14520 / 15916 ]

まだ、歴史上の人物ではないので番外で。

大林宣彦監督は、故郷の尾道を舞台に、初期の尾道三部作をはじめ、

いくつかの映画作品をつくっていますが、

石畳の坂に面して古い町並みが残り、港の狭い水道の向こうの向島へは、

渡し舟に限りなく近いフェリーが通じ、高校生が自転車のまま乗り込んだりして、

日本人にとって懐かしく感じるような風景が残っています。永\_井 荷\_風さん

# 03 ヴェルサイユ／ルイ 1 4 世 2006/ 9/17 22:16 [ No.14521 / 15916 ]

「太陽王」とよばれたルイ 1 4 世が愛した宮殿がヴェルサイユ宮殿、パリ市内と思われがちですが、パリの郊外になります。

元々あった宮殿を増築したもので、パリ市内のルーブル宮殿も建造されていたのですがヴェルサイユ宮殿が気に入りルーブルのほうは規模が主唱されたようです。

俗説としてヴェルサイユ宮殿にはトイレがなかったとも言われておりますが、水洗式の立派なトイレが当時からあったそうです。

ryoanpaku\_2006 さん

#04 バイロイト／ワグナー 2006/ 9/18 0:46 [ No.14522 / 15916 ]

『ニーベルングの指輪』等の壮大な楽劇を創り出した作曲家、リヒャルト・ワグナーは、若い頃は中々芽が出ず、ドイツの諸都市やパリ、ロシアを貧困にあえぎながら転々として、30歳でようやくドレスデンの宮廷劇場指揮者の地位を手にするものの、革命運動に身を投じ、運動の頓挫からスイスに亡命と転変を繰り返します。ワグナーはその性格の悪さもあり行く先々で敵を作ったり女性問題を引き起こしたりで定住すること自体難しかったようです。

自分の楽劇を自分の理想的な形で上演したいと願っていたワグナーは長年理想の劇場を建てる土地を探していましたが、思うに任せず、ワグナーの楽劇に心酔していたバイエルン王ルートヴィヒ2世からドイツ南部に位置するバイロイトの土地を提供され、ようやくその地に自分の設計したバイロイト祝祭劇場を完成させました。完成までに4年の歳月を要しています。現在もバイロイト音楽祭が祝祭劇場を舞台上で上演されますが、ワグナーの子孫が音楽祭の総監督を務めています。

sakisakiさん

#05 大津／天智天皇 2006/ 9/18 13:22 [ No.14523 / 15916 ]

内政では中央集権体制を確立したことになっているものの、白村江で敗れると、豪族の反発が強まり、大和を避けて近江大津に遷都します。

とゆーか、盆地でありながら、塩津、敦賀を介して大陸とも結びついている

大津の可能性を積極的に認めていたという説もあり、それゆえ大和の旧勢力の反動は強まり、天皇自身が山科で崩じたのは、旧勢力による暗殺と言う説もあるそうです。

永\_井\_荷\_風さん

#06 川中島／武田信玄・上杉謙信 2006/ 9/18 21:46 [ No.14524 / 15916 ]

こだわったのかどうか、しかし天文22年(1553年)・天文24年(1555年)・弘治3年(1557年)・永禄4年(1561年)・永禄7年(1564年)の5回で計12年余りに及ぶ戦いは両者意固地になっているように思えるので。

まあ、ここが両者の勢力の境界線上だったのでしょ。川中島は千曲川と犀川とが合流する三角地帯で、5度の対戦でも決着はつかず両者痛み分けのような体裁です。

ryoanpaku\_2006さん

#07 日本国／鑑真 2006/ 9/19 4:46 [ No.14525 / 15916 ]

唐の揚州における律宗の高僧であった鑑真は、渡海してきた日本僧の栄叡と普照に懇請され、戒律を日本に伝えるべく渡海を決意しますが、渡海を企てるたびに暴風雨に遭ったり、その英名を慕う弟子或いは官吏に渡航を止められたりと実に五回も渡航に失敗しています。六回目の試みでようやく来日を果たした鑑真は、聖武天皇、孝謙天皇以下多くの僧尼に戒律を授け、唐招提寺を創建、医学、薬学、彫刻といった仏教以外の知識を日本に伝える役割も果たしました。

sakisakiさん

#08 山形県庄内地方／藤沢周平 2006/ 9/19 20:14 [ No.14526 / 15916 ]

藤沢周平(1927-1997)は山形県鶴岡市出身の時代小説作家で、江戸時代を舞台にした市井ものの作品を多く手がけてきた。一方で地元である山形県庄内地方への思い入れが非常に強いことでも知られており、「義民が駆ける」「長門守の陰謀」など庄内藩酒井家に関連する作品もいくつか出している。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

番外 大阪/BORO 2006/ 9/19 21:50 [ No.14527 / 15916 ]

ヒット曲『大阪で生まれた女』大阪へのこだわりが感じられる歌。

♪大阪で生まれた女やさかい大阪の街よう捨てん  
大阪で生まれた女やさかい東京へはようついていかん

joh\*67\*1\*さん

#09 日本国／クビライ 2006/ 9/19 22:27 [ No.14528 / 15916 ]

日本にこだわったといえば、この御仁も。文永・弘安の役で2度の日本遠征(元寇)に失敗したにも関わらず、3度目も計画していたとか。

もともと、文永の役は偵察だったようですが、クビライが日本遠征にこだわった理由のひとつに日本の「黄金」があるといわれています。

ryoanpaku\_2006さん

番外 パレスチナ ユダヤ人 2006/ 9/20 1:42 [ No.14529 / 15916 ]

第二次世界大戦前後、とくに終戦直後になって、ホロコーストなどの迫害を辛うじて生き延びたユダヤ人がこの地に大量移住して、1948年イスラエル国を建国しました。

しかし、それは元々この地に住んでいたパレスチナアラブ人との対立となり、中東紛争など度々起きて、現在に至ってます。

約2000年前にこの地をローマ帝国より追われ全世界に散らばったユダヤ人これは人種国籍にかかわらず、あくまでも「ユダヤ教を信ずる人」が定義らしいです。

2000年間、国土があり固有の歴史文化がある日本人とはいろんな意味で違ってきます。

個人ではないうえ、現在進行形のため番外にしました。

たまねこさん

#10 平城天皇／奈良 2006/ 9/20 22:49 [ No.14530 /

15916]

第51代平城天皇(在位806年～809年)は、平安京(京都)への遷都から間もない時期に即位し、3年の在位の後弟の嵯峨天皇に譲位、上皇となりましたが、旧都平城京(奈良)への想いが強く譲位後は平城京に移住し、皇妃の母で寵愛していた藤原薬子とその兄藤原仲成のバックアップもあってついに平城京への遷都の詔を発することになります。

しかし嵯峨天皇は遷都を拒否し薬子・仲成の官職を免じたため、怒った平城上皇は兵を挙げ東進を企てますが、天皇方との兵力の大差に勝ち目はないと見て退却。薬子は服毒自殺し、仲成は処刑され、上皇も平城京に戻って間もなく剃髪・出家しました。こうした経緯があって没後の諡が平城天皇となっています。

六文銭さん

#11 関ヶ原／徳川家康 2006/ 9/20 23:39 [ No.14531 / 15916 ]

天下分け目の関ヶ原、しかし決戦の場が関ヶ原と最初から決まっていたわけではありません。

当初石田三成の西軍は、大垣城に入り東軍との決戦に備えました、長期戦となり大坂の毛利輝元が豊臣秀頼を担ぎ参戦するのを防ぐため、大垣を見過ごし、三成の佐和山城を攻めるという情報を流し、三成を関ヶ原に誘ったともいわれています。

モットモ三成も誘いに乗ったふりをして一気に家康を叩こうとしたとする説もあります。

関ヶ原は大海人皇子が壬申の乱で陣を張った場所でもあり、家康が故事に倣ったとも言われています。

ryozanpaku\_2006 さん

番外 ニューヨーク／ウッディ・アレン 2006/ 9/21 23:14 [ No.14532 / 15916 ]

ウッディ・アレンの映画の舞台はニューヨーク。

というか、アレンの映画を通してニューヨークと言うものを勉強したような気がします。

永\_井\_荷\_風さん

#12 インド／ヘッセ 2006/ 9/21 23:15 [ No.14533 / 15916 ]

ドイツの文学者ヘルマン・ヘッセは、東洋の神秘主義やインドの哲学への憧れが募り、

ついにはインドへの旅を実行しますが、実際に訪れたインドは、彼にとっては

むしろ幻滅に近いものであったようで、それでもそうした経験を自分なりに消化して、

『シッダールタ』などの作品を書きます。

永\_井\_荷\_風さん

#13 吉野／持統天皇 2006/ 9/21 23:28 [ No.14534 / 15916 ]

天武天皇の后で天武の死後位を継いだ持統天皇は吉野宮への

御幸を繰り返し、『日本書紀』には31回もの行幸が記録されて

います。

吉野川にそった宮滝遺蹟は吉野宮のあった場所と推定され、この

地に持統帝も御幸を重ねたものでしょう。祭政一致の古代の政治で

は聖地とされた吉野への御幸は単なる行楽とも思えません

が、実際数えてみると11年間で31回はやっぱりこだわっているのかなと

いう気がしますねえ。

sakisaki さん

#14 アーヘン／カール大帝 2006/ 9/22 13:41 [ No.14535 / 15916 ]

ドイツ西北部、オランダやベルギー国境に近い町アーヘンは、ヨーロッパではもっとも温度の高い温泉地だそうですが、

故郷であるこの地を好んだカール大帝によって宮殿や大聖堂が築かれ、

いわゆるカロリングルネッサンスと呼ばれる文化が花開きます。

そんなこともあって、西ローマ帝国の正統の首都のような位置づけになり、

神聖ローマ帝国時代も戴冠式はアーヘンで行われました。

カールの都としては「アーヘン」という名ですが、

シャルルマーニュの都としては「エックス」と呼ばれます。永\_井\_荷\_風さん

#15 駿府／徳川家康 2006/ 9/22 21:33 [ No.14536 / 15916 ]

家康は、生涯に三たび駿府で暮らしている。

はじめは、今川家の人質として過ごした少年期。

次いで、秀吉政権の初めごろに本拠地を浜松から移転したとき。

そして三度目は、將軍職を秀忠に譲って大御所となったとき。思い出の多い街だけに、家康は駿府に特別な思いを馳せていたのかもしれない。

家康は、駿府を自身の人生の原点になった街として見ていたに違いない。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#16 熊野／後白河院 2006/ 9/22 21:55 [ No.14537 / 15916 ]

熊野御幸は、宇多天皇から亀山天皇まで続いたそうですが、歴代の熊野こだわり度ランキングは、

1. 後白河院：33回

2. 後鳥羽院：29回

3. 鳥羽院：23回

4. 白河院：12回

と、達者なお歴々が並びますが、

御幸ペースの早かった後鳥羽院を抑えて

御幸選手生命の長かった後白河院がトップに立っています。しまいには、面倒になって京都に新熊野(いまくまの)を勧請します。

永\_井\_荷\_風さん

Re: #11 関ヶ原／徳川家康 2006/ 9/24 10:53 [ No.14538 / 15916 ]

この夏、関ヶ原と安土城、佐和山城に行ってきました。現場に行けば、本の上の感覚とは、比べ物には、なりませんでした。特に、佐和山城のみちなき、道を登り切って、無事、三成の石碑を確認きたときの感動は、格別でした。  
カホウさん

#17 山口／毛利敬親 2006/ 9/24 22:02 [ No.14539 / 15916 ]

1862年7月、攘夷を実行を藩の方針とし、1863年4月には幕府の許しを得ずに藩庁を萩城より山口に移転させ、徳川幕府との決別の意味を込めて、将軍家慶からの一時拝領した「慶親」から「敬親」へと改名しています。  
山口は毛利家本来の土地ではありません、元就以来縁の深い土地は安芸広島ですが、関ヶ原の合戦の後、周防・長門への転封となった折、藩庁を山口にしたい旨を徳川に申し出るも却下され、日本海側の小さな港町・萩へと追いやられてしまいました、山口への移転は260年来の無念を晴らすものだったのかも知れません。  
なお、毛利敬親は山口藩庁内殿でその生涯をおえています。  
ryoanpaku\_2006さん

#番外 地球／ウルトラ兄弟 2006/ 9/24 22:22 [ No.14540 / 15916 ]

理由はいろいろあるらしいのですが、地球から数百万光年離れて  
いるというM78星雲からわざわざお越しいただき、地球の危機を  
幾度となく救ってくださっている大変有り難い方々です。感謝。  
sakisakiさん

番外 東京／ゴジラ 2006/ 9/24 22:33 [ No.14541 / 15916 ]  
暴れるしか能がないはずなのに、しっかり東京の観光地をピ

ンポイントで狙って破戒しに来ます。  
永\_井 荷\_風さん

#18 岐阜／織田信長 2006/ 9/24 22:57 [ No.14542 / 15916 ]

織田信長がこだわった土地はいくつかありますが、美濃岐阜（当時は井ノ口）もそのひとつ  
永禄7年（1564年）には北近江の浅井長政と同盟を結び、斎藤氏への牽制を強め、その際信長は妹のお市を輿入れさせています。  
永禄9年（1566年）には攻めあぐねていた墨俣において木下藤吉郎（羽柴秀吉）に命じて墨俣城（いわゆる一夜城）を築かせ、そこを拠点としたとされています。  
さらに西美濃三人衆（稲葉一鉄、氏家直元、安藤守就らや竹中半兵衛などの縁者、ほかにも蜂須賀正勝、前野長康、金森長近など）を味方につけた信長は、ついに永禄10年（1567年）、斎藤龍興を伊勢長島に敗走させ、美濃国を手に入れました。  
天下とりのためにはどうしても抑えて置きたい土地ですからね。  
信長は井ノ口を岐阜と改め、以後しばらくは尾張より岐阜を好んだといわれています。  
ryoanpaku\_2006さん

番外 人目につく川／タマちゃん 2006/ 9/24 23:01 [ No.14543 / 15916 ]

田園調布付近の多摩川に現れ、ついで鶴見川に現れた後、横浜駅近くに現れて注目され、土地勘のよさを示しました。  
埼玉県の荒川に現れたときには、あまり人目にも付かず、釣り針が顔に刺さったりして散々でした。  
永\_井 荷\_風さん

#19 薩摩／西郷隆盛 2006/ 9/25 9:30 [ No.14544 / 15916 ]

九州薩摩藩の藩士出身で、明治維新を成し遂げた維新三傑の一人に挙げられている西郷隆盛は、郷土薩摩への思いは強く、

新政府首脳の一員となってまもなく生起した征韓論をめぐる抗争で破れすべての官職を辞した後は故郷の鹿児島城下へ帰り、時に鹿児島県内の温泉につかりつつ悠々と隠居生活・・・と行きたいところでしたが、新政府に不満を持つ士族が各地に私学校を建てて薩摩は半ば独立王国の様な状況となり、その中でついに政府側による西郷暗殺の企てが発覚し、血気にはやる青年士族たちの激情を受け、西郷はついに東上して天皇に薩摩の主張の正しさを訴えようと決起。西南戦争の勃発となりましたが力及ばず最後には本拠鹿児島に追い詰められ、桜島を望む城山で自決となりました。こういった西郷の故郷への愛情の強さゆえ、100年あまりを過ぎた現代でも鹿児島県人の西郷への愛着は強く、西郷暗殺の首謀者といわれる同郷の大久保利通や川路利良は未だ強い嫌悪感を持たれているといえます。  
六文銭さん

#20 福島県旧安達町／高村智恵子 2006/ 9/25 9:47 [ No.14545 / 15916 ]

福島県の、現在は二本松市に合併されていますが旧安達町の領域の造り酒屋の娘として生まれた長沼智恵子は、絵画の才能に秀でていて上京し学生生活の傍ら作画活動もし、女性解放の主張で名高い雑誌「青踏」の表紙画を描いたりもしていましたが、その芸術活動の中で知り合った彫刻家で詩人でもある高村光太郎と恋に落ちて、長年の同棲生活の末40代後半に正式に結婚となりますが、結婚前より精神分裂病、最近の言い方で統合失調症となり、段々と生活能力を失い夫より先に世を去ることになりますが、精神上的破綻をきたしながらも、安達太良山がそびえ阿武隈川が流れる自然豊かな故郷への想いは消えず、夫・光太郎の文筆集「智恵子抄」には、智恵子は東京には空がないという、安達太良山の上にある空がほんとうの空だという・・・と記されています。  
前項の西郷隆盛との係わりですが、あの上野の山の西郷の銅像を制作したのが高村光太郎の父の高村光雲となっています。  
六文銭さん

#21 サンクトペテルブルク／ピョートル 2006/ 9/25 12:33 [ No.14546 / 15916 ]

西欧大好きで、そのお蔭でロシアを強国に押し上げたピョートル一世（大帝）が、バルト海のスウェーデンの要塞を奪還すると、その地の干拓地に町を建設し、自らの守護聖人の名をとってドイツ語風の名前の町を冠し、ヨーロッパの窓として、ロシア文化の中心になります。

なので、ピョートルの西欧へのこだわりが、この町の形で具現化したとも言えます。

永\_井\_荷\_風さん

#22 タヒチ／ゴーギャン 2006/ 9/25 12:40 [ No.14547 / 15916 ]

友人のヴァンゴッホが自殺してしまうと、本人がかねてから憧れていたタヒチへの旅に出、パリの画商からの送金で、その地で暮らします。

岩波文庫から出ている『ノアノア』（確か「好い香り」の意味）という本に、タヒチでの暮らしぶりが描かれています。

永\_井\_荷\_風さん

番外 靖国神社／小泉純一郎 2006/ 9/26 22:21 [ No.14548 / 15916 ]

本日をもって小泉総理の退陣、そして安倍新総理の誕生となりました。

小泉前総理がこだわっていたのは靖国神社参拝、今年は公約どおりの8月15日の参拝となりました。

ryoanpaku\_2006さん

【お題】 排除されたもの20件 2006/ 9/26 23:55 [ No.14549 / 15916 ]

それでは次のお題に入ります。

日本史・世界史共通で、人物・物・団体などで、ある組織の中にかつては属していたり、資格を認められていたが、様々

な理由によって除名・除籍・解任・解雇・免職・認定除外などの形で排除されたものを20件、レスをお願いします。排除の事実があれば時代は問いません。

#00 冥王星／国際天文学連合

お題を出すきっかけはこの件からです。

1930年に太陽系9番目の惑星として発見されたこの星は、長年高精度の望遠鏡でなければ見られない太陽系最果ての星として認められ、そのロマン性もあってSFやアニメの舞台としても親しまれてきましたが、同じ海王星の外側の空間に冥王星に匹敵する、ないしは上回る大きさの天体が次々に発見され、今年8月の国際天文学連合（IAU）の総会で、惑星から除外されこれら同等の天体と合わせ「矮惑星」に分類すると議決されました。以降惑星と認められるのは水金地火木土天海の8惑星になります。

六文銭さん

#01 武村正義&村山富市 2006/ 9/27 11:11 [ No.14550 / 15916 ]

第1次民主党結党時、さきがけと社民党の「旧勢力」の代表として入党を拒否された二人。

このとき使われた、「排除の論理」という言葉は流行語に。

kno\*k\_k\*oc\*\_33\*さん

#02 李斯 2006/ 9/27 11:26 [ No.14551 / 15916 ]

秦の丞相。

始皇帝亡き後、趙高によって排除される。

kno\*k\_k\*oc\*\_33\*さん

#03 郵政民営化造反組 2006/ 9/27 23:10 [ No.14552 / 15916 ]

昨年の郵政民営化法案で自民党の意に反して「反対」した造反議員、その後の「郵政総選挙」では小泉首相は「造反組」は全員公認しないばかりか、立候補した34人の選挙区には、「刺客」と呼ばれた対立候補を擁立。「造反組」で当選できたのは半分だけでした。

その後も「造反組」には除籍、離党勧告、党員資格停止の処

分が下されました。

ryoanpaku\_2006さん

#04 オットー4世 2006/ 9/28 23:07 [ No.14553 / 15916 ] 1175-1218

ヴェルフェン家出身唯一の神聖ローマ皇帝。

ホーエンシュタウフェン家の皇帝ハインリヒ6世の死後、その弟フィリップと帝位を争って敗れたが、フィリップが暗殺されたためローマ教皇によって正式に皇帝として即位した。しかし大規模なイタリア半島遠征を計画したため教皇によって破門される。

破門によって信用を失ったオットーはハインリヒ6世の子フリードリヒ2世によって帝位を奪われ失脚した。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

#05 福本和夫 2006/ 9/29 8:56 [ No.14554 / 15916 ]

戦前の政治学者で、旧制の松江高校や山口高商の教授を勤めながら、マルクス思想の理論家として注目を浴び、共産党内ではそれまでの「山川イズム」を「福本イズム」が凌駕して、一時期は絶大な支持を得たそうですが、その路線が本家であるソ連の共産党に否定されると、党の幹部は手のひらを返したように福本を批判し始めたと言われます。

三・一五事件で検挙され、戦前、戦中は獄中にあり、戦後復党しますが、幹部と対立して除名されてしまいます。

除名された後は江戸文化とか、好きな鼻の研究などに没頭したそうで、どうも、政治的な野望などは全くない純粋な科学者のようなタイプの理論家だったようですが、党の都合で翻弄された人生になってしまったようです。

永\_井\_荷\_風さん

#06 野坂参三 2006/ 9/29 8:58 [ No.14555 / 15916 ]

共産党嘶二題。

労働運動の関係でイギリスに渡り、イギリス共産党に入党するも、国外退去の処分でもスクワに移り、戦前はモスクワを中心に国際コミンテルンの活動をしていたそうです。

戦後帰国して代議士になると、日本国憲法の草案を聞いて



「一体、国家が自衛力を持たないとは何事であるか」と当時の憲法担当大臣に詰め寄ったそうで、アメリカの政権下での穏健な革命を目指しますが、それがソ連によって批判されると党内での地位を失い、一時は中国に渡って、武力革命路線を指導します。

その後、共産党の路線変更もあって復権し、帰国して参議院議員を長く務めますが、ソ連崩壊後、更なる共産党の方針転換により、死の前年にスターリンに加担したなどの理由で除名されます。

永\_井 荷\_風さん

#07 ソ連 2006/ 9/29 19:56 [ No.14556 / 15916 ]

日独伊は自らの意思で国際連盟を脱退しましたが、ソ連は1939年のフィンランド侵略が非難されて、国際連盟から除名されました。

関目企画さん

#08 コンパルソリー（規定演技） 2006/ 9/29 22:37 [ No.14557 / 15916 ]

現在フィギュアスケートは、定められた8つの要素(elements)を組み合わせるショートプログラム(short program)と、より自由度の高い自由演技(free skating)の2種目が行なわれていますが、かつては最初に、決められた図形を氷上に3回描く、規定演技(compulsory)が行われていました。(これが見ててつまらいの一言に尽きます)

1980年までは、この規定演技の比重が重く、ショートプログラムや自由演技を得意とする選手たちが、集客性に乏しい規定演技の時点で優勝候補から外れる事が多々あった。札幌オリンピック3位のジャネット・リン(アメリカ)や1980年世界選手権4位の渡部絵美がそのような例があります。

1981年以来、規定演技、ショートプログラム、そして自由演技の3種目の順位点(factored placement scores)に基づいた採点方法が用いられ、規定演技の比重が軽くなり、各種目共6.0を満点として採点されていました。

そしてついに、大会の規模を縮小したいなどの理由から1991年に規定演技は廃止された。採点方法については、2003年

のグランプリシリーズ、そして2005年の世界選手権より「新ジャッジング・システム」が採用され、技術点(technical elements score)と構成点(program components score)の2つの合計得点で競われるようになりました。

ryozanpaku\_2006さん

#09 プレス（重量挙げ） 2006/ 9/29 22:43 [ No.14558 / 15916 ]

もういっちょ、スポーツシリーズで

現在重量挙げは「スナッチ」と「クリーン&スナッチ(略してスナッチ)」の2種類ですが、かつては「クリーン&プレス」というのがありました。

それぞれの違いは

スナッチ

両手による引き上げ競技。地面に置いたバーベルを頭上へ一気に引き上げ、立ち上がる。

クリーン&ジャーク(略してジャーク)

両手による差し上げ競技。地面に置いたバーベルを第1動作(クリーン)で肩まで引き上げて立ち上がり、第2動作(ジャーク)で全身の反動を使って一挙動で頭上へ差し上げる。

クリーン&プレス(略してプレス)

両手による差し上げ競技。地面に置いたバーベルを第1動作(クリーン)で肩まで引き上げて立ち上がり、第2動作(プレス)で腕の力のみを使い一挙動で頭上へ差し上げる。

ryozanpaku\_2006さん

#10 正力松太郎&補足 2006/ 9/30 0:38 [ No.14559 / 15916 ]

富山県出身で旧制第四高等学校を経て東京帝国大学を卒業。警視庁に入庁とエリートコースを進み警視庁警務部長まで出世しましたが、大正12年(1923)、関東大震災後間もない東京で帝国議会の開院式に向かう摂政の皇太子裕仁親王(後の昭和天皇)が無政府主義者の難波大助に狙撃される暗殺未遂事件(虎の門事件)が発生。この事件を防げなかった責任を問われ懲戒免官となりました。

しかし間もなく経営危機に陥っていた読売新聞の経営権の

買収に成功し、再建を果たし後の新聞出版部数世界一の基礎を築いて読売中興の祖といわれています。また戦前には米大リーグ代表チームの招聘や読売巨人軍の設立、戦後は日本テレビの設立や、科学技術庁の初代長官となって東海村の日本初の原子力発電所の建設に携わり「プロ野球の父」「テレビ放送の父」「原子力の父」とも呼ばれています。

早速に多くのレスありがとうございます。お題の補足ですが、すでに回答例がありますが排除をされた側、及び排除した組織が重複してのレスもOKとします。よろしくお祈いします。六文銭さん

#11 松平乗邑 2006/ 9/30 0:59 [ No.14560 / 15916 ]

將軍吉宗のもとで強力なリーダーシップを発揮して行財政改革を推進してきたが、將軍継嗣問題で吉宗の後継に二男の田安宗武を推したことで將軍世子・家重の怒りを買う。家重の將軍就任に伴って老中を罷免され、かつ隠居を命ぜられた。fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

#12 船越雅史アナ 2006/ 9/30 19:30 [ No.14561 / 15916 ]

日本テレビのアナウンサーで、悪質なセクハラで降格したばかり。前のWカップで、ゴ〜〜〜と絶叫してた人ではありませんでしたっけ？セクハラした相手女性は何かカップ？なんて、こういう発言こそセクハラですな。

クイズ パンチ de デートさん

#13 酒井忠清 2006/10/ 1 0:08 [ No.14562 / 15916 ]

將軍家綱時代を通して老中・大老を務め権勢を振るったが、家綱の弟綱吉が將軍になると綱吉ににらまれるようになり、突如大老職を罷免される。まもなく失意のうちに死去。

「下馬將軍」のあだ名は死後につけられたものである。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

#14 トルコ 2006/10/ 1 12:00 [ No.14563 / 15916 ]

EU拡大の限界を示した出来事ですが、イスラム圏でありながらケマル・パシャ以来の欧化政策とともに、西側世界の一員としての地位を築いてきたトルコは、拡大EUのメンバー

に立候補しますが、EUの言いだしっぺでもあるフランスの大統領が、「トルコが入ればEUがEUでなくなる。トルコとは別の形の同盟関係を結ぶ」ということで、関税同盟には加入させたものの、EU加盟はナンになりました。

EUのアイデンティティを考えた場合には、宗教や人種の違いも重要だったようで、もともとフェニキアあたりの言葉でエーゲ海の東をアジア（「東」の意味）、西側をエルブ（「西」の意味）と呼んだのがアジアとヨーロッパの語源だそうですから、トルコはまさにアジアということになります。

永井 荷風さん

# 15 桜井佐吉、石川兵助一光 2006/10/ 1 22:19 [No.14564 / 15916]

賤ヶ岳の七本槍とよばれる7人は

福島正則

加藤清正

加藤嘉明

脇坂安治

平野長泰

糟屋武則

片桐且元

の7人ですがこのとき秀吉から感状を受けたのはこのほかに、桜井佐吉、石川兵助一光の2人がいます、何ゆえ「賤ヶ岳の九本槍」みならなかったのかは、語呂の問題とか、桜井佐吉、石川兵助一光の2人はこのとき戦死したためとか言われています。

ryoanpaku\_2006 さん

# 16 久世広周 2006/10/ 2 23:29 [No.14565 / 15916]

1819-1864

下総関宿藩主。奏者番、寺社奉行兼務を経て老中となる。安政の大獄で井伊直弼が行った厳しい処罰を批判したため、老中を罷免された。

桜田門外の変の後、安藤信正の推挙で老中に再任。信正とともに公武合体運動を推進した。しかし信正が坂下門外の変で襲撃されて老中を辞任すると、広周も信正に連座して老中を

罷免される。更に禄高1万石を削減され、かつ強制的に隠居させられた。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

# 17 斎藤隆夫 2006/10/ 3 2:24 [No.14566 / 15916]

さいとうたかお 明治3年（1870）～昭和24年（1949）

兵庫県の実豊岡市の出身で、東京専門学校（現在の早稲田大学）を卒業し弁護士試験に合格。さらにアメリカのエール大学の法科大学院へ留学をしますが、帰国後は政治家を志して大正元年には衆議院議員に初当選を果たしました。

150cmと小柄で、若い頃に肋膜炎を患い肋骨を7本抜いた影響で演説の際上半身を揺らせる癖があったため、「ネズミの殿様」と愛称されていましたが、その弁舌・演説力は卓越していて、また満州事変以来の軍部の政治介入への批判精神を強く持ち、昭和11年（1936）の二・二六事件後に、いわゆる「肅軍演説」を帝国議会で行いました。

そして太平洋戦争開戦間近の昭和15年（1940）2月2日には、すでに開戦3年を過ぎたが多くの戦死者を出し終結の見込みが立たない支那事変（日中戦争）に関して、根本的な疑問と批判を提起した「反軍演説」を帝国議会で行いました。その要点は、

・・・弱肉強食の修羅道に向って猛進をする。これが即ち人類の歴史であり、奪うことの出来ない現実であるのであります。この現実を無視して、ただいたずらに聖戦の美名に隠れて、国民的犠牲を閉却し、日く国際正義、日く道義外交、日く共存共栄、日く世界の平和、かくのごとき雲を掴むような文字を列べ立てて、そうして千載一遇の機会を逸し、国家百年の大計を誤るようなことがありましたならば、現在の政治家は死してもその罪を滅ぼすことは出来ない・・・

といった内容で、この演説は議場では多くの拍手喝采で讃えられましたが、軍部の側は怒り狂って議会に斎藤の処分を求め、圧力に屈して衆議院は斎藤の反軍演説を議事録から削除し、また同年3月7日には斎藤の衆議院議員からの除名の動議が出され、これには芦田均など7名が反対、尾崎行雄、鳩山一郎、片山哲、西尾末広など144名が棄権・欠席したも

の賛成296名で可決され、衆議院から除名となりました。しかし彼は2年後の1942年、政府からの推薦議員が圧倒的に有利になる翼賛選挙で、非推薦候補ながら兵庫5区で見事トップ当選を果たし政界に復帰しました。戦後はこういった経歴のため公職追放にもならず、日本進歩党民主党、民主自由党の設立に参画し、吉田内閣、片山内閣の国务大臣を務め、昭和24年に没しました。

六文銭さん

#18 徳川(慶喜) 2006/10/ 3 12:25 [No.14567 / 15916]

幕末の動乱、王政復古のクーデターで

土佐の山内容堂らは新政府に徳川を加えることを強く主張したんですが

薩摩とかの強硬な態度に矛を収め、徳川排除ということになりました。

pip\*37\*さん

#19 文革四人組 2006/10/ 3 21:41 [No.14568 / 15916]

毛沢東が主導した文化大革命は中国国内に

大動乱を巻き起こし、政治家だけでなく多くの民衆にも肅清の嵐が

襲い掛かりました。毛沢東の文革路線を引き継いだのが江青、王

洪文、姚文元、張春橋のいわゆる四人組でした。彼らは国内の政敵

を次々に弾圧しましたがその中には後の最高実力者鄧小平も含まれ

ています。毛沢東の死後、後ろ盾を失った四人組は反文革派の軍人

と対立し、ついに逮捕され共産党党籍を永久剥奪されます。四人組は全員裁ばかれ、死刑判決を受けた者もいますが、

減刑された後に獄死したり仮出獄後に亡くなったりしています。

sakisaki さん

# 20 広岡達朗 2006/10/ 4 20:16 [No.14569 / 15916]

読売ジャイアンツのショートとして一時期活躍しましたが、時の監督川上哲治氏に反発して、二軍落ちを経験します。この衝突はいったんは収まりますが、やがて成績不振で引退。これだけなら珍しくないかもしれませんが、引退後巨人軍のキャンプを見ようとした広岡氏を川上氏は嫌って徹底的に締め出しました。まさに「巨人軍に排除された」人でした。  
sin\*en\*onma\*hi さん

番外 山口尚芳 2006/10/ 4 20:35 [ No.14570 / 15916 ]  
この名前を聞いただけでは「誰？」という人も多いのでは。明治初期、岩倉使節団の一員としてアメリカ合衆国、ヨーロッパ諸国に派遣された使節団の副使の1人です。岩倉使節団の写真にも写っているので見たこともあるのでは。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B2%A9%E5%80%89%E4%BD%BF%E7%AF%80%E5%9B%A3>  
この写真、私の中学校時代の歴史の教科書にも載っていたのですが、写真の説明には。  
\*写真左より、木戸孝允、ひとりおいて、岩倉具視、伊藤博文、大久保利通

「おいおい、ひとりおいてって誰なんだよ」とそれ以来、この山口のことが気になって仕方ありませんでした。他の4人に比べると格段に知名度は落ちますが、名前ぐらい入れてやれよと思っておりました。

山口尚芳  
肥前藩出身、岩倉遣外使節の副使をつとめ、東京府知事や会計検査院長を歴任しました、英語も堪能で多分に通訳の役割もあったようです。  
ryoanpaku\_2006 さん

**お題【 六つつでまとめられるもの 】** 2006/10/ 5 17:43  
[ No.14571 / 15916 ]  
過去に、  
3:00  
<http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=GN&action=l&board=1835208&tid=nr>  
bbkbb3bcjc0fea52a1aa5e0&sid=1835208&mid=1790  
4:00  
<http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=GN&action=l&board=1835208&tid=nr>  
bbkbb3bcjc0fea52a1aa5e0&sid=1835208&mid=8707  
5:00  
<http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=GN&action=l&board=1835208&tid=nr>  
bbkbb3bcjc0fea52a1aa5e0&sid=1835208&mid=12142  
7:00  
<http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=GN&action=l&board=1835208&tid=nr>  
bbkbb3bcjc0fea52a1aa5e0&sid=1835208&mid=9003  
1 1 ~ :  
<http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=GN&action=l&board=1835208&tid=nr>  
bbkbb3bcjc0fea52a1aa5e0&sid=1835208&mid=9139  
がありました。今回は「6」で参りましょう。  
ルールは「4」に準じます。  
結構ネタは豊富だと思います。  
永\_井\_荷\_風さん

**#01 六歌仙** 2006/10/ 5 21:24 [ No.14572 / 15916 ]  
平安初期の和歌の巨匠6人を指す。  
メンバーは、在原業平・僧正遍昭・喜撰法師・大伴黒主・文屋康秀・小野小町。  
fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

**#02 六臣注文選** 2006/10/ 5 23:14 [ No.14573 / 15916 ]  
『文選』は中国梁の昭明太子蕭統が編纂した詞華集で、古

代から中世にかけての中国文学の精髓が凝縮されている書物ですが、唐代に『文選』の代表的な注釈が二種成立します。

一は李善による注でこれは文言の出典を明らかにしたものの、他方は五臣注と呼ばれ、文言の意味を説いたもの。李周翰、呂延濟、劉良、呂尚、張銑の五名の共同作業で作成されました。二種の注釈を後世に合刻したものを「六臣注文選」と称し、日本にも将来されています。  
sakisaki さん

**#03 天保六花撰** 2006/10/ 6 16:19 [ No.14574 / 15916 ]  
二代目松林伯田という人が、河内山宗俊の娘に取材して創作した、天保期の悪党六人を登場させた講談で、後に河竹黙阿弥が歌舞伎に脚色して当りました。江戸城の御数寄屋坊主「河内山宗俊」は、松江侯の許へ腰元奉公に行ったまま目をかけられて幽閉された町方の娘を救い出すことを金で頼まれ、寛永寺法親王の御使僧にばけて藩主と直談判して娘を取り戻しますが、帰りがけに家老に見破られると開き直って「松江侯二十万石に傷が付くぞ」と啖呵を切っておどかし、悠然と松江家を去るという、大胆不敵な男。宗俊の弟分だった色男の御家人でいかさま博打で江戸払いになる直侍（なおざむらい）こと「片岡直次郎」、その直次郎がこっそり会いに来る愛人が吉原大口屋の花魁「三千歳（みちとせ）」、剣の達人で辻斬りを繰り返す「金子市之丞」も三千歳に思いを寄せるものの、実は生き別れた三千歳の実の兄。直次郎の子分で、裏切って密告するのが博徒の「暗闇の丑松」。他に、海産物問屋を営み抜け荷の常習「森田屋清藏」の六人です。  
永\_井\_荷\_風さん

**#04 六朝** 2006/10/ 6 21:08 [ No.14575 / 15916 ]

過去にこの手の御題で私のレスは「7」の時は「戦国七雄」、  
「11～」の時は「五胡十六国」でしたので今回も中国ネタで  
行きます。

六朝とは、魏晋南北朝時代、主に江南地域に根を下ろした6  
つの王朝、

呉  
東晋  
宋  
齊  
梁  
陳

の6つを指します。

江北が異民族に抑えられているの対し、漢民族の亡命政権と  
いった感もありますが、この時代に江南の開発は急速に進み、  
隋唐以降の発展につながっていきます。また六朝文化も花開  
きました。

関目企画さん

#### #05 六道 2006/10/6 23:00 [No.14576 / 15916]

仏教に由来する語で、衆生が生前の業によって輪廻転生を  
繰り返す

迷妄の世界のこと。天上、人間、餓鬼、畜生、阿修羅、地獄  
の六つ

を指す。

平安から鎌倉時代以降六道思想が流行し、六道絵が制作され  
人々の

信仰を集めました。後白河法皇が制作を命じ、蓮華王院に蔵  
せしめ

たという六道絵の一部と推定される地獄草子、餓鬼草子が東  
京国立

博物館、京都国立博物館、奈良国立博物館に所蔵されていま  
す。

sakisakiさん

#### #06 六玉川 2006/10/7 21:44 [No.14577 / 15916]

「むたまがわ」と読み、日本中にある六つの玉川のことで、

江戸期の俳句集「武玉川（むたまがわ）」とは異なります。  
古くから歌枕になっているそうで、この機会に調べてみまし  
た。

1. 井手の玉川（山城国綴喜郡）

<http://map.yahoo.co.jp/pl?lat=34%2F47%2F44.672&lon=135%2F48%2F51.952&layer=1&sc=3&mode=map&size=s&pointer=on&p=&CE.x=363&CE.y=260>

2. 野路の玉川（近江国栗太郡）

<http://map.yahoo.co.jp/pl?lat=34%2F59%2F29.149&lon=135%2F57%2F29.892&layer=1&ac=25206&mode=map&size=s&pointer=on&sc=3>

3. 野田の玉川（陸奥国宮城郡）

<http://map.yahoo.co.jp/pl?lat=38%2F18%2F26.796&lon=141%2F0%2F19.301&layer=1&sc=3&mode=map&size=s&pointer=on&p=&CE.x=535&CE.y=378>

4. 高野の玉川（紀伊国伊都郡）

<http://map.yahoo.co.jp/pl?lat=34%2F12%2F47.023&lon=135%2F36%2F26.618&layer=1&sc=3&mode=map&size=s&pointer=on&p=&CE.x=366&CE.y=68>

5. 調布の玉川（武蔵国多摩郡）

<http://map.yahoo.co.jp/pl?lat=35%2F38%2F12.126&lon=139%2F32%2F43.223&layer=1&ac=13208&mode=map&size=s&pointer=on&sc=4>

6. 玉川の里（摂津国三島郡）

<http://map.yahoo.co.jp/pl?lat=34%2F48%2F33.519&lon=135%2F36%2F14.978&layer=1&ac=27207&mode=map&size=s&pointer=on&sc=3>

永井 荷風さん

#07 六法 2006/10/8 5:21 [No.14578 / 15916]

日本では各種の法律をまとめた書籍を「六法全書」といいま  
すが、この中の「六法」は、

日本国憲法

民法

商法

刑法

民事訴訟法

刑事訴訟法

の主要な六法典を指します。この六法という用語は明治初期  
にフランス法が伝わったとき、同国で民法典・商法典・刑法  
典・民事訴訟法典・治罪法典の五つの法律を合わせて「ナポ  
レオン五法典」と呼ばれていたのに由来し、日本ではこれら  
の法律に憲法を加えて六法と称するようになりました。

六文銭さん

#### #08 六国史 2006/10/8 7:33 [No.14579 / 15916]

古代日本の一連の6つの正史

日本書紀

続日本紀

日本後紀

続日本後紀

日本文徳天皇実録

日本三代実録

のこと。一部紀伝体的、概ね編年体で記されている。

その後も国史編纂計画はあったが完成に至らなかったと言  
われている。

cau\*d\*on\_72\*8さん

#### #09 南都六宗 2006/10/8 21:47 [No.14580 / 15916]

奈良時代、平城京を中心に栄えた仏教の6つの宗派の総称に  
なります。

読みは「なんと・りくしゅう」と読み以下の六宗をさします。

法相宗（唯識）

三論宗（中論・十二門論・百論）

俱舍宗（説一切有部）

成実宗（成実論）

華嚴宗（華嚴経）

律宗（四分律）

これは当時からこう呼ばれていたわけではなく、平安時代以

降平安京を中心に栄えた平安二宗（天台宗、真言宗）に対する呼び名となっております。

ryoanpaku\_2006 さん

#10 6カ国協議 2006/10/8 21:54 [ No.14581 / 15916 ]

2003年8月から北朝鮮の核問題を解決する為に多国籍の

枠組みで開催された協議。参加国は北朝鮮、韓国、中国、ロシア、

アメリカ、日本の6カ国。

2005年11月に第5回協議が開催され、この中で北朝鮮の

核放棄についての具体的な手順が話し合われたものの、アメリカ

による金融制裁に北朝鮮が反発し、協議は休会され現在に至っても

再開のめどは立っていない模様です。

sakisaki さん

番外 六甲山 2006/10/8 22:19 [ No.14582 / 15916 ]

上代には「むこやま」と呼ばれ、「武庫山」などと字が当てられたようで、江戸時代後期以降、「六甲山」の字が当てられ、読みも「ろっこうさん」と変化したとされています。

六甲嵐もそろそろ...

ryoanpaku\_2006 さん

#11 六弁天 2006/10/9 12:26 [ No.14583 / 15916 ]

相州江ノ島

安州巖島

近江竹生島

陸奥金華山

大和大峰山

富士浅間大社

だそうです。

kno\*k\_k\*oc\*\_33\*さん

番外 南斗六聖拳 2006/10/9 12:31 [ No.14584 / 15916 ]

お約束で

南斗聖拳のシン

南斗水鳥拳のレイ

南斗紅鶴拳のユダ

南斗白鷺拳のシュウ

南斗鳳凰拳のサウザー

で、最後の一人は何故かユリアで、辻褄が合わないけど、まあいいか。

kno\*k\_k\*oc\*\_33\*さん

#12 六地藏 2006/10/10 13:12 [ No.14585 / 15916 ]

どうもおひさで。

六道と関係していますが、その六つの道をつかさどるのが六地藏。

寺院などで六体のお地藏さんが並んでいるのを見かけることがあると思いますが、御伽噺の「笠地藏」は、この六地藏に笠をかぶせたものだと考えられます。

toshy.y.takahashi さん

番外 六花亭 2006/10/10 22:11 [ No.14586 / 15916 ]

人気のある北海道のチョコレート屋さんですが

「六花」とは「六出」とも言われ、雪の異称で、六角形の結晶を花卉に見立てたものだそうです。

永\_井\_荷\_風\_さん

#13 六衛府 2006/10/10 22:12 [ No.14587 / 15916 ]

左右×近衛府、兵衛府、衛門府＝六衛府

です。

それぞれの所管は、

――陽明門――

左衛門府

――建春門――

左兵衛府

――宣陽門――

左近衛府

内裏

右近衛府

――陰明門――

右兵衛府

――宜秋門――

右衛門府

――殷富門――

といったフォーメーションだそうです。

永\_井\_荷\_風\_さん

#番外 子供の領分 2006/10/11 21:32 [ No.14588 / 15916 ]

フランスの作曲家ドビュッシーによる6つのピアノ組曲。

表題は「子供の領分」だが、子供用の易しい曲ではない。

内容は

1 グラドゥス・アド・パルナッスム博士

2 象の子守唄

3 人形へのセレナード

4 雪は踊っている

5 小さな羊飼

6 ゴリウオーグのケーキウォーク

6つで1組ですがタイトルに「6」が含まれてなく、

「ピアノのための6つの小品」とかの副題もないよう

なので番外とします。

sakisaki さん

#番外 小豆島手延素麺 麵匠六人衆 2006/10/11 22:35 [ No.14589 / 15916 ]

小豆島に、手延べ素麺作りのすごい人たちがいて、六人衆と呼ばれているらしい。セット商品も販売されています。

クイズ パンチ de デートさん

#14 六波羅蜜 2006/10/11 22:41 [ No.14590 / 15916 ]

宗教的理想のために実践すべき修行の項目をサンスクリット語で「パラミッタ（波羅蜜）」と呼び、

布施、持戒、忍辱（にんにく）、精進、禪定、智慧の「六波

羅蜜」が普通ですが、これに、  
方便、願、力、智の四項目を加えて「十波羅蜜（じっばらみつ）」とすることもあるそうです。

方便だけの修行ならラクそう。

永\_井 荷\_風さん

# 14 日本六古窯 2006/10/11 22:42 [ No.14591 / 15916 ]  
(常滑市民俗資料館より)

六古窯とは、日本の中世期に陶器生産を開始し、現代まで継続している陶器産地という基準で選ばれた六ヶ所の窯業地であり、瀬戸・常滑・越前・信楽・丹波・備前の六窯を指します。

いずれも平安時代末期から室町時代の中核的な陶器生産地ですが、その時代には北陸の珠洲窯や東海の渥美窯のように六古窯以外の窯業地が全国にあり、盛んに陶器が生産されていました。

それらの窯は、室町・戦国期の社会変動の中で急速に姿を消し、残ったのが六古窯となりました。一方では、桃山時代に唐津・有田・萩などの新たな有力窯業地が西日本の各地に形成され、六古窯にも大きな影響を与えることになりました。

六古窯の命名は、古陶磁研究家の小山富士夫氏によって昭和23年ごろ行われました。越前窯の命名も、それとほぼ同時期のことです。

六古窯のうちで瀬戸窯は、早くから灰釉・鉄釉を駆使し、酒器や仏器、食器の生産が行われましたが、他の窯では、無釉焼き締め壺・甕・鉢が中心でした。

桃山時代の詫び茶の成立とともに、備前・信楽・丹波では茶器の生産が行われ、工芸色が強く、常滑・越前は日常生活用具が主体となり、工芸品の登場は遅れました。

六古窯は長い歳月の間に様々な変貌をとげつつ今日に至っています。中世、近世、近代、現代とそれぞれの時期にそれぞれの特色を見せており、六古窯も固定的なイメージでとらえることは難しいのが現実です。

クイズ パンチ de デートさん

# 15 六所神社 2006/10/11 22:46 [ No.14592 / 15916 ]

全国に六所神社というのがあり、これは国府の近くに建てた総社のことを指す場合が殆んどですが、国内の一宮から六宮までの

祭神を集めて、参拝の便宜を図るのが総社の基本だったそうで、  
そこからこういう呼び方になったと言われます。

武蔵国総社である東京府中の大国魂神社も六所宮と呼ばれますが、

その祭神は、

一宮 小野神社

二宮 二宮神社 (小河明神)

三宮 氷川神社

四宮 秩父神社

五宮 金鑽神社

六宮 杉山神社

だそうで、氷川神社を一宮、金鑽神社を二宮とする系統もあり、  
この辺がカブっているのは、元は二つの国だったからかもしれません。

永\_井 荷\_風さん

# 16 六社 2006/10/11 22:56 [ No.14593 / 15916 ]

東京都府中市にある大国魂神社の別称ですが、平安時代の後期に六つの神社を合祀した六所宮（ろくしょのみや）という神社が国府（大国魂神社）に

設けら、そして中世、近世を通して「府中六所宮」と呼ばれるようになったのが始まりです。

六社は

一ノ宮 小野神社 東京都多摩市一ノ宮

二ノ宮 小河神社 東京都あきる野市二宮

三ノ宮 氷川神社 埼玉県さいたま市大宮区

四ノ宮 秩父神社 埼玉県秩父市番場町

五ノ宮 金鑽神社 埼玉県児玉郡神川町

六ノ宮 杉山神社 神奈川県緑区西八朔

J R Aのレースにも六社特別という特別レースが設けられています。

ryozanpaku\_2006 さん

↓失礼かぶりました # 17 からどうぞ 2006/10/11 22:57  
[ No.14594 / 15916 ]

思いっきりかぶってしまいました。

ryozanpaku\_2006 さん

# 17 六家集 2006/10/12 22:34 [ No.14595 / 15916 ]

平安末期から鎌倉時代にかけて活躍した歌人六人の

私家集の総称です。

藤原俊成『長秋詠草』

藤原良経『秋篠月清集』

慈円 『拾玉集』

西行 『山家集』

藤原定家『拾遺愚草』

藤原家隆『壬二集』

sakisaki さん

# 18 明治六大教育家 2006/10/13 0:07 [ No.14596 / 15916 ]

学校を創設したり、教育制度の制定などで功績のあった明治の教育家をまとめた称号だそうです。六人は以下の通り。  
大木喬任～文部卿として近代的な学制を制定

近藤真琴～攻玉塾を創立、主に数学・工学・航海術の分野で活躍

中村正直～同人社を創立、西国立志編など多くの翻訳書を発刊した

新島襄～同志社を創立、英語・キリスト教の分野で多くの逸材を教育

福沢諭吉～慶應義塾を創立、法学・経済学を中心に幅広い思想家として著名

森有礼～明六社の発起代表人、文部大臣として学制改革を実施

クイズ パンチ de デートさん

番外 六神合体ゴッドマーズ 2006/10/13 19:22

[ No.14597 / 15916 ]

ガイヤー、スフィンクス、ウラヌス、タイタン、シン、ラー  
というのが見つかりました。

って、意味がわからないけど。

永\_井 荷\_風さん

# 19 六所遠流 2006/10/13 19:23 [ No.14598 / 15916 ]

伊豆七島、薩摩の五島、肥後天草、隠岐、壱岐、佐渡

の六ヶ所で、遠流のメッカであったそうです。

薩摩の五島というのは、五島列島ではなく、甌列島や喜界島  
なんかを指したんじゃないかと思われませんが、よくわかりま  
せん。

でも、いずれにしろけっこういいとこばっかジャン。

永\_井 荷\_風さん

# 20 六国諸軍事・安東大將軍 2006/10/13 23:46

[ No.14599 / 15916 ]

フルネーム？でいうと「安東大將軍・倭国王・使持節・都督  
倭・新羅・任那・加羅・秦韓・慕韓六国諸軍事」。まるで寿  
限夢です。

倭の五王が中国に要求し、最後の王「武」になってようやく  
認められた称号です。六国とは現在の日本と朝鮮半島の諸国  
を指すようです。

関目企画さん

# 2 1 六腑 2006/10/14 9:46 [ No.14600 / 15916 ]

うまい酒を飲んだときなど、「酒が五臓六腑にしみわたる」  
などといいますが、この五臓六腑は人間の重要な臓器を表す  
東洋医学上の用語で、「五臓」は肝・心・脾・肺・腎の五つ  
で、精・気・血を蔵する実質的な臓器を指し、「六腑」は、  
胆・小腸・胃・大腸・膀胱・三焦の六つで、空間のある構成  
で精・気・血を動かす働きをする中腔性臓器を指しています。  
この六腑の先の五つは、そのままその文字があらわす実際の  
臓器に相当しますが、「三焦」は固有の臓器を表すものでは  
なく上焦（横隔膜より上部の機能、清気を取り入れ血と共に  
全身に巡らせる等）中焦（横隔膜から臍までの間の機能、消

化・吸収を行い、そこから生じる精気を、営気と血とし全身  
に巡らせる）下焦（臍から下部の機能、働きは消化した糟粕  
を大便、水分を尿として排出する）という、内臓の総合的な  
機能を三つに分けたものの総称を表しています。

六文銭さん

# 2 2 六根 2006/10/14 9:58 [ No.14601 / 15916 ]

現在でも信仰登山を行う信者などは「懺悔懺悔・六根清  
浄・・・」と唱えて山を登っていきますが、この中の「六根」  
とは人間が外界のものごとを把握するための六つの感覚器  
官・認識器官である、眼根(視覚)・耳根(聴覚)・鼻根(嗅覚)・  
舌根(味覚)・身根(触覚)・意根(思考する心)を表しています。  
人々は日常生活ではこれらの感覚を通してどうしても不浄  
なものに接してしまうものですが、山頂の聖地などに参る信  
仰登山では、そうした六根から生ずる不浄を清浄にしたいと  
いう願いをこめて、「六根清浄」を繰り返し唱えて山道を登  
っていきます。

六文銭さん

【お題】世界の廃墟 20 件 2006/10/14 10:29 [ No.14602 / 15916 ]

それでは次のお題に行きたいと思います。

日本国内・海外を問わず、またそうなった時代を問わずで、  
かつては役割を持って機能していたが、現在は廃墟となっ  
ている建築物や都市、地域などを 20 件レスをお願いいたしま  
す。

# 0 0 長崎県・軍艦島

正式な島の名は「端島」といい、長崎市を中心部の南東 1 9  
k m の海上にある面積 6 . 3ヘクタールの小さな島ですが、  
1 9 世紀になってこの島に石炭の鉱脈が発見されて炭鉱が  
開かれ、明治 2 3 年（1 8 9 0）には三菱財閥の所有とな  
り施設が拡充され、島の周囲が埋め立てられてコンクリート  
で固められ、軍艦に似た状態になって「軍艦島」と称される

ようになりました。太平洋戦争中には、アメリカの潜水艦が  
本当の軍艦だと間違えて魚雷を撃ち込まれたこともあるそ  
うです。

狭い島内に炭鉱従業員が生活するため、日本では最も早く大  
正 5 年（1 9 1 6）には鉄筋コンクリート造の高層アパート  
が建てられ、昭和期前半にかけて続々増設されていきました。  
石炭の生産が基幹産業だった、戦後の 1 9 6 0 年には 5 , 0  
0 0 人を越える人口があり、炭鉱施設や住宅のほか、学校、  
商店街、病院や寺院、映画館、理髪店などがあり、一つの島  
で完結した都市機能を持っていました。しかしエネルギー源  
の石油などへの移行によって、1 9 7 4 年にはこの島の炭鉱  
は閉山となり、島民は全員島を離れ無人島となりました。そ  
の後 3 0 年余り、一般の航路は行き来してなく島はすっかり  
廃墟化し、建物も崩壊が進み上陸は原則禁止となっています  
が、廃墟ブームの中海上タクシーを雇った探訪者が現状の写  
真を公開するなどして注目されており、地元では世界遺産へ  
の登録を求める運動も起こり、経済産業省も支援を始めてい  
ます。

六文銭さん

# 0 1 アグリジェントのギリシア神殿 2006/10/14 21:44

[ No.14603 / 15916 ]

シチリア西南部の町アグリジェントには、  
ギリシアの植民地だった時代に、ジュノ（ヘラ）の神殿や  
カストルとポルックスの神殿などが築かれ、カルタゴ人や  
アラビア人によって破壊されたものの、ギリシア本土のもの  
よりも

保存状態の良いものなども残されています。

永\_井 荷\_風さん

# 0 2 ポンペイ 2006/10/15 23:54 [ No.14604 / 15916 ]

紀元前 89 年にローマの植民都市となり、以後商業都市とし  
て栄えた。

62 年の大地震で被害を受けたが復興に成功。しかし 79 年の  
ヴェスヴィオ火山の大噴火によって火山灰が大量に積もっ  
たため、街は完全に地中に埋もれてしまった。

18世紀の半ばに埋もれた街が発掘され、埋没当時の人々の生活が生々しく再現されるようになった。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#03 黒水城 (カラホト) 2006/10/16 23:50 [ No.14605 / 15916 ]

20世紀初頭ロシアの地理学者コズロフによって発見されたシルク

ロード上の遺蹟 (中国内蒙古自治区)。9世紀ころタングート族に

よって建国した西夏王国の城塞都市だったらしい。西夏はモンゴル族

に滅ぼされたが、カラホトは元代までシルクロード上の拠点を抑えて

いたこともあり、栄えていたが15世紀には忽然と歴史上の記録から

姿を消し、その廃墟は砂漠の中に埋もれていったという。

日本ではNHKの『シルクロード』(80年ころ)で紹介され有名に

なったようです。廃墟の仏塔が砂漠の中に聳える映像が今も記憶に

あります。

sakisaki さん

#04 肥前名護屋 2006/10/17 22:51 [ No.14606 / 15916 ]

加藤清正、寺沢広高が普請奉行となり、九州の諸大名を中心に動員し、突貫工事で僅か8ヶ月後の文禄元年(1592年)

に名護屋城は完成したといわれています。

規模は当時の城郭では大坂城に次ぐ広大なもので、本丸・二の丸・三の丸・山里曲輪などを配し、本丸北西隅に5重7階

の天守が築かれました。

城跡からは金箔を施した瓦が出土しており、派手好きの秀吉らしく戦争の為に構えた城郭であっても絢爛豪華であったことが伺えます。城郭の周辺には各大名の陣屋が配置された

ようです。

出兵の終わった後、この地は寺沢広高の治めるところとなり、

関ヶ原の戦いの後、慶長7年(1602年)広高は唐津城の築城を開始し、この際に名護屋城を解体しその遺材を使用し、あした。

また、この際に二度と城が利用できないように要となる石垣の四隅を切り崩すなどの作業を行われたようだが、本格的に城が破壊されたのは、島原の乱以降のことである。現在は当時の石垣が修復されて残っています。

徳川家康は朝鮮通信を肥前名護屋まで案内し、朝鮮を侵攻する意思のないことをわざわざ見せ付けたとも言われています。

ryozanpaku\_2006 さん

ryozanpaku\_2006 さん

#05 エフェソス 2006/10/18 0:13 [ No.14607 / 15916 ]

トルコ第3の都市・イズミルから南へ約80km離れたところにある古代遺跡。

周辺にはイズミルから日帰りで行けるビーチリゾートがいくつもあるため、海水浴シーズンの間は数多くの観光客で賑わっている。

もともと港湾都市として栄え、東ローマ帝国の時代に入ってからキリスト教の重要拠点であったエフェソスだが、周辺

地域からの土砂の流入とアラブ人の侵攻により衰退し、8世紀に東ローマ帝国によって見棄てられた。その後、港は完全に土砂によって埋没した。

エフェソスのシンボルであったアルテミス神殿は世界の七不思議の一つに数えられているが、ゴート人の襲撃によって破壊されたため現在は原形をとどめていない。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#06 任那日本府 2006/10/19 20:57 [ No.14608 / 15916 ]

記紀の記述によれば、任那日本府は倭国の属領もしくは貢納国であり、任那地域に権益(おそらく製鉄の重要な産地があった)を有しており、事実上の属領であったと考えられました。

しかし、近年韓国や北朝鮮において旧来の日本の歴史観に対する反発が起こり、また日本でも新たな視点から再検討が行われた結果、記紀に記されているヤマト朝廷の直截的な任那

支配は誇張されたものと認識されるようになり、任那日本府については倭と関連する集団(倭臣、倭人集団)が任那地域において一定の軍事的影響力および経済的利権を有していたとする説が主流となってきています。

ただし、最近になって任那に相当する地域から日本特有の墳墓である前方後円墳が相次いで発見されたため、倭と任那の関係については更なる見直しの必要に迫られているというのが実情のようです。

ryozanpaku\_2006 さん

ryozanpaku\_2006 さん

ryozanpaku\_2006 さん

#07 パルテノン神殿 2006/10/19 21:33 [ No.14609 / 15916 ]

古代ギリシャ時代にアテナイ(アテネ)のアクロポリスに建てられた神殿。アテナ神を祭っていた。東ローマ帝国の時代

には東方正教会の拠点として機能していたが、オスマン帝国の占領後は武器庫にされてしまう。そしてベネチア軍の攻撃を受けて破壊された。破壊後に残っていた彫刻は大英博物館に収容されてしまった。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#08 モヘンジョ・ダロ 2006/10/20 23:46 [ No.14610 / 15916 ]

パキスタン南部シンド州に位置する古代遺跡。四大文明の一つ

インダス文明の代表的な遺構とされる。BC2300ころ成立、

BC1800ころ滅亡したとされる。滅亡の原因は周囲の環境

変化-特に森林伐採による砂漠化による-が有力視されている。

約4000年以前に整然と区画整理された都市的機構が存在して

いた事自体が驚異的であり、解明されていない部分の多い遺蹟です。

世界史の授業で習ったなあ・・・

sakisaki さん



## #09 カルタゴ 2006/10/22 23:06 [ No.14611 / 15916 ]

チュニジアの首都・チュニスの近郊にある古代遺跡。  
紀元前9世紀ごろにフェニキア人によって建設された。  
海運業の発達により力をつけ、北アフリカ各地やシチリア島、サルデーニャ島などを支配しイベリア半島には植民都市を築いた。

カルタゴが擁する海軍は、ギリシャにとって大きな脅威であった。

ポエニ戦争によってカルタゴはローマに滅ぼされ、跡地にはローマの植民都市が築かれた。

東ローマ帝国領であった7世紀に、植民都市カルタゴはアラブ人の攻撃を受けて完全に破壊された。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

## #10 ハラッパー 2006/10/23 15:20 [ No.14612 / 15916 ]

モヘンジョダロ、ときたらハラッパーです。セットで覚えなないといけません。

ハラッパー (Harappa) は、パキスタン北東部、パンジャブ地方、ラホールの南西約200kmのラーヴィー川左岸に位置し、モヘンジョダロと並び称されるインダス文明の都市遺跡でかつ標式遺跡として知られる。

以前、電波少年で猿岩石がここを通過していたのを見ましたが(これも古いが)、原っぱではないものの、遺構だけの何にもない場所だったと記憶しています。

クイズ パンチ de デートさん

## #11 松尾鉱山 2006/10/23 20:58 [ No.14613 / 15916 ]

1882年に自然硫黄の露頭が発見され開発が始まる。一時は、日本の硫黄生産の3割を占めるなど東洋一の産出量を誇りました。

高度成長期になると硫黄の需要減や輸入の増加で採算が悪化、さらに1960年代後半、石油精製工場において脱硫装置の設置が義務付けられたことで、脱硫の際に副生成物として得られる硫黄の生産が活発化し、硫黄鉱石の需要は完全になくなっていった。生産コストの低減を図るために露天掘りへ

の転換も進められたが、1969年に半ば強制的に閉山に追い込まれました。

鉱山周辺は標高1,000mを超える山間僻地という条件であり、太平洋戦争後は労働者の確保を図るために家族も含めた福利厚生施設の充実が急務とされた。このため公団住宅が一般化する前から、水洗トイレ・セントラルヒーティング完備の鉄筋コンクリートによる集合住宅や小・中学校、病院、活躍している芸能人を招いて公演を催す会館など、当時の日本における最先端の施設で近代的な都市が形成されていたことでも知られ、雲上の楽園とも呼ばれた。閉山の翌年の1970年には住民が退去し、現在はそれらの建物が山中に廃墟として残っています。

ryoanpaku\_2006 さん

## #12 聖ポール天主堂 2006/10/24 1:05 [ No.14614 / 15916 ]

中国の南部で、香港に程近いマカオは、長年のポルトガルの植民地としての歴史を終えて1999年12月に中国に返還されましたが、この地のポルトガル人の居留地としての歴史は長く1557年に当時の明朝からポルトガル人にマカオでの永久居留権が認められています。

マカオは当時、カトリックのアジアへの布教の拠点でもあって、日本にキリスト教を伝来したフランシスコ・ザビエルが属していたイエズス会もマカオを通して宣教師をアジア各地に送っていました。そういった経緯から17世紀初頭には20年余りの歳月をかけて、イエズス会によって聖ポール天主堂が建てられ、当時は東洋一の壮大で美しい教会だといわれていましたが、1835年に起こった火災で大半を焼失しました。現在の聖ポール天主堂跡は建物正面の壁と階段壁の一部が残るだけの廃墟と化していますが、マカオの観光名所となっていて、たびたびその建物前面のファサードの写真が観光ガイドで紹介されています。

六文銭さん

## #13 ペルセポリス 2006/10/24 1:39 [ No.14615 / 15916 ]

紀元前6世紀から紀元前4世紀にかけて、現在のイランを中心にイラク、シリア、トルコ、エジプトにかけて大帝국을築いたアケメネス朝ペルシャ帝国の都がペルセポリスですが、この名はギリシャ人が「ペルシャの都」「破壊された都」の意味でつけた名で、当時ペルシャ人がつけたこの都市の名は現在では不明になっています。

紀元前330年のマケドニアのアレクサンドロス大王の攻略によってペルシャ帝国は滅ぼされ、大王の軍に火をかけられ破壊されて、以降ペルセポリスは再建されることなく廃墟として現在に至っていますが、この古代の都の遺構はかなり残されていて、現在では110段の階段を登った所にある人工の基盤の上に、牡牛像と人面有翼獣神像を配したクセルクセスの門、謁見の間、アケメネス朝への朝貢国民のレリーフ、ダレイオス1世の宮殿、クセルクセス1世の宮殿、百柱の間、百人のレリーフなど多くの石造りの遺跡が残され、ユネスコの世界遺産に登録されています。

六文銭さん

## #番外 ホテルエンパイア 2006/10/25 0:03 [ No.14616 / 15916 ]

1965-1995

横浜市戸塚区に存在した遊園地横浜ドリームランドに併設された

20階建ての高層ホテル。日本の寺院にある五重塔を高くしたような

外観は戸塚区近辺のランドマークとして有名でしたが、経営不振から

1995年に廃業、建物は廃墟と化していました。2002年に横浜ドリーム

ランドが閉園された後も解体されずに残っていましたが、2006年春、

ドリームランド跡地を買収した都築第一学園により横浜薬科大学図書館

として生まれ変わったそうです。

現在は廃墟ではないので、番外です。

sakisaki さん

#14 ウシュマル 2006/10/25 0:15 [ No.14617 / 15916 ]

7～8世紀ごろに建設されたマヤ文明の古代都市。

ユカタン半島北西部で繁栄を誇ったが、スペインがアメリカ大陸を侵略した頃には既に廃墟となっていた。

総督館、ピラミッド、尼僧院などの建造物の保存状態が良いため、他のマヤ遺跡に比べて詳細がかなり明らかになっている。

1996年、ユネスコの世界遺産(文化遺産)に指定された。

ユカタン半島最大の都市・メリダからバスを利用した日帰り観光が可能。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#15 足尾銅山 2006/10/25 21:03 [ No.14618 / 15916 ]

足尾銅山鉛毒事件で有名ですが、1973年閉山。

閉山後も製錬事業は続けられましたが、1989年、国鉄足尾線の貨物廃止に伴い、輸送が困難になり、事実上の廃墟となっております。

ryoanpaku\_2006 さん

#16 プリピャチ 2006/10/26 22:12 [ No.14619 / 15916 ]

ウクライナの北方、ベラルーシとの国境付近に位置するプリピャチは

1986年に起きたチェルノブイリ原発事故によっておきた放射能汚染の為に住民が街を棄て現在では巨大なゴーストタウンと化しているそうです。

放射能が減少し安全なレベルになるまでにはあと900年近くかかるとか。

なお近隣に位置するチェルノブイリでは、全住民が一旦避難したものの

街を棄てるに忍びない少数の人々が戻って生活しているらしく、現在では

完全な廃墟とは言えないようです。

sakisaki さん

#17 マチュピチュ 2006/10/27 21:43 [ No.14620 / 15916 ]

インカ帝国の時代にアンデスの険しい岩山の上で築かれた。

庶民が定住する都市ではなく、王侯貴族のための別荘地であったらしい。

岩山の頂上には太陽の神殿があり、太陽を崇める儀式だけでなく太陽暦の作成も行われていたようである。

マチュピチュの精巧に造られた建物群から、インカの人々が高度な建築技術をもっていたことがうかがえる。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#18 根岸競馬場 2006/10/27 21:53 [ No.14621 / 15916 ]

正式には横浜競馬場といいますが、地名を取って根岸競馬場ともよばれています。

幕末、横浜の外国人居留地における娯楽施設として建設され、当初は居留外国人の組織である横浜レース倶楽部により施行されていたが、1876年に内紛にのみ入会が認められていましたが、後に日本人にも認められました。

戦前はここで横浜農林省賞典四歳呼馬(現在の皐月賞)なども開催されていましたが、戦争の激化により中止、戦後派GHQに接収され以後競馬が開催されることはありませんでした。

現在は横浜市所有の根岸森林公園と日本中央競馬会所有の根岸競馬記念公苑となっております、近隣は宅地化され廃墟とは趣きが多少異なるかも知れませんが現存する一等馬見所は解体されることも修復されることもなく、侵入防止のために設けられたフェンスの中で朽ち果てているのを見ると廃墟といっても差し支えないと思います。

ryoanpaku\_2006 さん

#19 石見銀山 2006/10/29 22:14 [ No.14622 / 15916 ]

戦国時代から戦前まで日本の銀の有数の産出地でした。

現在の島根県太田市に位置する銀山は土地柄大内氏、毛利氏の支配を受け後に秀吉、家康が直轄としました。

戦前に採掘は中止され現在は廃墟と化しておりますが、島根県は世界文化遺産への登録を目指しているようです。

ryoanpaku\_2006 さん

#20 今帰仁城(なきじんぐすく) 2006/10/31 10:36 [ No.14623 / 15916 ]

琉球が北山、中山、南山の三つの勢力に分かれていた時代の、北山の軍事拠点でしたが、中山の尚氏に落とされて、その後は中山の支城になり「山北監守」が派遣されていたものの、

のちに監守が首里に引き上げたので廃城となり、以来信仰の場となっているそうで、秋篠宮一家が訪れて紀子さまの安産祈願をしたことでも有名になりました。

永井 荷風さん

お題【地名のついた衣類、布地】 2006/10/31 10:37 [ No.14624 / 15916 ]

範囲は日本史限定。

着物や生地や柄の種類などで、発祥地や主要な産地の地名が冠された衣類、布地などを二十件挙げてください。

地名や布地の種類などの重複は可とします。

#00 高宮平(たかみやひら)

中山道高宮宿産の袴地です。

特徴は... 知りません。

永井 荷風さん

#01 久留米緋 2006/10/31 22:13 [ No.14625 / 15916 ]

19世紀初めに、一切れの木綿の古い布のかすれた糸をヒントに、12歳の少女によって始められたといわれています。その後、現在の福岡県南西部にあたる久留米藩が産業としての奨励したことに加えて、絵緋技法や、小緋技法といった改良工夫によって、久留米緋は、大柄小柄緋、そして絵緋等、他に類のない特徴的な技術を持った木綿緋産地として発達してきました。

ryoanpaku\_2006 さん

#番外 蜀錦 2006/10/31 22:16 [ No.14626 / 15916 ]

中国四川地方は古来「蜀」と呼ばれ前漢の頃には絹の生産地として

天下に名高く、「蜀錦」の名は「絹織物」の代名詞のように認識され

ていたようです。中国国内のみならず、蜀錦は東西に運ばれ文字通り

「シルクロード」を經由して日本の貴顕の家、大寺院にも所蔵され、

その美しさを現代に伝えています。

舶来品なので番外。

sakisaki さん

#02 黄八丈 2006/11/ 1 12:27 [ No.14627 / 15916 ]

八丈島の伝統的な草木染めで、いつから始まったのかよくわからないほど古い歴史があるようです。からしのような黄色で（ほかにも色があるみたいですけど）、島の土産物店で手軽に入手できます。

クイズ パンチ de デートさん

#03 結城紬 2006/11/ 1 23:07 [ No.14628 / 15916 ]

下総結城（現茨城県）地方は古くから養蚕業が盛んで、農閑期に副産物の利用として紬が作られ、奈良時代にはすでに朝廷に納めていました。

鎌倉時代にこの土地の領主だった結城氏がこの産業の保護育成に努めたため、結城氏の名を取って結城紬の名が定着したとされています。

江戸時代初期に代官になった伊奈忠次が信州や京都から技術を導入したことにより、結城紬の名は一層高められ、近代になってからは技術の改良が行われ、特に緋織りの進歩で最高級の紬が生産されるようになっていきます。

ryoanpaku\_2006 さん

#04 大島紬 2006/11/ 2 0:59 [ No.14629 / 15916 ]

鹿児島県奄美大島の特産品で、13世紀頃に製造が始まったといわれる。

絹糸を材料にしていたのは幕末までで、明治以降は撚糸が絹糸に代わって使用されるようになった。それゆえに実態は紬というよりむしろ緋である。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

番外 ジャガタラ緋 2006/11/ 3 12:31 [ No.14630 / 15916 ]

ジャガタラから渡来したと言われる緋木綿。

緋織物というのは、元は、どこかはわからないけど、南洋の諸島から渡来したことから「しま」と呼ばれたようです。

永\_井 荷\_風さん

#05 小倉織 2006/11/ 3 12:32 [ No.14631 / 15916 ]

明治の小説などには「小倉の袴」などの形で出てきますが、丈夫な綿の平織りの生地で、帯や学生服にも使われます。横糸が太くて、縦糸が密なのが特長だそうです。

永\_井 荷\_風さん

【地名のついた衣類布地】のお題終了します 2006/11/ 5 10:42 [ No.14632 / 15916 ]

あまりにも人気がないので、これ以上続けるのもなんですから、

お題を終了することにします。

どなたか次のお題をお願いします。

いちおうネタとしては豊富だと思いますが、興味のある人は少ないのかもしれない。

以下ご参考方。

明石縮

秋田八丈

足利織

有松絞

阿波縮

伊賀袴

伊勢緋

伊勢崎銘仙

伊予緋

伊予染

岩国縮

岩槻木綿

上田緋

越後晒

越中緋

江戸小紋

遠州緋

青梅緋

大島紬

小千谷縮

加賀友禅

加賀染

加賀緋

上総木綿

鴨川染

川越平

川越斜子

河内木綿

川俣緋

京小袖

京鹿の子

京友禅

小倉織

五泉平

勝間木綿

薩摩緋

佐野縮

椎名紬

信濃紬

仙台平

相馬縮

高島縮

丹後縮緋

丹後緋

知多木綿

秩父銘仙  
秩父絹  
銚子縮  
名古屋帯  
奈良晒  
鳴海絞  
南部紬  
南部織  
西陣織  
仁田山織  
能登縮  
博多平  
博多帯  
博多絞  
八王子平  
飯能秩父（銘仙）  
常陸帯  
福野縞  
松坂木綿  
美濃縞  
美濃絹  
村上平  
村山緋  
村山大島  
真岡木綿  
野洲晒  
大和緋  
結城木綿  
結城縞  
横手縞  
吉野織  
米沢紬  
琉球緋  
琉球紬  
永\_井\_荷\_風さん

**お題【史家20選】** 2006/11/6 0:07 [ No.14634 / 15916 ]

また、TVに影響されてしまいました。

日本史世界史共通で、歴史書を著述した人、あるいは編纂した人、さらに編纂を命じた人を20人挙げてください。著者と編者が別人なら書物の重複はOKです。

#00 太田牛一／信長公記

今夜、ABC系列で放送された「信長の棺」の主人公。松本幸四郎は格好よすぎ？個人的には中村梅雀の秀吉がなかなか好演でした。

実際の信長公記は事実関係が正確で資料的価値が高い、そうです。

関目企画さん

#01 司馬遷 2006/11/6 2:29 [ No.14635 / 15916 ]

このヒトがナニをしたのかは、言うまでもないでしょう。

いえいえ、なにもしませんが、

およびでない？

桜ももぞうさん

#02 ヘロドトス 2006/11/6 12:07 [ No.14636 / 15916 ]

東洋の史家の元祖が司馬遷だとすると、西洋の元祖はヘロドトスになります。

ヘロドトスは、ギリシア人や異邦人たちの事跡が忘れられて同じことが

繰り返されていることに気づき、自らの調査研究を残す作業を始め、

「調べてわかったこと」という意味の「ヒストリア」という言葉が、

そのまま「歴史」という意味になりますが、西洋人は今でも「ヒストリー」を

「だれでも知っている話」くらいのニュアンスで捉えているとも言われます。

永\_井\_荷\_風さん

#03 大村由己 2006/11/6 19:50 [ No.14637 / 15916 ]

「信長の棺」にも出てきましたが、由己は播磨の国に生まれ

とされ、僧であったのだが還俗して秀吉に仕えたとされています。

また、豊臣家没落後には自らが集めた戦国の貴重な資料を家康に託してもいます。

由己は秀吉に仕えた1580年以降、主君秀吉の華々しい功績として『播磨別所記』、『惟任謀反記』、『関白任官記』などの8編を記しこれを総称して「天正記」といいます。

ryoanpaku\_2006さん

#04 トゥキディデス 2006/11/6 21:18 [ No.14638 / 15916 ]

古代ギリシアの歴史家。ヘロドトスの『歴史』とよく対比される

『戦史』の著者として知られる。『戦史』はアテネとスパルタの争

いであったペロポネソス戦争について実証的な著述をしていると評

される歴史書。

最近履修不足で話題になる高校の世界史で必ず試験に出た人ですが、

今はどうなのでしょう。当時は「ツキディデス」と表記されたので、

人名を問われた試験で「築地です」と某作家の洒落を真似たことを想

い出しました。

sakisakiさん

#05 プルタルコス 2006/11/6 21:36 [ No.14639 / 15916 ]

ついでにギリシア人をやっつけてしましましょう。

最後のギリシア人とも呼ばれるローマ時代のギリシアの歴史家ですが、本業は歴史家というよりは哲学者で、大変な物知りであったようです。

この人の『対比列伝 (Parallel Lives)』は『プルターク英雄伝』とも呼ばれますが、ギリシアの英雄とローマの英雄とを比較評価していて、なかなか面白いものです、と言いつつ、実はペリクレスとファビウス・マークシムスのところしか読

んだことないけど。

永\_井\_荷\_風さん

#06 陳寿 2006/11/ 6 22:27 [ No.14640 / 15916 ]

233-297

はじめ蜀の皇帝劉禪に仕えた。蜀の滅亡後しばらく浪人していたが、知己の薦めで西晋に仕え、役人を務める傍ら歴史書「三国志」を著した。

陳寿の「三国志」は魏・呉・蜀の三国それぞれを客観的に描いていることで高く評価されている。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#07 唐の太宗 2006/11/ 6 22:44 [ No.14641 / 15916 ]

唐を建国した李淵の次子である李世民の廟号です。唐王朝の最盛期

である貞観の治を現出させた唐代で最も優れた皇帝と評されます。

歴史への関心も深く『晋書』をはじめ多くの正史を部下に編纂させ、

自らも『晋書』王羲之伝の筆を執るほどでした。

これは太宗が書聖王羲之の書の収集に熱心であったことによるもの

と思われる。

sakisaki さん

#08 北畠親房 2006/11/ 7 13:22 [ No.14642 / 15916 ]

個人的な主張だけに見える「神皇正統記」を歴史書に加えてよいのか、

ちょっと不安ですが、いちおう歴史とは厳密に客観的な科学にはなりえないようで、

科学を目指した後世の歴史家も史観から自由にはなれなかったようですから、

この人もぎりぎり歴史家に含まれるということ。

なんとなく頑固爺さんのイメージがありますが、常陸小田城

<http://map.yahoo.co.jp/pl?lat=36%2F8%2F48.047&lon=14>

[0%2F6%2F49.514&layer](http://map.yahoo.co.jp/pl?lat=36%2F8%2F48.047&lon=14)

[=1&ac=08220&mode=map&size=s&pointer=off&sc=3](http://map.yahoo.co.jp/pl?lat=36%2F13%2F19.058&lon=139%2F58%2F2.33&layer)

で神皇正統記をいちおう完成させたときは四十代、その後関城、

[http://map.yahoo.co.jp/pl?lat=36%2F12%2F6.346&lon=13](http://map.yahoo.co.jp/pl?lat=36%2F12%2F6.346&lon=139%2F58%2F33.637&layer)

[9%2F58%2F33.637&laye](http://map.yahoo.co.jp/pl?lat=36%2F12%2F6.346&lon=139%2F58%2F33.637&layer)

[r=1&sc=3&mode=map&size=s&pointer=off&p=&CE.x=26](http://map.yahoo.co.jp/pl?lat=36%2F12%2F6.346&lon=139%2F58%2F33.637&layer)

[4&CE.y=283](http://map.yahoo.co.jp/pl?lat=36%2F12%2F6.346&lon=139%2F58%2F33.637&layer)

で加筆し続けます。

永\_井\_荷\_風さん

#09 新井白石 2006/11/ 7 22:03 [ No.14643 / 15916 ]

「読史余論」において政治史に編纂をおこないました。

『神皇正統記』の影響を受けたのか、不徳ではあるが神器をもつ後醍醐天皇と南朝を正統とする一方、人物としての足利尊氏の徳を弁護するなど、評価に揺れが見られます。

ryoanpaku\_2006 さん

#番外 孔子 2006/11/ 8 0:02 [ No.14644 / 15916 ]

儒家の始祖である孔子が魯国の年代記『春秋』を筆削し、天下の乱臣賊子を戒めたとする考え方は、孟子が説き始めたものですが、司馬遷もこの説に賛同しています。

孔子が『春秋』に手を入れたというのは漢代以降の知識人にとっては常識でしたが、北宋の頃からこれに反対する意見が現れ始め、近代では孔子と『春秋』には何の関係もないとする主張がなされ、現代に至っても定説を見るに至っていないというのが現状のようです。現時点では、孔子を史家扱いするには「番外」で、ということになりそうです。

sakisaki さん

#10 ギボン 2006/11/ 8 20:19 [ No.14645 / 15916 ]

エドワード・ギボンは、十八世紀のイギリスの歴史家で、

大部の『ローマ帝国衰亡史』は、第一巻の出版から人気を集め、

さまざまな反論に対しては、事実関係以外は無視し、事実関係に

対しては徹底的に反論するという態度をとったと言われます。

感情を抑えた格調の高い文体で知られ、今なお古典的名著として

教養人の必読書のようになっているそうです。

ぼくも大昔『自伝』を買ったまま、どこかにうずもれたままです。

関係ないけど、ネットでみかける「キボン」というのは、「希望」の意味のようですね。

永\_井\_荷\_風さん

#11 徳川光圀 2006/11/ 8 20:54 [ No.14646 / 15916 ]

折り返しですので意外な人物を。

大日本史を編纂しております、大日本史は江戸時代に水戸藩主徳川光圀によって執筆が開始され、光圀死後には水戸藩及び水戸徳川家の事業として執筆・校訂が継続されて明治時代に完成されました。

南朝を正統とし、尊皇史観にもとづいており、幕末の尊皇思想にもつながっております。

ryoanpaku\_2006 さん

#12 聖徳太子 2006/11/ 8 22:12 [ No.14647 / 15916 ]

蘇我馬子とともに「国記」「天皇記」の編纂を命じたそうです。

もっともこの書名は眉唾ものです。この時代に「天皇」なんて言葉自体がなかったはずですから。まあ、なんらかの史書は出来たのでしょうか。

関目企画さん

#13 徳富蘇峰 2006/11/ 8 22:51 [ No.14648 / 15916 ]

1913-1957

本名は猪一郎。実弟に小説家の徳富蘆花がいる。明治20年

総合雑誌

『国民之友』を創刊し、23年には「国民新聞」を創刊、言論界の雄

としての地位を築く。

大正7年『近世日本国民史』を起稿、織豊時代から西南戦争までの

歴史を綴った、個人編著の史書としては世界屈指の規模の書とされます。

蘇峰は皇室中心の国家主義者であり戦争政策の鼓吹に奔った言論人として

太平洋戦争後A級戦犯の容疑を受け、公職追放後も『近世日本国民史』の

執筆を続け、昭和27年全100巻を完成させました。

丸谷才一は、日露戦争終結の際、蘇峰が国際状況をよく見抜き、「弱腰」

と非難された政府の講和を擁護した識見を持ちながら、どうして太平洋

戦争の際にはアメリカの国力を見抜けない単なる侵略主義を鼓吹する漢に

成り果てたのかと疑問を呈しています。

sakisaki さん

# 14 慈円 2006/11/ 8 23:59 [ No.14649 / 15916 ]

1155-1225

関白藤原忠通の末子で、青蓮院の天台座主。

歌人としても有名だが、晩年に歴史書「愚管抄」を完成。

「愚管抄」は神武天皇から鎌倉初期までについて述べており、道理の追究をテーマとしている。自身の生家である摂関家についても容赦なく批判を浴びせているところが面白い。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

# 15 司馬光 2006/11/10 22:58 [ No.14650 / 15916 ]

北宋の政治家にして歴史家。王安石の政治改革に反対し朝廷から

退けられ洛陽に於いて隠遁生活に入る。このとき編纂されたのが

『資治通鑑』でこれは編年体による通史であり、中国戦国時代から

北宋成立前年までの約1300年にわたる一大史書となった。

政治家としては革新的な王安石の新材に断固として反対した為

近代においては大地主・大商人の既得権の擁護に動いた反動的な

守旧派というレッテルを貼られてしまいました。

sakisaki さん

# 16 アルフォンソ 10 世 2006/11/10 23:37 [ No.14651 / 15916 ]

1221-1284

カスティリヤ・レオン王(在位 1252-1284)。通称は「賢王」。レコンキスタ(国土回復運動)の失敗など軍事面では失政が多かったが、学者としては超一流で、歴史学、法学、自然科学など多彩な分野に精通し、それらに関する書物の編纂を数多く手がけた。

歴史書では、イベリア半島固有の歴史をまとめた「イベリア史」や聖書の物語を参考にした「世界史」が知られている。アルフォンソ 10 世の偉業が、16 世紀のスペインの繁栄に大きく寄与しているのは言うまでもない。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

# 17 舎人親王 2006/11/11 21:24 [ No.14652 / 15916 ]

日本における伝存最古の正史で、六国史の第一にあたる「日本書紀」の撰者の一人で総括にあたります。

720 年(養老 4 年)に完成し、神代から持統天皇の時代までを扱います。

舎人親王は天武天皇の皇子にあたりますので、...

ryoanpaku\_2006 さん

# 番外 斉の太史 2006/11/12 1:47 [ No.14653 / 15916 ]

中国春秋時代、斉の荘公に仕えていた崔杼は荘公が自分の妻と

密通していたことに激怒し、自邸で妻に会いに来た荘公を殺害し、

荘公の弟を君主として擁立した。

斉の太史(史官)は「崔杼、その君を弑す(臣下が君主を殺す

意)」と記録したので怒った崔杼は太史を殺害したが、その弟も

同様に記録したため崔杼はこれも殺した。職を引き継いだ太史の

末弟はやはり筆を曲げなかったため崔杼も遂にその殺害を諦めたという。

これは権力者に阿らずに事実を事実として記録する歴史家の態度

としてよく引き合いに出されるエピソードですが、太史の名が伝わ

っていないので番外とします。これと似た話は晋の趙盾にも見られ

ます。

sakisaki さん

# 18 太安万侶 2006/11/12 20:58 [ No.14654 / 15916 ]

「日本書紀」とくれば「古事記」も。

元明天皇の命により太安万侶(おおの・あずまろ)が編纂しました。

ryoanpaku\_2006 さん

# 19 金富軾 2006/11/12 21:24 [ No.14655 / 15916 ]

高麗の儒者。高麗 17 代の君主、仁宗の命により『三国史記』

を編纂しました。成立は 1145 年。三国とは新羅、百濟、高句麗を

指します。

『日本書紀』には「百濟本紀」等の書名が見られますが現存しておらず、

朝鮮半島に残されている歴史書としては最古のものです。

sakisaki さん

#20 本居宣長 2006/11/13 1:04 [ No.14656 / 15916 ]  
18C江戸時代の国学者、古事記を研究し編集しました。また、医師でもありました。  
敷島の 大和ごころを人問わば 旭日匂う 山桜花  
aokiumitosora7654 さん

**お題【 外国語が達者な人 】** 2006/11/13 18:28 [ No.14657 / 15916 ]

二十件に到達したようなので、僭越ながら、また出題させていただきます。

範囲は日本人の故人限定。

日本史的に有名な日本人の中で、外国語が達者だった、あるいは達者であったに違いないとということがわかっている人々を二十人挙げてください。

「達者」の程度は、その時代なり、もしくは立場なりのレベルで達者であればOKで、会話が達者な人でも、読み書きが達者な人でもOKです。

番外 宮沢喜一

まだ元気なので番外で。

学生時代にアメリカに留学したこともあり、留学仲間であった夫人との間では、人に聴かれたくない話は英語で伝えるとも言われますが、どちらかという「タイム」なんかで使われるような硬くてペダンティックな言い回しを多用する英語使いだと聞きます。

村山内閣時代に、村山首相がイタリアで開催されたサミットに出席する際には、マスコミが「細川元首相と違って英語が出来ない」ことを盛んに論っていたのに対して、首相の先輩でもある宮沢さんが「通訳がいるのだから気にせず日本語で話せばいい」とアドバイスしたお蔭でイジメが止んだという「故事」があります。

永\_井\_荷\_風さん

#01 小村寿太郎 2006/11/13 21:05 [ No.14658 / 15916 ]  
ポーツマツ条約の日本側全権太子としても有名ですね。日向飢肥藩の下級武士として生まれ、苦学してハーバード大学にも国費留学しております、語学は大変堪能だったようで、外国大使なども歴任しております。身長が150センチにも満たなかったといわれ、ポーツマツ条約の露西亜川全権大使ヴィッテが2メートル近い大男であったのでそのアンバランスが妙だったとも言われています。

ryoanpaku\_2006 さん

#01 小村寿太郎 2006/11/13 22:02 [ No.14659 / 15916 ]  
あまりに誤字が多いので訂正です。  
ポーツマス条約の日本側全権大使としても有名ですね。日向飢肥藩の下級武士として生まれ、苦学してハーバード大学にも国費留学しております、語学は大変堪能だったようで、外国大使なども歴任しております。身長が150センチにも満たなかったといわれ、ポーツマス条約のロシア側全権大使ヴィッテが2メートル近い大男であったのでそのアンバランスが妙だったとも言われています。

ryoanpaku\_2006 さん

#02 南方熊楠 2006/11/13 23:41 [ No.14660 / 15916 ]  
1867-1941

和歌山出身の博物学者、民俗学者です。幼い頃から神童と呼ばれ

並外れた記憶力の持ち主でした。一度目を通した書物の内容は忘れる

ことなく、この章句の出典は何という本の何ページの何行目にあると

いうことまで諳んじていたとか。

若くして渡米し、その後はキューバ、メキシコを巡りロンドンの

大英博物館に勤務し、『ネーチャー』誌に論文を投稿しています。

(勿論英文で)

その膨大な知識は天文学、細菌学、粘菌学、言語学、哲学、歴史学

宗教学といった領域に広がる曼荼羅的な様相を呈するもので、19ヶ

国語を操ったとも称される「知の巨人」でした。

sakisaki さん

#03 牧野伸顕 2006/11/14 12:37 [ No.14661 / 15916 ]

明治四年の岩倉使節団の副使のひとりだった実父大久保利通にしたがって十一歳で渡米し、そのままアメリカに暮らし、フィラデルフィアで中学を出て、アメリカ流の自由主義を十分に呼吸して成長したと言われますから、英語は達者なはず

です。岩倉の引きで外交官になり、主要国の大使のほか、パリ講和会議の次席全権なども務めています。

リベラル派の元老Sに請われて宮内大臣や内大臣を務め、宮中の親米英的自由主義を守り通し、昭和天皇の新任も篤かったものの、それゆえ二・二六で襲われますが、近親者の機転で危うく難を逃れています。

永\_井\_荷\_風さん

#03 丹波哲郎 2006/11/14 12:39 [ No.14662 / 15916 ]

つい先日、大霊界に旅立たれたばかりですが・・・

俳優になる前、学生時代にはGHQの通訳をされていたそうです。

ちょっと、意外な経歴かもしれません。

クイズ パンチ de デートさん

#04 吉川幸次郎 2006/11/14 22:29 [ No.14663 / 15916 ]  
1904-1980

中国文学者、京都大学教授。京都大学を卒業後中国に留学し清朝考証学を修めました。

中国の文章(漢文)を読み解く方法として、日本人は所謂「訓読」

という便利な手段を用いてきましたが、この方法は日本語の延長線上に漢文を置き、中国語を「外国語」として意識させることを忘れさせるものでした。吉川幸次郎は漢文を中国人と同じように中国語の発音で読み解くという手段を徹底的に実践し、中国文学を外国文学として意識し、西欧文学との比較を通じて世界文学の広い視野の中に中国文学を位置づけました。中国語に関しては大変流暢で、中国人よりも美しい発音で話されたそうです。

sakisaki さん

#06 空海 2006/11/14 22:51 [ No.14664 / 15916 ]

番号訂正の序にもう1人  
和人にして中国語の達人といえはの方が大先達です。804年最澄と共に遣唐使船に乗り、長安青龍寺の恵果和尚より灌頂を受けました。空海の中国語と梵語についての知識は当時の日本人の水準をはるかに超えており、2年という短期間で土木、薬学、彫刻等の仏教以外の膨大な知識をも携え帰国しています。

sakisaki さん

#07 ジョン万次郎 2006/11/15 19:59 [ No.14665 / 15916 ]

ベタですけど、まず思い浮かんだのがこの人。海で遭難してアメリカ人に助けられ、アメリカに長年いたので当然ですけど。日本に帰ってから日本語で本を著したことがすごいなあ、とは中学の時の英語の先生の弁。

pip\*37\*さん

#08 ジョセフ彦 2006/11/15 21:45 [ No.14666 / 15916 ]

ジョン万次郎とくれば彦も。ジョセフ彦は、浜田彦太郎（または彦蔵）といました。13歳で海で遭難、アメリカの商船に救われた彦は、アメリカの地で勉学に励み、1858年日本からの帰化第1号としてアメリカの市民権を得ました。ということで厳密には日本人でないのかも？。キリスト教の洗礼を受け、このとき「ジョセフ」のクリスチャンネームを用いて、ジョセフ彦と名乗るようになったそうです。安政6（1859）年に帰国した彦は、アメリカ領事館の通訳として、日米修好条約の締結や幕府の遣米使節の派遣などに奔走しました。3度目の渡米をした時には、リンカーン大統領と会見する榮譽に恵まれ、民主主義の理念を伝授されたとも伝えられています。また、横浜で日本で最初の新聞を発行したことで有名ですね。

ryoanpaku\_2006 さん

#09 高橋是清 2006/11/16 17:10 [ No.14667 / 15916 ]

幕府の絵師の庶子として生まれ、仙台藩の足軽の家に養子に出され、藩の命令で十一か所を渡米しますが、斡旋したオランダ人に騙されて三年間の奴隷契約書にサインさせられ、しばらくは、奴隷というか、下働きの牧童のような生活をさせられますが、その間にもものすごい勢いで英語に熟達したそうで、雇い主に対して堂々と抗弁して、一年余りで帰国を果たし、その後は十六で帝大の英語教師を務めたり、十代で開成高校の前身の共立学校の校長になったりしていますが、官職を辞して芸者の付き人を

やっていた時期もあるそうです。

後にダルマ宰相と呼ばれる独特の風貌と達者な英語で、外国人にも好かれた人物だそうで、日露戦争の戦費調達のために欧州に赴き、シフというアメリカのユダヤ商人に戦時公債を引き受けてもらったりしています。

永\_井\_荷\_風さん

#10 明石元二郎 2006/11/16 20:42 [ No.14668 / 15916 ]

あかしもとじろう 1864（元治元年）－1919（大正8年）  
福岡市出身の、陸軍大将勲一等功三級・男爵まで登りつめた陸軍軍人で、ロシア語に堪能していました。日露戦争直前の1902年にロシア公使館付け陸軍武官となり、両国が戦争へと突き進む中、陸軍参謀本部から100万円の工作費を受けて、あのウラジミール・イリイチ・ウリヤノフ、通称レーニンほか、ロシアの反体制勢力と交流を結び、内務大臣プレーヴェの暗殺、血の日曜日事件、戦艦ポチョムキン号の叛乱などに関与したといわれています。これらの工作の成功により、開戦後兵力的には優勢であったロシア側の継戦意欲を削ぐことができ、彼の能力は10個師団に匹敵するとも言われました。一般的にいま一つ知名度の低い人物ですが、今年TV放映中の特撮の戦隊シリーズ「轟轟戦隊ボウケンジャー」の主人公、明石暁の苗字は明石元二郎にちなんだものです。

六文銭さん

#11 山口尚芳 2006/11/16 21:03 [ No.14669 / 15916 ]

またしてもこの人物を。  
明治初期、岩倉使節団の一員としてアメリカ合衆国、ヨーロッパ諸国に派遣された使節団の副使の1人ですが、岩倉使節団の写真の説明でよく飛ばされることで有名です。岩倉使節団の写真、私の中学校時代の歴史の教科書にも載っていたのですが、写真の説明には。  
\*写真左より、木戸孝允、ひとりおいて、岩倉具視、伊藤博文、大久保利通



と記載されていました。

佐賀藩の出身で、幼少の時、長崎致遠館に遊学し蘭語を修め、さらにフルベッキに英語を授けられ英語は堪能だったようです。

ryozanpaku\_2006 さん

# 1 1 杉原千畝 2006/11/16 21:07 [ No.14670 / 15916 ]  
すぎはら ちうね 1900 (明治33年) - 1986 (昭和61年)

岐阜県八百津町出身の、昭和戦前記に活躍した外交官で、リトアニアの首都・カウナスの総領事であった1940年夏、ナチスドイツのユダヤ人迫害が続く中、ポーランドなどからリトアニアに避難して来たユダヤ人に、リトアニアがソ連に併合され大使館の閉鎖も迫る状況下に、6千人余りの多人数に閉鎖ぎりぎりまで日本の領土通過のビザを発行し続けました。日本にたどり着いたユダヤ人は、アメリカや、日米開戦後は中国上海の租界に逃れることができずナチスから命を救われ、第二次大戦後はユダヤ人の恩人としてイスラエル政府から勲章を授与され、また日本人として初めてヤド・バシム賞を受賞し、「諸国民の中の正義の人」に列せられ、エルサレムの丘にその顕彰碑が建っています。彼は外務省の官費留学生としてハルビンに派遣された際にロシア語を完璧に修得して、外務省切っ符のロシア語の使い手となり、その語学力を活かしソ連の情報収集に貢献するため、フィンランドのヘルシンキやカウナスの領事に派遣されました。

六文銭さん

# 12 津田梅子 2006/11/16 23:09 [ No.14671 / 15916 ]

1864-1929

牧野伸顕らとともに岩倉使節団に同行して米国へ留学。このときまだ8歳であった。英語を完全にマスターし、米国の小学校・女学校を卒業。日本に帰国した頃は日本語を忘れてしまったといわれる。

後に女子英語塾（津田塾大学の前身）を創設。近代女子教育のパイオニアの一人として讃えられた。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

↓ # 13 2006/11/16 23:11 [ No.14672 / 15916 ]

失礼しました

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

# 14 山田長政 2006/11/17 17:55 [ No.14673 / 15916 ]  
シャム王朝の将軍をやった位なので、シャム語には堪能だった筈。

オランダ語や中国語も出来たと思われます。

桜ももぞうさん

# 番外 井出光浩 2006/11/17 23:55 [ No.14674 / 15916 ]  
空想特撮シリーズ『ウルトラマン』に登場する科学特捜隊の隊員。

兵器開発に優れた能力を発揮した他、「宇宙語」の権威でもあった

ようで、「侵略者を撃て」のエピソードでは科学センターを占拠し

たバルタン星人と宇宙語で交渉するという大役を受けますが、バル

タン星人からは「君の宇宙語は分かりにくい」と酷評されてしまい

ました。

その後全宇宙語翻訳機を開発、バルタン星人の言語を日本語として

見事に解説しています。

sakisaki さん

# 15 森鷗外 2006/11/18 15:16 [ No.14675 / 15916 ]

ドイツ語の達者な鷗外は機関銃のようなドイツ語でドイツ人を言い負かすことも多かったと言われ、国際会議に通訳で出席したりもしています。

小説にはフランス語も英語もラテン語も出てくるので、ひととおり出来たようです。

永\_井\_荷\_風さん

# 16 夏目漱石 2006/11/18 18:12 [ No.14676 / 15916 ]

当然といえば当然ですが、当時の日本人の中では最高レベルの英文学者で、本場の人よりも立派な英語を書いたといわれます。

一高の教授として英語を教えていましたが、当時はラフカディオ・ハーンという人気教授がいて、学生たちはハーンのロマン的な英文学の世界に心酔していたと言われ、これに対して漱石教授は、学生の英語力のなさに憤慨していて、ラテン語起源の単語を、漢字の偏と旁のように分解して教えるなどの教えかたをしたそうで、学生にとっては幼稚な作品に見えていた「サイラス・マーナー」なんかを教材に使ったので評判が悪かったそうです。

学生の一人の藤村操が、漱石にひどく叱られた数日後に日光華厳の滝で身を投げたりしたこともありました。

永\_井\_荷\_風さん

# 17 鈴木大拙 2006/11/18 23:38 [ No.14677 / 15916 ]

仏教学者。石川県金沢出身。故郷で英語教師をしていたが、その後

上京し東大で哲学を学び、鎌倉円覚寺にて参禅、円覚寺管長であった

釈宗演の選任を受け渡米、東洋学、禅についての書物を英文で出版し

禅および仏教文化を欧米に伝えることに尽力しました。晩年は欧米を

講演して回る事が多く、国際会議でも達者な英語で活躍しています。

sakisaki さん

# 18 河口慧海 2006/11/19 16:04 [ No.14678 / 15916 ]

チベット仏教研究の白眉。

当然中国語、チベット語には堪能だった筈。

桜ももぞうさん

# 19 道昭 2006/11/19 16:15 [ No.14679 / 15916 ]

大化の改新期の僧。

孝徳朝の時代渡唐して、玄奘三蔵の直弟子となる。

つまり孫悟空とは兄弟弟子。

帰国後法相宗を伝え、法興寺を開く。

玄奘と会話する上で中国語が、教典理解の上でサンスクリット語が必要だった筈である。

ちなみに行基は彼の弟子にあたるらしい。

桜ももぞうさん

#20 榎本武揚 2006/11/19 17:03 [ No.14680 / 15916 ]

幕末の5年間、オランダに留学。当時の国際法に通じた人物。  
kta\*eu\*hi21 さん

#56 山本五十六 2006/11/19 21:17 [ No.14681 / 15916 ]

「やってみせて 言ってみせて やらせて見て ほめてやらねば 人は動かず」

の言葉で有名な日米開戦時の連合艦隊司令長官の山本五十六です。

駐米武官となり、ハーバード大学に留学し米国での滞在も長く英語は堪能だったようです。

ゆえ、日米の国力の差というものを肌身にしみて実感しており、日独伊三国同盟が締結され米国との戦争が不可避となることを悟った山本は「それは是非やれと言われれば、初め半年や一年は随分暴れて御覧に入れます。しかしながら、二年、三年となれば全く確信は持てません。三国同盟が出来たのは致し方がないが、かくなつた上は日米戦争を回避するよう極力御努力願ひたい」と述べたといわれます。

山本に関しては名将、凡将、愚将と意見は様々、連合艦隊司令長官という役職も山本以前は退任間近の役人の名誉職でした。

#56 は洒落ですので。

ryoanpaku\_2006 さん

#21 福沢諭吉 2006/11/19 21:19 [ No.14682 / 15916 ]

漢学も儒者も嫌いで、蘭学に関してはかなりアグレッシブであったようですが、

幕末になって、これからは蘭学の時代じゃないということにいち早く気づき、

そこから英学を始めたので、オランダ語の定冠詞「h e t (へト)」のイメージから、

英語の定冠詞「t h e」を初めの頃は「トへ」と読んでいたそうです。

それでも、実際に欧州へ行って見ると、ドイツ語は大体分かるようになった

そうですし、英語もそう大変でもなかったと言っています。実は、低地ドイツ語族のオランダ語は、発音の傾向がドイツ語よりは英語に近く、中期英語などは文法的にもオランダ語に近く、詩文では意識的にラテン語起源の

言葉を除く傾向があるそうなので、実はチョーサーなんかを読ませたら

オランダ人の方がうまかったりもするそうです。

永\_井 荷\_風さん

「外国語が達者な人」御礼 2006/11/19 21:22 [ No.14683 / 15916 ]

初めは「英語が達者な人」で出題するつもりでしたが、範囲を広げたお蔭で勉強になりました。

中国語：

吉川幸次郎

空海 (+梵語)

河口慧海 (+チベット語)

道昭 (+梵語)

オランダ語：

榎本武揚

福沢諭吉

英語：

小村寿太郎

南方熊楠 (+19ヶ国語)

牧野伸顕

丹波哲郎

ジョン万次郎

ジョセフ彦

高橋是清

山口尚芳

津田梅子

夏目漱石

鈴木大拙

ドイツ語：

森鷗外 (+α)

ロシア語：

明石元二郎

杉原千畝

シャム語：

山田長政

宇宙語：

井出光浩

その他思いついたところとしては、

オランダ語：杉田玄白、前野良沢、西周

英語：内村鑑三、新渡戸稲造、野口英世、吉田茂、吉田健一、白洲次郎、山川捨松、森有礼

フランス語：西園寺公望、中江兆民

などがいまいしょうか。

以上お疲れ様でした。

どなたか次のお題を。

永\_井 荷\_風さん

番外 杉田玄白 2006/11/19 21:23 [ No.14684 / 15916 ]

前野良沢や中川淳庵、桂川甫周らとともに小塚原刑場で死体の腑分け(解剖)を実見し、『ターヘル・アナトミア』を和訳し、『解体新書』として刊行しました。

しかし玄白自身はオランダ語に関してはチンプンカンプンだったようで翻訳作業事態には携わっていないようです。

ryoanpaku\_2006 さん

**お題【保元の乱／平治の乱・登場人物】** 2006/11/21 1:32  
[ No.14685 / 15916 ]

ちょっとニッチな時代を。

平家物語の陰に隠れ、さくっと流されてしまうことの多い事件ですが、登場人物は個性派ぞろいです。

20人、関係者を挙げてください。

エピソードを添えてもらえると楽しいです。

**#00 宇野親治**

大和源氏。一触即発の危機にあった京都へ軍勢を押し立てて上洛。

このいささか豪快すぎる勇み足が保元の乱の直接の火ぶたを切ることになります。

保元物語によると、勇ましく入京したものの、布団蒸し状態にされてあっさり捕らえられています。

桜ももぞうさん

**番外 白河院** 2006/11/21 14:58 [ No.14686 / 15916 ]

直接は登場しなかったと思いますが、藤原氏に対抗して院政を始めた

この強い天皇の振る舞いが、皮肉にも

天皇家と藤原家の衰退を招く争乱の

遠因となったと言えます。

永\_井 荷\_風さん

**#01 源為朝** 2006/11/21 14:59 [ No.14687 / 15916 ]

保元物語中最大のヒーロー。

艶福家の父の八男として生まれ、九州で大暴れして「鎮西八郎」と呼ばれます。

強弓の引き手として知られ、伊予大三島の大山祇神社には為朝の強弓が残されています。

保元の乱での活躍も見事ですが、その後二度と弓を引けないようにと腕の筋を切られて

伊豆の大島に流されるもののそこでも、じっとしてはいられず、近くの鬼の島に出かけて、

鬼の子たちを連れて帰ったりして問題になったため、討つ手が送られます。

永\_井 荷\_風さん

**#02 長田忠致** 2006/11/21 22:06 [ No.14688 / 15916 ]

それなりに魅力的な人物の多い保元・平治の乱の時代の中でもおそらく最も悪評高い人物。

平治の乱で敗走した源義朝主従を一度は匿うと見せかけて、よりもよって丸裸の風呂場で闇討ちした、という誰にも褒められない実績を有する。

後年、頼朝の挙兵後、まさか許されると思っていたのか臣従するも、平家滅亡後、斬首された。

関目企画さん

御礼【史家20選】 2006/11/21 22:10 [ No.14689 / 15916 ]

遅まきながら、レスありがとうございました。

やはりというか日本人と中国人とギリシア人が大勢を占めました。

そういえばアメリカ人やロシア人の歴史家なんてあまり聞かないですね。

また、宜しくお願いします。

関目企画さん

**#03 源義康** 2006/11/21 22:33 [ No.14690 / 15916 ]

保元の乱では、天皇側として参陣、最北方の近衛方面の守備を担当、乱の後、論功行賞として昇殿を許され、従五位下大夫尉に任官しました。

この程度しかわかりませんが、この源義康は後の足利氏の祖となっております。

ryoanpaku\_2006さん

**#04 源頼朝** 2006/11/21 23:12 [ No.14691 / 15916 ]

父・義朝に従い13歳で平治の乱に出陣。父や兄と別れた後平家方に捕えられ処刑される場所であったが、清盛の継母・池禅尼と禅尼の実子・平頼盛（清盛の異母弟）の嘆願によって一命を助けられ、伊豆に流された。

後に頼盛が平家一門から離脱すると、頼朝は頼盛を命の恩人として鎌倉に迎え入れ、手厚くもてなした。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

**#05 源義広** 2006/11/22 13:00 [ No.14692 / 15916 ]

保元の乱では、父親の源○○の指揮下に入っていますが、戦闘には参加してないようです。平治の乱での動静も不明。

もっぱら、領国経営に専念していた様子。ちなみに、鎌倉幕府創設時は甥っ子・頼朝に反抗し、敗れてしまいます。

クイズ パンチ de デートさん

**#06 源朝長** 2006/11/22 18:08 [ No.14693 / 15916 ]

平治の乱の中心人物Y氏の次男で、戦いに敗れて父や兄弟と共に、宿の長者大炊の娘延寿が父の愛妾で夜叉御前という娘もいる関係で、美濃青墓に落ち延びますが、途中で襲われて

手負いとなり、再起のために信濃に向うように命じられますが、傷が深くて青墓に戻り、願って父の手によって首を取られ、この地に葬られます。

永\_井 荷\_風さん

**#07 平重盛** 2006/11/22 23:01 [ No.14694 / 15916 ]

父・清盛に従い保元および平治の乱に出陣。平治の乱では「悪源太」こと源義平と待賢門で激戦を繰り広げた。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

**#08 藤原信西** 2006/11/22 23:14 [ No.14695 / 15916 ]

俗名藤原通憲といいますが、法名の信西のほうが通りがいいですね。

保元の乱前後の活躍は目覚ましく、天皇方の謀主となって勝利をおさめ、死刑を復活し、摂関家の分裂に乗じてこれを抑圧し、天皇親政をうたって新制（保元新制）を發布し、記録所を設け、平安内裏を復興しました。

しかし、「保元の乱」で天皇に味方し上皇側に勝利した源○○だったが、平○○と比べて冷遇されていた。そして権勢を誇る藤原信西を恨んだ。そんな中、1159（平治元年）平○○が熊野詣でに出かけた隙をつき、攻め込んだ源○○に信西は討ち取られました。

信西は、領地のある宇治田原に逃亡し自害しようとしたが捕

らえられ、首をはねられたともいわれます。

ryoanpaku\_2006 さん

**# 09 大炊御門経宗 2006/11/23 14:40 [ No.14696 / 15916 ]**

初め藤原N氏に与した新大納言経宗は、主上が内裏に幽閉されるに及ぶと

Nを見限って清盛方に寝返り、御歳十七の主上を六波羅に拉致し去ります。

このことが、戦乱の帰趨を決定したとも言え、朝敵の汚名を恐れた人々は

次々にN側から離れ、N方は総崩れのようにになりました。

経宗は、後に専横が過ぎてG院にひどく嫌われて阿波に流されますが、

後に戻されて左大臣まで昇りつめ、「阿波の大臣」と呼ばれます。

平家にも接近し、重盛の子を養子にしていますが、平家が都落ちすると

養子も放逐するなどの冷徹さで、経宗一代の立ち回りもあって、

権大納言クラスの家柄のはずの大炊御門家は清華家の地位をゲットし、

後に太政大臣も出しています。

永\_井 荷\_風さん

**番外 牛若 2006/11/23 21:04 [ No.14697 / 15916 ]**

おそらく、保元・平治の最年少登場人物かと思われますが、本人に自覚はまずないと思われるので番外にしておきます。

後の日本史上最大のヒーローもまだバリバリの乳飲み子。母・常盤御前の腕に抱かれて吹雪の只中を彷徨うだけでした。

関目企画さん

**# 番外 覚性法親王 2006/11/23 23:27 [ No.14698 / 15916 ]**

武門でもなく政治家でもなく目立った活躍はないので番外です。

仁和寺五世門跡。鳥羽天皇の皇子で崇徳上皇の実弟に当たります。

七歳で仁和寺に入りました。法力に優れ孔雀明王法をよくした

といえます。保元の乱に敗れた崇徳上皇は知足院で出家し、その

後親王を頼って仁和寺に入ります。

後の話になりますが、讃岐に配流された崇徳院が後世のために書写した

大乘経五部を先帝鳥羽天皇の墓前に置きたいという希望を後白河側に伝

えたのもこの方でした。この大乘経五部に対する後白河の扱

いが崇徳院

を大魔王にする契機となったと諸書は伝えています。

sakisaki さん

**# 10 源義朝 2006/11/24 13:44 [ No.14699 / 15916 ]**

信西を討ち取っちゃった人。保元の乱で勝利はしましたが、義朝の助命嘆願にもかかわらず、父・兄が処刑されてしまったことも不満の種だったようです。

平治の乱では敗れて、敗走先で〇〇父子にだまし討ちにされてしまいます。なお、この父の仇は頼朝が成敗して果たしています。

義朝は、東国に地盤を持っており、三浦、大庭といった一族を傘下におさめていたそうですから、頼朝が鎌倉に幕府を開いたのも不思議ではないことかもしれません。

クイズ パンチ de デートさん

**# 11 源頼政 2006/11/24 17:15 [ No.14700 / 15916 ]**

源氏の中では数少ない勝ち組。

近衛天皇を夜な夜な悩ませた鶴を退治して名を挙げたといわれます。

保元の乱では後白河方、平治の乱では初めN方から、清盛方へ。

後に従三位まで昇進し、源三位入道と呼ばれます。

その源三位頼政も清盛の専横を見かねて、諸勢力に平家追討の

檄文を送ります。

昨年の大河では丹波哲郎さんが、老体に鞭打って平家に挑む頼政を、

老体に鞭打って演じていらっしゃいました。

永\_井 荷\_風さん

**# 12 平清盛 2006/11/24 21:28 [ No.14701 / 15916 ]**

こちらで主役行きましょう。なんか源氏ばかり名前挙がってるし。負け組なのに。

保元の乱の時は正四位下安芸守。平治の乱の時は太宰大貳。後の入道相国、先の太政大臣といった顯官イメージからするとまだまだ官位は低く、彼の躍進は高倉天皇の即位後になります。

保元の乱では為朝の弓勢に恐れをなして他の門に回ったり、平治の乱では義朝の襲撃を聞いて兜を前後さかさまに被ったりなど、あんまり勇猛なエピソードはありませんが、彼の

本領は大局的な戦略・政略。特に平治の乱での両院奪還は彼の面目躍如たるものがあります。

去年の大河では渡哲也氏の熱演が光りました。

関目企画さん

**# 13 藤原頼長 2006/11/24 22:04 [ No.14702 / 15916 ]**

1120-1156

藤原忠実の二男。左大臣になった後、兄・忠通と不和であった父によって氏長者の座を与えられる。学識に優れ「日本一の大学生」と称される一方で強引な性格から「悪左府」とあだ名され、鳥羽法皇や近衛天皇からひどく嫌われるようになった。

近衛天皇の崩御によって失脚した頼長は表舞台への復帰のために隠棲中の崇徳上皇を唆し、源為義や平忠正を味方に引き入れて保元の乱を起こした。流れ矢に当たって重傷を負った後父・忠実に面会を申し出たが断られる。傷が治らぬまま失意のうちに死去。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

**# 14 法性寺入道前関白太政大臣忠通 2006/11/24 22:18**

[ No.14703 / 15916 ]

保元の乱、藤原氏ディヴィジョンの勝者側。

父が弟を溺愛したため、氏の長者をはじめ

肩書きをあらかじめ弟に譲らされた恨みを晴らします。

いわゆる藤原五摂家というのは、この人の子孫になります。

永\_井\_荷\_風さん

Re: #01 斎藤一の変名 2006/11/25 1:25 [ No.14704 / 15916 ]

一戸伝八でなくて、一瀬伝八と改名しました。

参考「斎藤一のすべて」(古文書の写真が掲載されています)

伊藤哲也さん

# 15 源義平 2006/11/26 0:14 [ No.14705 / 15916 ]

1141-1160

源義朝の長男で、頼朝の異母兄にあたる。

「悪源太」の通称で知られ、平治の乱では関東から駆けつけて奮戦。しかし無責任男・藤原信頼によって義平の献策は拒まれてしまい結局敗れる。父や弟と別れて再起を図り清盛を討つべく京に潜入したが、平家方に発見され、捕えられて処刑された。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

# 16 平忠正 2006/11/26 21:57 [ No.14706 / 15916 ]

清盛の叔父に当り、頼長に仕えた縁で頼長方に与します。

叔父とは言え、清盛は嫌っていたとも言われ、乱後体よく手ずから処刑してしまい、義朝にプレッシャーをかけます。

永\_井\_荷\_風さん

# 17 平基盛 2006/11/27 21:46 [ No.14707 / 15916 ]

清盛の次男で重盛は同母兄になります。

保元の乱に際しては、父とともに後白河天皇方に参加。弱冠

17歳ながら宇治路の警護に当たり、東山法性寺の辺りで崇徳上皇方に参陣途上の宇野親治を捕らえるという大功を立てました。

続く平治の乱にも出陣。以降平家一門の栄達に伴い、大和、

淡路、越前などの諸国司を歴任、正四位下まで昇進するが、24歳にして早世。

『源平盛衰記』によると、宇治川を騎馬で渡河しようとした際、藤原頼長の怨霊に祟られ溺死したとされます。

ryoanpaku\_2006さん

# 18 二条天皇 2006/11/27 22:38 [ No.14708 / 15916 ]

平治の乱当時の今上帝。源義朝の陣営から、平経宗、惟方の手引きで脱出する際は女官に変装して虎口を逃れた。

このエピソードからはおとなしい人物かと思われるが、乱後は天皇親政を志して父・後白河院と厳しく対立した結構強気の人だったようである。

関目企画さん

# 19 渋谷金王丸 2006/11/28 22:05 [ No.14709 / 15916 ]

土佐坊昌俊といったほうが通りがいいかもしれません。

源義朝の小姓として仕え、平治の乱でも義朝に従っていたが、義朝が平清盛に敗れると、義朝に従って戦線離脱し、尾張まで赴く。そして尾張において義朝が謀殺されると、その仇を討とうとしたが果たせず、満身創痍になりながらも敵中を突破する。そして、京都に戻り常盤御前に義朝の死を知らせた後、義朝の菩提を弔うために出家し、興福寺西金堂の衆徒となり、土佐坊昌俊と号しました。

その後、大和国針の荘において乱暴を働いたことから、捕らえられるが、しかし、自らも平治の乱を戦い、父の義朝に従うかつての渋谷金王丸の記憶を持つ源頼朝が父に対する忠誠心などを評価したため、罪を許して家臣として迎えられます。また、頼朝の密命を受けて京都堀河にある源義経屋敷を襲撃し、義経暗殺を謀ったが失敗する。その後、鞍馬山に逃走したが義経の手勢によって捕縛され、六条河原にて斬首のうえ、晒し首とされました。

ryoanpaku\_2006さん

# 20 崇徳院 2006/11/29 11:00 [ No.14710 / 15916 ]

保元の乱の原因を作った張本人とも言えます。

本人は馬にもうまく乗れなかったそうですから、戦術もなに

も分かっていなかったのかもしれませんが、先手必勝で奇襲を主張する為朝と、格式を笠に威張るばかりで身分の低い為朝の意見を受け付けない長袖頼長との対立を目の当たりにします。

崇徳院は基本的には大変に知的な人物で、またリアリストの面も感じられますから、この二人を見て、貴族と武門の将来を感じ取ったことが、その後の「民をとって王となし」という呪詛の元になっているんじゃないかとも思われます。乱の敗北が決した後、与党の武士たちを集めて労をねぎらい暇を出します。

永\_井\_荷\_風さん

**お題【終わり・最後の人やモノ】** 2006/11/30 22:21 [ No.14711 / 15916 ]

明日から12月、1年の最後の月になります。そこで終わりや最後を勤めた人やモノを20ほど挙げてください。

四天王の中で4番目の人（人により評価は違うかもしれませんが）や、何かのイベントの最後を務めたもの人やモノなどが対象です。

番外 Z（ゼット）

アルファベットの最後の文字ですね。

ryoanpaku\_2006さん

# 01 愛新覺羅溥儀 2006/12/1 20:57 [ No.14712 / 15916 ]

中国における清朝の第12代皇帝 宣統帝（せんとうてい、1908年 - 1912年）であり、「ラストエンペラー（最後の皇帝）」として知られています。

3歳で即位しますが、清朝崩壊後に旧日本軍の支援を受け満州国の執政、満州国が帝政に移行すると皇帝として即位しますが傀儡の皇帝であることは明らかですね。

kos\*uya\*h\*nab\*shiさん

# 02 順徳院 2006/12/1 22:31 [ No.14713 / 15916 ]

小倉百人一首100人目の歌人です。

百人一首は藤原定家による天智天皇から定家の同時代人(鎌倉時代)までの秀歌を集めたアンソロジーですが、99人目が『新古今和歌集』を撰進させ、承久の乱の張本人である

後鳥羽院、トリが後鳥羽の子で歌人としての才に長け、承久の乱に加担し配流された順徳院というラインナップはなかなか

政治的に微妙なモノを感じさせます。

sakisaki さん

#03 有馬記念 2006/12/1 23:22 [No.14714 / 15916]

JRA・日本の中央競馬のGIレースの中で一番最後に行われるレース。別名グランプリ。世界的に見るともっとも馬券の売れるレースであり(一時期はたった1レースで800億円もの売上があった)、どんなに競馬に縁のない人でも有馬だけは買ったという経験のある人は少なくないはず。ちなみに今年はディーブインパクトの引退レースにもなり、空前の狂騒となりそうである。

関目企画さん

#04 ゴルバチョフ 2006/12/1 23:49 [No.14715 / 15916]

ソ連最後の指導者。

革命以来のソ連のリーダーは、革命以来、

レーニン：ツル

スターリン：フサ

フルシチョフ：ツル

ブレジネフ：フサ

アンドロポフ：ツル

チェルネンコ：フサ

ゴルバチョフ：ツル

と見事にツルフサ迭立の伝統を踏襲しており、

その後も

エリツィン：フサ

プーチン：ツル

と歴史はロシア共和国に受け継がれています。

永\_井\_荷\_風さん

#05 レクイエム (モーツァルト) 2006/12/2 0:21 [No.14716 / 15916]

今年生誕250周年であったモーツァルトの生涯最後の作品

(K626)。

1791年、匿名の依頼人からレクイエムの作曲依頼を受けた

モーツァルトはオペラ『魔笛』『皇帝ティトゥスの慈悲』を仕上げ

レクイエムに着手しますが、体調を崩し作曲途中の12月5日に

他界します。未完のレクイエムは弟子のジュスマイヤーによって

完成、現在では「モツレク」と称され、ヴェルディ、フォーレ

のレクイエムと並んで「三大レクイエム」の一に数えられています。

sakisaki さん

#06 クリスマス 2006/12/2 11:28 [No.14717 / 15916]

もともとイエスの誕生日なんてよく分かっていなかったの

でケルト人などを中心に広く行われていた冬至の祭りに習合し、

太陽が終末を迎え、新しく生まれ変わるイメージでクリスマス

祝うようになり、また新年の始まりも、冬至に合わせたと言われ、

夏冬での日の長さの違いが大きいヨーロッパらしい発想で、それぞれが微妙にずれているのはいちおう誤差のようです。

日本では二十五日が過ぎるとクリスマスの飾りをさっさと片付けないと

娘が嫁にいけなくでもなりそうなプレッシャーがありました

たが、

本来はクリスマスに始まり、そのまま新年を迎えるもので、いちおう十二夜(一月六日だったかな)までが松の内です。

永\_井\_荷\_風さん

#07 Ω (オメガ) 2006/12/2 11:29 [No.14718 / 15916]

ギリシアのアルファベットの最後の文字。

Zと同様に、最後のものを表すのに使われます。

永\_井\_荷\_風さん

#08 戦艦長門 2006/12/2 21:55 [No.14719 / 15916]

日本海軍で最後に残った戦艦。

かつては連合艦隊の旗艦を務め、戦艦ではただ1隻、太平洋戦争を生き延びたが、戦後、米軍の核実験の標的艦とされ、南海に沈む。

ただ、その際でも驚異的な耐久力を示したといわれる。

関目企画さん

#09 ニコライ2世 2006/12/2 23:55 [No.14720 / 15916] 1868-1918

ロシアのロマノフ朝最後の皇帝。満州や朝鮮半島への権益拡大を巡って日本と対立。これが日露戦争に発展していく。日露戦争は日英同盟と露仏同盟に基づいた英仏代理戦争であったといわれ、日露両国とも西欧列強にある意味利用されていたといえるだろう。

とにかく、日露戦争に敗れた後のロシア定刻は混乱を極め、皇帝と皇后アレクサンドラ・フォードロヴナは祈祷層ラスプーチンを深く信ずるようになる。そして国民との距離がますます開いていくという悪循環に帝国は陥っていく。

ロシア革命によって退位しロマノフ朝は滅亡。翌年、皇后や子女とともに配流先のエカテリンブルグにて処刑された。

日露戦争当時の皇帝ということもあって日本では悪いイメージを持たれがちであるが、むしろ過酷な運命に翻弄された気の毒な人という印象をうける。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#10 癸亥 2006/12/ 3 8:37 [ No.14721 / 15916 ]

癸亥（きがい、みずのとい）は甲子から始まる干支の組み合わせの最後、60番目になります。

最近の癸亥は1983年（昭和58年）、次の癸亥は2043年（平成55年）になります。

2043年には東京ディズニーランドの開園60周年のイベントがあると予想されます。

sakisakiさん

#11 西南戦争 2006/12/ 4 1:05 [ No.14722 / 15916 ]

鹿児島の不平士族が西郷隆盛を担いで起こした西南戦争は日本最後の内戦となった。以後不平士族の反乱は治まり、自由民権運動が台頭するようになる。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

#12 二条斉敬 2006/12/ 4 14:52 [ No.14723 / 15916 ]

全然有名じゃないけど、最後の関白です。

三條だの岩倉だのが謀って、摂関制度が廃止されてしまったので。

永井 荷風さん

番外 昭和天皇 2006/12/ 4 15:05 [ No.14724 / 15916 ]

というよりは迪宮裕仁親王。

現段階での最後の摂政です。

ただ、摂政は廃止されていないのため、最後と言い切れないので番外。

桜ももぞうさん

#13 ルイ・フィリップ 2006/12/ 5 0:59 [ No.14725 / 15916 ]

1773-1850

7月革命によってブルボン朝が倒れると富裕層の後押しにより国王となる。内閣制度の導入を行うなど政治の近代化を推進したが、参政権を富裕層に限定したことから庶民層の反発を買う。2月革命によって退位し英国に亡命。結果としてフランス史上最後の国王となってしまった。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

#14 羽柴秀吉 2006/12/ 5 22:11 [ No.14726 / 15916 ]

1570年に越前の朝倉義景を攻めた織田信長が義弟である近江の浅井長政の離反によって敵中に孤立した際、羽柴秀吉が殿（しんがり）を引き受けて信長を逃がし、自らは奮戦の末に命からがら戦場を脱出しました。

殿（しんがり）とは、戦闘において退却する軍隊の最後尾の部隊で、後備え（あとぞなえ）、殿軍（でんぐん）ともいいます。

殿が必要とされるのは大抵が敵軍に対して劣勢の状況下での退却の場合で、敵方の追撃を自分の部隊に引きつけさせ、他の味方部隊を安全に逃がす事が目的の最も危険な役割であるため、古来より武芸、人格に優れた武将が務める大役です。

ryoanpaku\_2006さん

#15 交響曲第9番 2006/12/ 5 23:17 [ No.14727 / 15916 ]

日本では「第九」の通称で知られ、年末の風物詩となっているこの曲は、ベートーヴェンが作った最後の交響曲である。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

#16 トゥーランドット 2006/12/ 6 21:01 [ No.14728 / 15916 ]

プッチーニの遺作は、古代中国を舞台にした『トゥーランドット』で、未完のまま終わったので後の人が筆を加えて上演にこぎつけます。

でもって、加えられた部分は、有名なアリア「だれも寝てはならない」

のサビの部分を中心として繰り返されています。

最近では体をのけぞらす時のテーマになっています。

永井 荷風さん

#番外 分身魔球 2006/12/ 7 1:21 [ No.14729 / 15916 ]

井上コオの漫画『侍ジャイアンツ』の主人公番場蛮の開発

した

生涯最後の魔球。剛速球を投げるがノーコンだった番場は、ノー

コン矯正の過程で会得した魔球で勝利を重ねるが、ライバル

打者に魔球を打ち崩され、その都度新魔球を生み出すというパターン

で話が進みます。分身魔球は指先でのコイン潰しを野球に応用し、

変形したボールを投げる事で球が分身したように複雑な変化を繰り返す

魔球でした。1球投げる度に多大に体力を消耗する技で、

リーグ優勝のかかった対中日戦において宿敵大砲万作を打ち取るも、

番場は投球直後に心臓停止、マウンド上で立ち往生するという最期

を迎えます。

架空の技なので番外で。

sakisakiさん

#17 大垣 2006/12/ 7 7:19 [ No.14730 / 15916 ]

岐阜県的美濃地方、岐阜市のすぐ西にある城下町で、さらに西には古戦場で名高い関ヶ原を控える要衝の地です。

元禄2年（1689）、後に紀行文「奥の細道」に記される東北・北陸地方への旅に出た松尾芭蕉は、約5ヶ月の旅をこの大垣で終え、歓待に集まった門人たちとの別れを惜しんではまぐりを殻と身に分けるのに例え、またこの後訪れる伊勢の二見浦の地名も織り込み、「はまぐりのふたみにわかれ行く秋ぞ」の句を残しています。こういった経緯から大垣は「奥の細道結びの地」と呼ばれています。

六文銭さん

番外 尾張守 2006/12/ 7 23:50 [ No.14731 / 15916 ]

文字通り捉えると、尾張国国主ということですが、戦国時代以降官位は形骸化され、また勝手に名乗った利することが多

く、尾張国とは関係ない武将が名乗ったりしていました。江戸時代は「尾張」→「終わり」に通じること、またかつて藤原元命や陶隆房、松田憲秀など、悪代官や主家を滅ぼした者が名乗ったこともあり忌諱されました。

ryozanpaku\_2006 さん

#18 徳川慶喜 2006/12/ 8 21:03 [ No.14732 / 15916 ]

いうまでもなく徳川幕府の、そして武家政治全体を通しての最後の将軍である。

水戸藩にいたままでは将軍になることができなかった慶喜であったが、徳川 12 代将軍家慶の引きによって一橋家に移り将軍位を継承する資格を得た。そして 13 代将軍家定の継嗣問題が浮上すると次期将軍の有力候補に祭り上げられるようになる。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#19 阿難 2006/12/ 9 6:50 [ No.14733 / 15916 ]

釈迦十大弟子の一人。十大弟子を挙げる際は最後に数えられることが

多い。釈迦に近侍すること二十五年、その説法を最も多く聞き、最も

記憶していたので弟子の中で「多聞第一」と称せられた。

釈迦入滅後、その教えを經典に編纂する第一結集会議が開かれ阿難の

記憶により多くの仏典が確立されたという。

sakisaki さん

#20 大窪寺 2006/12/ 9 13:04 [ No.14734 / 15916 ]

弘法大師・空海がかつて修行を重ねた四国地方四県をめぐる八十八か所霊場の巡礼は、現代でも会社生活を定年で終えた高齢者や、自分探しの場を求める若者など多くの巡礼者を集めています。第一番札所の徳島県鳴門市・霊山寺を初めに、阿波の国発心の道場、土佐の国修行の道場、伊予の国菩提の道場、讃岐の国涅槃の道場と八十七の霊場を巡って、最後の結願の寺となるのが香川県の旧長尾町、現在ではさぬき市に所在する医王山大窪寺で、境内には無事霊場めぐりを終えた

巡礼者たちが感謝を込めて奉納した金剛杖が多数みられます。

六文銭さん

#47 寺坂吉右衛門 2006/12/ 9 14:07 [ No.14735 / 15916 ]

1 2 月 1 4 日が近づいてまいりました、赤穂浪士四十七士の中で 4 7 番目というこの寺坂吉右衛門でしょう。

寺坂吉右衛門については討ち入り直前に逃亡したという説、討ち入り後に大石内蔵助から密命を受けて一行から離れたという説、足軽の身分の者が討ち入りに加わっていることを大石内蔵助が公儀に憚りがあるとして逃したという説があるが、真相は不明です。

ryozanpaku\_2006 さん

【お題】不死伝説の 2 0 人 2006/12/ 9 16:56 [ No.14736 / 15916 ]

それでは次のお題にいけます。これはまだ出題されてなかったようなので・

日本史・世界史共通で、歴史上一般的にはある時点で戦死・暗殺などで死亡したとされているが、実はその時生き残って、名を改めたり居住する場所を国内の他所、または海外に移したりして、再び活動をしていたという伝説が残っている人物を計 2 0 人、レスをお願いいたします。

# 0 0 豊臣秀頼

今年の大河ドラマでも、明日の最終回で大坂城の落城のシーンがあり、自決の場面が描かれるかな？と想像する、天下人豊臣秀吉が老年になって側室の某に生ませた次男ですが、大坂夏の陣の落城の際に実は生き残り、豊臣方の猛将として名高い某に連れられ薩摩の国に渡り、現鹿児島市の谷山に住んで新たに妻をめとり、子供も生まれたという伝説が残されています。

六文銭さん

#01 源義経 2006/12/10 11:00 [ No.14737 / 15916 ]

大本命から参りましょう。

ゲンギケイ→ジンギスカン説はずっと言われていますが、、、義経、弁慶の北行の遺跡と言われているものは東北の各所にあります。

桜ももぞうさん

#02 原田左之助 2006/12/10 13:46 [ No.14738 / 15916 ]

新選組副長助勤、のち 1 0 番隊長。

甲陽鎮撫隊の敗走時に永倉新八とともに近藤一派と袂をわかった原田左之助は、その後永倉と一緒に作った靖共隊からも、妻子の下へ帰ることを理由に離脱、その後何故か彰義隊に加わって戦死したとされるが公式には生死不明。ただその後、生き延びて大陸にわたり、馬賊になったという伝説が残されている。一説には明治 4 0 年ごろになって故郷・松山へ一度帰郷したともある。

関目企画さん

#03 豊臣秀頼 2006/12/10 23:13 [ No.14739 / 15916 ]

義経は北へ、秀頼は南へ。

大坂夏の陣で自刃した秀頼の首級を徳川方が見つけることができなかったため、秀頼の生存伝説が生まれた。

大坂を脱出した秀頼は肥後の加藤忠広を頼った後、島津家に匿われたという。

加藤忠広が改易された理由は諸説あって明らかではないが、もしかして秀頼の生存伝説が広まったせいかも？

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#03 范蠡 (はんれい) 2006/12/10 23:46 [ No.14740 / 15916 ]

豊臣秀頼は #00 に既出なので、代わりにこの方を。中国春秋時代の名軍師。越王句踐を補佐して呉を破る。句踐の性酷薄な事を知る范蠡は斉に赴き名を鴟夷子皮 (しいしひ) と変え、百余年の長寿を得た後、陶の国に姿を現し陶主公と名乗る。商人として巨万の富を積むもこれを放棄して蘭陵に足を伸ばし薬売りとなった。



その後も代々その姿は人々に目撃されたという。

sakisaki さん

#04 西郷隆盛 2006/12/11 10:35 [ No.14741 / 15916 ]

西郷隆盛は城山では死なず、中国大陸（または樺太とも？）に渡った、という伝説がありました。ロシア皇太子、ニコライ2世の来日時、一緒に西郷も帰国するという風説もあったそうで、津田三蔵の凶行もその影響があった、という話です。クイズ パンチ de デートさん

#05 イエス・キリスト 2006/12/11 20:57 [ No.14742 / 15916 ]

キリスト教の開祖。ジーザス・クライスト・スーパースター。この人の生存説となるともうあちらこちらにあるようで、挙句の果てには日本にまで来たという説もあるようです。今年話題になった「ダヴィンチ・コード」でもこのネタが使われていました。まあ、十字架処刑後の復活を合理的に説明しようとしたら、やはり死んではいなかった、としか考えるしかないのかもしれない。

関目企画さん

#06 吉良上野介 2006/12/11 21:21 [ No.14743 / 15916 ]

数年前の「時空警察」で取り上げられました。

吉良邸に討ち入った赤穂47士のうち、寺坂吉右衛門だけは許されて切腹せず、83歳まで生存したのはなぜだろうか。実は、赤穂事件の真相は浅野内匠頭長矩が吉良上野介義央に斬りかかったのは単なる乱心であり、吉良には落ち度がなかった。しかし、実母桂昌院への朝廷からの官位贈位を血で汚された将軍綱吉が怒り、一方的に浅野家を処分してしまったのである。

こんな不公平な裁定では幕府の人气が下がる、と悩んだ側用人柳沢吉保が吉良を悪者に仕立て上げて人々の怒りをそらし、赤穂浪士討ち入りでガス抜きをした、というのが真相というもの。

そして実は幕府や人々に踊らされていただけだったと気付いた大石内蔵助は、せめて幕府に一矢むくいたいと吉良上野

介を寺坂に命じて逃がしたというもの。

吉良は3年後に死亡、寺坂は天寿を全うしたというのである。

ryozanpaku\_2006 さん

#07 アドルフ・ヒトラー 2006/12/11 23:13 [ No.14744 / 15916 ]

昨日は確認不足による軽率な投稿をしてしまい、大変申し訳ございませんでした。

ベルリンの総統官邸地下壕にて自殺したとされているヒトラーであったが、その遺体は本人のものかどうかわからない状態になっていたため生存説が広まるようになった。一説には、南米に亡命して長寿を全うしたと伝えられている。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#08 明智光秀 2006/12/12 5:36 [ No.14745 / 15916 ]

本能寺の変の後、山崎の戦いに敗れた光秀は落ち延びる途中小栗栖にて土民の手にかかって落命したとされますが、このとき死んだのは影武者で、真物はここを逃れ美濃山中に荒深小五郎と名を変えて生き続け、関が原の戦いに徳川勢に味方しようとする途上死んだとする説があります。

また家康の側近である南海坊天海和尚は光秀の生き延びた後の姿であるという説もまことしやかに伝えられています。

sakisaki さん

#09 サンテグジュペリ 2006/12/12 12:09 [ No.14746 / 15916 ]

『星の王子様』の作者アントワーヌ・ド・サンテグジュペリは、貴族で飛行家でもあり、第二次大戦では偵察機が撃墜されるも、奇跡的に生還し、その後コルシカを発ったまま消息を発ちます。

長く生存説がありましたが、十数年前に海中に沈んだ飛行機が発見されました。

永\_井\_荷\_風さん

#10 渋谷金丸 2006/12/12 12:47 [ No.14747 / 15916 ]

主君の義朝が尾張野間で長田庄司に誅された後、出家して土佐坊昌俊と称し、

「平家物語」では頼朝の命で義経を討ちに行つて裏をかかれて捕らえられて

六条河原かどこかで斬られたことになっていますが、実は、頼朝の弟の慈応という、

越後加地荘に菅谷不動を開基した人物を頼って落ち延びたともいわれ、

今でも、加地周辺には金丸の子孫を称する渋谷姓が多いそうです。

永\_井\_荷\_風さん

#11 島左近 2006/12/12 21:01 [ No.14748 / 15916 ]

関ヶ原の乱陣の中で討ち死にしたというのが定説ですが、首級が上がらなかったため、薩摩へ落ちたとする噂が立つたと言います。

桜ももぞうさん

#12 マルティン・ボルマン 2006/12/12 21:06 [ No.14749 / 15916 ]

ヒトラーの秘書、後ナチス党官房長。

ヒトラーの側近として権勢を振るったボルマンは終戦時のベルリンから行方がわからなくなり、一時生存説がかなり広まっていました。ニュルンベルク裁判では欠席裁判で死刑を宣告されています。

1973年になってようやくボルマンの死が証明されました。

関目企画さん

#13 明石全登 2006/12/12 21:27 [ No.14750 / 15916 ]

謎の多い人物。そもそも、名乗りからしてホントはどう読むのか定説が無い。

たけのり／てるずみ／なりとよ など諸説ある。音読みで

「ゼント」としているものもある。

関ヶ原で宇喜多家の家宰として活躍するも、敗北して浪人。大坂の陣でこつ然と姿を現し、S氏と並んで徳川方に大打撃を与える。

大阪城落城の際、戦死したとされるが、やはり死体は見つからず、その生存を恐怖した徳川方による明石狩りが行われる。キリシタンだったため、南蛮へ逃亡したという説もある。桜ももぞうさん

# 14 織田信長 2006/12/12 22:14 [ No.14751 / 15916 ]

本能寺の変で、明智光秀の謀反により自害した信長ですが、光秀同様に信長にも生存説があります。

光秀の懸命の捜索にも関わらず遂に信長の首は発見できなかったからです。

当時信長は京に城を構えず本能寺を定宿としていましたがこの本能寺、寺とはいえ要塞のような構えで、猜疑心の強い信長のこと「抜け穴」のひとつぐらいは造っていたであろうと推測されます。

信長は森蘭丸とともに抜け穴を通して難を逃れ、その後南蛮へ渡ったという「珍説」もあります、ちなみに森蘭丸の死骸も発見されていません。

しかし、生きていたなら信長が秀吉、家康の天下を指をくわえて見ているだろうか？...

といわれるとこの説は少々弱いようにも思えます。

ryozanpaku\_2006 さん

# 15 安徳天皇 2006/12/12 22:41 [ No.14752 / 15916 ]

壇ノ浦の合戦で平家の敗北が決定的になった時点で安徳帝を擁していた祖母平時子は帝とともに入水し、帝はわずか八歳で崩御したとされますが、平家の武将に奉じられ四国、九州あるいは対馬に落ち延びたという潜幸伝説が各地に伝えられています。

sakisaki さん

# 16 源為朝 2006/12/13 0:50 [ No.14753 / 15916 ]

3日間で早くも15件のレス、ありがとうございます。

源平の時代の不死伝説といえますと、保元の乱で崇徳上皇方についた源鎮西八郎為朝は、身長七尺を誇る弓の達人でこの乱でも活躍しましたが、結局上皇方が敗者となって捕えられ、弓が二度と引けないよう肘の筋肉を切られて伊豆大島に流されました。そこでも勢力をのばし一時は伊豆諸島を征圧して国司に反抗するようになり、伊豆介工藤茂光に追討され、八丈小島で自害したというのが通説になっています。

しかし実は為朝は生き延びて琉球に渡ったという説があり、曲亭馬琴の「椿説弓張月」では琉球に渡った為朝の子が、琉球王朝の始祖と言われる舜天になったと記されています。

六文銭さん

# 17 護良親王 2006/12/13 1:33 [ No.14754 / 15916 ]

後醍醐天皇の第一皇子で、武勇に優れ鎌倉幕府の倒幕に活躍、建武の新政で征夷大將軍となった大塔宮・護良親王は、対立関係にあった足利尊氏の謀略で、後醍醐天皇の皇位の篡奪を企てていたと無実の罪を着せされ、天皇によって鎌倉の土牢に幽閉され、その後鎌倉幕府執権・北条氏の血を引く北条時行らが鎌倉で幕府再興を図って中先代の乱を起こすと、時行に奉じられるのを恐れた尊氏の弟、足利直義の命によって彼の腹心、淵辺伊賀守義博に刺殺されたというのが通説になっています。

しかし淵辺義博は親王の首をを落としたもののその首級は傍らの藪の中に放棄したと言って首級は首実検にはされず、実は護良親王に恩のある義博が親王を助け出して、自らの所領である現神奈川県相模原市の淵野辺や、ないしは淵辺氏の一族が居住し、天皇方に心を寄せる葛西氏の支配下にあった現宮城県石巻市に親王を避難させ、そこに住ませたという伝説があり、石巻市には護良親王を祭神とする一皇子神社が存在し、ここが親王の陵墓だったといわれています。

六文銭さん

# 18 大友皇子 2006/12/13 12:42 [ No.14755 / 15916 ]

壬申の乱で死んだとされる大友皇子は、実は生きのびて上総の国まではるばる逃れてきたという話があります。しかし、ここにも追手がやってきて、激戦の上死亡したとも。小櫃川、

という川がありますが、これは皇子を棺に入れたことから名前が付いたとか。また皇子の墳墓が現存するほか、鎌足、馬来田、蘇我といった当時の近臣！？を想像させる地名が残っています。

クイズ パンチ de デートさん

# 19 真田幸村（信繁） 2006/12/13 12:44 [ No.14756 / 15916 ]

大阪の陣で討ち死にした幸村は実は影武者、本物は秀頼とともに脱出、どこぞで天寿を全うしたという伝説があります。不死伝説がある人は、民衆から「死んでほしくない」と望まれてる人、ですよ。

クイズ パンチ de デートさん

# 20 平賀源内 2006/12/13 21:44 [ No.14757 / 15916 ]

エレキテルの発明（正確にいうと復元）、火浣布の開発、浄瑠璃の脚本や洋画、それに鉱山開発など多岐にわたる分野で活躍した江戸時代の日本のダ・ビンチですが、どれも一番とは言いがたい。

天才と〇〇は紙一重といいますが、晩年の源内は少々奇行が目立つようになり、些細な事から町人と口論となり殺害してしまいました、投獄の後破傷風により死亡したとなっておりますが、源内は時の老中田沼意次と親しく、田沼の保護下に天寿を全うしたとも伝えられます。

ryozanpaku\_2006 さん

お題【史実のラストサムライたち】 2006/12/13 23:06 [ No.14758 / 15916 ]

相変わらずTVネタですみません。（とはいっても「ラストサムライ」は本公開時に劇場で見たので、今回のTV放送は見てませんが）

つまり、明治維新を生き残ったサムライ20人を挙げてください。できれば維新以降のエピソードあるいは死に様つきで。

## #00 相馬主計

最後の新選組隊長。近藤、土方と大物が既にいなかったためか、函館での降伏後、伊豆新島への流刑という重い刑罰を科せられた。明治5年になって赦免されるも、明治8年、謎の割腹自殺を遂げる。

関目企画さん

## #01 伊庭想太郎 2006/12/14 16:13 [No.14759 / 15916]

戊辰戦争のスタープレイヤー伊庭八郎の実弟で、兄が函館で亡くなったので、心形刀流の伊庭宗家を継ぎ、東京農大の校長などを歴任する教育者として過ごしますが、その男が、明治三十四年になって東京市庁舎に刀を持って現れ、「おしとおる」という渾名で評判の悪かった豪腕政治家星亨を一刀の下に袈裟懸けに斬って暗殺します。

永\_井\_荷\_風さん

## #02 斉藤一 2006/12/14 16:47 [No.14760 / 15916]

新撰組での活躍は有名ですが、戊辰戦争後は謹慎生活後、斗南藩に移住、結婚して子供をもうけたあと、東京に移住して警視官になっています。西南戦争に従軍して、大砲二門を奪うなどの活躍を見せ、警視官退職後は東京師範専門学校の警備員をやりました。

クイズ パンチ de デートさん

## #03 今井信郎 2006/12/14 21:54 [No.14761 / 15916]

京都見廻組の一員として、戊辰戦争を箱館まで戦い抜きましたが、明治3年、箱館で降伏。

降伏後、今井信郎は「坂本龍馬暗殺の犯人は、自分である」と証言して逮捕され投獄されていた。

しかし、直ぐに特赦（恩赦）という形となり、その後は帰農し、静岡県初倉村の村長を勤めたりしています。

当初はキリスト教を迫害していたが、横浜の教会でたまたまキリスト教の教義を知り大いに感銘を受けて自らの不覚を愧じ、ついにその信者となって後半生は矯風事業に貢献したといひます。

ryoanpaku\_2006さん

## Re: #06 吉良上野介 2006/12/16 21:26 [No.14762 / 15916]

浅野内匠頭長矩が吉良上野介義央に斬りかかったのは単なる乱心であり、吉良には落ち度がなかったのなら、浅野だけを処分するのは当然です。

大石が吉良を討たなかったとすると、吉良邸に押し入ってたくさん斬りまくったのも嘘でしょうか。ではなぜ赤穂浪士は切腹したのか。

史実はどうであれ、時代劇で描かれる「忠臣蔵」は異常です。朝日新聞12月14日付け投書欄で70代の人が「義士を褒める感覚分からぬ」という意見を載せています。

赤穂浪士の吉良邸討ち入りは単なる逆恨みの殺人で、彼等を義士など褒める日本人の感覚は外国人に理解できないという主旨です。

折りしも『SAPIO』最新号の12/27・1/4合併号で内藤陽介氏が同様の意見を書いています。

実は作家の南條範夫(なんどうのりを>なんじょうのりお)氏も平凡社1978年刊行の『かわら版・新聞・江戸・明治三百年事件 I・大阪夏の陣から豪商銭屋五兵衛の最期』の巻末で赤穂浪士が切腹させられたのは当然と書いています。

まず、吉良上野介(きらかうづけのすけ)は浅野内匠頭(あさのたくみのかみ)を殺してはいません。

逆に吉良の方が浅野から切りつけられ負傷しています。

浅野を切腹させたのは幕府なので、大石内蔵助(おほいしくらのすけ)にとって「亡き主君の敵」は吉良でなく綱吉以下幕府上層部のはずです。

従って大石が浅野の敵を討とうと思ったら、浅野を切腹させた綱吉や幕府関係者を討つべきでした。

赤穂浪士が吉良を殺したのは、主が傷つけた被害者を、加害者の手下が付け狙って殺した二重犯罪です。

敵討ちの前提である公の許可など貰えなかったのも当然で、大石が浅野と同様、切腹させられたのは当然の処置というわけです。

忠臣蔵を今風に説明します。

兵庫県赤穂藩の浅野長矩(ながより)元知事が東京で皇室から

の使者を招くパーティの幹事を任されたとき、アドバイザーだった年長の上司・吉良義央(きら・よしなか)さんの言動に腹を立て、職場の廊下で吉良さんに向かって2度に渡って刃物で切りつけ、吉良さんは背中と額を負傷。

浅野被告は業務上過失傷害及び殺人未遂の現行犯で逮捕された。

加害者・浅野被告の部下だった赤穂藩職員は失業し、この結果を不服とした大石良雄容疑者を初めとする旧職員数十名が首都圏に集結。

彼等の内、最終的に47名が真冬の犯行当日の夜、被害者・吉良さん宅の門を破壊し、あるいは塀を乗り越えて家宅侵入し、抵抗する居住者を刃物で次々と斬殺した挙句、小屋に隠れていた吉良さんを引きずり出し、殺害して首を切断、首を浅野被告の墓前に供えた模様。

犯行グループが吉良さんの首だけを持って逃走した場合、被害者の遺体は首無し死体として自宅の殺人現場に放置されたことになる。

主犯・大石容疑者と共犯者一同、死刑判決。

御隠居新さん金さん婿殿さん

## #04 桐野利秋 2006/12/17 8:33 [No.14763 / 15916]

元陸軍少将で西南戦争の首謀者の一人。

幕末は中村半次郎と名乗り、もっぱら「人斬り半次郎」の二つ名で呼ばれただけあって、維新以後も西郷隆盛のもっとも忠実な腹心として従い続けた。もっとも彼をはじめとした薩摩単人の忠誠心が西郷をして立たざるを得ない状況に追い込んだのかもしれない。

西南戦争の最終局面、城山にて戦死。

関目企画さん

## #05 渡辺篤 2006/12/17 19:31 [No.14764 / 15916]

もう一人の龍馬を斬ったという男です。

佐々木只三郎・今井信郎らと共に坂本龍馬・中岡慎太郎の暗殺に加担したとされています。

鳥羽伏見の戦いに旧幕府軍側として参戦。

明治になり、新政府(薩摩藩がバックにいます)による計ら

いにより奈良県警の監察官（のち本部長）として奉職しました。

晩年、近江屋事件の様子を弟の渡辺安平や弟子の飯田常之助などに語り、父から贈られた刀「出羽大掾藤原国路」で龍馬を斬ったと述べています。

ryoanpaku\_2006 さん

Re: # 06 吉良上野介 訂正 2006/12/17 20:18 [ No.14765 / 15916 ]

赤穂浪士の吉良邸討ち入りは単なる逆恨みの殺人で、彼等を義士など

↓

彼等を義士などと

褒める日本人の感覚は外国人に理解できないという主旨です。

御隠居新さん金さん婿殿さん

# 06 永倉新八 2006/12/19 22:43 [ No.14766 / 15916 ]

新撰組二番隊組長です。

勝沼の合戦で、近藤らと袂を別ちます。

維新後、数少ない新選組幹部の生き残りとして、板橋に近藤勇、土方歳三の墓を建立しました。

晩年は小樽で過ごし貴重な新選組の資料となる、『浪士文久報国記事』を書き残し、また小樽新聞の記者に取材協力した『新選組顛末記』を残しました。

虫歯が原因で死去下といわれています。

ryoanpaku\_2006 さん

# 07 高橋泥舟 2006/12/19 23:45 [ No.14767 / 15916 ]

幕臣にして槍術の達人。鳥羽・伏見の戦いに敗れた徳川慶喜に

官軍への恭順を説き、慶喜の護衛としての任を全うする。

維新後は地方奉行の職を辞し、書画骨董の鑑定で後半生を送る。

明治36年牛込の自宅で死去。享年69。

新政府の任官の誘いがあると「総理大臣なら引き受けても

可い」

という言葉辞で一蹴したそうです。旧主君が隠棲しているのであれ

ば自身の栄達を考える事は出来ないということだったのでしょうか。

sakisaki さん

# 08 山岡鉄舟 2006/12/20 14:58 [ No.14768 / 15916 ]

ラストサムライ的キャラとしてはピカイチだと思います。

剣は千葉周作直伝の北辰一刀流で後に免許皆伝、書は十五歳で師匠の後を継ぎ、槍を山岡静山に学び、山岡家から養子に出た高橋泥舟とはマブダチで、静山が亡くなったときに、実弟の泥舟は鉄舟に請うて婿入りして山岡家を継いでもらったそうです。

駿府で西郷と会談しますが、西郷を凌ぐほどの偉丈夫で欲のない剛直さには大西郷も舌を巻いたようです。

後に西郷との約束もあって明治天皇の侍従となり、ここでもヤンチャな明治帝に組討されたときに、打ち伏せてたしなめたりしたと言われます。

金貸しに借りた千円の証文を書いてくれと言われて書いた書に千円の値が付いたので、金貸しは売らずに家宝にしたなんていう逸話もあるそうです。

いつか大河で「幕末三舟」を取り上げてほしいけど、原作が右翼の巨魁頭山満なので、NHK的にはちょっと無理っぽい。永\_井\_荷\_風さん

# 09 勝海舟 2006/12/20 21:23 [ No.14769 / 15916 ]

既出の山岡鉄舟・高橋泥舟と共に「幕末の三舟」と呼ばれるのが勝海舟です。

戊辰戦争時には陸軍総裁として、後に軍事総裁として旧幕府の代表となり、官軍が江戸に迫ると徹底抗戦を主張するものに対し、早期停戦と江戸城の無血開城を主張。徳川慶喜の命を受けた山岡鉄舟が西郷隆盛と会談し、条件を整えた後、徳川政権の今後の処置等について、交渉を行い、結果として、江戸市中での大戦乱を免れ、江戸市民の生命を戦火から救いました。

維新後は勝安芳の名で、参議・海軍卿、その後伯爵となり、枢密顧問官となりましたが、彼のあまりに開明的・先見の明を理解出来なかった人々は、「氷川の大法螺吹き」と揶揄したという。

1899年に脳溢血により意識不明となり、しばらくして亡くなりました。

ryoanpaku\_2006 さん

# 10 太田黒伴雄 2006/12/20 21:46 [ No.14770 / 15916 ]

太田黒伴雄（おおたぐろともお）、旧熊本藩の士族で「神風連の乱」の首謀者。神風連の乱は西南戦争に繋がる、不平士族の不満が爆発した最初の反乱とされています。一度は県庁の役人を殺害して、熊本城内で砲台を占拠しますが、のち政府側に敗れて自刃しています。

クイズ パンチ de デートさん

# 11 松廼屋露八 2006/12/20 21:49 [ No.14771 / 15916 ]

勝海舟も最真にしていたという幫間。本名は土肥庄次郎という

幕臣で家は一橋家近習であった由。免許皆伝の剣術の腕を持ちながら

吉原で身を持ち崩し、勘当されて吉原で太鼓持ちになっってしまう。

戊辰の戦で御家の大事と流れていた長崎から江戸に馳せ戻り

彰義隊に入るも、上野戦争で敗走、維新後は幫間に逆戻りし、花柳界で名を挙げた。明治36年没。享年71。

sakisaki さん

# 12 樋口則義 2006/12/21 12:04 [ No.14772 / 15916 ]

もとは甲州山梨郡塩山近郊の富農の体だったそうですが、寺子屋のクラスメートと江戸に駆け落ちをし、夫婦で幕臣に仕えて徐々に出世をし、経済的に窮地に陥っていた同心の株を買取って、幕臣の地位を得るのが慶応三年のこと。

翌年には維新で士族となるものの、ようやく手に入れたサムライの家系を守ることが樋口家にとっての課題になります。

上の娘は嫁に行き、男の子が二人いたので次男は勘当同然に分籍したものの、長男も二十三で夭折したため、次女が女戸主として、婿をとる立場になります。

その次女奈津が樋口一葉で、小説の師匠半井桃水とは、互いに子弟以上の感情があったようですが、戸主なので嫁に行くことも出来ず、逆に戸主であったために、女所帯でありながら文学仲間の青年たちが家を訪ねることも出来たようで、それが後の口さがない人々の好奇心をかきたてる原因になったようです。

ひどいのは、瀬戸内寂聴という色気ばあさんで、当時の社会状況や倫理観などお構いなしに、自分を性向を基準に一葉の行状を想像するものだから、後々一葉のイメージにきずを残すことになったようです。

永\_井\_荷\_風さん

**# 13 福澤諭吉 2006/12/21 21:51 [ No.14773 / 15916 ]**

サムライとは程遠いイメージですが、中津藩の下級武士の子として大坂で生まれました。

幕末は適塾で学び塾長まで務めています、江戸の出てからは慶応義塾を開きまた咸臨丸でアメリカにもわたっています。勝海舟との軋轢はこの頃からあったようです。

維新後は新政府の一員とはならず学問・教育の面に携わりまず、脳溢血に死亡しましたが、葬儀の際、遺族は福澤の遺志を尊重し献花を丁寧に断ったが、盟友である大隈重信のものだけは黙って受け取ったといいます。

ryoanpaku\_2006 さん

**# 14 近藤弥之助 2006/12/24 0:06 [ No.14774 / 15916 ]**

幕臣。講武所の剣術師範を勤める。彰義隊が上野戦争前に近藤の腕を見込んで勧誘に来たが、慶喜の恭順の意を知る近藤が動く事は無かった。戦争後敗走する彰義隊隊士が行きがけの駄賃とばかりに近藤宅を襲ったが、近藤は内弟子二人と共に二十数人の隊士を迎え撃ち、弟子一人は斬殺されたが近藤は四、五人の相手を斬り、彰義隊士を追い散らしたという。

明治になって強盗が近藤宅に押し入った際も賊は近藤に

真二つに斬られ、検視した警官がその精妙な剣技に舌を巻いたとか。

sakisaki さん

**# 15 島田一郎 2006/12/24 23:08 [ No.14775 / 15916 ]**

加賀藩の足軽として生まれ、北越戦争にも参加しております。維新後、不平士族の一派三光寺派のリーダー格として萩の乱、西南戦争に呼応し挙兵を試みるが断念、その後、方針を要人暗殺に切り替え、1878年30歳の生涯に幕を閉じました。

ryoanpaku\_2006 さん

**# 15 島田魁 2006/12/27 21:25 [ No.14776 / 15916 ]**

新選組伍長。諸士調役兼監察。新選組の草創時から函館戦争まで転戦を続けた数少ない隊士の一人。維新後も官職には就かず、かつて新選組が屯所としていた西本願寺の警備員として生涯を過ごした。

関目企画さん

**↓ # 16 でした 2006/12/27 21:26 [ No.14777 / 15916 ]**

失礼しました。

関目企画さん

**# 17 木村安兵衛 2006/12/27 22:33 [ No.14778 / 15916 ]**

常陸の武士の次男に生まれ、木村家に婿養子として入りました。

明治維新以後、新政府の東京府職業授産所の事務職となり後の「木村屋總本店」の全身となる「木村屋」を創業します。日本人にも受け入れられるパンの研究を行い、小豆餡をパン生地でくるみ、発酵に酒種酵母を使用した「あんパン」を開発。

販売を開始すると反響を呼び、翌年には、縁のあった旧幕臣で侍従を務めていた山岡鉄舟の仲介で、明治天皇が向島の旧水戸藩下屋敷訪問の際に、木村屋のあんぱんが茶菓子として献上され、宮中御用達ともなりました。

「木村屋」の屋号は山岡鉄舟の筆によるもので、「士族の商法」のなかで成功した数少ない例にもなっています。

ryoanpaku\_2006 さん

**# 18 乃木希次 2006/12/28 23:41 [ No.14779 / 15916 ]**

長門長府藩士。子に陸軍大将の乃木希典がいる。剛毅木訥の性を

見込まれ藩の世子、元敏の守役に抜擢される。

ある時宴席にて世子が飯粒をふとこぼした際、希次じつと世子を

見つめてからつと前に出て「落ちたご飯をひろっておあがりなさい」

と言うと、世子照れて薄笑いをうかべる。希次かっとなって農民の

辛苦を話し一粒の米も粗末にすべきでない事を諄々と説いた。

世子も理に伏して素直に飯粒を食べたという。

乃木文蔵（希典）も幼少の頃は厳しく父から躰を受けたが文蔵がやや長じて藩主の御前に出るようになってからは、文蔵

が帰宅するまで食事を摂らなかった。「自分は老衰して先も

長くない、文蔵に椅らなければならぬ身だ。あれが帰らぬうち

は食べない」といつまでも待ち続けたという。

希典の成人を見届け明治十年に没す、享年七十三。

sakisaki さん

**# 19 西郷隆盛 2006/12/29 22:44 [ No.14780 / 15916 ]**

明治維新の象徴。

もっとも西郷に明確な政治ビジョンがあったのかどうかは疑問であくまでも彼は革命家であり、本来なら高杉晋作や坂本竜馬のように維新前に斃れたほうが本望だったのかもしれない。

彼の死によってラストサムライたちの時代は本当に終わりを告げることになります。

関目企画さん

#20 榎本釜次郎 2007/ 1/ 1 9:24 [ No.14781 / 15916 ]

三舟から見ると、突貫小僧みたいな危なっかしい存在で、先輩の言うことを聞かずに戊辰戦争を戦い、生き残って明治政府の高官になります。

永\_井 荷\_風さん

**お題【 主君に殉じた人 】** 2007/ 1/ 2 19:34 [ No.14782 / 15916 ]

ありそうで、まだなかったと思います。

範囲は日本史世界史両方。

封建的な時代の主従関係のある人物、

あるいは夫婦や親子の関係で、

主君（夫君、父）と共に討ち死にした人、

楯となって亡くなった人、

後を追った人、

弔い合戦を挑んで亡くなった人、

夫に殉じた女性などを、

20人挙げてください。

#00 乃木静

いちおうこの辺までを封建（的な）時代の最後としておきます。

夫と共に、というか夫の手にかかって亡くなります。

永\_井 荷\_風さん

#01 子車三兄弟 2007/ 1/ 3 23:23 [ No.14783 / 15916 ]

本年も宜しく願ひいたします。

さて、古いところから申し上げますと中国春秋時代、秦の穆公は優れ

た指導力でその国力を高めた名君として知られていますが、

晩年は乱命

を出す事あり、自分の死後多くの臣下を殉死させ、あの世の

道連れとし

たことは後世の非難的になりました。殉死者は百七十七名

にのぼり、

中でも良臣の評判高い子車氏の三人の息子（奄息・仲行・鍼虎）を殉死

させたことは『詩経』にも歌われたほどで、『春秋左氏伝』

にも穆公の

行為が非難されています。良臣を多く殉死させたことで穆公

の死後秦の

勢いは一時的に減退してしまいました。

sakisaki さん

#02 明智熙子 2007/ 1/ 3 23:53 [ No.14784 / 15916 ]

旬なところで、「明智光秀～神に愛されなかった男～」の主役、明智光秀の妻です、山崎の合戦に明智軍は破れ、坂本城落城の際に夫の後を追ったとされています。

ただし、熙子については詳細はよくわかっていないところもあり、本能寺の変以前に死亡していたとする説もあります。

ryoanpaku\_2007 さん

#03 鳥居景近 2007/ 1/ 4 15:58 [ No.14786 / 15916 ]

越前の戦国大名朝倉義景の側近。天正元年八月、上洛した織田信長は近江に攻め込み、朝倉軍と対峙したが刀根坂の戦いで朝倉軍は壊滅的な損害を受け、義景は一乗谷城に帰還、一族の朝倉景鏡の進言を納れ越前北部の大野郡へ移動した。しかしすでに信長に通じていた景鏡は宿所とした賢松寺を手

勢をもって包囲し襲撃、朝倉義景は同族の手で滅びた。

義景の側近であった鳥居景近は義景の介錯をした後自害したという。

sakisaki さん

#04 森蘭丸 2007/ 1/ 4 21:11 [ No.14787 / 15916 ]

実は、この辺を中心にお題を考えたのですが。

永\_井 荷\_風さん

#05 小笠原少斎 2007/ 1/ 4 23:02 [ No.14788 / 15916 ]

細川家の家老で、関ヶ原の合戦の前、石田三成の人質となる

ことを拒んだ細川ガラシャの胸を槍で突き、屋敷に火を放ち自身も自害しております。

ガラシャは夫忠興より「もしもの時は自害せよ」と言い渡されていましたが、キリシタンゆえ自害ではなく、家老の小笠原少斎に胸を貫かせて死ぬことを選びました。

でもこれも自害と変わらないようにも思えますが？

正確には主君ではなく、主君の奥方になりますが...

「功名が辻」では小笠原少斎を嶋田久作が演じていました、セリフの少ない役柄ながら大変存在感のある演技でありました。

ryoanpaku\_2007 さん

**御礼【 史実のラストサムライたち 】** 2007/ 1/ 5 21:25

[ No.14789 / 15916 ]

あけましておめでとうございます。

で、20件のレスありがとうございました。

思った以上に「負け組」旧幕側の人物が多かったです。

まあ、明治政府の頭官以外は武士全員「負け組」かもしれませんが。

それでは今年も宜しくお祈りします。

関目企画さん

#06 お市の方 2007/ 1/ 5 21:52 [ No.14790 / 15916 ]

織田信長の妹、浅井長政の妻、後に柴田勝家の後室となっています。

賤ヶ岳の戦いで柴田勝家は羽柴秀吉に敗れ越前北ノ庄でとともに自害しました。

勝家は自害の直前、お市に城から逃れるように勧めたが、市は拒絶したといわれています。

ryoanpaku\_2007 さん

#07 徐弱 2007/ 1/ 5 23:29 [ No.14791 / 15916 ]

古代中国の思想集団「墨家」の一員。その殉死の様子は以下の通り。

BC381年楚の宰相で中央集権化を推進していた呉起は仕えていた

楚の君主悼王が死去すると国内の貴族集団から攻撃を受け死亡、悼王の

後を襲った肅王は呉起殺害に加担した貴族全員の処罰の方針を取った。

呉起殺害に加担した陽城君は国外に亡命する。陽城君と親交を結びその

領地の防衛を託されていた墨家の鉅子（首領）孟勝は、配下の墨家集団

を率いて領地没収に来た楚の正規軍と戦うが城邑を守りきれずに敗退する。

陽城君との約を守れなかった為、孟勝は墨家集団の全員自決を提案

する。孟勝の弟子である徐弱は墨家が地上から絶滅する事を憂え孟勝

を諫めるが、死をもって行動しなければ以後墨家を世の人は信用すまじ

と孟勝の決意は固く、鉅子の地位を宋の田襄子に譲る旨を知らせる為の

伝令2名以外の死をその場で決定、徐弱は師匠に先立ち自刎して果て、

以下墨者180人は孟勝とともに集団自決を敢行、伝令2名は宋に奔り

田襄子に孟勝の遺言を伝えると田襄子の制止を振り切って楚に戻り死を

選んだ。（『呂氏春秋』に拠る）

諸子百家の中でも墨家はその技術力と集団性、戦闘性をもって戦国時代

を生き抜きましたが、鉅子に対する忠誠心とその理念の純粹性は他の思想

家集団とは全く隔絶した存在だったと言えそうです。

sakisaki さん

#08 清水一学 2007/1/6 23:03 [No.14792 / 15916]

元禄15年12月14日の、名高い元赤穂藩浪士の吉良上野介義央邸討ち入りの際、吉良氏に仕えるきっての剣客として、主君を守るため浪士たちとの立ち回りに奮戦し討ち死にし

ています。元々は吉良氏の領地である三河の国の現吉良町の農民の生まれでしたが、兄の藤兵衛が吉良氏の陣屋に出仕していた影響で、自らも陣屋に剣術の稽古に通うようになり、そこで上野介の夫人・富子の目に止まり、士分に取り立てられた上吉良家に召抱えられています。主君に殉じたときは享年25歳でした。

六文銭さん

#09 今井兼平 2007/1/6 23:28 [No.14793 / 15916]

源（木曾）義仲に仕える義仲四天王の一人で、同じく四天王の樋口兼光は兄、義仲の愛妾巴御前は妹になります。破竹の勢いで北陸道で平家軍を蹴散らし、上洛を果たした義仲も粗暴な振舞いが続いて後白河法皇などの不興を買い、ついには源頼朝が差し向けた弟範頼・義経らによる鎌倉源氏の追討軍に惨敗し、義仲は近江国粟津で最期を迎えますが、そのとき兼平は冷静に、義仲に潔く自害するよう促し、また奮戦して義仲が自害する時間稼ぎをしました。そして義仲が討ち取られたのを知ると、東国の方々、これが日本一の強者の自害する手本だと叫んで、太刀の先を口の中を含み、馬上から飛び降り、太刀で体を貫き自害したといっています。

六文銭さん

#10 土屋昌恒 2007/1/6 23:46 [No.14794 / 15916]

1556-1582

「片手千人斬り」の異名をとった武田の勇将。天目山の戦いで武田の家臣たちが次々と脱落する中、最後まで勝頼に従う。勝頼親子3人が敵の手にかかることなく自害するのを見届け

て戦死した。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#番外 娥皇・女英 2007/1/7 23:13 [No.14795 / 15916]

伝説によれば、中国の聖天子堯の二女娥皇と女英は堯に仕えていた

舜に嫁し、徳に優れていた舜は帝位を継いで世を平和のうちに治めて

いたが、南方の三苗征伐に出発後、蒼梧の野に崩御した。

舜の後を追って洞庭湖辺りにまで至った二妃はその知らせを聞くと悲

しんで自沈しその地の水神となったという。

戦国時代の楚の憂国詩人屈原作の「九歌」には二妃

を歌ったとされる「湘君」と「湘夫人」があります。

伝説なので番外です。

sakisaki さん

#11 陸秀夫 2007/1/8 7:10 [No.14796 / 15916]

南宋の忠臣として知られる人物。1279年モンゴル帝国の世宗

（クビライ汗）は南宋王朝への最後の総攻撃を命じます。首都臨安

陥落後、陸秀夫は六代皇帝度宗の遺児二人を奉じて臨安を脱出、南

方に亡命政権を樹立しますが皇帝の遺児のうち兄は病死し、最後に

遺された幼い弟、衛王は陸秀夫に皇帝として擁立されます。

南宋残党は大船団を編成して迫るモンゴル軍と崖山で決戦します

が、衆寡敵せず敗戦は決定的になり、陸秀夫は妻子を手にかけた後

幼帝を抱いて南海に沈みます。この際南宋残党には十万もの役人、

宦官、使用人らが属していましたが、尽く海に身を投げ多くの屍が

崖山周辺の海に浮かんだそうです。

sakisaki さん

#11 遠藤基信 2007/1/9 14:07 [No.14797 / 15916]

伊達輝宗の家臣で、家中では行政手腕に優れ、あの片倉小十郎を推挙するなどの実績を残しているようです。輝宗が無念の死を遂げたあと、墓の前で自刃したそうです。

クイズ パンチ de デートさん

#13 大野治長 2007/1/9 22:02 [No.14798 / 15916]

豊臣秀吉の側室・淀殿の乳母である大蔵卿局の子に当たる関係から、秀吉に約 3000 石の馬廻衆として取り立てられました。

大坂冬の陣では、治長は消極的和平を主張し、真田幸村など主戦派と反目し翌慶長 20 年（1615 年）、大坂夏の陣では將軍徳川秀忠の娘で秀頼の室であった千姫の引き渡しを条件に和平工作を求めるが、秀頼とともに大坂城の山里曲輪で自害しました。

秀頼は大野治長と淀殿との子とも噂されています。

ryoanpaku\_2007 さん

# 14 湯浅五助 2007/ 1/10 22:07 [ No.14799 / 15916 ]

豊臣秀吉をして「百万の軍の軍配を預けてみたい」と言わしめたほどの武将である大谷吉継の家臣の中でも、特に武勇に秀でた者として有名であったのが槍の名手湯浅五助です。関ヶ原の合戦で、小早川秀秋の攻撃によって大谷隊が壊滅したとき、大谷吉継の切腹の介錯もつとめました。

ハンセン病を煩っていた吉継は、自害する前に五助に「病み崩れた醜い顔を敵に晒すな」と申し伝えて果てました。五助は主君の言命を守り、取った吉継の首を戦場から離れた場所に埋め終わったときに、五助は藤堂高虎の軍に所属する甥の藤堂仁右衛門に発見される。五助は、「私の首の代わりに、主君の首をここに埋めたことを秘して欲しい」と頼み、仁右衛門はそれを受け形ばかりの槍あわせをして五助の首を取りました。

藤堂高虎は、自分の甥が勇猛な武将として名高い湯浅五助の首を取ったことに喜び、家康の本陣に報告した。主君の高虎に同行して徳川家康に五助の首を見せた際、家康は手柄を褒めつつ、大谷吉継の側近中の側近である五助なら主君の居場所も知っているはずと、仁右衛門に詰問すると、「知らない事はないが、五助と他弁をしないと誓って首を取ったのでこのことはどなた様にも言えませぬ。どうぞ、私を御処分ください」と仁右衛門は答えたそうです。

吉継の首の在処を言えば、更なる大手柄になるというのに頑として在処を言わない姿勢に家康は感心し、自分の槍と刀を与えたといいます。

なお、大谷吉継の首も見つかっていません。

ryoanpaku\_2007 さん

# 15 平時子 2007/ 1/13 22:11 [ No.14800 / 15916 ]

「不死伝説の 20 人」にも登場した安徳天皇の祖母。従二位に叙されたので「二位尼」と称される。

『平家物語』では壇ノ浦の戦で平家軍が決定的な敗北を喫し、平家一門の武者が次々に斃れるなか、孫であり主上でもある安徳帝の手をとり、「尼前、われをばいづちへ具して行かんとはするぞ」と問う帝に「浪の下にこそ極楽浄土とてめでたき都の候、それへ具して参らせ候ぞ」と答え、諸共に「千尋の底にぞ沈み」帝に殉じました。

# 11 で扱った崖山の戦いで陸秀夫と共に海に散った幼帝も安徳帝と同じ八歳の生涯であったので、一門滅亡の悲話として比されることが多いようです。

sakisaki さん

# 16 エヴァ・ブラウン 2007/ 1/14 22:43 [ No.14801 / 15916 ]

独裁者アドルフ・ヒトラーの愛人です。

ドイツの敗戦が決定的となった、1945 年 4 月 29 日に、ベルリンの地下壕で結婚式を挙げていますので最終的には妻か？。

そしてその翌日、総統官邸地下壕において、愛犬ブロンディを自ら毒殺した後、妻エヴァ・ブラウンと共に服毒自殺（拳銃とも）しました。

遺体はガソリンで焼かれたため、二人の遺体は側近たちの証言によってのみの確認であったため、その後長くヒトラーとエヴァの生存説が流布することになります。

ryoanpaku\_2007 さん

# 17 長崎高重 2007/ 1/15 0:15 [ No.14802 / 15916 ]

鎌倉時代の武将。鎌倉幕府最後の執権北条高時に仕え、新田義貞軍との東勝寺合戦で奮戦するも敗退し、高時ら北条一族と家臣の籠る東勝寺にて

自刃し果てる。

『太平記』によれば長崎高重は鎌倉に迫る義貞の軍に潜入し義貞に接近し

たが見破られ、敵軍中を切り結び散々に引っかき回してから東勝寺に戻り

最後の酒宴をする一門に先立って腹を掻き切り「是を肴に」と自分の腸を

手で手繰り出して斃れ伏したという。このあと一門次々に自害し高時も

自刃、ここに鎌倉幕府は滅亡した。

sakisaki さん

# 18 乃木希典 2007/ 1/16 15:07 [ No.14803 / 15916 ]

なんか、自己レスっぽい回答になってしまった。

殉死した人の中では最後かもしれません。

最近では、後追い自殺って言われますから。

永\_井\_荷\_風さん

# 19 森川出羽守重俊 2007/ 1/17 12:44 [ No.14804 / 15916 ]

このひとは徳川秀忠の近習だったひとで、秀忠が死んだ翌日に殉死したといえます。家光が將軍になり、彼は忠長派だったので改易を恐れた、というのがもっともな理由のようです。千葉の生実藩の初代藩主で、千葉市中央区に重俊院という菩提を弔う寺があります。

クイズ パンチ de デートさん

# 20 堀田正盛 2007/ 1/21 20:39 [ No.14805 / 15916 ]  
1609-1651

春日局の縁者であったため將軍家光の信任が厚かった。家光の近習を経て大名となる。破竹の勢いで出世し、佐倉 11 万石を領するまでになった。

將軍家光が死去した日に家光に殉じた。

綱吉時代初期の老成・堀田正俊は正盛の三男。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん



## お題【初代トップ】 2007/ 1/23 22:37 [ No.14806 / 15916 ]

長いことお題が出ないのもなんなので、連荘になりますが、あしからず。

のんびり参りましょう。

範囲は日本史世界史共通。

役所でも企業でも学校でも、どんな組織でも構いません。

自分で作った組織でも、人の作ったものでも構いません。

そうした組織の初代のトップに就いた歴史上の有名人を二十人挙げてください。

### #00 藤原基経／関白

令外官ですが、人臣中トップの位です。

宇多天皇は、関白に相当する「阿衡」に任じるものの、基経は、名目ばかりで実質の職務がないとサボタージュをはじめ、ついには「万事関り白す（あずかりもうす）」と訂正させてゲットした位です。

永\_井\_荷\_風さん

### #01 伊藤博文 2007/ 1/24 15:47 [ No.14807 / 15916 ]

内閣制度の初代トップです。

ベタですが。

桜ももぞうさん

### #02 聖徳太子／摂政 2007/ 1/24 20:55 [ No.14808 / 15916 ]

関白が出ましたので。

神話時代を除いて、一般には日本史上における摂政とは天皇の勅令を受けて天皇に代わって政務を執ることまたその者の職であると定義され、史上はじめて摂政を行ったのは推古天皇のときの聖徳太子というのが定説となっています。

近代でも、大正天皇晩年の 1921 年よりその崩御まで皇太子裕仁親王（のちの昭和天皇）が摂政をつとめ。

現代の憲法下においても、摂政は、天皇の名でその国事行為を行う職であり、天皇が成年に達しない時、重患や重大な事故によって国事行為を行うことができないと皇室会議で判断された時に置かれることになっております。

ryozanpaku\_2007 さん

### #03 足利基氏／鎌倉公方 2007/ 1/24 22:52 [ No.14809 / 15916 ]

鎌倉公方とは、足利幕府が関東に設けた出先機関である鎌倉府の長である。

鎌倉公方の管轄範囲のはじめは関東 10ヶ国。後に陸奥・出羽が追加された。

基氏は観応の擾乱のさなかに 10 歳の若さで初代鎌倉公方に就任した。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

### #04 義真 2007/ 1/24 23:13 [ No.14810 / 15916 ]

初代天台座主。興福寺で法相を学び、鑑真の弟子から中国語を受け

その後最澄の弟子となる。通訳として最澄とともに渡唐し天台教学を

受ける。帰国後は師最澄の延暦寺の建設に協力し、最澄没後叡山に大

乗戒を設立し初の授戒の師となる。824年には初代天台座主に就任

した。天台座主は天台宗の諸末寺を総監する立場にあり、後の時代に

は皇族から出家した法親王が就任するケースが多くなる。

sakisaki さん

### #05 嘉納治五郎／講道館 2007/ 1/25 19:19 [ No.14811 / 15916 ]

御影の名門の酒蔵嘉納家の一族に生まれ、教育者として、柔道の体系化を成し遂げて

その伝習所として講道館を起こし、初代館長になります。

こちらは、今の館長さんも嘉納さんだそうです。

永\_井\_荷\_風さん

### #06 大伴弟麻呂／征夷大將軍 2007/ 1/26 13:09 [ No.14812 / 15916 ]

征夷大將軍って、坂上田村麻呂が初代とおもったら、大伴

弟麻呂が初代で、坂上田村麻呂は当時副官という関係だったそうです。実質は坂上田村麻呂が初代といえるようですが、あまり知られていないんじゃないでしょうか。

クイズ パンチ de デートさん

### #07 内藤信正/大坂城代 2007/ 1/27 23:26 [ No.14813 / 15916 ]

大坂夏の陣の後、大坂城には松平忠明が 10 万石で入封し大坂藩が成立した。大坂の戦後復興を成し遂げた忠明は、元和 5(1619)年に大和郡山に移った。以後大坂は幕府直轄領となり大坂城の最高責任者として大坂城代が置かれた。

大坂城代は幕府の最重要役職の一つで、譜代大名の任である。大坂城や市中の管理だけでなく西国の大名の監視役も任務に含まれていた。また老中昇進へのステップとなる役職でもあった。

初代大坂城代は内藤信正である。元和 5 年に就任し、寛永 3(1626)年在職のまま死去した。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

### #08 根津嘉一郎／根津財閥 2007/ 1/28 21:42 [ No.14814 / 15916 ]

大江戸線にもレスしました根津嘉一郎。

東武鉄道の創業者と思われがちですが実態は赤字続きだった東武鉄道からの要請もあって経営に参加し、東上鉄道（現：東武東上線）との対等合併を推進するなどその手腕を発揮したのが始まりです。

没後、長男・藤太郎が 2 代目嘉一郎を名乗り、東武鉄道の経営を引き継ぎました。

なお 2 代目嘉一郎の退任後、社外出身社長の時代を経て、現在は 2 代目嘉一郎の次男である根津嘉澄が東武鉄道社長を務めています。

ryozanpaku\_2007 さん

### #09 島崎藤村/日本ペンクラブ 2007/ 1/28 22:53 [ No.14815 / 15916 ]

1921 年文学を通じて諸国民の融和を進め、表現の自由を擁

護する

国際ペンクラブがロンドンに発足、35年日本にも国際ペンクラブ

の日本センターが設立され、日本ペンクラブ初代会長に島崎藤村

が選出されました。第2次大戦中は活動を休止していましたが、

47年に活動を再開、現在2000人程の会員が所属している由。

藤村以後は有名な作家として、正宗白鳥、志賀直哉、川端康成、

石川達三、井上靖、遠藤周作、大岡信らが会長を務め、03年から

井上ひさしが会長職に就いているそうです。

sakisakiさん

#10 新渡戸稲造／東京女子大学 2007/ 1/29 12:47 [No.14816 / 15916]

それまで、プロテスタント系女子教育の

最高学府は麹町の女子学院だったそうですが、

六つの会派の合同で設立したのが東京女子大で、

設立に関わった新渡戸稲造が初代の学長に就任します。

永\_井\_荷\_風さん

#10 村井貞勝/京都所司代 2007/ 1/29 14:15 [No.14817 / 15916]

織田信長が足利義昭を奉じて上洛したとき、京都の治安維持のために設けたのがはじまりとのことです。京都市長、京都警察署長、などといった意味合いかなと思いますが、幕末

には権限強化のために京都守護職が設けられ、所司代はその下に組み込まれることとなりました。

クイズ パンチ de デートさん

#11 張陵/五斗米道 2007/ 1/31 0:29 [No.14818 / 15916]

後漢の末期に発生した道教の流派「五斗米道」は、入信者が五斗の

米を納める決まりから名付けられました。沛出身の張陵は官職に就いて

いたが道を学ぶ為に蜀にある鶴鳴山に入り、道書を作り五斗米道を

創始しました。張陵は「天師」と称され、道法は代々子孫に伝えられ

ました。同じ頃に発生した太平道教団が中国全土にわたる黄巾の乱を

引き起こしたのに対して、五斗米道教団は蜀にとどまり信者間の相

互扶助的組織を作り、張陵の孫の張魯が天師になった頃には強固な農

民政権的な勢力を漢中に張り、魏の曹操もうかつに手を出せないほど

の宗教勢力となりましたが、最終的には曹操に降り、その支配下にあ

って信者を増やす事で激動の時代を生き延びました。

現在も正一教と名称を変えてこの教団は中国で活動を続けているそ

うです。

sakisakiさん

#12 大友皇子／太政大臣 2007/ 1/31 21:19 [No.14819 / 15916]

太政官における最高位の官職で、唐名は相国(しょうこく)、大丞相(だいじょうしょう)、太師。

特に職掌はなく、天子の師たりうる者が任ぜられたので、常設はされず、適任者がいる時のみ叙任されました。

藤原北家や平清盛など大物がずらりと並びますが、初代は天智天皇の皇子、大友皇子(後の弘文天皇)になります、現在は廃止されており、ちなみに最後の太政大臣は三条実美です。

ryoanpaku\_2007さん

#13 福沢諭吉／日本学士院 2007/ 2/ 1 0:19 [No.14820 / 15916]

日本学士院は、学術上功績著大な学者を優遇し学術の発達

に

寄与する事業を行う機関として明治12年1月に東京学士会院

をその前身として発足しました。初代院長は福沢諭吉が務め、以後西周、加藤弘之、長岡半太郎、南原繁、市古貞次等法学、

物理学、政治学、国文学などの大きな功績のあった学者が務めて

います。現院長は分子科学の長倉三郎氏である由。

主な事業は学術の各分野における優れた業績を顕彰する「恩賜

賞」等の授賞、研究誌の編集発行、講演活動といったところで

功成り名を遂げた学者の名誉職といった感もあります。定員は

150人とのことです。

sakisakiさん

#15 大江広元／鎌倉幕府政所別当 2007/ 2/ 1 0:57 [No.14821 / 15916]

1148-1225

鎌倉幕府の初代政所別当(長官)。はじめ政所の前身となる公文所の別当となり、名称が政所に改められてからも引き続き

別当を務めた。

守護・地頭の設置は広元の献策によるといわれる。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

#16 始皇帝／皇帝 2007/ 2/ 4 22:26 [No.14822 / 15916]

意外にもこの人物がまだですね。秦の始皇帝です。

皇帝に関しては、東アジアで使われていた秦の始皇帝を起源とするものと、ヨーロッパで使われていた古代ローマのインペラトル、カエサルを起源とするものがありますが、秦の

始皇帝に譲ってみました。

ryoanpaku\_2007さん

#17 安井誠一郎/東京都知事 2007/ 2/ 5 13:08 [No.14823 / 15916]

東京都知事、という肩書きを調べると、石原慎太郎知事も含めてたった歴代6人しかいないのにびっくり。ただ、東京市長時代までさかのぼるとたくさんいまして、初代の東京市長さんは「松井秀雄」という方でした。

クイズ パンチ de デートさん

#18 天野康景／江戸町奉行 2007/ 2/ 5 22:04 [ No.14824 / 15916 ]

江戸時代の東京都知事に相当するのが江戸町奉行でしょうか。

大岡越前や遠山の金さんが有名ですが初代は意外にも知名度の低い人です。

通称は又五郎。三郎兵衛。幼少期から徳川家康の小姓としてその側近くに仕え、家康が人質になったときにも行動を共にした。1563年の三河一向一揆でも功を挙げています。

1586年には甲賀忍者の統率を任され、2200貫の所領を与えられた。家康が関東に移ると、下総国内で3000石を与えられ、同時に江戸町奉行に任じられました。

北町奉行と南町奉行の輪番制ですが当初は一奉行制でした。ryoanpaku\_2007さん

#19 ヘンリー・フォード／フォード社 2007/ 2/ 5 23:36 [ No.14825 / 15916 ]

1863-1947

米国の自動車会社フォード・モーターの創設者。幼少時から機械

いじりが好きで発明王エジソンの設立した電灯会社のエンジニア

となってから内燃機関の開発を手がけ、自作四輪車の製作に成功、自動車会社を興すが、破産したり共同経営者から追放されるなど

の苦難を経て、1903年3回目の起業でフォード・モーター社を作り上げる。フォード社では流れ作業による大量生産の手法を採

用して車の販売価格を安く抑え、T型フォードの自動車を世界中

で売り上げた。現在も自動車企業としてGM、トヨタ、ルノー

に次ぐ販売規模を誇っている。

sakisakiさん

#20 ビル・ゲイツ／マイクロソフト社 2007/ 2/ 8 22:06 [ No.14826 / 15916 ]

1975年4月4日にビル・ゲイツとポール・アレンによってマイクロソフト社は設立されました。

ポール・アレンは現在退職しているためゲイツ個人での創業に思われますが実際は共同での創業です。

あえて説明は不要と思いますが、有名な話として世界中を飛び回っているが、飛行機に乗る時には必ずエコノミークラスを使用しているそうです。

まだV i s i t は手に入れてません。

ryoanpaku\_2007さん

**お題【総本山】** 2007/ 2/10 10:37 [ No.14827 / 15916 ]

まんまです。

「総本山」と呼ばれている場所、施設などを20挙げてください。

宗教以外も可。

#00 吉村家 家系といわれるラーメンはいくつも有りますが、ここが総本山を名乗っています。

<http://www.iekei.com/>

ホントかな？

桜ももぞうさん

#01 知恩院 2007/ 2/11 17:48 [ No.14828 / 15916 ]

浄土宗の総本山。

あと数年で法然上人の800回忌です。

よく除夜の鐘で出てくるように思います。

にざりいさん

#02 講道館 2007/ 2/11 17:52 [ No.14829 / 15916 ]

柔道の総本山です。

嘉納治五郎が1882年に創設しました。

にざりいさん

#03 聖護院門跡 2007/ 2/11 22:43 [ No.14830 / 15916 ]

本山修験宗総本山。

いわゆる山伏の総本山です。

聖護院八ツ橋や、京野菜の聖護院大根・聖護院かぶ・聖護院きゅうり発祥の地としても有名。

car\*era\*b\*anc\*さん

#04 バチカン 2007/ 2/11 22:48 [ No.14831 / 15916 ]

カソリックの総本山。

イタリアに囲まれた世界最小（人口・面積）の国。

car\*era\*b\*anc\*さん

#05 比叡山延暦寺 2007/ 2/12 8:07 [ No.14832 / 15916 ]

京都市と滋賀県大津市の境の名峰・比叡山の山頂に多くの伽藍を連ねる、伝教大師最澄が開いた天台宗の総本山で、平安時代後半には政治力を強め、僧兵を擁し南都北嶺の一角として白河上皇の三つの思い通りにならぬ物の一つとなり、また鎌倉時代には法然、栄西、道元、親鸞、日蓮といった鎌倉新仏教の開祖が軒並み修行を行った場ともなりました。その政治力は戦国時代に織田信長の焼き討ちで失われたものの、豊臣秀吉・徳川家康の時代に各僧坊は再建され現在に至っています。

六文銭さん

#06 高野山金剛峯寺 2007/ 2/13 22:23 [ No.14833 / 15916 ]

最澄とくれば空海も。

金剛峯寺（こんごうぶじ）は、和歌山県伊都郡高野町高野山にある、高野山真言宗総本山の寺院になります。

高野山は、和歌山県北部、周囲を 1,000 メートル級の高野山に囲まれた標高約 800 メートルの平坦地に位置し、百か寺以上の寺院が密集する、日本では他に例を見ない宗教都市となっています。

真言密教の聖地、また、弘法大師信仰の山として、21 世紀の今日も多く参詣者を集めています、また 2004 年には高野山やかつての表参道である高野山町石道（こうやさんちよういしみち）などが、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部として登録されました。

あのお坊さん、そんないっぱい食うかい（空海）。

失礼しました。

ryoanpaku\_2007 さん

#07 顕本法華宗 妙満寺 2007/ 2/14 13:02 [ No.14834 / 15916 ]

顕本法華宗の総本山というこのお寺、京都は北のほうにありまして、なんと見所は「安珍・清姫の鐘」があることです。秀吉の根来攻めの際、仙石氏が持ち帰ったものですが、災いをもたらすとのことで除霊？はしており安全だそうです。むしろお参りすると、芸達者になるとか。

クイズ パンチ de デートさん

#08 宇佐神宮 2007/ 2/14 13:08 [ No.14835 / 15916 ]

いわゆる八幡様、八幡宮の総本山。大分県にそれがあるとは、一般的にはあまり知られていないように思います。

クイズ パンチ de デートさん

番外 山本屋総本家 2007/ 2/14 13:09 [ No.14836 / 15916 ]

名古屋名物、味噌煮込みうどんといえばここ。残念なのは、総本山ではなく総本家を名乗っているところ。

クイズ パンチ de デートさん

#09 真言宗智山派 智積院 2007/ 2/18 20:54 [ No.14837 / 15916 ]

智積院（ちしゃくいん）は平安時代、弘法大師空海は中国から密教を伝え、真言宗を立教開宗し、後、約三百年を経て、興教大師覚鑿は高野山に大伝法院を建立して、真言宗を興隆、その後紀州に根来山を開創しました。

やがて、根来山は秀吉の焼打ちに遭い、智積院学頭職・玄宥僧正は、難を京都に避け、東山に智積院を再興しました。後に智積院を中心に活躍していた全国三千の寺院は真言宗智山派として結集し、智積院を総本山と決めました。

ryoanpaku\_2007 さん

#10 大石寺（たいせきじ） 2007/ 2/20 18:28 [ No.14838 / 15916 ]

富士宮にある日蓮正宗の総本山。

創価学会はその一組織として発展したものの、十年ほど前に宗門と対立して、大石寺に破門されました。

今では、大石寺直系の宗教組織もありますが、外観が創価学会の建物によく似ています。

永\_井 荷\_風さん

#11 万福寺 2007/ 2/20 18:34 [ No.14839 / 15916 ]

本来は臨済宗と同根ですが、明から渡来した隠元が黄檗宗という別の一派を立てて、宇治に黄檗山万福寺を本山とします。

永\_井 荷\_風さん

#12 天理市 2007/ 2/21 22:02 [ No.14840 / 15916 ]

天理教の総本山は奈良県天理市そのものになります、バチカンやメッカと同様に信者が天理に帰ることを「おちばがえり」と呼んでいます。

ryoanpaku\_2007 さん

#13 諏訪大社 2007/ 2/22 12:57 [ No.14841 / 15916 ]

諏訪神社の総本山で、全国にある「お諏訪さま」は 1 万にものぼるそうです。御柱祭も有名ですね。

クイズ パンチ de デートさん

#番外 砂防会館 2007/ 2/23 0:49 [ No.14842 / 15916 ]

東京都千代田区平河町にある社団法人全国治水砂防協会の本部のある建物です。

かつて田中角栄元総理の個人事務所が置かれ、ロッキード事件での

現金授受がここで行われたとされます。

自民党田中派の事務所も置かれ、田中派の総本山でした。

今は田中派も消滅したので番外です。

sakisaki さん

#14 岡山県浅口市／金光教 2007/ 2/23 21:43 [ No.14843 / 15916 ]

天理教と共に教派神道の一つに数えられる金光教の総本山は岡山県浅口市金光町にあります。

浅口市は浅口郡鴨方町・金光町・寄島町の 3 町が対等合併して発足した市で、

倉敷市と笠岡市に挟まれており倉敷市、広島県福山市のベッドタウンとなっています。

ryoanpaku\_2007 さん

#15 出雲大社 2007/ 2/25 20:30 [ No.14844 / 15916 ]

出雲大社は八百万の神々の総本山として知られ、全国でも有数の規模の神社であります。

拝殿には、なんと 1.5t もの巨大しめ縄があり、同社のシンボルにもなっています。

ryoanpaku\_2007 さん

#16 永平寺・総持寺 2007/ 2/25 22:52 [ No.14845 / 15916 ]

曹洞宗の総本山は平安末期に創建された越前の「能登の永平寺」ですが、

道元ははじめ京都の深草に僧坊を開くものの、他の宗派の迫害を受けて越前に移り、

鎌倉後期に内部対立で分派が能登に総持寺を開き、こちらの隆盛もあって本山争いが起こります。

結局、徳川家康の寺院法度で両山ツートップということが定められて、永平寺は「越本山」、

総持寺は「能本山」と呼ばれたそうですから、「能登の永平寺」という呼称は、なにかの勘違いから人口に膾炙されるようになったのかも知れません。

総持寺は明治期に全山焼失の大火災を起こし、その際に本山機能を能登から横浜の鶴見に移して再建しています。

永\_井\_荷\_風さん

#17 大宮氷川神社 2007/ 2/26 14:43 [ No.14846 / 15916 ]

氷川神社の総本山は埼玉県大宮にあり、また大宮の地名の由縁でもあります。武蔵の国の一宮で、やはり関東には氷川神社の分社が多いように感じます。

クイズ パンチ de デートさん

#18 太宰府天満宮 2007/ 3/ 1 21:31 [ No.14847 / 15916 ]

菅原道真を祭神として祀る天満宮の総本山ですね。

合格祈願に私も訪れました。

菅原道真が京都から大宰府（行政機関は「大」の字を書きます）に左遷されたとき、主を慕って飛んできたという飛梅があります。

「東風ふかば におひおこせよ 梅の花 あるじなしとて 春な忘れそ」

今年は暖冬で梅の開花も早そうです。

ryoanpaku\_2007 さん

#19 東寺（教王護国寺） 2007/ 3/ 4 21:53 [ No.14848 / 15916 ]

新幹線の京都駅からも見える「東寺」、正式には「教王護国寺」というそうです。

東寺真言宗・総本山となっています。

ryoanpaku\_2007 さん

#20 白雲観 2007/ 3/ 4 22:27 [ No.14849 / 15916 ]

北京にある全真教の道教寺院。全真教は12世紀に成立した

道教の一派ですが、現在は後漢末期に興った五斗米道を起源

と

する正一教と並ぶ存在で、正一教を南宗と呼ぶのに対して北宗

とも称される由。白雲観は北京の観光名所の一つで中国道教協

会の本部が置かれ、道教の総本山的存在であるそうです。

sakisaki さん

お題【 大名の名がついた言葉 】 2007/ 3/ 6 11:57 [ No.14850 / 15916 ]

守護大名でも戦国大名でも江戸期の大名でも構いません。

名詞とかを形容詞とか、地名などの固有名詞でも構いません、大名の苗字や名前がついた言葉を20件挙げてください。

永\_井\_荷\_風さん

#01 有楽町／織田有楽 2007/ 3/ 6 22:13 [ No.14851 / 15916 ]

織田信長の弟（年はだいぶ離れていますが）の織田有楽が江戸に屋敷を構えていたことから「有楽原」（うらくはら）、「有楽ヶ原」（うらくがはら）と呼ぶようになり、明治時代に「有楽町」という地名が名付けられたといわれています。

有楽は実際は大坂にいることが多く、かつては大坂にも有楽町が存在していたようです。

ryoanpaku\_2007 さん

#02 信玄堤／武田信玄 2007/ 3/ 7 6:21 [ No.14852 / 15916 ]

戦国時代、甲斐の大名であった武田信玄の築いた堤防です。信玄は、領地である甲斐が山岳地帯で新田開発の必要性和河川の氾濫

による洪水の防止という面から治水工事を領内で盛んに行いました。

山梨県内には「信玄堤」と称される堤防が複数存在する由。

sakisaki さん

#03 真田紐／真田昌幸・信繁（幸村） 2007/ 3/ 7 21:31 [ No.14853 / 15916 ]

縦糸と横糸を使い機で織った平たく狭い織物の紐です。

名前の由来は関ヶ原の合戦に敗れ、九度山に幽閉されてた戦国大名真田昌幸・信繁（幸村）親子が家臣と共に作製しことからといわれています。

家臣が堺の商人と共に全国に出向いて販売し各国の情勢と代金を持ち帰って次の戦に備えていたことは言うまでもありません。

ryoanpaku\_2007 さん

#04 色鍋島 2007/ 3/ 8 9:41 [ No.14854 / 15916 ]

<http://www.imariironabeshima.co.jp/>

鍋島家が伊万里大川内の窯元に焼かせた

日本の磁器の最高峰とも言われるものだそうです。

永\_井\_荷\_風さん

#05 伊達メガネ 2007/ 3/ 9 21:46 [ No.14855 / 15916 ]

伊達オトコ、伊達じゃない、とか言いますね。

おしゃれだとか、かっこつけ、って意味でしょう。

大河ドラマ「独眼流正宗」で伊達家の派手な戦さの装束を

「伊達者」ってやってました。

武将の個人名詞からきてると最初に知ったときは意外でした。

pip\*37\*さん

#06 池田山 2007/ 3/10 12:38 [ No.14856 / 15916 ]

東京のお屋敷町として知られる池田山は、

かつて岡山藩の下屋敷があったことでこう呼ばれます。

永\_井\_荷\_風さん

#07 浅井首 2007/ 3/10 16:57 [ No.14857 / 15916 ]

「あさいがくび」と呼ぶそうです。

人間の頭蓋骨で作る杯を髑髏盃といいますが、

尾張の「大うつけ」と呼ばれた方が妹の婿殿である浅井長政さんを攻め滅ぼしその首を杯にしたという伝承から鬮盃の異称となりました。俳句の世界では大杯のことを指すようです。  
sakisaki さん

#08 島津公 2007/ 3/10 21:11 [ No.14858 / 15916 ]  
以前も投稿した覚えがありますが、昭和初期の学生は薩摩芋を産地の領主の名に因んで「島津公」と呼んでいたそうです。  
sakisaki さん

番外 島津山 2007/ 3/10 22:59 [ No.14859 / 15916 ]  
超高級住宅街、清泉女子大所在地として有名な島津山は、島津家の屋敷があったことに由来します。  
が、、、  
ここに島津家が屋敷を構えたのは明治になったからのことで、すでに「大名」島津ではなく「公爵」島津になっていた、番外です。  
江戸時代は伊達家の下屋敷で、「袖ヶ崎」という地名だったとか。  
名前からすると相当近年まで、海に突き出す高台だったと思われる。  
桜ももぞうさん

御礼【総本山】 2007/ 3/10 23:08 [ No.14860 / 15916 ]  
ありがとうございました。  
このお題を思いついたのは  
<http://www.k-daihonzan.jp/html/01whats.html>  
↑こういうイベントがあると知ったからです。  
なかなか宗派の垣根を越えて面白いことをやってるんですね。  
この中のうち、回答に出て来たのは総持寺だけでしょうか？  
おつかれさまでした。  
桜ももぞうさん

#09 南部鉄器 2007/ 3/11 21:49 [ No.14861 / 15916 ]  
奥州藤原氏の時代から、現在の岩手県では鉄鉦が採掘され鉄器の生産が行われていた。  
「南部鉄器」は岩手県盛岡市および奥州市で生産される鉄器の総称であるが、大名の南部氏に直接関係しているのは盛岡産のものである。  
歴代藩主は全国各地から職人たちを招き、鉄器を藩の基幹産業へと育て上げていった。  
fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#10 遠州灯籠 2007/ 3/11 22:13 [ No.14862 / 15916 ]  
小堀遠州が考案したとされる石灯籠です。  
「遠州〇〇」という言葉の半分くらいは小堀遠州に由来し、後の半分が「遠江国」に関係しているようです。  
永\_井 荷\_風さん

#11 相馬盆歌 2007/ 3/11 22:20 [ No.14863 / 15916 ]  
福島県相馬地方の「相馬」というのは、もとは大名の名前で、相馬氏の本願地は下総国相馬郡で、平将門の子孫です。  
殿様を敬愛するあまり、明治になって郡の合併で相馬郡が成立し、後に相馬市のほか、南相馬市というのもできました。  
永\_井 荷\_風さん

#11 内藤新宿 2007/ 3/11 22:33 [ No.14864 / 15916 ]  
甲州道中の起点、江戸日本橋をでて最初の宿場は高井戸でしたが、距離がありすぎるということで中間に新たに設けられた宿場が「内藤新宿」、名前の由来は高遠内藤家の中屋敷のそばに設けられた新たな宿場ということからです。  
明治維新後、東京府豊玉郡内藤新宿町というのが実在しましたが、現在はありませんが、新宿区内藤町という地名は残っています。  
ryoanpaku\_2007 さん

#13 大関横丁 2007/ 3/12 10:02 [ No.14865 / 15916 ]  
日光街道（国道4号）と明治通りの交差点。むかし、大関

氏の大名屋敷があった名残で、いまでも地名として残っています。  
大関氏はいまの栃木県の小大名で、那須氏の家臣として、また離反して佐竹氏と結んだりして戦国時代を生き延びました。  
クイズ パンチ de デートさん

#14 信玄餅 2007/ 3/12 10:05 [ No.14866 / 15916 ]  
山梨を代表するお菓子、土産物。  
私の知る限りでは、羽二重餅にきなこ、黒蜜をかけていただくもの。  
大名じゃないけど、「勘助だんご」という銘菓もあります。  
クイズ パンチ de デートさん

番外 道灌山 2007/ 3/13 13:02 [ No.14867 / 15916 ]  
日暮里の開成中学なんかがある山です。  
大田道灌は「大名」と呼べるのかな？  
永\_井 荷\_風さん

#15 織部焼 2007/ 3/13 14:59 [ No.14868 / 15916 ]  
千利休の弟子にして、茶の湯の名人で戦国武将だった古田織部にちなんだ焼き物。いまでもよく見かけるもので、黒い釉薬か緑色の釉薬がちょこっと施されていると、だいたい織部焼だとわかります。織部本人が活躍していたときは、わざと割った茶碗をつぎはぎして新しい茶碗をつくったり、ぐにやりと曲がった、左右非対称の茶碗を創作したりと、かなり自由な発想で周囲を驚かしていたようです。  
古田織部本人は、大阪夏の陣で豊臣方滅亡の際、謀反の疑いで切腹を命じられています。  
クイズ パンチ de デートさん

番外 今川焼き 2007/ 3/15 21:08 [ No.14869 / 15916 ]  
小麦粉・卵・砂糖を水で溶いてつくった生地を円形のくぼみのある鉄製の焼き型に流し込んで餡（小豆あんが多いが、白あんやカスタードクリームなどのものもある）をのせ、その上にさらに生地を流し入れるか、別の型で焼いておいた同型

の生地をのせて、高さの低い円筒形に焼いたものです。

大判焼きなどとも呼ばれます。

名前の謂れは、江戸時代末期に江戸の神田今川橋近くの店から売り出されたためにこの名がついたようで、戦国大名の今川氏とは無関係であります。

ryoanpaku\_2007 さん

# 16 黒田節 2007/ 3/15 21:11 [ No.14870 / 15916 ]

福岡藩の武士たちに歌われていたものが全国に広まり、黒田氏の武将母里太兵衛が福島正則邸で歌った事でも知られています。

酒豪で知られる黒田氏の武士に殿様が酒を勧め、見事飲み干してしまい。褒美に殿様自慢の槍を貰うという逸話に基づいています。

ryoanpaku\_2007 さん

# 17 小笠原流 2007/ 3/17 18:57 [ No.14871 / 15916 ]

一般的には武家の礼法として知られています。

室町時代の守護大名であった小笠原長秀が足利義満の時に定めたものとされます。

以後武家礼式の太宗として室町・江戸幕府、諸侯は此れに従い、明治以降は学校教育に取り入れられ、婦人の礼式として用いられるようになりました。

堅苦しい礼儀作法の代名詞としても使われました

が、これも今では死語かな・・・

sakisaki さん

# 18 掃部山公園 2007/ 3/18 21:49 [ No.14872 / 15916 ]

織田有楽・武田信玄・古田織部など、名前ではなく号や官名ですので掃部山公園も出します。

J R 桜木町駅を野毛方面へ出て北西に進み、紅葉坂を登って神奈川県文化センターの脇に入っていったところに掃部山公園があります。

この掃部山公園は彦根藩 1 3 代藩主・井伊掃部頭直弼を称え彦根藩士たちが土地を買い取り掃部山となすけたことに由

来します。

井伊直弼は安政の大獄などで評価が分かれるところでしょうが、今では横浜開港の功労者ということになっています。ryoanpaku\_2007 さん

# 19 備前前堀川 2007/ 3/19 20:06 [ No.14873 / 15916 ]

埼玉県北部には伊奈備前守が開いたとされる「備前堀」というのが縦横に流れ、現代の水系にも備前堀川とか備前前堀川とか備前渠川とかいうのがあるそうです。

永\_井 荷\_風さん

# 20 清正公 2007/ 3/20 15:29 [ No.14874 / 15916 ]

「せいしょうこう」と読み、加藤清正を祭る祠を意味します。東京の白金にあるのが有名です。

永\_井 荷\_風さん

「大名の名のついた言葉」御礼 2007/ 3/20 15:34 [ No.14875 / 15916 ]

なんとか2 0 件到達できました。

回答ありがとうございます。

どなたか次のお題を。

永\_井 荷\_風さん

「宮内庁御用達」 2 0 2007/ 3/20 21:40 [ No.14876 / 15916 ]

最近海外の日本食レストランに「お墨付き」をあげようとする農林大臣がいて、いかにもお役所的発想だなあ、と時代錯誤感に陥ってしまいましたが、反面、いまはなき「宮内庁御用達」制度をいまも看板にしている老舗、製品もいまだに見受けられます。古くから出入りしてる業者は黙認されてるようですが・・・そんな彼らを列挙いたしましょう。

：鰻屋さん 上野の伊豆栄 上野じゃおいしい鰻やさんで、店も古いんですが、やはりというか、宮内庁御用達でした。

クイズ パンチ de デートさん

# 01 文明堂のカステラ 2007/ 3/20 22:13 [ No.14877 / 15916 ]

♪カステラ一番 電話は二番

のCMでお馴染みの文明堂のカステラも「宮内庁御用達」となっています。

文明堂は1社ではなく、長崎には文明堂合資会社から改称した株式会社文明堂総本店、神戸には株式会社文明堂神戸店、浜松には株式会社浜松文明堂、横浜には株式会社文明堂、日本橋には株式会社文明堂日本橋店、銀座には株式会社文明堂銀座店、新宿には株式会社文明堂新宿店と、それぞれ別の会社である文明堂が存在しています。

宮内庁御用達は日本橋文明堂になります。

いけね、# 02 のほうがよかったかな。

ryoanpaku\_2007 さん

# 02 トヨタ自動車 2007/ 3/21 13:18 [ No.14878 / 15916 ]

おそらく五十年位前に、天皇陛下のお召車がプリンス自動車に

発注され、以来プリンスロイヤルが使われていましたが、数年前に更新された際にはトヨタ自動車に発注されました。永\_井 荷\_風さん

# 03 鶴喜 2007/ 3/22 12:15 [ No.14879 / 15916 ]

近江坂本のそば屋鶴喜は、もとは比叡山御用達でしたが、大正天皇が行幸の途中で立ち寄って気に入り、昭和天皇の代までは皇室の年越しそばは鶴喜に届けさせていたと言われます。

ここでお土産に買ったゆず七味が結構良かった。

永\_井 荷\_風さん

# 04 虎屋の羊羹 2007/ 3/22 22:40 [ No.14880 / 15916 ]

宮内庁御用達（実際は存在しません）というとすぐに思い浮かぶのが「虎屋の羊羹」創業当初の後陽成天皇に献上したのが最初だとか。

虎屋を一躍有名にしたのは実際はTVコマーシャルで、コマーシャル以前は二流の和菓子屋だったということを知ったことでもあります。

ryoanpaku\_2007 さん

#05 山本海苔 2007/3/26 19:42 [No.14881 / 15916]

よく混同されますが「山本山」とは違います。

明治天皇が京都へ行幸の際献上したのが最初だそうで、初めて焼き海苔に味付けをすることを考案したのが山本海苔だそうです。

ryoanpaku\_2007 さん

#06 にんべん 2007/3/26 22:44 [No.14882 / 15916]

山本海苔と並んで、魚河岸の町日本橋を代表する江戸の老舗で、明治以降はいちおう皇室御用達だそうです。

創業は元禄だそうで、世界で最初に商品券を発行したお店かも知れないとのこと。

伊勢屋伊兵衛という屋号であったため、いつしか「にんべん」と呼ばれるようになり、それを商標にしたとか。

江戸っ子は昔からブランド物好きなので、こういう老舗はたくさんあるようです。

永\_井\_荷\_風さん

#07 清水建設 2007/3/27 5:49 [No.14883 / 15916]

1968年皇居新宮殿（長和殿）を建設しています。

sakisaki さん

#08 愛国製茶 2007/3/27 12:50 [No.14884 / 15916]

高田馬場にあるお茶屋さん。名前からして宮内庁御用達という雰囲気ですね。

クイズ パンチ de デートさん

#09 月桂冠 2007/3/28 23:23 [No.14885 / 15916]

伏見の月桂冠も明治天皇に献上しております。

鳥羽・伏見の戦いでは、酒蔵などが被害を受けるものの、本

宅が被害を受けずに済み、廃業を免れたという歴史的な経緯もあります。

ryoanpaku\_2007 さん

#10 木村屋総本店 2007/4/1 6:05 [No.14886 / 15916]

アンパンを考案したパン屋として有名ですが、アンパン普及の

きっかけは明治天皇へのアンパン献上に始まるという。

明治2年木村安兵衛はパン食を日本人の食習慣になじませるのに

和菓子に使う餡をパンに仕込むというアイデアを思いつき、明治

8年に日本酒の醗酵源をパン生地に使用したアンパンを完成させ、

剣友の山岡鉄舟に食べさせ批評を請うと、この味を激賞し自分が

天皇にお薦めするからそれまで販売を待てと申し渡し、天皇が水戸

家下屋敷の花見に行幸あった際、お菓子として献上され、いたく

お気に入られた天皇のお声かかりでアンパンは宮中入りした由。

sakisaki さん

#11 風月堂 2007/4/1 21:03 [No.14887 / 15916]

風月堂の菓子も明治30年に宮内庁御用達となっております。

ちなみに創業は宝暦年間で、寛政年間には老中松平定信より「御定用・御菓子調進」を命じられてもいます。

ryoanpaku\_2007 さん

#12 鳩居堂 2007/4/2 22:14 [No.14888 / 15916]

源頼朝の家臣熊谷直実が、軍功により源頼朝から「向かい鳩」の家紋を賜り、のち熊谷家の20代目が京都寺町の本能寺門前にて、薬種商「鳩居堂」をオープンしたのが始まりおされています。

京都寺町の本能寺門前が今の店舗です。

頼山陽が、筆や墨の改良を指導したりもしています、1891年宮内省御用達制度で認定されています。

ryoanpaku\_2007 さん

#13 コンビ/チャイルドシート 2007/4/3 13:48

[No.14889 / 15916]

新しい分野の宮内庁御用達と思われます。愛子様のチャイルドシートはコンビ製の由。まあ、コンビ社は「宮内庁御用達」と名乗らないでしょうけど、採用されているので御用達は御用達でいいと思われます。

クイズ パンチ de デートさん

#番外 東京電力 2007/4/4 0:17 [No.14890 / 15916]

宮内庁にも皇居にも電気を供給していると思いますが、案外自家発電だったりして。

というわけで番外です（弱気・・・）。

sakisaki さん

#14 伊勢藤商店 2007/4/4 1:32 [No.14891 / 15916]

京都の老舗で、和紙を卸していた伊勢藤商店。

今は株式会社イセトーになってます。

今や航空チケット製造の認定メーカーにも。

klb\*\*30 さん

#15 シュタイフ/ぬいぐるみ 2007/4/4 17:54

[No.14892 / 15916]

なんでもドイツのシュタイフ社のぬいぐるみは、愛子さまのお気に入りだそうです。

永\_井\_荷\_風さん

#16 キッコーマン/醤油 2007/4/4 17:55 [No.14893 /

15916]

皇室の御用を務める醤油屋はいくつもあるそうですが、日本の醤油の代表であるキッコーマンもそのひとつです。皇后陛下が時々実家に帰って、親類からどっさり



醤油を分けてもらってくるわけではないようです。

永\_井\_荷\_風さん

#17 J R東日本 2007/ 4/ 4 22:57 [ No.14894 / 15916 ]

J R原宿駅の近くにお召し列車の発着に使われる「宮廷ホーム」があります。

病弱であった大正天皇が静養に出発する専用の目的で建設され、敷地は、財務省と東日本旅客鉄道（J R東日本）が、共同で所有しています。

なお、本乗降場を利用できるのは天皇だけで、他の皇族は単独での利用は出来きず、天皇の随行時のみ、他の皇族が利用できます。

最近是那須の御用邸など東京駅から新幹線を利用することがおおく、このホームあまり利用されません。

ryoanpaku\_2007 さん

#18 前原光栄商店 2007/ 4/ 7 22:03 [ No.14895 / 15916 ]

昭和23年創業の洋傘店。皇后陛下が使用するパラソルの柄を製造した事が契機になって以来公式行事に使用する傘の

注文を受けるようになったそうです。現在の店主は3代目で欧米でもその技術は高い評価を受けている由。

sakisaki さん

#19 紀文食品 2007/ 4/ 8 21:51 [ No.14896 / 15916 ]

相撲の呼び出しなどの背中に書かれている「紀文」も宮内庁御用達を名乗っているようです。

始まりは昭和34年、現在の天皇・皇后両陛下の御成婚の際に引き出物として納入したのが始まりだそうです。

ryoanpaku\_2007 さん

#20 たぬき煎餅 2007/ 4/ 9 17:35 [ No.14897 / 15916 ]

ここでは何度か買ったことがあります。

昭和初期に柳橋で始めた煎餅屋だそうで、戦災で麻布十番に移って暖簾を守っているそうです。

永\_井\_荷\_風さん

お題【 諸家通字式拾選 其貳 】 2007/ 4/ 9 18:56 [ No.14898 / 15916 ]

大昔、「諸家通字式拾選」というお題が有りましたが、<http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=GN&action=l&board=1835208&tid=nr>

bbkbb3bcjc0fea52a1aa5e0&sid=1835208&mid=5553

そのパートIIを行ってみたいと思います。

諸家の代々の諱に共通して使われる「通字」を、前回挙げられたものの他に、二十家挙げてください。

今回は、少しルールを緩和して、二代以上が共通の字を使えばOKとしますが、日本人以外は番外でお願いします。前回挙げられたのは、回答例も含めて以下の通りです。

天皇家の「仁」

清和源氏の「義」

千葉氏の「胤」

秋月氏の「種」

武田家の「信」

小田原北条氏の「氏」

彦根井伊家の「直」

前田家の「利」

平家の「盛」

北条氏の「時」

徳川宗家の「家」

島津宗家の「久」

奥州伊達家の「宗」

足利（古河公方）家の「氏」

西園寺氏の「公」

肥後菊池氏の「武」

会津松平家「容」

保科氏の「正」

鳥居家の「忠」

徳川慶喜家の「慶」

酒井家の「忠」

番外 高村家の「光」

父親 : 高村光雲

二代目：高村光太郎

「光太郎」は諱の形ではないので番外で。

永\_井\_荷\_風さん

#01 豊臣家の「秀」 2007/ 4/ 9 21:01 [ No.14899 / 15916 ]

豊臣秀吉とその子、豊臣秀頼の2代限りでした。

豊臣は本姓であって、羽柴家というのが正しいのかも知れませんが、秀頼が秀吉の必死かどうかは疑わしいですが。

ryoanpaku\_2007 さん

#02 京極家の「高」 2007/ 4/ 9 23:11 [ No.14900 / 15916 ]

京極家の中興の祖とされる京極高氏（佐々木道誉）の「高」は鎌倉幕府の執権北条高時から賜ったものであるが、高氏以後丸亀藩主家までの歴代当主のほとんどは諱に「高」の字を使っている。

高時の偏諱であったはずの「高」の字が、いつの間にか通字になってしまったようだ。

「死せる高時、生ける京極を走らす」と言っでは言い過ぎか。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#03 備前池田家の「政」 2007/ 4/ 9 23:40 [ No.14901 / 15916 ]

輝政が偉かったのか、光政が頑張ったからか、ともあれ、要所を抑え、幕府との関係もおおむね良好であったようで、

名前だけで時代が簡単に推定できるラインナップです。

池田家 徳川家

家光

光政

家綱

綱吉

綱政

家宣

家継

継政

吉宗

宗政

家重

家治

治政

家斉

斉政

斉敏

家慶

慶政

家定

家茂

茂政

永\_井\_荷\_風さん

#04 林家の「広」 2007/ 4/10 0:44 [ No.14902 / 15916 ]

天王寺の楽家（雅楽演奏家の家）の一つだった林家。

代々「広」の字を名に付けていました。

天王寺の楽人たちが祖と仰ぐ秦河勝広隆の「広」が元で、林姓を名乗った広隆の三男以来、全員「広」の字がつきます。主な人物としては、応仁の乱後の朝廷の楽人の穴を埋める形で登用された林広康。

また、林広国の代には徳川幕府から知行を配するようになります。

維新後東上した面々の中には林広季や林広弼、林広海、林広守といった名が見えます。林広守というのは、現行の国歌である「君が代」の撰譜した人物です。

昭和期には、林広一・広二兄弟や、林広太郎といった名まで見え、とにかく「広」の字だけは外せないといった感じです。もちろんこの林家には現在も宮内省の楽部で活躍されている方もおられます。

klb\*\*30 さん

#05 太田家の「資」 2007/ 4/10 12:39 [ No.14903 / 15916 ]

資清一資長一資康・・・資長は太田道灌のこと。佐竹氏の客将になった資正など、資が通字になってます。

クイズ パンチ de デートさん

番外 北朝鮮金家の「日」 2007/ 4/10 20:54 [ No.14904 / 15916 ]

「金日成」の息子が「金正日」と「日」を受け継いでいて、確か金正日の弟で「金日平」というのもいたと思います。金正日の息子の方は「金正男」、「金正哲」と、今度は「正」の字を与えているので、金正男の息子は「金〇男」、金正哲の息子は「金〇哲」の形になりそうです。

永\_井\_荷\_風さん

#06 藤堂家の「高」 2007/ 4/10 23:44 [ No.14905 / 15916 ]

世渡り上手で有名な藤堂高虎を藩祖とする伊勢津藩 32 万石の藤堂家ですが、外様の大藩であるにもかかわらず歴代藩主は将軍家からの偏諱を受けず「高」を通字としてきました。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#07 遠山家の「景」 2007/ 4/11 17:17 [ No.14906 / 15916 ]

遠山の金さんで知られる旗本の遠山家は、明智光秀とも関係がある一族らしく、明知遠山氏とも呼ばれるとか。

遠山景元など、「景」の字を通字としています。

※初代景重以来

昔、遠山景織子という女優がいましたが、いつだったかインタビュー記事の中で「遠山景織子」というのは本名で、通字として「景」がついている、と答えていたのをみました。彼女もどこぞの遠山家の一門らしく（金さんのところではなとか）親類ほとんど「景」がついているとか。

女性にまで通字、と聞いて

「えー————？？？」

と思った記憶があります。

桜ももぞうさん

#08 桑山家の「一」 2007/ 4/11 19:46 [ No.14908 / 15916 ]

大和国新庄藩の開祖桑山家の当主には代々「一」の字が。初代の桑山一晴をはじめ、一直、一玄、一尹と4代続きましたが、天和2年（1682）由あって除封されました。しかしこのネタ武家系統ばかりでしょーもねーな。

paradigm\_html さん

#09 山内家の「豊」 2007/ 4/11 19:54 [ No.14909 / 15916 ]

山内一豊を藩祖とする土佐藩山内家の通字は「豊」。ただし一豊の養嗣子は将軍秀忠から偏諱を受けて忠義と名乗っており歴代藩主でただ一人「豊」の字が入っていない。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#10 村上源氏の「具」 2007/ 4/11 22:08 [ No.14910 / 15916 ]

武家系統ばかりという意見もあったので公家系統も。北畠や岩倉などの村上源氏には「具」の通字が使われ、もとは村上源氏の祖である具平親王に由来すると聞きます。加山雄三さんの母親の小桜葉子のメイドンネームは「岩倉具子」で、確か岩倉具視の孫に当たります。

「女性にも通字」の面白い例です。

永\_井\_荷\_風さん

#11 今川家の「氏」 2007/ 4/11 22:29 [ No.14911 / 15916 ]

大江戸線であげた、今川義元（9代）には「氏」はつきませんが、父の氏親（7代）、兄の氏輝（8代）、そして息子の氏真（10代）に「氏」がつきます。義元自身は仏門に入っていました、兄が急逝したため、還俗したという経緯があります。

ryozanpaku\_2007 さん

#12 江川家の「英」 2007/ 4/12 16:04 [ No.14912 / 15916 ]

伊豆菰山の代官江川家は六孫王の系統を引くれっきとした清和源氏だそうで、秀吉の小田原攻めで、後北條氏から家康に寝返り、菰山代官の座をゲットします。

「大江戸『静岡』」でも出た江川英龍が有名ですが、代々太郎左衛門を通称としたので、誰が誰という区別をしないところも江川家の特徴かもしれません。

永\_井\_荷\_風さん

# 13 大久保家の「忠」 2007/ 4/12 19:15 [ No.14913 / 15916 ]

「忠」を通字にしている家は数多い。小田原藩大久保家もその一つに数えられる。

将軍秀忠の宰相であった大久保忠隣は疑獄事件に巻き込まれて失脚したが、嫡孫忠職（ただもと）の代に赦免されお家は再興された。そして忠職の養嗣子忠朝は稲葉家の移封に伴い旧領の小田原に復帰し老中に就任した。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

# 14 永山家の「武」 2007/ 4/13 13:08 [ No.14914 / 15916 ]

ちょっと弱ければ、番外でお願いします。

昨年末に亡くなった、松竹会長・永山武臣氏の家です。

武臣氏の祖父は、永山武四郎。

北海道の開拓に携わり、第2代北海道庁長官を務めた人物です。

武四郎の長男が武敏。 武敏の四男が武臣です。

にぎりいさん

# 15 真田家の「幸」 2007/ 4/14 6:45 [ No.14915 / 15916 ]

信濃の国の現上田市の北部、真田郷を領したのを発祥とする戦国武将・真田氏は、武田氏の二十四将の一人として活躍した初代・幸隆を初めとして、その三男で家督を継いだ昌幸、その嫡男で、信州松代藩の初代藩主となった信幸（後に信之と改める）、その弟幸村（といっても本来の名は「信繁」で、幸村の名は後に小説・講談等で広まったもの）と「幸」の通字を名乗り続け、以降の松代藩主代々についても、一部間隔があいていますが、三代幸道、六代幸弘、七代幸専と通字を名乗り続け、明治維新を迎えた最後の十代藩主が幸民となっています。

六文銭さん

# 16 細川家の「護」 2007/ 4/14 7:20 [ No.14916 /

15916 ]

江戸時代に九州熊本藩の藩主を務めた細川氏の、明治維新を迎えた最期の藩主が細川護久で、以降この家では護立、護貞と代々「護」の字を通字として名乗り続け、護貞の子が1993年に8党連立政権の首相となり、支持率は抜群でしたが首相としては短命だった細川護熙となっています。

六文銭さん

番外 南朝の「良」 2007/ 4/14 18:05 [ No.14917 / 15916 ]

「太平記」の南朝方に「護良・もりよし」という皇子が出てきまして

この兄弟たちが「良」とついています。2代続いているという確認が

出来ないのが番外。

この頃から「仁」（北朝方）が続いてると知ったときは凄いなあ、と思った。

pip\*37\*さん

# 17 堀田家の「正」 2007/ 4/14 23:14 [ No.14918 / 15916 ]

堀田正盛が春日局との縁から将軍家光の信頼を得て大名となって以来、堀田家は幕政の表舞台に度々登場している。正盛の嫡男正信は改易され堀田宗家は衰退した（後に正信の嫡男正休が1万石の大名として復帰）。しかし別家を立てていた正信の弟・正俊は大老にまで昇りつめ、宗家にとって代わるような形で有力大名にのし上がっていった。

堀田宗家正信流、そして別家正俊流はともに「正」を通字としている。

正俊の末裔にあたる幕末期の佐倉藩主・堀田正睦は蘭学を奨励し佐倉に順天堂（順天堂大学の前身）を創設。蘭学の見識を買われて老中に再任され、外交問題に奔走した。正睦の行動の軌跡は佐藤雅美の大長編「開国～愚直の宰相・堀田正睦～」に詳しく描かれている。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

番外 有栖川宮家 2007/ 4/15 0:57 [ No.14919 / 15916 ]

少し前、偽皇族だの詐欺だので話題になった有栖川宮家。

今回話題にするのはもちろん本物の方で…

元は近世の霊元天皇の皇子からはじまった有栖川宮家（後西天皇系もあるけど）。

職仁親王に始まり、織仁親王、韶仁親王、幟仁親王、熾仁親王と続きます。

天皇家の「仁」がつくのはもちろんですが、一部例外はあるものの、基本的に一字目のつくりが統一されています。

そういえば偽宮様もこんな名前だったような…

天皇家の「仁」が第1回で既出なので番外とさせていただきます。

klb\*\*30 さん

# 18 伊東家の「祐」 2007/ 4/15 15:07 [ No.14920 / 15916 ]

曾我兄弟の仇討ちの登場人物は、伊東祐親、河津三郎祐泰、曾我十郎祐成、工藤祐経と、「祐（すけ）」がつきます。

伊東家を継いだのは仇討ちで殺された工藤祐経の息子で、日向地頭の地位を与えられて移り、戦国大名として強大な島津と渡り合いながら版図を拡大し、一度は領地を失うものの、

秀吉の家来となって巻き返し、関が原では東軍についたので、日向飢肥五万石あまりを安堵されています。

永\_井\_荷\_風さん

# 19 大給松平家の「乗」 2007/ 4/15 20:16 [ No.14922 / 15916 ]

大給（おぎゅう）松平家は「十八松平」とよばれる松平家の庶流の一つ。戦国末期に徳川家康に従って功を挙げ、幕藩体制の発足と同時に大名となった。

大給松平家宗家からは老中が5人出ている。中でも有名なのは享保の改革の中心人物であった乗邑（のりさと）である。乗邑は行財政改革に辣腕を振る改革を成功に導いた。しかし将軍吉宗の後継に二男の田安宗武を推したため将軍世子家重の怒りを買う。家重の將軍就任と同時に老中職を罷免され強制的に隠居させられた。

大給松平家宗家系譜（諱の前の・は老中を示す）

家乗一・乗寿一乗久一乗春一・乗邑一乗祐一・乗完一・乗寛一・乗全＝乗秩

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

番外 江川家の「麻雀」 2007/ 4/15 20:43 [ No.14923 / 15916 ]

元巨人軍の投手で現在は評論家として活躍の江川卓氏、卓は「すぐる」と読みます。

一説にはこの名前、麻雀好きの父、二美男（ふみお）氏が麻雀をしている最中に産まれたため、麻雀卓より卓（すぐる）となぜけたとか。

ちなみに卓氏の弟は中（あたる）氏です。

父親がタンヤオで長男が麻雀卓で弟は中牌ですね。

水島新司原作の野球漫画『ドカベン』の登場人物で栃木県の「江川学院」の投手に「中二美夫（あたる・ふみお）」という人物が登場しますが、江川一家の名前をもじったものです。なお、ロシア文学者に江川卓（えがわ・たく）という人物がいて、NHKのロシア語講座などにも出演していました。

時折書店で

『罪と罰』著者：ドストエフスキー／翻訳：江川卓

などというのを見かけることがあり、「あの江川がロシア語の翻訳を？」と思った方もいるのでは。

ryoanpaku\_2007 さん

#20 柳生家の「厳」と「宗」 2007/ 4/16 12:16 [ No.14924 / 15916 ]

古くから大和地方の豪族だったらしい柳生家が、天下に知られるようになるのは、剣豪柳生石舟斎が登場してから。

徳川家に使えた石舟斎は、五男宗矩を将軍家剣術指南役として送り込みます。

やがて剣術のみならず、大目付として秘密警察を取り仕切るようになった柳生宗矩は大和柳生の荘で一萬石を得て大名待遇となる。

この、宗矩の家は宗冬、宗春、宗在と続きます。

政治家柳生家は「宗」を通字とします。

一方、石舟斎は、嫡孫利厳（柳生兵庫として知られる）を、

尾張徳川家の剣術指南として送り込みます。

こちらは、柳生新影流の宗家＝剣術家柳生家の嫡流として、厳包、厳延、と続きます。

通字は「厳」ですね。

こうして、きれいにまっぷたつに分かれた柳生家。

それぞれの家の通字は、柳生石舟斎宗厳より一字ずつ受け継いだものであるのはいうまでもありません。

桜ももぞうさん

番外 新島家の「麻雀」 2007/ 4/17 22:24 [ No.14925 / 15916 ]

同志社大学の創始者、新島襄は本名を「七五三太（しめた）」といいます、これは彼の父がようやく望んだ男子が誕生し「しめた！」と喜び「七五三太（しめた）」となぜけたそうです。

ちなみに「襄」はアメリカでの愛称だったそうです。

新島の妻は八重（やえ）といいます、彼の子に「九」がつけば、全帯（チャンタ）が完成するのですが…

現在調査中です。

ryoanpaku\_2007 さん

#21 土井家の「利」 2007/ 4/19 0:14 [ No.14926 / 15916 ]

徳川家康の落胤と噂される土井利勝は将軍秀忠の側近として政治面で頭角を現していく。将軍家光の時代に参勤交代や鎖国政策などを実施させ幕政のシステムを確立した稀代の政治家として高く評価される。

土井宗家は第4代利久の早世によって一旦断絶となったが、分家していた兄の利益が将軍家綱の命によって跡目相続を許され7万石の大名として復帰した。歴代当主は一貫して諱に「利」の字を使用している。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#22 長宗我部家の「親」 2007/ 4/22 0:29 [ No.14927 / 15916 ]

元親の祖父・兼序の代までは「親」は通字ではなかったが、父国親以後の当主は国親、元親、盛親と諱に「親」の字がつ

いている。そして元親の弟たち（親貞、親泰、親益）や盛親以外の子息（信親、親和、親忠）にも「親」の字がついている。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

お題【武田信玄を取り巻く男と女】 2007/ 4/22 20:35 [ No.14928 / 15916 ]

お題が出ないようなので、軽くいきましょうか。

NHK大河ドラマは「風林火山」、武田信玄ネタは数多くありましたが、今回は信玄を取り巻く、人物に目を当ててみようと思います。

信玄と関係した、人物であるなら親兄弟や妻子、家臣その他、誰でも結構ですので20人を挙げてください。

ryoanpaku\_2007 さん

#01 山本勘助 2007/ 4/22 20:39 [ No.14929 / 15916 ]

大河ドラマ「風林火山」の主役は信玄ではなく山本勘助で勘介とも。

武田二十四将の一人で、武田の五名臣の一人にも数えられています。

武田信玄の伝説的軍師として講談などで有名であるが、実在が確認されたのは最近のことで、近年の研究によると実際は武田軍の伝令将校とも言われています。

ryoanpaku\_2007 さん

#番外 三橋美智也 2007/ 4/22 23:52 [ No.14930 / 15916 ] 1930-1996

演歌、民謡歌手。武田信玄とその軍団を歌う「武田節」を1961年に

発売、150万枚のミリオンセラーとなります。二番の歌詞にある

「人は石垣、人は城、情けは味方、仇は敵」というフレーズは

特に有名で、間に「風林火山」の詩吟も入るという内容です。  
今年の紅白で誰か歌ったりして・・・  
sakisaki さん

#02 畠山義統 2007/ 4/23 21:35 [ No.14931 / 15916 ]  
武田信玄と直接は関係ないのですが、長谷川等伯の「高野山成慶院蔵」に描かれている肖像画、長く武田信玄といわれていましたが、最近では能登の戦国大名、畠山義統といわれています。そのため肖像画は「伝武田信玄」とされることが多いです。

その根拠は  
1.39歳で出家し剃髪したにも関わらず、後鬢が残されている。  
2.服や刀の家紋が武田花菱紋でなく、二引両紋(足利・畠山)である。  
3.持病の労咳や癌で死んだとされる割には、身体がふっくらしている。  
4.後方に飛んでいる鳥は、能登の鳥である。  
5.絵師は能登出身の長谷川等伯であることは間違いないが、この時期能登から出た形跡が無いこと。  
などである、「伝源頼朝像」もそうですが、信玄と思いついでいただけに「今更言われても」という気がしてきます。  
ryoanpaku\_2007 さん

#03 諏訪御料人 2007/ 4/24 23:14 [ No.14932 / 15916 ]  
信玄に滅ぼされた諏訪頼重の娘で、信玄の側室となり勝頼を生む。小説における仮名は、新田次郎「武田信玄」では湖衣姫、井上靖「風林火山」では由布姫となっている。  
諏訪家の名目上の当主となった幼い勝頼とともに諏訪の地で暮らしていたが、勝頼が成人する前に亡くなった。  
fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#04 孫子 2007/ 4/25 0:19 [ No.14933 / 15916 ]  
中国春秋時代の呉に仕えた将軍。  
信玄の旗にある「風林火山」の語の出典である『孫子』を著し、  
戦争における用兵の術を理論化して著述した最初の人と

いう。  
春秋時代においては、貴族が平原に馬に引かせた戦車を連ねて戦う  
スタイルが一般的でしたが、後進国で湿地帯の多い呉では、身分に  
関係なく庶民が戦争に参加し、湿地帯では足かせになるだけの戦車  
を重視せず、歩兵を軍の主力にしました。歩兵は戦車に比べて地形  
から受ける制約が小さく、どんな土地にも進行することができ、  
兵を様々な形で離合集散させることで戦車戦よりも遥かに複雑な  
戦術の組み立てが可能になり、庶民が戦争に参加する事でこれまで  
にない大兵力を戦場に投入する事ができるようになったのです。  
このように軍事の一大変革をもたらした孫子でしたが、日本に  
おける受容度はさほど高くなく、孫子の語を旗に書き付けた  
信玄ですら『甲陽軍鑑』に中国の兵学をそのまま日本での戦闘  
に用いる事は難しいという認識を示す語を遺しており、軍師である  
山本勘助も同書で同様の趣旨の発言をしているところからすると、  
武田家における『孫子』の受容度は必ずしも高くないというのが  
実情のようです。  
sakisaki さん

番外 武田信吉 2007/ 4/25 21:13 [ No.14934 / 15916 ]  
一応、信玄の2代後の武田家の当主です。もともと彼の正体は徳川家康の五男で、武田家の滅亡を惜しんだ家康がその名跡を継がせただけのことです。まあ生母は武田家の縁続きら

しいので丸っきり無縁というわけでもないのですが。彼は子もなく若死にしたので、武田家は再び断絶します。  
信玄死後の出生のため(10年後です)、信玄を取り巻くとは言い難いので番外にしておきます。  
せきめきかくさん

#05 快川紹喜 2007/ 4/26 16:17 [ No.14935 / 15916 ]  
「安禅必ずしも山水を用いず、心頭滅却すれば火も自ら涼し」の辞世で知られる恵林寺の和尚さん。もとは土岐氏の出で、美濃から信玄に招かれ甲斐に移ったとか。六角氏の残党をかくまい、織田勢の引渡し要求に応じなかったのが、焼き討ちにあい、冒頭の句を詠んで焼死しました。弟子に伊達政宗の師となる虎哉宗乙がいます。  
クイズ パンチ de デートさん

#06 三条の方 2007/ 4/26 21:34 [ No.14936 / 15916 ]  
または三条夫人などとも呼ばれます、信玄の正室です。もともと三条の方が輿入れする前にすでに信玄には妻が居たとされていますが、あくまでも正室は三条の方です。  
三条家は撰閑家に次ぐ清華七家の一つで撰閑家とあわせて公卿といいますが、はるばる都から甲斐の国に公卿の姫が輿入れするというのは乱世といえど珍しいことで「流石は甲斐源氏の名門」と諸国の大名からねたまれたようです。  
信玄との夫婦仲は悪くは無かったようですが、50歳でより先になくなりました。  
ryoanpaku\_2007 さん

#07 穴山信君 2007/ 4/30 23:56 [ No.14937 / 15916 ]  
?-1582  
武田家の重臣で、武田二十四将の一人。  
母は信玄の姉(信虎の二女)、そして妻は信玄の二女にあたるため、信玄・勝頼父子とは重縁関係になる。  
主に領国経営で活躍。信玄の駿河攻略後は駿河の経営を任せられる。しかし信玄の死後は好戦的な勝頼との対立が絶えず、駿河の経営が苦しくなったこともあってついに勝頼を見限り武田家滅亡の引き金を引いてしまった。このため、地元・

甲州での評判は非常に悪い。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#08 高坂昌信 2007/ 5/ 1 22:28 [ No.14938 / 15916 ]

高坂昌信とうより、高坂弾正の言い方が好きです。

信玄を取り巻く”男”の中では高坂弾正がいい仲です。

大変な美童であったと言われ若き信玄の衆道の相手も務めたとされています。

信玄が昌信宛に送った浮気の弁明状が現存しています。

昌信が異例の出世を遂げたのも、信玄の愛情ゆえとまで言われている説があるほどです。

誤解の無いように、この当時は身分の高い者にとっては衆道は「たしなみ」の一つで、ステータスなのかも知れません。

ryoanpaku\_2007 さん

#09 真田幸隆 2007/ 5/ 2 0:14 [ No.14939 / 15916 ]

信玄が苦境に立たされながらも信濃一国を領することができたのは、幸隆の並外れた智謀とゆるぎない忠誠心のおかげといえるでしょう。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#10 武田信虎 2007/ 5/ 3 23:02 [ No.14940 / 15916 ]

甲斐守護職、信玄（晴信）の父。甲斐の戦国大名として周辺諸勢力

と毎年干戈を交えていたが、花倉の乱で今川義元を支援したことで

今川家と同盟を結ぶ。天文 10 年縁戚となった今川家を訪問後、嫡男

晴信から追放され、以後今川家を頼るが、義元の子、氏真の代には

駿河を去り、京にのぼり将軍足利義昭の御伽衆になる。信玄の死後

は信州高遠城に身を寄せその地に没す。享年八十一。

信虎追放の理由として家臣を理由無く成敗したり、妊婦の腹を生き

ながら割くといった悪行を為したためと『甲陽軍鑑』に記

されている

そうですが、「妊婦の腹を割く」は中国の史書や『日本書紀』に見え

る暴君の所業のパターンなので、『軍鑑』の作者はこういう面ではア

ナクロだなあと感じてしまう。追放後の信虎の動向については、花田清

輝の『鳥獣戯話』に虚実綯交ぜで書かれていて面白かったです。

sakisaki さん

#11 上杉謙信 2007/ 5/ 6 20:44 [ No.14941 / 15916 ]

折り返しですので、そろそろ大物を。

元は越後の守護代長尾氏の次男に生まれ、仏門に入っていました。兄が病弱ゆえに家督を相続、上杉憲政から上杉姓と関東管領職を譲られました。

信玄は謙信が関東管領の職についたのが癪に触ったのか、謙信を終生「上杉」とよばず「長尾」とよんでいたそうです。信玄とはなんといっても川中島の合戦が有名ですね、5度の対決でも決着がつかず両者痛みわけのような体裁です。

信玄の死に涙したとも言われています。

ryoanpaku\_2007 さん

#12 飯富虎昌 2007/ 5/ 6 23:59 [ No.14942 / 15916 ]

1504?-1565

武田信虎・信玄に仕えた重臣。信玄の信濃攻略における一連の戦いで「赤備え」とよばれる精鋭部隊を率い数多くの功を挙げた。一方で信玄の嫡男義信の守役に任ぜられるなど、軍事・政治の両面に亘って信玄から絶大な信頼を受けていた。しかし信玄と義信が駿河攻略の是非を巡って対立すると義信派の頭目として謀反の疑いをかけられて捕えられ、責任をとって自害した。義信をかばうために自らを犠牲にしたとも伝えられる。

飯富家は断絶したが、弟・昌景が山県に姓を改めることによって実質的に復活した。また赤備え隊も昌景の配下となって存続した。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#13 山県昌景 2007/ 5/10 0:09 [ No.14943 / 15916 ]

#12 飯富虎昌 の弟、または甥とも言われています。初名は飯富源四郎といいます。

信濃攻めの功績により騎馬 150 持の侍大将に拔擢され、その後も虎昌に勝るとも劣らない武者振りを発揮し、『源四郎の赴くところ敵なし』とまで言われた。

信玄の死後は武田勝頼を補佐することになりますが、後を継いだ勝頼との折り合いは悪く、勝頼から疎まれたともいわれ長篠の戦いでは撤退を進言したが容れられず、壮絶な最期を遂げております。

『信長公記』の長篠の戦いの部分で、討ち取った首のリストの筆頭に上げられているのは、昌景の名前で、それほど彼の名は敵方にも広く知れ渡っており、武田の重臣中の重臣であったことがわかります。

ryoanpaku\_2007 さん

#14 今川義元 2007/ 5/12 21:45 [ No.14944 / 15916 ]

義元の夫人は信玄の姉にあたるため、義元と信玄の関係はおおむね良好であった。信玄が父・信虎を追放して甲斐の国主となったとき義元が信虎の身柄を預っている。そして義元の参謀太原崇孚（雪斎）の献策により甲相駿三国同盟が成立した。

しかし義元の戦死によって両家の関係は一変する。義元の嫡男氏真が後を継ぐと信玄は盟約を反故にして駿河への侵攻を計画し始めた。そして身の危険を察知した信虎は駿河を脱出して京へ入る。今川家とのしがらみから解放された信玄は、嫡男義信（妻は義元の長女）の反対を押し切って侵攻を決断し、義信の死後ついに駿河を奪取した。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#15 武田勝頼 2007/ 5/13 21:36 [ No.14945 / 15916 ]

信玄の4男で母は諏訪御寮人になります。

信玄の命により後継者に指名されるも、家督を正式に継いだかは評価が分かれるところです。

長篠の戦いで織田・徳川連合軍に惨敗し以後、武田家は滅亡へと向かうため、勝頼を凡将とみる向きもありますが、東美濃を攻略したり、高天神城を落とすなど、父信玄以上に勢力を拡大しています。

信玄が勝頼を後継者に指名するのが遅かったように、私は思えます、信玄の4男とはいえ元は家臣、勝頼を見る重臣の目は覚めていたように思えます。

ryoanpaku\_2007 さん

# 16 武田義信 2007/ 5/16 10:40 [ No.14946 / 15916 ]

武田信玄の嫡男で母は正室三条の方。正室は今川義元の娘になります。

武田家が駿河の今川家・相模の北条家と甲駿相三国同盟を締結した際に、義元の娘を正室として迎えています。

1561年の第4回川中島の戦いにも出陣し、武功を挙げたが、味方を窮地に陥れたとして信玄と反目したともいわれています。

桶狭間の戦いにおいて今川義元が尾張の織田信長に討たれると、信玄は越後の上杉謙信の介入で信濃経略が滞ると従来の北進政策を改め、今川氏との同盟を破棄し、駿河など東海地方への侵攻を企てはじめ、また尾張の織田と同盟するため側室の子勝頼の室に信長の養女を迎えて誼を通じたことにより義信の立場は微妙になり、信玄に謀反を企てます。

謀反は事前に露見することとなり、義信は幽閉の後、自害または病死したとされています。

kos\*uya\*h\*nab\*shi さん

# 17 海野信親 2007/ 5/16 10:45 [ No.14947 / 15916 ]

武田信玄の次男で母は三条の方つまり武田義信は同母兄にあたります。

幼少より盲目であり、信濃海野氏の名跡を継いだ後、出家して竜芳（龍室）と号しましたが、半俗半僧の身であったため、「御聖道様」と呼ばれることもあります。

1582年に織田信長が甲斐に侵攻してきた際は、入明寺に匿われたが、天目山の戦いで異母弟・勝頼が敗死した知らせを聞くと、入明寺で自殺しました。

kos\*uya\*h\*nab\*shi さん

# 18 禰津御寮人 2007/ 5/16 13:06 [ No.14948 / 15916 ]

信玄の側室で、諏訪御寮人に隠れて無名の方。ただ、そのわりにはドラマでは出役してまして、昔の大河「武田信玄」では、里美の名前で大地真央さんが演じてました。角川の大コケ映画「天と地と」では、八重って名前で財前直見さんが演じていたのが、たぶんこの禰津御寮人だったろうと思えます（←こんな映画、誰も知らないか！？）。

実在を疑う説もあるようですが、彼女の子供は異母姉が上杉景勝の正室だったことの縁で、武田家滅亡の折は上杉家を頼り、存続しているとのことですよ。

クイズ パンチ de デートさん

# 1 9 高梨政頼 2007/ 5/18 3:04 [ No.14949 / 15916 ]

北信濃の有力国人、中野城主。自称清和源氏井上氏流、本当のところは不明。武田信玄の攻撃を受け、長尾景虎（上杉謙信）へ助けを求めた。これが川中島の戦いの直接的な原因とされる。

高梨氏は長尾氏と深い婚姻関係にあり、景虎の祖母は高梨氏出身、政頼の妻は長尾氏出身、この祖母と妻は実の母子である。高梨氏は景虎の父・長尾為景の越後奪簪に深く関わり、同時に為景の後ろ盾で、北信濃の勢力拡大を図ってきた経緯がある。

結局、高梨氏は武田氏に領地を奪われ、武田氏滅亡と本能寺の変による織田信長の死によって、旧領を回復することが出来た。その後、上杉景勝に仕えた政頼の子・頼親は、会津から米沢へと移住し、子孫は米沢藩士として続いた。

ara\*\*segis\*nsi さん

# 20 徳川家康 2007/ 5/20 20:45 [ No.14950 / 15916 ]

元龜3年（1572年）武田信玄は遂に上洛を決意、まずは徳川領である遠江、三河に向けて侵攻を開始、これに対して家康は盟友・織田信長に援軍を要請するが、織田軍も当時は浅井長政、朝倉義景、石山本願寺と抗争状態にあり、さらには美濃岩村城までを武田軍に攻撃され、援軍を送ることができ

ず、徳川勢は単独で武田勢と戦うこに。

家康は2万2,000人の大軍を率いて伊那谷から遠江に侵攻してきた信玄本隊と戦うために、天竜川を渡って目附にまで進出する。しかし信玄の巧みな用兵、並びに兵力の差により大敗し、本多忠勝の奮戦により何とか浜松まで帰還しました（一言坂の戦い）。

この戦いを契機として武田・徳川の優劣は決定、遠江の要衝であった二俣城が陥落。そのような中でようやく織田方から援軍として佐久間信盛、平手汎秀率いる3,000人が送られてきました。

信玄は天竜川の西岸を南下して浜松城下に近づいた。しかし長期戦を嫌う信玄は、浜松城を悠然と進軍して三河に侵攻しようとする。これに対して家康は、信長の援將・佐久間信盛らが籠城戦を唱えるのに対して、断固として反対し、出撃。その結果、徳川軍8,000人、織田軍3,000人と武田軍3万人により行なわれた三方ヶ原の戦いで徳川・織田連合軍は大敗し、徳川方は1,000人以上の死傷者を出して、家康自身も馬上で脱糞するなどして浜松城に逃げ帰ったと言われている。このとき、武田軍が浜松城まで追撃してきたが、家康は「空城の計」を使い、それを怪しんだ武田信玄が進軍をせずに撤退をしたとされている。なお、この時の家康の苦渋に満ちた表情を写した肖像画が残っており、自身の戒めのために描かせたと伝わっています（しかみ像）。

翌元龜4年（1573年）、武田信玄は三河野田城を落とした。ところがその後、信玄は発病して武田軍は甲斐へ帰還する。そして、武田信玄は帰還途中の信濃駒場で死去しました。

ryoanpaku\_2007 さん

# 21 村上義清 2007/ 5/21 13:01 [ No.14951 / 15916 ]

信玄のライバルとして有名な北信濃の豪族。武田との戦いでは、2回ほど煮え湯を飲ませ、武田方は重臣を何名か失っています。

この村上義清、結局は真田幸隆の調略により自軍が瓦解、越後長尾氏を頼ります。調べてみると、真田幸隆の調略に応じたのは真田幸隆の弟、つまり村上義清は真田幸隆の弟を配下にしていたことになります。

村上義清は上杉謙信の客将として活躍し、子も山浦氏を名乗り重臣として存続します。

クイズ パンチ de デートさん

番外 織田信長 2007/ 5/21 22:03 [ No.14952 / 15916 ]

信長と信玄、直接対決は無いので番外とします、信長は信玄を恐れ、できるだけ直接対決を避けたように思えます。

それは武田信玄に対しては、信玄の四男・武田勝頼に養女・雪姫を娶わせることで同盟を結んだが、この雪姫が武田信勝を出産した直後に早世したため、嫡男の信忠と信玄の六女・松姫との婚姻関係を模索し、友好関係を保つ姿勢をとるなど、周囲の勢力と同盟を結んで国内外を固めたからです。

信玄亡き後は越後の上杉謙信を恐れ、ビロードのマントを贈る等して友好を保ちました。

ryoanpaku\_2007 さん

#22 今川氏真 2007/ 5/22 23:33 [ No.14953 / 15916 ]

駿河侵攻の是非を巡り嫡男の義信と対立した信玄は、義信を離婚させ義信夫人を実家の今川氏真のもとへ追い返した。二年後に義信は自害（または病死）する。

信玄の侵攻を知った氏真は戦わずして駿府から逃げ出したため、後に暗君のレッテルを貼られてしまう。おそらく城下町・駿府に大きな被害を与えないようにするためこのような行動をとったものと思われるが。

夫人とともに遠江へ逃れた氏真は遠江に侵攻してきた徳川家康軍に降伏し、夫人の実家である小田原の北条氏康のもとへ亡命した。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#23 武田信繁 2007/ 5/23 21:07 [ No.14954 / 15916 ]

信玄の同母弟で、「典厩」の通称で知られる名将。

兄晴信を疎んじていた父信虎から偏愛されていたが終始晴信に忠節を尽くし縁の下の力持ちとして晴信を支えた。それゆえに第四回川中島の合戦での信繁の戦死は信玄に大きな衝撃を与えた。

真田幸村の初名「信繁」は武田信繁にちなんでつけられた名

である。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#24 木曾義昌 2007/ 5/25 0:31 [ No.14955 / 15916 ]

木曾氏は自称、清和源氏の木曾義仲を祖としているが、足利期中での藤原氏系からの乗り換えとされる。室町期より信濃の木曾谷に有力勢力として存在した。

木曾義昌は武田信玄の圧力の下、信玄の三女を妻に娶り、一族衆として傘下に入った。武田勝頼が長篠の戦いに敗れると、織田氏の傘下へ入り、旧小笠原領を得た。

織田信長が本能寺で亡くなると、上杉軍の支援を受けた小笠原氏に新領地から追い出され、徳川家康の傘下に入った。その後で、更に豊臣秀吉側に移った。

豊臣秀吉の小田原攻めが終わると、非情にも、関八州とともに信濃の領主は徳川家康の差配を受け、父祖来の木曾谷から下総国の網戸1万石に移された。義昌は困窮の中で亡くなったとされる。網戸城址は総武本線旭駅の東へ800メートルにあり、義昌の墓もある。

関が原の戦いが終わると、息子の義利の代に、彼が叔父を斬ったかどで取り潰された。信玄の娘である義昌の妻は木曾谷へ移り、そこで亡くなったという。

ara\*\*segis\*nsi さん

#25 黄梅院 2007/ 5/25 14:23 [ No.14956 / 15916 ]

黄梅院は、信玄の娘で、甲相駿三国同盟の折、北条氏政に嫁いだ人です。

北条氏直は息子になります。

夫婦仲はよかったようですが、今川義元が桶狭間で横死し、武田信玄が駿河に侵攻すると彼女の人生も暗転してしまいます。当然のごとく、離縁されて甲斐へ戻っていきまして、計算上は29歳くらいの若さでお亡くなりになっています。のち、相甲同盟が復活すると、北条氏政は黄梅院の分骨を早雲寺に手厚く葬りました。氏政にとっても、妻との別れはつらかったに違いありません。

クイズ パンチ de デートさん

お題【 マイナーな諱 】 2007/ 5/26 14:43 [ No.14957 / 15916 ]

こだわりの名前シリーズ第何弾でしょうか。

サクッと軽くいきましょう。

日本史上の有名人で、諱（いみな）があるにはあるけど、諱で言われても「誰それ？」って言われるくらいマイナーな諱の人物を二十人を目標に挙げてください。ただし、苗字も含めた変名や芸名で知られる人物はNGとし、表題には、できれば諱を使ったフルネームだけを示してください。

#00 大石良雄

一般には「大石内蔵助」の名で知られます。

割合有名な方なので、この辺が限界とお考えください。

むかし「よしちか」と教わりましたが、「よしたか」が正式ではないかと言われます。

どうせわかんないんだから「よしお」でも良さそう。

永井 荷風さん

#01 柳生三厳 2007/ 5/26 23:28 [ No.14958 / 15916 ]

「十兵衛」の通称で知られる剣豪で、歴史物・フィクションを問わず数多くの小説やドラマ、映画に登場しています。熱烈な十兵衛ファンならほとんどの方がご存知かと思いますが、諱は「三厳（みつよし）」といえます。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#02 古田重然 2007/ 5/27 9:24 [ No.14959 / 15916 ]

古田織部のことです。

文化人として認識されていますが、最後まで武将としての側面も捨てなかったヒトで、大阪の陣後、謀反の嫌疑で徳川家康に切腹を命じられています。

桜ももぞうさん

#03 荒木保知 2007/ 5/27 13:33 [ No.14960 / 15916 ]

通称は「又右衛門」。

父親は藤堂家の家臣だったそうで、本人も桑名藩士の下へ養子に出されますが、故郷の伊賀荒木村に戻り「荒木」姓を称



しますから、ずっと浪人の身分であったようです。

永\_井\_荷\_風さん

#04 吉田矩方 2007/ 5/27 13:34 [ No.14961 / 15916 ]

「のりかた」と読むそうです。

通称の「寅次郎」、号の「松蔭」に比べるとずいぶんマイナーです。

永\_井\_荷\_風さん

#05 真田信繁 2007/ 5/27 21:23 [ No.14962 / 15916 ]

講談などの影響で「真田幸村」の名前のほうが有名ですが、彼が生存中に「幸村」の名を名乗ったことは現在確認されておられません。

自筆の書状などにも「信繁」と記しています。

しかし、あまりにも「幸村」の名前が有名になったがためか、当の真田家自信も家系図には「幸村」と記しています。

ryozanpaku\_2007さん

#番外 嬴政 2007/ 5/27 22:05 [ No.14963 / 15916 ]

世界史上最も有名な人物なのに、その本名はかなりマイナー。

「えいせい」と読みますが、これぞ「誰それ？」という諱の一つ

でしょう。

彼は中国戦国時代の秦の君主となり、趙、韓、魏、燕、楚、齊

の六国を滅ぼし天下を統一した後、王号を一新せんと臣下に図らせ、

「秦皇」という号が発案されたが、これを退け太古の聖君主である

「三皇五帝」に由来する「皇帝」という号を自ら発案し、最初の皇帝

として「始皇帝」を名乗りました。

外国人なので、番外です。

sakisakiさん

#06 原田宗輔 2007/ 5/27 23:56 [ No.14964 / 15916 ]

仙台藩の重臣。大老酒井忠清邸における伊達騒動の裁決の最中に突如刃傷事件を起こし、一躍有名になってしまった。

通称の「甲斐」に比べればマイナーであるが、彼の諱は「宗輔」という。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

#07 佐久間国忠 2007/ 5/28 1:59 [ No.14966 / 15916 ]

松代出身の幕末の大学者、佐久間象山のこと。

開国論・公武合体論を唱えて、尊攘派に暗殺される。

象山の口癖は、「異人に出来ることは我々にも出来なければならぬ。」

吉田松陰、勝海舟、坂本竜馬と門弟は多いが、自信過剰による尊大さが命を縮めたかも。

ara\*\*segis\*nsiさん

番外 佐久間啓 2007/ 5/28 18:54 [ No.14967 / 15916 ]

象山のイミナは、佐久間啓（ひらき）だと思っていたら、どうも途中で改名したようですね。

ちなみに、息子は佐久間啓之助のちに三浦啓之助で、明治になって、象山の息子というのを生かして奉職にありつきますが、良くないところだけ似たのか、トラブルを起こしてクビになったそうです。

永\_井\_荷\_風さん

#08 勝義邦 2007/ 5/28 22:05 [ No.14968 / 15916 ]

勝海舟のこと。幼名、麟太郎はちょっと有名かもしれません。

クイズ パンチ de デートさん

#09 黒田孝高 2007/ 5/28 23:13 [ No.14969 / 15916 ]

本名の孝高よりも、通称の「官兵衛」や号の「如水」のほうがなじみが深い。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

#10 蜷川親当 2007/ 5/29 14:26 [ No.14970 / 15916 ]

室町幕府政所代、足利義教に仕える。

と言うといかめしいですが

一休宗純と親交のあった蜷川新右衛門という、ああ、あれ、とアニメの顔が思い浮かぶ筈。

桜ももぞうさん

#11 伊勢盛時 2007/ 5/29 14:30 [ No.14971 / 15916 ]

最新の学説では、この名前が正しいとされています。

これまで伊勢新九郎のイミナは長氏とされていましたが、実際は名乗っていないか、名乗ってもわずかな期間だったろうということ。

と言って、イチバン有名な名前は、本人が全く知らない北条早雲ですが。

b\_blue\_heartsさん

#12 山内豊信 2007/ 5/29 22:14 [ No.14972 / 15916 ]

豊信は「とよしげ」と読みます。

幕末の四賢侯の一人で、山内容堂の名のほうが有名でしょう、容堂は隠居してからの号です。

酒と詩を愛し、自らを『鯨海酔侯（げいかいすいこう）』と称した。幕末の時流に上手く乗ろうとした態度は、当時の志士達から、「酔えば勤皇、覚めれば佐幕」と揶揄されました。

これも初代藩主一豊譲りか。

ryozanpaku\_2007さん

#13 竹中重治 2007/ 5/29 23:34 [ No.14973 / 15916 ]

先に述べた黒田「官兵衛」孝高と同様に、羽柴秀吉の片腕として活躍したことで知られる。通称「半兵衛」のほうが本名「重治」より有名なものも共通している。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

#14 織田長益 2007/ 5/30 9:18 [ No.14974 / 15916 ]

織田有楽斎のこと。有楽斎のほうがだんぜん有名ですね。

クイズ パンチ de デートさん

#14 坂本直柔 2007/ 5/30 20:54 [ No.14975 / 15916 ]

誰じゃこれは、思わず言いそうになりますが、# 0 7、# 0 8、# 1 2の人物と大に関わりがある、坂本竜馬です。「なおなり」と読みますが、振り仮名がなければとても読めません。

関目企画さん

# 16 貝原篤信 2007/ 5/30 22:23 [ No.14976 / 15916 ]

筑前黒田藩の儒者、博物学者として知られ、「貝原篤信」の名での書物も見たことがあるので、その筋では割合メジャーな諱かもしれません。

はじめ「損軒」と号し、晩年になって「益軒」という号を使い始めたようですが、損益分岐点で何があったのかは、調べてもわかりませんでした。

永\_井\_荷\_風さん

# 17 高山重友 2007/ 5/30 22:53 [ No.14977 / 15916 ]

これも馴染みのない諱ですね。高山右近の諱です。右近は官名の「右近太夫」からきています。通称は彦五郎で、キリシタン大名としても有名で洗礼名はユストとなっています。

武将としても文化人としても秀逸の人物で、多くの大名が彼の影響を受けてキリシタンとなった。たとえば牧村正春、蒲生氏郷、黒田孝高などがそうであり、細川忠興、前田利家は洗礼を受けなかったが、高山右近に影響を受けてキリシタンに対して好意的でありました。

秀吉や家康も右近を高く評価していましたが、国外退去となり、マニラでその生涯を終えました。

ryozanpaku\_2007 さん

# 18 西山豊一 2007/ 5/31 0:13 [ No.14978 / 15916 ]

俳人で談林派の開祖・西山宗因のこと。

貞門の形式主義を排し、町人精神に根ざした軽妙滑稽な自由な句作をなし、俳句を全国普及することに大いに貢献した。江戸時代前期は談林派が主流を占めており、井原西鶴は宗因の高弟である。

松尾芭蕉もこの門より出でて、言語遊戯から芸術性を高め

た蕉風を開眼し、現在の俳句につながる。

ara\*\*segis\*nsi さん

# 19 池無名 2007/ 5/31 0:34 [ No.14979 / 15916 ]

江戸時代中期の南画家、池大雅の諱です。

無名と書いて「ありな」と読む由。

sakisaki さん

# 20 山本晴幸 2007/ 5/31 16:20 [ No.14980 / 15916 ]

大河ドラマネタで。山本勘助。

クヴァジルさん

# 21 大久保忠教 2007/ 5/31 22:57 [ No.14981 / 15916 ]

「彦左衛門」の通称で知られる天下のご意見番。小田原藩大久保家の分家筋にあたる。「忠教」の読みは「ただたか」。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

海外渡航経験者。ただし幕末以前 2007/ 6/ 1 11:27 [ No.14982 / 15916 ]

と、いうことで。

幕末開国以前の日本人で外国に行った人。帰国未帰国問わず。

# 00 鄭成功 日本生まれのハーフです。が、中国人なので範疇外。

クヴァジルさん

# 01 真如法親王 2007/ 6/ 1 23:32 [ No.14983 / 15916 ]

平城帝の第三皇子。高岳親王とも。

父の平城帝が退位し叔父の嵯峨帝が即位すると皇太子に立てられるが

薬子の乱により廃太子となる、その後出家し空海より真言密教を授けられ

その高弟となる。空海の入寂後、密教の奥義を極めるため渡唐を決意、渡

海して 864 年には長安に入った。長安では会昌の廃仏の余波の為良師に巡り

遭えず、さらに天竺へ足を伸ばそうと唐朝の許可を得て 865 年に出発するも、

その後の消息は不明となる。

881 年、入唐僧の報告で旅行中に羅越国(マレー半島南部)にて客死

したことが判明した。一説に虎の害に遭ったという。

sakisaki さん

# 02 支倉常長 2007/ 6/ 2 0:28 [ No.14984 / 15916 ] 1571-1622

仙台藩士。主君伊達政宗の命を受けて遣欧使節団を率い、現在のメキシコを経由して欧州に入る。スペイン国王やローマ教皇との対面は果たせたものの通商交渉は実を結ばなかった。

キリシタン弾圧運動が盛んになっていた頃に帰国したため、晩年は不遇であった。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

# 03 中濱萬次郎 2007/ 6/ 2 0:46 [ No.14985 / 15916 ]

本来ならば、土佐国幡多郡中濱村の漁師萬次郎として、地域の漁業のリーダーとして活躍する人材でしたが、十四のときに漁船が遭難し鳥島に漂着し、アメリカの捕鯨船に救われ、利発で英語の上達も早く船長にも気に入られてアメリカで教育を受け、帰国後は場国の通詞として活躍します。

この人の息子の中濱東一郎は、帝大で鷗外と同期でドイツ留学でも仲良しだった医学者で、父親の評伝を書いたりもしています。

三代目は父と祖父の評伝や日記をまとめ、四代目も名古屋大学を出て医師として留学もし、と祖先譲りの才能を発揮しています。

永\_井\_荷\_風さん

# 04 吉備真備 2007/ 6/ 2 1:53 [ No.14986 / 15916 ]

有名な遣唐留学生。7 1 6 年入唐し、7 3 5 年帰朝して多

くの文物をもたらした。碁も彼の持ち帰りとされる。

帰国後に藤原氏と対立し、藤原広嗣の乱の原因になった。一時失脚もしたが、右大臣まで昇進する。

称徳天皇の死後、天武系統の文屋兄弟を立てようとしたが、天智系統の光仁天皇を立てた藤原氏に敗れ、朝廷を去る。

ara\*\*segis\*nsi さん

#03 ペドロ・カスイ岐部 2007/ 6/ 2 3:33 [ No.14987 / 15916 ]

ペドロ・カスイ岐部 (1587-1639 年)。名前の通り、キリシタンです。初めて聖地エルサレムを訪れた日本人だそうです。豊後国国東郡岐部村の生まれ。1614 年にマカオで神学とラテン語を学ぶ。司祭叙階を受けるため、ローマへ向かう。インド洋を船で渡り、ペルシアかた陸路を取り、バグダッド経由で聖地エルサレムへ。そこから船に乗りイタリア、ローマへ到着。ラテラノ宮殿で司祭に叙階されるる、喜望峰周りで日本へ帰国。しかし、その頃の日本ではキリシタン弾圧が苛烈を極め、1639 年に岐部神父は殉教。

2006 年にバチカンが岐部神父の福者とする答申をバチカンの関係部署から受けたことを発表。問題がなければ 2007 年に岐部神父は殉教者として福者に列せられる予定。  
しゅうじさん

#06 道元 2007/ 6/ 2 20:49 [ No.14988 / 15916 ]

1200-1253

実父は後鳥羽院のもとで権勢を振るった源通親 (土御門通親) と一般的にいわれているが、通親の二男堀川通具 (みちとも) の子という説もある。

師の明全とともに南宋に留学し、曹洞宗を学ぶ。

帰国後は曹洞宗を興し永平寺を建立。禅の教えを各地に広めた。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#07 浜田弥兵衛 2007/ 6/ 2 23:25 [ No.14989 / 15916 ]

江戸時代の有名な朱印船貿易商人・末次平蔵の手代である。台湾を占領したオランダと日本の朱印船とのトラブルが

頻発するにおよび、1628年6月29日、浜田弥兵衛は170名の小勢で、台湾ゼーランジア城の総督ピーテル・ノイツを奇計をもって捕らえた。

この事件が尾を引いて、日本ではオランダ人の拘束が相次ぎ、一時日蘭貿易は停止してしまう。結局、オランダは手打ちとしてノイツを日本に差出し、5年ほど虜囚となっていたという。戦国の代を生きた民はヤワではない。

ara\*\*segis\*nsi さん

#08 栄西 2007/ 6/ 3 20:11 [ No.14990 / 15916 ]

1141-1215

臨済宗の開祖となった僧。天台宗を学んだ後に南宋に留学し、禅宗の感化を受ける。帰国後は朝廷や鎌倉幕府との間に強力なコネを築き上げ、その力をバックにして禅宗の教えを広めた。また、「喫茶養生記」を記して喫茶の習慣を世に広めたことでも知られる。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#09 山田長政 2007/ 6/ 3 21:38 [ No.14991 / 15916 ]

江戸時代前期に時の貿易で海外へ進出する商人たちに刺激され、シャム (現在のタイ国) に渡りました。

その頃シャムのアユタヤの日本人町には 7000 人の邦人が住んでいて、長政はこの日本人町の頭領となり、シャムのソナム王に仕え像にまたがり日の丸を立てた日本兵を率いて勇敢に戦い、次第に重きをなしつつに六昆王 (リゴール国王) に任ぜられました。

国王といっても現代風に言えば地方の知事のようなもので左遷に近いものでした、彼の地で毒殺されております。

また、山田長政は実在の人物では?、という説もあります。  
ryoanpaku\_2007 さん

#10 都市牛利 2007/ 6/ 3 21:50 [ No.14992 / 15916 ]

一体なんと読むのでしょうか。

一応、歴史書 (魏志倭人伝) に名前の残る日本最古の海外渡航者二人のうちの一人です。

もう一人は邪馬台国の女王・卑弥呼の使者として曹魏へ渡った正使・難升米ですが、この人は昔ネタで使ったような気がするので、副使だったこの人をあげてみました。もっともどんな人物だったのかは全く判らないのですが。

関目企画さん

#11 橘逸勢 2007/ 6/ 4 13:54 [ No.14993 / 15916 ]

三筆のひとり。空海、最澄と一緒に唐に渡る。柳宗元に書法を習ったとされる。帰国後、承和の変で謀反人の首謀者とされ、伊豆への流罪の途中に遠江で病没する。

ara\*\*segis\*nsi さん

#13 西郷隆盛 2007/ 6/ 4 17:08 [ No.14994 / 15916 ]

西南戦争後、ユーラシア大陸へと渡った。大津事件、日露戦争の際など、西郷が日本へ復讐にやってくるなどと人々は恐れていた。

ree\*\*3pok さん

#12 石田三成 2007/ 6/ 4 22:21 [ No.14995 / 15916 ]

文禄の役でいわゆる唐入りの総奉行として朝鮮半島に渡り、当地での戦闘にも参加していました。

sakisaki さん

#番外 源義経 2007/ 6/ 4 22:26 [ No.14996 / 15916 ]

まあ、伝説ということで・・・

sakisaki さん

#13 小野妹子 2007/ 6/ 4 23:01 [ No.14997 / 15916 ]

『日本書紀』によれば、推古 15 年 (607 年)、推古天皇の摂政を務めていた聖徳太子の命により、第 2 回遣隋使として中国・隋に渡っています。

ryoanpaku\_2007 さん

#15 原田宗時 2007/ 6/ 5 0:37 [ No.14998 / 15916 ]

1565-1593

伊達氏譜代の重臣。秀吉の朝鮮出兵で伊達政宗に従い朝鮮に渡ったが、釜山で病にかかる。九州へ引き返す途中対馬にて病死した。

政宗は宗時の死を惜しみ六首の歌を詠んだ。政宗の命により、養嗣子宗資（伊達騒動で有名な原田甲斐宗輔の父）が家督を継いだ。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

# 16 高山右近 2007/ 6/ 6 23:18 [ No.14999 / 15916 ]

前題でも出しました、戦国時代のキリシタン大名です。

海外に渡ったというよりは実際は追放ですが。

慶長 19 年（1614 年）にマニラに渡りましたが、わずか 3 ヶ月後に病死しております。

諱は高山重友で、右近は官名の「右近大夫」からきています。

ryoanpaku\_2007 さん

番外 佐橋甚五郎 2007/ 6/ 6 23:29 [ No.15000 / 15916 ]

いちおう実在の人物で、岡崎信康の配下であったのが、浜松から逐電したということが「三河物語」にも記されているようですが、森鷗外の『佐橋甚五郎』では、韓人に成りすまして朝鮮通信使の副使になって駿府で大御所に謁見し、大御所家康だけがそれを見抜いています。

どこまで本当かわからないので番外で。

永\_井\_荷\_風さん

# 16 山上憶良 2007/ 6/ 7 15:47 [ No.15001 / 15916 ]

有名な万葉歌人。7 0 1 年に遣唐使として渡唐の経験あり。漢学者でもあり、仏教と儒教に基づく理想的な思想の歌が多い。

ara\*\*segis\*nsi さん

# 18 大黒屋光太夫 2007/ 6/ 7 23:11 [ No.15002 / 15916 ]

回船の船頭として伊勢から江戸へ向かう途中、暴風にあってアリューシャン列島に漂着。この地で出会ったロシア人とともにシベリアに渡った。

イルクーツクでアダム・ラクスマンの知己を得てサンクト・

ペテルブルクに向かい、皇帝エカテリーナ 2 世に謁見し帰国を許された。

彼がロシア滞在中に得た情報に幕府は大いに興味を示し、ロシアに関する記録を数多く残させた。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

# 19 加藤清正 2007/ 6/ 9 1:00 [ No.15003 / 15916 ]

文禄の役では、咸鏡道で朝鮮王朝の皇子二人を生け捕りにした。

慶長の役では、蔚山に城を築き朝鮮・明連合軍と激戦を繰り広げた。

虎退治の伝説でも有名。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

Re: #08 キリストの墓 2007/ 6/ 9 21:31 [ No.15004 / 15916 ]

幕府の迫害時代に難を逃れて来た人々かも知れないし(^\_^;)身分の高い人だったてことだけはたしかよね

禁令情報が人々の生活感覚から遠くかけ離れてしまった時代に

今のような信仰と結論付けることはむずかしいわよ

だけけどこの地区に根付いていたのはたしかだわ ^ ^

joann\_whole さん

これは メッセージ 5713 クイズ パンチ de デート さんに対する返信です

# 20 雪舟 2007/ 6/10 16:06 [ No.15005 / 15916 ]

室町時代の画僧。応仁元年（1467）遣明船で寧波に渡り、北京まで足を伸ばして大陸の画風を学ぶ。帰国後は石見、美濃、駿河、相模、越後と各地を遍歴し、「天橋立図」、「破墨山水図」、「秋冬山水図」等の傑作を制作した。

江戸時代には画聖としての名声が確立し、小僧の頃絵ばかり

かいて寺の修行に身の入らない雪舟を師僧が柱に縛り付けると、

あふれた涙を足の指につけ、床にネズミを描き、その出来栄

えの

素晴らしさに師僧も絵の修行を許したという伝説が生まれています。

sakisaki さん

#21 阿倍仲麻呂 2007/ 6/11 11:16 [ No.15006 / 15916 ]

唐名、朝衡。

遣唐使としては吉備真備なんかと同期。

科挙に合格して累進。最終的には従二品（大臣クラス）にまで大出世。

李白や王維など、盛唐期の文化人とも親交があった。

クヴァジルさん

# 22 伊東マンショ 他、天正遣欧使節 2007/ 6/11 22:10 [ No.15007 / 15916 ]

1582 年（天正 10 年）に九州のキリシタン大名、大友宗麟・大村純忠・有馬晴信の名代としてローマへ派遣された 4 名の少年を中心とした天正遣欧少年使節団のメンバーです。

伊東マンショ（正使） 大友宗麟の名代。宗麟の血縁。日向国主伊東義祐の孫。後年、司祭に叙階される。1612 年長崎で死去。

千々石ミゲル（正使） 大村純忠の名代。純忠の甥。後に棄教。

中浦ジュリアン（副使） 後年、司祭に叙階。1633 年、長崎で穴づりによって殉教。

原マルティノ（副使） 後年、司祭に叙階。1629 年、追放先のマカオで死去。

1590 年、日本に戻ってきた彼らは翌年、聚楽第で豊臣秀吉と謁見、秀吉は彼らを気に入り、仕官を勧めたが、彼らはみなそれを断ったそうです。

その後はキリスト教迫害により 4 人はそれぞれの道を歩みだしますが、壮絶だったのは中浦ジュリアン、長崎で穴づりによって血が頭に上り、4 日後に壮絶な最後を迎えておりますが、最期の言葉は「わたしはローマに赴いた中浦ジュリアン神父である」と最後に言い残したといわれている。

また、棄教した千々石ミゲルも晩年は悲惨だったようです。

ryozanpaku\_2007 さん

#23 内藤如安 2007/ 6/12 12:32 [ No.15008 / 15916 ]

内藤如安は松永久秀の弟の子供、つまり甥にあたる。キリシタン大名として有名で、小西行長の与力として朝鮮半島に渡ったことがあり、またキリシタン追放令の際も、高山右近とともに海外へ追放されています。マニラでは 12 年ほど暮らしたようで、そこで没しています。クイズ パンチ de デートさん

#24 小笠原源信斎 2007/ 6/12 22:52 [ No.15009 / 15916 ]

生没年不詳。戦国時代の人。おそらく、信長～家康あたりと同世代。遠江高天神城主、小笠原長忠の弟。どこまでホントかはわからんが、一時中国に渡って、かの軍師、張良の子孫に矛術を学んだという剣豪。まあ、兵法にハッパりはつき物なので、そういう触れ込みで兵法の先生をしていたというだけのような気もする。クヴァジルさん

#25 道昭 2007/ 6/12 23:29 [ No.15010 / 15916 ]

遣唐使の一員として唐に渡り、法相宗を招来します。公的な火葬の第一号とか、行基の師匠にあたるとか、エピソードには事欠かないヒトですが、個人的にイチバン興味深いのは、玄奘（言うまでもなく西遊記の三蔵法師）の愛弟子であったという点。孫悟空の弟弟子になるんですかね？残念ながらキント雲を使いこなした形跡は無いようです。桜ももぞうさん

お題【白拍子、遊女、花魁、芸者など】 2007/ 6/13 13:54 [ No.15011 / 15916 ]

白拍子と花魁を一緒くたにして良いものか、抵抗のある方もいるかもしれませんが、一時的にでも容色を商売道具とした女性の中で、歴史に名を残す人を二十人挙げてください。

番外 佳つ乃

むかし郷ひろみが入れあげていたと言われる祇園の芸妓。今では、京都のカリスマ芸妓として、多方面で活躍しているそうです。

永\_井 荷\_風さん

#01 静 2007/ 6/13 16:26 [ No.15012 / 15916 ]

白拍子と言えばこの人。源義経の愛妾。ドラえもののしずかちゃんは、正式名を源静香とって、静御前がモデルらしい。桜ももぞうさん

#02 お蓮 2007/ 6/13 19:11 [ No.15013 / 15916 ]

清河八郎の愛妾です。もとは医者娘だったのが養子に出され、その後女郎屋に売られ、それを不憫に思った八郎が身請けし、江戸に連れてきて暮らします。後に八郎が襲われて返り討ちにしたため問題になり、庄内藩に捕まったお蓮は、拷問にあって亡くなります。永\_井 荷\_風さん

#03 伊藤梅子 2007/ 6/13 21:49 [ No.15014 / 15916 ]

伊藤博文の妻で元は芸者です、詳しいエピソードは忘れましたが、足軽時代から伊藤を支えました。彼女は下関稲荷町の置屋「いろは」の芸者だった頃に伊藤博文と知り合い、後に妻となりました。好色の夫を持って随分苦労したことでしょうが、しっかり者の良妻賢母として歴史に名を残しています。伊藤の女好きは非常に有名であり、あまりの好色ぶりに明治天皇から直々に注意を受けたという逸話も残っています。女性と遊んでは捨て去ることから、「箒」という綽名がついたそうです。ryozanpaku\_2007 さん

#04 比嘉和子 2007/ 6/13 23:59 [ No.15015 / 15916 ]

ご存知、アナタハンの女王。和子は戦時中、マリアナ諸島アナタハン島に日本人農園主と現地人 70 人と暮らしていた。夫はサリガン島へ行ったまま行方不明になっていた。昭和 19 年 6 月 12 日、海軍の徴用船乗組員 31 名が流れ着いてきた。農園主と和子は夫婦ということにしておいた。昭和 20 年になると、日本の敗北を感じた島民が皆逃げ出した。島には和子と男 32 人だけになる。

昭和 21 年、農園主と和子が夫婦でないと感ずかれた。墜落 B29 機内にあったピストルが和子をめぐり殺人事件を引き起こす。農園主は不可解な食中毒で死んでしまう。彼等は終戦を信じていなかった。

昭和 26 年、残った男 19 名は統制をとるため和子を殺そうとする。密林に隠れた和子は小笠原の漁船に助けられ、島を脱出する。和子の情報で 19 名の身元が判明する。

昭和 26 年 7 月 6 日に 19 名も帰国する。和子の赤裸々な話は当時おもしろおかしく世間に知れ渡り、映画にもなった。和子はストリップ嬢などもしていたという。後に再婚し、故郷の沖縄で 52 歳で死去。

ara\*\*segis\*nsi さん

#05 吉野太夫 2007/ 6/14 14:19 [ No.15016 / 15916 ]

たぶん花魁で一番有名だった、と思われるのが吉野太夫です。ただ、吉野太夫は全部で 10 人ほどいたそうで、いちばん有名なのは第二代の方で、なんでも中国からラブレターが届くほどだったそうです。美貌もさることながら、あるゆる芸事、教養も兼ね備えていたといえます。

宮本武蔵の小説にも、武蔵を助ける役で登場するそうですが、こちらは時間軸の関係から初代・吉野太夫だろうということになっています。クイズ パンチ de デートさん

6. 高尾太夫 2007/ 6/14 15:09 [ No.15017 / 15916 ]

独眼竜の孫で伊達騒動で有名な伊達綱宗とのロマンスが有名。といっても、どこまでホントかはあやしい。綱宗に吊るし斬りにされた高尾太夫を祀る高尾稲荷なんてのもある。落語「紺屋高尾」にも登場。高尾太夫じたいはお墓も残っているようで、実在。クヴァジルさん

#07 熊野御前 2007/6/14 18:10 [No.15018 / 15916]  
元は遠州池田宿（参照：<http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=GN&action=m&board=1835208&tid=a1ynrbkbg9be8mc0fea52a1bca5e0a1ya1aa5sa5aea5ja1bca5bahg&sid=1835208&mid=6436>）

の遊女で平宗盛の愛妾、お墓があるので一応実在したことになります。能の「熊野」は「ゆや」と読みますが、遊女としては「くまの」だったとも言われます。母の病が重くなったため一度遠州に行きたいと暇を請い、宗盛はせめてこの春の桜は一緒に見たいと言って元気付けるものの、熊野は清水での花見の宴で舞いながらいかにせん都の春も惜しけれど 馴れし東の花や散るらんと詠み、気の優しい宗盛はこれに感じ入って暇を出します。能の代表作として、フランスの文化使節の前で演じたときには「死ぬほど退屈な芸能」と酷評されたそうです。永\_井\_荷\_風さん

番外 千早太夫 2007/6/14 18:17 [No.15019 / 15916]  
落語「ちはやふる」に登場する吉原の花魁で、相撲取り龍田川を「あちきはイヤでありんす」と振ってしまいます。次に妹分の「神代」に言い寄っても聞いてくれないため、失意の龍田川は相撲をやめて故郷で豆腐屋になり、そこに落ちぶれた千早がやってきて、おからを乞いますが、カラをくれずに突き飛ばし、千早は溝に落ちて水にくぐってしまいます。ちはやふる かみよもきかず 龍田川 からくれないに水くぐるとは「とは」とは...

永\_井\_荷\_風さん

#08 祇王・祇女 2007/6/15 13:38 [No.15020 / 15916]  
近江出身の美人白拍子姉妹で、清盛の寵愛を受けて国の母親も呼んで三人で不自由なく暮らしていましたが、ある日、都で評判の挑戦的な若い白拍子が清盛のもとに売り込みに現れて、清盛は「間に合っている」と断るものの、祇王が「ちょっとだけ見てあげれば」と言うのと、女にものを言われてキレた清盛に「じゃああっちを雇うから、お前らクビ」と言われて、母娘三人は路頭に迷うことになります。永\_井\_荷\_風さん

#09 仏御前 2007/6/15 15:28 [No.15021 / 15916]  
祇王を追い出した白拍子は仏御前です。しかし、彼女も清盛の寵愛を失い（または、祇王に自らの将来を重ねて空しくなったとか）、清盛邸を出て、祇王らが暮らしてる場所を訪ねて、一緒に暮らして念仏三昧の日々を送ります。・・・・・・このくだりだけ見ますと、清盛はなんて冷酷な人物なんだということになりますが、ことさらそれを強調するために創作が入ってるような気もします。仏御前はそれから、清盛の子を死産して死んでしまった、故郷に戻ったが、嫉妬に狂った女たちに殺された、または故郷に戻って酒を販売していた、などの諸説あるようです。クイズ パンチ de デートさん

#番外 趙王遷の母 2007/6/16 0:54 [No.15022 / 15916]  
中国戦国時代の趙の最後の君主、幽穆王遷の母は遊女で、遷の父である悼襄王に寵愛を受けました。悼襄王は嫡子の嘉を廃し寵愛する遊女の産んだ子の遷を太子に立てましたが、悼襄王の死後王位に即いた幽穆王遷は素行悪しき男で、臣下の讒言を信じて良将の李牧を誅殺したため、王都邯鄲に迫った秦の大軍に破れ、趙は秦の領土となり、滅亡しまし

た。幽穆王遷の母の名は伝えられていないので、番外です。sakisakiさん

#10. 出雲の阿国 2007/6/16 11:15 [No.15023 / 15916]  
歌舞伎の創始者とも言われる。こまかな事はわかっていないが、今風にいうならプロのショーダンサーといったところでしょうか。彼女の評判が高まると遊女が真似をしはじめ、遊女歌舞伎になったという。クヴァジルさん

#11 李夫人 2007/6/17 17:02 [No.15024 / 15916]  
漢の武帝の愛人。元々は歌舞音曲の名手であった李延年という芸人の妹でこれも芸人でした。延年在武帝に引見させるとその美しさと「妙麗善舞」振りて帝は痛く気に入り、後宮に迎え入れ、その産んだ子は王族となりましたが、李夫人は若くして世を去ります。武帝は夫人の面影を忘れ得ず、方士（魔術師）に夫人の魂を現世に呼び戻させ、とばりの中からその姿を望見したとか。李延年在妹を売り出すのに使ったのが「北方に佳人有り」という歌で熟語の「傾国」の出典になっています。また李夫人の魂を呼び出す伝説は後世の「反魂香」の物語に発展していきます。sakisakiさん

#12 幾松 2007/6/17 21:20 [No.15025 / 15916]  
京都三本木（現、京都市上京区三本木通）の芸者で、幕末の維新三傑桂小五郎（木戸孝允）の恋人。後、妻となり、木戸松子と名乗っています。桂小五郎が命の危険に晒されていたもっとも困難な時代に彼を庇護し、必死に支えつづけ、禁門の変以降、長州藩が朝

敵とされ、幕府に追われる身となって隠れ潜んでいた桂に、幾松はよく握り飯を持っていったと言われています。

ryoanpaku\_2007 さん

#13 テオドラ皇后 2007/ 6/18 0:26 [ No.15026 / 15916 ]  
東ローマ帝国皇帝ユスティニアヌス 1 世の皇后。東ローマがかつてのローマ帝国の版図をほぼ回復したころの皇帝の妃です。

踊り子から皇后になった人物ですが、プロコピウスの『秘史』には彼女が若かりし日にストリッパーのように人前で裸になって踊っていたとスキャンダラスに書いていという。戦車レースのフリーガンが起こした反乱「ニカの乱」では、亡命しようとする夫を押しとどめて、反乱を鎮圧させたという。

しゅうじさん

番外 小唄勝太郎 2007/ 6/18 5:02 [ No.15027 / 15916 ]  
芸者から歌手、芸能界入りした人です。他に「市丸」って、お方がいました。

何で男みたいな名前かと言うと昔、税金対策かなんかで芸者の数を少なく

カモフラージュする為でその名残みたいです。

歴史に名を残すとは言えないので番外。

pip\*37\*さん

#14 深雪太夫 2007/ 6/19 9:50 [ No.15028 / 15916 ]  
新撰組局長近藤勇が京都で囲っていた女性で、大変な美女だったそうです、そしてなぜか深雪太夫の妹、お孝まで囲うことになり、お孝との間には子供もできたとか。

お孝も大坂の娼妓といわれております、そのほか近藤には6人くらいの愛人がいたとも言われており、新撰組の浮名はついつい土方と誤ってしまいますが、意外にも近藤勇、京都ではもてたようです。

ryoanpaku\_2007 さん

#15 小仲 2007/ 6/19 17:25 [ No.15029 / 15916 ]

後藤象二郎の後妻に入った先斗町の丸梅という貸座敷の娘の芸妓。

一度岩崎家に養女に入り、あらためて岩崎家から嫁いで、伯爵夫人後藤雪子になります。

後藤家はその後も代々芸者との関係が続きます。

永\_井\_荷\_風さん

#16 亀菊 2007/ 6/20 0:12 [ No.15030 / 15916 ]  
後鳥羽院の愛妾だった遊女。院に仕えるようになってからは宮廷の女房として「伊賀局」の名を賜っています。

この人には摂津の長江荘、倉橋荘の所領があり、この地に派遣された鎌倉幕府の地頭職と争い、後鳥羽院が件の地頭を解職することを幕府に求めたが、幕府はこれを拒否しています。これが承久の乱の原因の一つとされています。

sakisaki さん

#17 額田王 2007/ 6/21 15:37 [ No.15031 / 15916 ]  
天武天皇の妃として十市皇女を産む。その後、天武帝の兄、天智天皇の愛人になったというのが定かではない。兄弟して奪い合ったのだから魅力的な女性だったのだろう。クヴァジルさん

#18 川上貞奴 2007/ 6/21 19:47 [ No.15032 / 15916 ]  
明治時代、芸者から日本初の女優に、という人です。大河「春の波濤」で松坂慶子がやりました。伊藤博文と親交があったとか、外国公演で大反響だったとか。夫役が中村雅俊でしたね。

pip\*37\*さん

#19 陸奥亮子 2007/ 6/21 21:31 [ No.15033 / 15916 ]  
もとは没落士族の娘で、新橋で一、二を争う美人芸妓「小鈴」

として知られていたそうで、先妻に若くして先立たれた陸奥宗光に見初められて後妻に入り、先妻の子供たちを育てながら、外交官の妻として聡明さを発揮し、「鹿鳴館の華」あるいは「ワシントン社交界の華」と称されたそうです。

永\_井\_荷\_風さん

#20 マグダラのマリア 2007/ 6/23 5:59 [ No.15034 / 15916 ]

新約聖書の福音書に登場する女性で、悪霊に憑かれた病をイエス・キリストに癒やされ、その後はイエスの信徒となってその磔刑を見守り、復活したイエスに立ち会った人物の一人となり、現在ではキリスト教の主要教派では聖人の中に列せられています。またこの人はまた福音書に登場する「罪の女」と同一視され、その名は美貌ゆえに娼婦となり、多くの男性と快楽を重ねていたためと、伝説的に語られてきました。またこの人については、実はイエスと結婚して妻となったという説もあり、近年図書がベストセラーとなり、映画も世界で公開された「ダヴィンチ・コード」ではレオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」の絵がそれを示唆するものとされ、マグダラのマリアの子孫の女性が登場し、マリアの棺がルーブル美術館の地下に納められているという設定になっています。

六文銭さん

お題 二つ以上の肩書きを持つ人 2007/ 6/23 13:13 [ No.15035 / 15916 ]

二つの職業、本業と趣味、なんでもかまいません。二種類以上の業種？で名を残した人です。

戦国武将などで軍事と政治の両方に才能があつたりしても、これは「戦国武将」という一つの職業内での能力と考えてください。武将と茶人、芸術家、剣豪などならかまいません。

あと、前回、お題が厳しかったのか、日本史とは関係ない外国人の名前がチラホラありましたが、いちおう日本史の登場人物限定で。

と、いうことで

#0 大村益次郎 蘭医者、洋学者、兵学者、翻訳家などの肩書きを持つ。維新戦争のときは軍司令官、維新後、陸軍次官（長官が親王だったので事実上は長官）。日本陸軍の創始者とも目される。

最近、司馬遼太郎氏の花神を読んだもんで…。

クヴァジルさん

#21 阿部定 2007/6/23 17:57 [No.15036 / 15916]

前のお題で、もう1件レスします。

2・26事件の起こった昭和11年5月18日、東京都荒川区尾久の待合で、小料理店の主人・石田吉蔵が絞殺され、男性器が切り取られるという事件が発生しました。容疑者は吉蔵の店に仲居として勤めている、愛人の阿部定と判明、2日後の5月20日に、阿部定は吉蔵の局所（新聞で表現の方法に悩んだ末こう呼んだ）を携えて、都内品川区の旅館にいるところを逮捕されました。彼女は性交渉の途中、相手の首を絞める癖があり、勢い余っての犯行といわれます。

彼女は明治38年の生まれで、15歳のときに慶応の学生にレイプされたといわれ、それ以来グレ始めて家を出て、芸者や娼婦の仕事を転々としていました。この事件、軍部が台頭し大戦争へ突き進んでいくこの時代では、庶民にとっては一服の清涼剤のようになり、阿部定の名は全国に伝わり、釈放したら彼女を身請けしたいという男性も結構現われていました。

阿部定は懲役刑を受けましたが、昭和15年に皇紀2600年の特赦で釈放され、その後は戦後になって一度結婚しましたが、過去の犯歴が夫に発覚して程なく離婚となり、以降は全国各地で仲居などの仕事をまた転々とし、昭和46年まで千葉県市原市のホテルに勤めていたのを最後に消息を絶っています。

この事件を題材に、監督大島渚が映画「愛のコリーダ」を制作していますが、過激な性表現のため大幅なカットをされて

の上映になり、またこの作品の解説本が猥褻図画として裁判に訴えられたりもしています。

六文銭さん

#01 東儀鉄笛 2007/6/23 18:05 [No.15037 / 15916]

もともと天王寺系楽家に生まれ、楽人として宮中に勤仕していた東儀鉄笛（本名・東儀季治）。

西洋音楽にも堪能で（雅楽部官人なので当たり前？）、本業の演奏はもちろん、作曲や、音楽研究も行いました。

後には坪内逍遙らとともに新劇運動に参加し、新劇俳優としても活躍しました。

鉄笛の音楽研究の成果はもっと評価されて然るべきとおもうのですが…

klb\*\*30さん

#02 沢村貞子 2007/6/23 21:50 [No.15038 / 15916]

（1908年-1996年）。女優で随筆家。津川雅彦、長門裕之のおばです。女優としては小津安二郎の作品などに多数出演。随筆家としては「日本エッセイストクラブ大賞」を受賞。作品の一つは朝の連続テレビ小説「おていちゃん」の原作に。立ち上がるときに「どっこいしょ」といったことに、肉体の衰えを感じ女優を引退。余生を湘南で海を見て過ごした。

しゅうじさん

#03 渡辺崋山 2007/6/23 22:49 [No.15039 / 15916]

幕末の政治家にして画家になります。

元々は三河国田原藩（現在の愛知県田原市域にほぼ当たる）の家老でしたが、蛮社の獄で崋山は家宅捜索の際に幕府の保守的海防方針を批判し、そのために発表を控えていた『慎機論』が発見されることとなり、幕政批判で有罪、国元田原で蟄居することとなった。

翌々年、生活のために絵を売っていたことが幕府で問題視されたとの風聞が立ち、藩に迷惑が及ぶことを恐れた崋山は「不忠不孝渡辺登」の絶筆の書を遺し自らの人生の幕を下ろしました。

画家としては、「鷹見泉石像」が有名ですね。

ryoanpaku\_2007さん

#04 石原慎太郎 2007/6/23 23:40 [No.15040 / 15916]

小説家で、参議院議員、衆議院議員を経て現在は東京都知事を務めています。

その他では1958年に東宝で映画「若い獣」の監督を務めたりしています。

最近では太平洋戦争時の特攻隊員達を描いた映画『俺は、君のためにこそ死ににいく』で製作総指揮兼脚本を手がけています。

この映画に嘯み付いたのが映画監督の井筒和幸、相も変らぬ井筒節で、映画も見ずに批判をしまくり、映画を見ていないで批判する姿勢を非難されると「俺のほうがか映画監督として先輩なんだから、俺の映画を先に見に来い」という始末、井筒和幸が4歳の時に石原慎太郎は映画監督をやっていました。

ryoanpaku\_2007さん

番外で 石原慎太郎 2007/6/23 23:48 [No.15041 / 15916]

現在存命中ですので。

ryoanpaku\_2007さん

#04 細川幽斎 2007/6/24 0:05 [No.15042 / 15916]

足利将軍の義輝および義昭、そして信長、秀吉に仕えた武将であり、かつ一流の歌人、茶人でもあった。

彼にとって和歌や茶道は単なる趣味というものではなく、人脈を築き戦国の世を生き抜くための巧みな手段であったといえよう。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

#05 小林一三 2007/6/24 3:59 [No.15043 / 15916]

言わずと知れた資本家。

阪急王国といえばこの人。

実は演劇にも造詣が深く、日本独自の演劇のあり方を論じたりもしている。

日本のコモンな演劇である宝塚歌劇の源流はこんなところ



にあったりする。

彼の演劇論などを読むと、異文化理解やその消化、適応なんかについて考えさせられます。而してその底流には経営者的な感性が流れており、有体な芸術論とは一味違って興味深い。  
paradigm\_html さん

#06 在地代官・郷目付など 2007/ 6/24 4:09 [ No.15044 / 15916 ]

例えば河内国古市郡新町村の百姓坂口武右衛門。

彼は村方に置かれたまま、旗本石川岩之丞の家来に召抱えられ、郷目付という肩書きに。

村方だと当然名字帯刀は許されないが、旗本家来郷目付という肩書きのときは名字帯刀OKに。

こんな感じで、「二つの肩書き」を持つものとして、近世の在地代官やら郷目付やら挙げていったらキリがないでしょうなので、ここで一まとめということで。

何とも近世の身分世界の多様性は興味深いことこの上ない。  
paradigm\_html さん

#07 小堀政一 2007/ 6/24 15:32 [ No.15045 / 15916 ]

江戸時代初期の武将にして茶人、造園家、建築家としても知られる。

関が原の戦いでは東軍に属し、駿府城作事奉行を務めた功により従

五位下遠江守に叙せられ、以後「小堀遠州」の通称で呼ばれる。

sakisaki さん

#08 江川英龍 2007/ 6/25 0:01 [ No.15046 / 15916 ]

本職は江戸幕府の葦山代官だが、砲術の専門家として知られる。佐久間象山や桂小五郎らに西洋砲術を教え、海防研究の普及に努めた。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#09 源実朝 2007/ 6/25 0:16 [ No.15047 / 15916 ]

鎌倉幕府の第3代将軍であり、かつ鎌倉前期を代表する天才

肌の歌人でもある。和歌は藤原定家に師事。弱冠 22 歳で「金槐和歌集」を編纂した。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#10 今東光 2007/ 6/25 0:18 [ No.15048 / 15916 ]

僧侶にして小説家、参議院議員を務め画家としての面も持つ毒舌家でした。

作家の瀬戸内晴美を得度させ、法名の「寂聴」を与えたのは東光氏でしたが、これは和尚の法名「春聴」から採ったそうです。

sakisaki さん

#11 折口信夫または釈迢空 2007/ 6/25 2:40 [ No.15049 / 15916 ]

折口信夫（おりくちしのぶ）といえば民俗学者。「マレビト」の概念や「貴種流離譚」などで有名。釈迢空（しゃくちょうくう）と言えば歌人です。短歌に句読点を使ったことで知られています。

折口名義でも短歌は詠じています。愛弟子、恋人にして養子の折口春洋が硫黄島の戦いで戦死していますが、

たたかひに

果てし人を

かへせとぞ

我はよばむとす。

大海にむきて

に歌碑が折口名義で硫黄島にあります。

しゅうじさん

#12 夏目漱石 2007/ 6/25 16:05 [ No.15050 / 15916 ]

英文学者で一高教授。

小説家で朝日新聞社員。

お雇い教授を除いたら当時の日本で一番英語に通じていたとも言われます。

朝日新聞専属の要請があった頃、ちょうど帝大の教授の話があり、大学屋の道を蹴って新聞屋になります。

後に修善寺で血を吐いて死に掛けると、大学の方から「文学博士」の学位を授与するという話が来ましたが、その魂胆が気に入らないので断っています。

永\_井\_荷\_風さん

# 1 3 空海 2007/ 6/27 2:54 [ No.15051 / 15916 ]

弘法大師としても有名。

宗教家として真言宗を開いた。書道家としても有名、諺にもなってる。

他、なにかと伝説が多い。

クヴァジルさん

#14 青島幸男 2007/ 6/28 22:14 [ No.15052 / 15916 ]

元東京都知事、参議院議員、小説家、俳優、コント作家、作詞家等

記憶だけで経歴をさかのぼるとこんな感じですが、まだ他にもある

かも知れません。

sakisaki さん

#15 森鷗外 2007/ 6/28 23:15 [ No.15053 / 15916 ]

陸軍軍医を務める傍ら小説家・翻訳家として数多くの作品を手がけた。中でも自身のドイツ留学体験をもとに描いた小説「舞姫」が有名。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

1 6 . 平賀源内 2007/ 6/29 14:00 [ No.15054 / 15916 ]

本草学者、発明家、作家など。

エレキテルの発明や「土用の丑の日」のコピーなどで知られる。

クヴァジルさん

#17 寺田寅彦 2007/ 6/29 22:25 [ No.15055 / 15916 ]

物理学者、俳人、随筆家

実家は高知の士族の家柄で、寅年の寅の日に生まれたのにちなんで

「寅彦」と名付けられました。熊本の第五高等学校に進学、英語

教師として赴任していた夏目漱石に師事し以後門人となります。

物理学者としては物が結晶化することの研究をしていたそうで、

弟子の中谷宇吉郎は雪の結晶の研究で有名です。

この中谷宇吉郎の随筆に、寺田寅彦曰くとして引かれているのが

「天災は忘れた頃にやってくる」ですが、寺田の著作にこの語は

見当たらないそうです。

sakisaki さん

# 18 田中絹代 2007/ 7/ 1 6:03 [ No.15056 / 15916 ]

日本映画史に残る大女優ですが、映画監督としても活躍しました。

子役としてデビュー後は松竹のドル箱スターになり、日本初の

トーキー映画「マダムと女房」に主演、トーキー時代も人気女優

の名を不動のものにしました。

戦後も溝口健二監督、小津安二郎監督らの作品で主役を張る一方、

自らもメガホンを取り 1 9 6 2 年までに 6 本の作品で監督を務め

ました。中でも 1 9 6 1 年の「女ばかりの夜」は売春婦たちの更

生と自立をテーマにした社会派ドラマとして制作され高い評価を

受けています。

sakisaki さん

# 19 織田有楽 2007/ 7/ 2 23:30 [ No.15057 / 15916 ]

織田信長の弟で、本名は長益。武将として数多くの戦いに参加する一方茶人として活躍。利休七哲の一人に数えられ、流

派「有楽流」を開く。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

# 20 南方熊楠 2007/ 7/ 3 0:58 [ No.15058 / 15916 ]

1867-1941

やはりこの方を外す訳には行きません。

民俗学、植物学、宗教学、語学の達人にして

随筆の名手としても活躍しました。

一つの肩書きで表現できるようなスケールの人物ではなく、

あの柳田国男をして「これだけが世間なみというものがちよっと

探し出せそうにもない」と驚嘆せしめた知の巨人は現在も多くの

人々を魅了しています。

sakisaki さん

**お題【歴史の意味を持つ律令の官職】** 2007/ 7/ 3 13:25 [ No.15059 / 15916 ]

超マニアックなお題に挑戦します。

日本史限定、時代としては八世紀から明治維新まで。

律令制によって制定された官職の中で、歴史上の人物との

関係でその官職の職掌や位階相当が意味を持ったという

その官職の名称を 2 0 件挙げてください。

幕府などが設置した官職はNGですが、

律令といつつも、一応令外官もOKとします。

同じ官職名は番外でお願いしますが、

官位の等級が異なれば（例：弾正弼と弾正忠）OKです。

# 00 上総介／菅原孝標

親王任国上総の実質の国司に任命され、

赴任先に連れて行った娘が十三のときに京へ戻り、

その娘が晩年になって、この帰りの道中の思い出などに

触れて綴ったものが『更級日記』になります。

永\_井\_荷\_風さん

# 01 征夷大將軍/坂上田村麻呂 2007/ 7/ 3 13:56 [ No.15060 / 15916 ]

夷を征する將軍、で読んだままですが、太平洋側の軍事力をまとめるのがこの役職の意味だったそうです。日本海側だと征夷大將軍となるそうです。

坂上田村麻呂は文字通り、蝦夷征伐をしていますので、お題にあってるかと思いますが、あとあとになると「武家の棟梁」という意味合いが強くなって、征夷の名前は形骸化して

る・・・と言っていいかと思います。

クイズ パンチ de デートさん

# 0 2 陸奥守ほか／北畠顕家 2007/ 7/ 3 20:51 [ No.15061 / 15916 ]

建武の新政のころの人物。

陸奥守として東北地方の統治をする。鎮守府將軍として陸奥方面の鎌倉勢殘党勢力と戦った。

公家であるが、軍人として、右近衛少將→左近衛中將・右近衛中將→鎮守府將軍→檢非違使別當・右衛門督→鎮守府大將軍と歴任した（順序がいまいち違うかもしれん）。

武田信玄に先立って「風林火山」の旗印を用いたことでも有名。

クヴァジルさん

# 03 檢非違使／源義経 2007/ 7/ 4 10:44 [ No.15062 / 15916 ]

本来的には警察組織のトップなんですけど、義経が拜命して後、「よわいもの」の代名詞になってしまいました。

現代風に桜田門びいき、となると、汚職の臭いがしてしまいます。

桜ももぞうさん

# 04 安芸守／平清盛 + お題補足 2007/ 7/ 4 11:01 [ No.15063 / 15916 ]

親譲りの日宋貿易や西日本の海運の利権を勢力の基盤とし

ていた清盛にとって、安芸守は重要な官職で、これによって瀬戸内の制海権を掌中にしたと言われます。

これを機会に、航海守護の宗像三女神を祀る厳島神社を信仰するようになり、世界遺産厳島神社の現在の姿は清盛の造営に由来しています。

【お題補足】

官職名が異なれば、関わった人物の重複はOKとします。

永\_井 荷\_風さん

#05 乳師/和薬使主福常 2007/ 7/ 4 15:37 [ No.15064 / 15916 ]

律令下の官職となると、百官百司というくらいですから 20 と言わず、100 くらい行けそうなお題ですね。

さて、今回は典薬寮別所乳牛院を統率する乳長上を挙げておきます。

その名の通り、牛の乳を搾って、生乳を供給する役所です。延暦年間以前には成立していたとか。

職員構成は別当/乳師（乳長上）/預で、別当には医薬とはあまり関わりのない高官が兼任していたようで、実質的に統率していたのは乳師のようです。

この乳師を代々世襲していたのが和薬使主氏で、その搾乳の祖と言われるのが、和薬使主福常です。何でも、孝徳帝の御世に搾乳の術を習い、それ以来代々受け継いで、乳長上と称したらしい。

古代においてはこのような生乳のほかにも、チーズのような加工品も流通していたようで、当時の日本人の平均身長は高かったという説もあるくらいです。

いやはや何とも。

paradigm\_html さん

# 6 施薬院全宗（やくいんぜんそう） 2007/ 7/ 4 18:01 [ No.15065 / 15916 ]

戦国時代の人物。せやくいんぜんそう、とも。

名医、曲直瀬道三の弟子。

形骸化していた施薬院復興のため？正親町天皇から従五位下、施薬院使（次官）に任命された。施薬院は読んで字のごとく、医療を司る部署です。

秀吉の側近として政治的にも活躍したようです。

クヴァジルさん

# 7 治部少輔（じぶのしょうゆう） 2007/ 7/ 4 19:10 [ No.15066 / 15916 ]

と、言えば石田三成です。治部省は律令に規定されたもので、治部少輔はたくさんいるようですが、江戸期には「石田三成の成った官位」ということで誰も就任しなかったようです。しゅうじさん

# 8 常陸守（ひたちのかみ） 2007/ 7/ 4 19:18 [ No.15067 / 15916 ]

従五位下で上国の太守。826 年の清原夏野の建議によって上総、上野とともに親王任官の官職になりました。そのため実質の長は常陸介（ひたちのすけ）。

正仁親王の官号が「常陸宮」になったのは、この故事から。しゅうじさん

番外 上総守／織田信長 2007/ 7/ 4 19:23 [ No.15068 / 15916 ]

一時期「上総守」を僭称していました。

「親王任国なのでありえない」という指摘でやめたと言われていますが、知ってて僭称した可能性もあります。

永\_井 荷\_風さん

#09 典薬頭／半井驢庵 2007/ 7/ 4 19:28 [ No.15069 / 15916 ]

宮内省の「典薬寮」の長官で、平安時代から、和氣氏か丹波氏が務めつことになっていて、和氣氏の末裔で代々半井驢庵を継いだ人々の中には、将軍家光の病気を治して典医に取り立てられるなどして、何人かが典薬頭の任ぜられています。

永\_井 荷\_風さん

#10 上野介／吉良義央 2007/ 7/ 4 21:37 [ No.15070 / 15916 ]

忠臣蔵の大ヒット以降、問答無用で悪人の代名詞になってしまったのが上野介。

その前ふりとして、本多上野介（宇都宮吊り天井事件）という悪役があったことが拍車をかけたものと思われます。

そして幕末、周囲が不吉だ、と止めるのも聞かず、敢えて「面白い」と任官したのが小栗上野介。

幕末を彩る英雄の一人です。

桜ももぞうさん

# 1 1 征東大將軍・征西大將軍／藤原良文 2007/ 7/ 5 1:28 [ No.15071 / 15916 ]

平将門、藤原純友の乱の大將。

参議・藤原良文とするのが一般的。

征東大將軍として将門討伐の任に就くも、関東到着前に藤原秀郷（表藤太）らの活躍によって乱は鎮圧、今度は征西大將軍として藤原純友討伐に向かう。純友はこの人の手柄で討ち取られたらしいが…。

クヴァジルさん

# 7～# 1 0 2007/ 7/ 5 1:33 [ No.15072 / 15916 ]

# 7 治部少輔、# 8 常陸介、# 1 0 上野介…。

お題の趣旨からそれてませんかねえ？

まあ、お題主さんの判断しだいですが…。

クヴァジルさん

番外 雅楽頭/東儀兼琴 2007/ 7/ 5 2:17 [ No.15073 / 15916 ]

雅楽頭は雅楽寮の長官のことです。

もとは唐楽をはじめとして、高麗楽や林邑楽から国風歌舞など儀礼音楽の全般を管掌したと言いますが、平安期に楽所が成立すると次第に形骸化していきました。

この東儀兼琴は、室町中期に雅楽頭であったという記述の見

える人物です。

東儀という名前で気づかれる方もいらっしゃるでしょうが、東儀とは箏箏を担当する楽家の一つで、現在も健在です。ただ、東儀氏は、天正の楽道取立てによって始めて官位を得た四天王寺楽人の家ですから、室町中期に雅楽頭に任じられていたというのはおかしなことです。

ということは、おそらく「東儀雅楽頭」との記述のある、足利將軍の書状は偽書でしょう。

江戸時代半ばに、四天王寺との交渉を優位に進めようとした東儀氏などの四天王寺楽人が作り出したものではないでしょうか。

雅楽頭といえば酒井だろろうという向きもおありでしょうが、番外ですのであしからず。

しかし、後世から遡って官位を称している記事には注意が必要ですね。

paradigm\_html さん

Re: # 7～# 1 0 2007/ 7/ 5 2:21 [ No.15074 / 15916 ]

私は何ともいえませんが、個人的には、国司で 20 まで埋まってほしくはないですね。色々な官職が知りたいですから。

paradigm\_html さん

出題者より 2007/ 7/ 5 15:11 [ No.15075 / 15916 ]

あまり趣意のハッキリしないマニアックなお題で少し混乱を来たしたようでご迷惑をおかけしています。

中心的なテーマとしては、

「歴史上の人物の官職の職掌が意味を持った」

例を挙げていただくことですが、

「職掌」だけでは難しすぎる感じもしたので

「位階相当」もアリという逃げ道を用意しています。

そのため、「治部少輔」「上野介」は「位階相当」ガラミということでOKにしたいと思います。

「常陸守」については、それ自体は立派な律令の官職であり、常陸宮さんは現代人ながら皇族ゆえにすでに歴の中に名を刻む存在

ですから、こちらもOKとして通したいと思います。

>私は何ともいえませんが、個人的には、国司で 20 まで埋まってほしくはないですね。色々な官職が知りたいですから。個人的には同じ思いですが、そこは回答者次第でコントロールできませんし、

現実には、人物や故事と関連がある官職となると、国司頼みの部分もあります。

出題のコンセプトとしては、調べればリストが出てくるようなお題よりは、

銘々が記憶の奥底をほじくり返す作業が必要になるようなお題を心がけていて、

理想的には、各回答者が得意技を繰り出しつつ、時に新技も編み出して披露し、

互いに勉強にもなるようなバトルロワイヤル状態が面白いと考えております。

永\_井\_荷\_風さん

# 12 大宰大貳／藤原隆家 2007/ 7/ 5 15:13 [ No.15076 / 15916 ]

中関白道隆の息子で正二位まで昇進しますが、叔父の道長との抗争もあり

中央では中納言どまりで、それでも気骨のあるところを見せ本来は大宰の流刑用の役職である「大宰G」を進んで拝命し、大宰府では刀伊の入寇の際には大活躍します。

そのまま、その地で子孫が「太宰大貳」を世襲するようになり、

九州の菊池氏はその末裔であると自称しています。

永\_井\_荷\_風さん

# 13 秋田城介/城氏ほか 2007/ 7/ 5 16:20 [ No.15077 / 15916 ]

出羽国を治めるにあたって、作られた官職「秋田城介（あきたじょうすけ）」律令にならない官職ですが、武家にとっては名誉な官職とされ、鎌倉期には安達氏などが就任。なかには「秋田城介」の「城（じょう）」を苗字にするものまで出たという。

しゅうじさん

番外 五位/鷲 2007/ 7/ 5 21:03 [ No.15078 / 15916 ]

『源平盛衰記』によれば、昔々、醍醐天皇が神泉苑で遊んだとき、一羽の鷲が飛来。天皇は鷲を捕らえるように命じますが、鷲は飛びまわりつかまらない。

そこで「宣旨であるぞ畏まれ！」とあるものが叫ぶと、鷲は翼をたたみ、天皇の前で平伏したという。天皇はこれを喜び、鷲に「五位」の位を与えたという。

謡曲「鷲」、能楽「鷲」或いは全国の「鷲舞」の由来になっている故事。

生物学でも小型のサギは「ゴイ（五位）」をつける命名監修ができました。

ゴイサギ（五位鷲）

ササゴイ（笹五位）

ヨシゴイ（葦五位）

ハシブトゴイ（嘴太五位）

など…。

鳥なので番外。

しゅうじさん

# 1 4 関白／豊臣秀次 2007/ 7/ 5 22:09 [ No.15079 / 15916 ]

左大臣・関白。殺生関白（たぶん、摂政関白のだじやれ）として有名。

いわゆる五摂家以外の家柄として関白に上った唯一の人。

ちなみに秀吉は近衛前久の猶子として関白に上っている。

もちろん、政治的権力を持ち合わせていたわけではないが、豊臣政権が長続きすれば、これを先例として豊臣家が関白世襲する家柄になっていただろう。

殺生関白として悪名高いが、学問好きで、近江時代は善政を敷いたとも言われ、小田原攻めや葛西大崎一揆でも武功があるので、一概に無能者とはいいいきれない。

関白就任後、秀頼が生まれるという人生最大の悪運のために命を奪われたという感じがする。彼の悪評は秀頼政権の正当性主張のための創作くさい。

クヴァジルさん

## # 15 大納言／伴善男 2007/ 7/ 6 0:19 [ No.15080 / 15916 ]

太政官の中では各大臣に次ぐ官位ですが、この官職についての人物で最も名高い人という「伴大納言」ではないでしょうか。古代には物部氏とともに天皇を支える武門の名門大伴氏の血筋を引く伴善男は、体形は小柄ながら、狡猾で悪賢く、弁舌が達者だったといわれ、その世渡りのうまさで大納言にまで出世しましたが、そこからの昇進は、その上の各大臣が名家で固められて頭打ちになり、何とか出世を謀ろうと都の応天門に放火し、それを格上の大臣の犯行にでっちあげ失脚させ、空いたところへ昇進をと企てましたが犯行が発覚し、流刑とされました。この様子を描いた「伴大納言絵詞」は国宝になっています。

六文銭さん

## # 15 大納言／伴善男 2007/ 7/ 6 0:19 [ No.15081 / 15916 ]

太政官の中では各大臣に次ぐ官位ですが、この官職についての人物で最も名高い人という「伴大納言」ではないでしょうか。古代には物部氏とともに天皇を支える武門の名門大伴氏の血筋を引く伴善男は、体形は小柄ながら、狡猾で悪賢く、弁舌が達者だったといわれ、その世渡りのうまさで大納言にまで出世しましたが、そこからの昇進は、その上の各大臣が名家で固められて頭打ちになり、何とか出世を謀ろうと都の応天門に放火し、それを格上の大臣の犯行にでっちあげ失脚させ、空いたところへ昇進をと企てましたが犯行が発覚し、流刑とされました。この様子を描いた「伴大納言絵詞」は国宝になっています。

六文銭さん

## # 16 陰陽師／安倍清明 2007/ 7/ 6 0:37 [ No.15082 / 15916 ]

# 15 はダブリ投稿で失礼しました。

「陰陽師」というのは、古代の職業名と思っていたらこれが意外にも律令制下の中務省の陰陽寮（呪術を司る官庁）に属

する立派な官職で、従七位下に該当し、僧旻、吉備真備、安倍仲麻呂と錚々たる人物が就任しています。その中でも近年小説・漫画・映画で取り上げられ一層名高くなったのが安倍清明（921～1005）で、当時は先端の科学であった「天文道」や占術・呪術の「陰陽道」に関しては卓越した技術・知識を持ち、朱雀・村上・冷泉・円融・花山・一条の計6代の天皇や藤原道長などの貴族たちに重用されて、朝廷に大きな影響力を与え、さらに多くの官職を歴任し従四位下まで出世しています。

六文銭さん

## # 16 ・訂正・陰陽師／安倍清明でした 2007/ 7/ 6 0:40 [ No.15083 / 15916 ]

安倍清明の名の漢字を間違え失礼しました。訂正します。

六文銭さん

## # 17 平城宮造宮司/坂上田村麻呂 2007/ 7/ 6 1:22 [ No.15084 / 15916 ]

田村麻呂といえば征夷大將軍ですが、実は平城帝が平城京復都を宣言したときに、造宮司に任命されています。ただ、田村麻呂は平城帝派だったわけではなく、明らかに嵯峨帝派でした（このとき同時に藤原冬嗣も造宮司に任命されている）。

後のいわゆる平城上皇の乱と呼ばれる事件でも、田村麻呂は嵯峨帝の命により、軍勢を率い、平城派の藤原仲成を射殺しています。

まあ対蝦夷の話題で触れられることの多い田村麻呂ですが、中央の政治抗争にも顔をだしてるよということ。しかし平城上皇の企みが成功していたら、平安京は20年足らずで廢都になっていたんですね。

paradigm\_html さん

## # 18 内大臣/徳川家康ほか 2007/ 7/ 6 3:10 [ No.15085 / 15916 ]

時代劇などでは「内府」と呼ばれることが多いですね。

これは、朝廷が織田信長に征夷大將軍、太政大臣、關白のど

れでも好きなものを薦めた「三職補任」がきっかけで起きた「關白相論」という撰関の人事の揉め事に端を發します。信長は返答する前に本能寺で横死したため、人事が混乱。そこへ秀吉が關白になり「武家關白制」をしいた。その際、秀吉は家康を内大臣にした以外は大臣を置かなかつたという。しゅうじさん

## # 19 兵衛佐／源頼朝 2007/ 7/ 6 10:13 [ No.15086 / 15916 ]

本来的には皇宮を守る警察兼天皇親衛隊の副隊長。弱冠十三歳でこの任に付いた源頼朝が、伊豆流刑後も任官し続けたため、頼朝の別名として定着。

「佐殿」と言えば源頼朝を指す。

ちなみに鎌倉にある佐助稻荷は、頼朝を守護した稻荷神であるとされる。

「佐殿」を「助けた」稻荷であることから佐助稻荷と命名された。

「佐」自体が「助力する」という意味でもあるので、佐助稻荷は和風に読むと「たすけたすけ稻荷」になる。

桜ももぞうさん

## # 20 土佐守/紀貫之 2007/ 7/ 6 13:29 [ No.15087 / 15916 ]

この出題には、この超メジャーな回答は欠かせない気がいたします。

紀貫之が土佐日記を書いたのは、土佐守として赴いた土佐国からの帰路であります。女性を装い、平仮名で書かれた日記、紀行文として有名です。

クイズ パンチ de デートさん

## # 21 太宰権帥／菅原道真 2007/ 7/ 6 13:50 [ No.15088 / 15916 ]

この辺も超有名どころ。

太宰帥は遥任（実際には赴任しない）の場合が多かったようですが、太宰権帥の方は流罪のための官職なので、しっかり赴任してもらいました。

永\_井\_荷\_風さん

**お題【名字の地 20】** 2007/7/6 23:57 [ No.15089 / 15916 ]

丹羽基二氏によると日本人の名字の9割は地名が由来だという。また司馬遼太郎は名字からその人の出身地を当てるといふ特技があったという。

ということで、名字の由来となったことで有名な地名を挙げてください。なお「姓(かばね)」でもOKです。

**#00 相模国毛利**

毛利元就や長州藩のイメージで中国地方発祥と思われるようですが、「毛利」は関東の地名。毛利氏の祖は鎌倉幕府初代政所別当大江広元です。彼の子孫が相模国毛利に土着してから毛利を名乗っています。

平氏滅亡と承久の乱で西国武士団が没落すると関東武士団が西国に進出します。いわゆる「西遷武士団」ですが毛利氏はその典型です。

しゅうじさん

**#01 京都九条** 2007/7/7 12:54 [ No.15090 / 15916 ]

藤原氏筆頭として朝廷に君臨した九条家は、九条教実の屋敷が京都九条にあったことにちなみます。

頼朝と親密な関係を築いた九条兼実が実質的な始祖。

摂関家であり、なおかつその子孫からは鎌倉幕府の摂家将軍も出ています。

公武ともに頂点を極めた家ということになります。

桜ももぞうさん

**# 2 群馬県太田市徳川町** 2007/7/7 16:15 [ No.15091 / 15916 ]

徳川氏のルーツです。上野国新田郡得川(徳河)郷というのが古い地名のようです。

家康がおそらく他の松平氏と区別して自らを三河の主と明確に位置づけるため、改姓したものと思われます。改姓時期

は家康が三河守に叙任されるときに正親町天皇に願ひ出たようです。

クヴァジルさん

**# 番外 京都・北大路** 2007/7/7 17:07 [ No.15092 / 15916 ]

北大路欣也の『北大路』は、父親である市川右太衛門が京都の北大路に居を構えていて「北大路の御大」と呼ばれていたからつけられたと聞いたことが・・・

にざりいさん

**#03 高市郡** 2007/7/7 17:37 [ No.15093 / 15916 ]

古くは「たけち」、現在では「たかいち」と読みます。

大和八木から明日香村にかけての吉野の入口に当たる地域で、

平城京造営以前の大和の中心地でした。

天武天皇の皇子で壬申の乱で活躍した高市皇子のほか、万葉歌人で高市黒人という人物もいます。

現代では奈良県選出の高市早苗もろもろ大臣がいて、つい最近、この人のSPだった人が痴漢で逮捕されました。

永\_井\_荷\_風さん

**# 4 陸奥国伊達郡** 2007/7/8 15:33 [ No.15094 / 15916 ]

奥州伊達氏の氏のルーツ。古くは「いだて」と読んでいたらしい。

戦国時代の16代伊達政宗のころも「いだて」と読んでいたらしく「だて」と読まれるようになるのは江戸時代からのようです。

ちなみに、16代政宗は9代大膳大夫政宗にあやかっの命名のように。9代政宗は伊達氏中興の祖ともいわれています。

クヴァジルさん

**番外 水道橋** 2007/7/8 22:11 [ No.15095 / 15916 ]

水道橋博士の本貫地？

永\_井\_荷\_風さん

**#05 丹波国上杉庄** 2007/7/8 22:22 [ No.15096 / 15916 ]

「上杉」は関東発祥の名字と思われがちだがさにあらず。丹波国上杉庄(京都府綾部市)に由来している。上杉氏の祖・重房が鎌倉第6代将軍となった宗尊親王に従い鎌倉に下向したことで関東とのつながりができた。

足利尊氏の母・清子は上杉氏の出であるため、尊氏は上杉庄で生まれたという伝承が残っている。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

**# 6 大隈国肝属郡** 2007/7/9 15:17 [ No.15097 / 15916 ]

大隈の大名、肝付氏のルーツ。

隣国の島津氏とは時に対立、時に服従する関係であった。

19代兼護が島津に臣従、領地も奪われて大名家としての肝付家は滅亡する。その後も島津藩、佐土原藩などの子孫が仕えた。

ドラえもんのスネ夫や、銀河鉄道999の車掌さん役でお馴染みの声優、肝付兼太氏はこの肝付氏の末裔と思われる。

クヴァジルさん

**#07 甲斐国巨摩郡南部郷** 2007/7/9 21:44 [ No.15098 / 15916 ]

南部氏は甲斐源氏の一族で、氏祖・南部光行が甲斐国巨摩郡南部郷を領したことに発祥する。光行は頼朝の奥州征伐に参加して功を挙げ、奥州北部に領地を得た。以後南部氏は一貫して奥州北部を統治したため、「南部」を冠するさまざまな言葉がこの地で一般的に使われるようになった。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

**#08 武蔵国小山田** 2007/7/10 15:07 [ No.15099 / 15916 ]

武田信玄の家臣、小山田氏は畠山重忠と同族で、いまの東京都町田市小山田が発祥の地のようです。「風林火山」じゃ、小山田信有を田辺誠一さんが演じてます。

どうして甲斐の国に移っていったのかはよくわかりませんが、どちらにしても甲斐と武蔵の狭間に領地があるので、

小山田氏の立場はちょっと微妙なものにさせています。小田原北条氏からも知行があったとか、甲州法度は小山田氏の郡内地方には適用されてないとか、独立色は非常に強かったようです。

クイズ パンチ de デートさん

#09 常陸国久慈郡佐竹郷 2007/ 7/10 23:27 [ No.15100 / 15916 ]

新羅三郎義光の流れをくむ名族佐竹氏発祥の地。現在の茨城県常陸太田市にある。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#10 一条二条三条… 2007/ 7/11 1:59 [ No.15101 / 15916 ]

武家やら侍やらは出自の不確かなものばかりなので少し避けて…（徳川なんてかなり怪しい）

今回は近世京都の公家で。

京都といえば一条から九条の東西の通りですが、全部公家の家の名になっています。

一条家はいわずと知れた藤原姓の摂家。

二条家も一条家と同様で藤原姓摂家。

三条家も藤原姓で、正親町三条家と三条西家の二つに分かれる。家格は大臣家。

四条家は藤原姓の羽林家。

五条家は菅原氏で半家。この中では家格が一番低い。

六条家は村上源氏で羽林家。

七条家は藤原姓水無瀬家の羽林家。

八条家は藤原姓四条家でこれも羽林家。

そしてとどめの九条家はこれまた有名な藤原姓摂家。

もっと調べれば、間の小路の名の付く家もかなり見つかりそうですね。

pin\*\*os19 さん

#11 京の通り唄から 2007/ 7/11 17:02 [ No.15102 / 15916 ]

と、いうわけで、重複は省きます。

東西

まるたけえびすにおしおいけ

あねさんろっかくたこにしき

しあやぶったかまつまんごじょう

せったちゃらちやらうおのたな

ろくじょうさんてつとおりすぎ

しちじょうこえればはつくじょう

じゅうじょうとうじでとどめさす

南北

てらごこふやちやうとみやなぎさかい

堺

たかあいひがしくるまちょう

からすりょうがえむろころも

しんまちかまんざにしおがわ

あぶらさめがいでほりかわのみず

ず

よしやいのくろおおみやへ

まつひぐらしにちえこういん

じょうふくせんぼんはてはにしじん

陣

押小路家 羽林家。閑院流。

姉小路家 羽林家。閑院流。維新後伯爵。別系統で戦国三國司の飛騨姉小路家に繋がる家系もあるが、金森飛騨守の飛騨

攻略で滅亡したらしい。

六角家 名家。書道・神樂を家業とする。維新後子爵。ちなみに戦国時代の近江六角氏は佐々木源氏の家系。京都の六角堂に屋敷を構えていたという。

錦小路家 半家。

綾小路家 羽林家。宇多源氏。家業は雅楽。維新後子爵。綾小路きみまろとは関係ない。

高辻家 半家。菅原氏。維新後子爵。

富小路家 半家。維新後子爵。

高倉家 半家。長良流。家業は衣文道など。維新後子爵。

烏丸家 十三名家の一。江戸初期の当主、烏丸光廣は細川幽斎に学んで古今伝授を受けた。その縁で子は細川忠興の娘と結婚したりして細川家と縁が深い。

丸竹夷二押御池

姉三六角蛸錦

四綾仏高松万五条

雪駄ちやらちやら魚棚

六条三哲とおりすぎ

七条こえれば八九条

十条東寺でとどめさす

高間東車屋町通

烏両替室衣

新町釜座西小川

油醒ヶ井堀川のみず

葭屋猪黒門大宮へ

松日暮に智恵光院

浄福千本はては西

室町家 羽林家。西園寺流。維新後伯爵。

西洞院家 半家。維新後子爵。

油小路家 羽林家。四条流。維新後伯爵。

大宮家 羽林家。公李流。

抜けもあるかも知れませんが。

クヴァジルさん

#12 三河国今川庄 2007/ 7/12 2:29 [ No.15103 / 15916 ]

今川氏は足利一門の吉良長氏の子（養子？）の国氏が三河国今川庄を与えられたことに端を発する。今川庄は現在の愛知県西尾市今川町にあたる。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#13 上州新田郡 2007/ 7/13 13:55 [ No.15104 / 15916 ]

群馬県の太田を中心とした、日系ブラジル人の多い地域ですが、一番多い大泉町は隣の邑楽郡に属します。

新田氏は多くの系統に分かれて、それぞれ大した勢力も持たなかったのですが、討幕で新田義貞が名を挙げます。

永\_井 荷\_風さん

#14 上野国多胡郡山名郷 2007/ 7/13 14:38 [ No.15105 / 15916 ]

山名氏も新田氏の同族で、庶流から始まる家柄です。

クイズ パンチ de デートさん

#15 上野国多胡郡 2007/ 7/13 15:28 [ No.15106 / 15916 ]

戦国期、尼子氏に仕えた多胡氏のルーツ。

尼子晴久に仕えた多胡辰敬の多胡家家訓が有名。

「命を惜しまず、名を惜しめ」の訓は江戸期の武士道にもつながっていく。

クヴァジルさん

#16 上野国碓氷郡里見郷 2007/ 7/13 23:20 [ No.15107 / 15916 ]

里見氏は新田義重の子・義俊がこの地に領地を得て里見を名字としたことに始まる。安房・上総の戦国大名である里見氏

はこの流れをくむとされているが、安房に定着するまでの経過には不明な点がある。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#17 下野国足利荘 2007/ 7/14 0:09 [ No.15108 / 15916 ]  
源義家（八幡太郎義家）の三男源義国（足利式部大夫）が下野国足利荘（現在の栃木県足利市）を領有し、次子源義康以降子孫は足利氏を称したのが始まりです。

#13 新田氏とは同祖の関係になります。

ryozanpaku\_2007 さん

#18 秦（中国の） 2007/ 7/14 10:58 [ No.15109 / 15916 ]  
秦河勝など渡来系氏族の氏。秦の始皇帝の末裔と称するもあやしい。

いちおう、始皇帝の秦は始皇帝の家の始祖が秦に領地を賜ったところに由来する（が、これも確証はなく、後世の捏造の可能性は高い）。

秦が地名であることは間違いない。

古い朝鮮の国いわゆる三韓の一つ辰韓（秦韓と呼ばれ、秦の遺民の国ともいう）から渡ってきたという説や、五胡十六国時代の前秦系ともいう。

ハタの音は韓国語のパダ（海）からとも、渡来系民族の職業としてポピュラーであった織機産業からとも、新羅の波且という地名からともいう。

本拠地は京都太秦（うずまさ。日本のハリウッドとかいわれている、アノ場所）というが、全国に秦のつく地名があり、方々に土着していたようでもある。

クヴァジルさん

#19 伊豆北條 2007/ 7/14 18:17 [ No.15110 / 15916 ]

韮山の近くにある北條氏の本拠地ですが、

条里制の名残の地名のようで、他にも

伊予北条、播磨加西郡北條、伯耆北條など、

方々に「北條」という地名があります。

南條だの西條だのも方々にあります。

永\_井\_荷\_風さん

#20 肥前松浦 2007/ 7/14 18:18 [ No.15111 / 15916 ]

あややをはじめとする松浦党の本貫地。

肥前松浦郡は佐賀県と長崎県にまたがる広大な地域で、魏志倭人伝に記される「末慮国」もこの地を指すと言われます。

松浦氏は嵯峨源氏渡辺氏の分派と言われ、戦国大名として

活躍した後、平戸六万石あまりを安堵され、

幕末までしっかりと存続します。

永\_井\_荷\_風さん

お題 名刀 2007/ 7/14 18:54 [ No.15112 / 15916 ]

刀、槍、その他武器いろいろ。

実在（実在していた）武器限定で。

銘、通称、いずれでもOKということで。銘の場合は刀鍛冶の名前と同じということにもなります（特定の武器名ではなく、同作者の一連の刀剣ということになる）。

#00 草薙の剣（天叢雲剣）

三種の神器の一つ。ヤマタノオロチの尻尾から出現したといわれ、スサノオの手からアマテラスに献上され、後、天皇家へと渡っていく。

日本武尊の伝説から草薙の剣と呼ばれるようになった。

後、平家とともに壇ノ浦に水没したとも、熱田神宮にあるともいわれる。

そもそもが神話上のものなので実在性そのものが、ちょっとアヤシイ。神器自体が捏造かもしれん。

クヴァジルさん

#01 七支刀 2007/ 7/14 22:28 [ No.15113 / 15916 ]

奈良県天理市の石上神宮に伝わる神宝。「六叉の銚（ろくさのほこ）」

の名で伝えられている。鉄製で全長75cm、両刃の剣の左右から3本

ずつ小剣が枝分かれしている特異な形状です。剣には銘文があるが損傷や

錆のため全文解読は困難な状況ですが、現在では百済の肖古王が泰和四年

（東晋の年号＝369年）に倭王の御旨をうけて七支刀を造ったという解

釈が有力な説である由。

また『日本書紀』神宮皇后五十二年条に百済が七枝刀一口、七子鏡一面、

および種々の重宝を献するという記事がありこれが七支刀を指すと

思われます。

sakisaki さん

御礼【名字の地 20】 2007/ 7/15 2:23 [ No.15114 / 15916 ]

スムーズに進んだようですね。やはり、武士の本場、関東の地名が多いようです。公家の京都の地名は折込済みでしたが、まとめていただいたのでたくさんの答えがでてきました。流石です。またやってみたいと思います。

しゅうじさん

#2 三日月宗近 2007/ 7/16 9:59 [ No.15115 / 15916 ]

三条“小鍛冶”宗近の作。徳川将軍家伝来。国宝指定。

三条宗近は小鍛冶と通称された名工。謡曲「小鍛冶」で稲荷の使いの狐と協力して鍛えたという「小狐丸」の伝説がある。クヴァジルさん

#03 蜻蛉切 2007/ 7/16 16:21 [ No.15116 / 15916 ]

徳川四天王の一人、本多忠勝が手挟んでいたという名槍。

名前の由来は、槍先に止まっていたトンボが真っ二つになってしまうほどの切れ味を誇っていたからだそうです。長さ約6メートル。

岡崎城にレプリカが置いてあるそうです。まだ見たことはないですが。

関目企画さん



#番外 徐夫人 2007/ 7/16 23:25 [ No.15117 / 15916 ]

中国戦国時代の燕の太子丹が秦王政を暗殺する為入手した匕首。

非常に鋭利で刃に毒薬を塗ったうえで人を刺すとほんの少し血

が流れただけで絶命したという（人体実験！）。

太子丹はこれを刺客荊軻に託し、秦王暗殺を謀ったが、間一髪で

秦王は危地を脱し、荊軻はその場で返り討ち、燕はその五年後に

滅亡する。

尚、「徐夫人」とあるが、注釈によればこれは男子の名である由。

外国の話なので番外です。

sakisaki さん

#04 大般若長光 2007/ 7/17 14:28 [ No.15118 / 15916 ]

鎌倉時代の備前・長光の作品。現在は国立博物館に所蔵されているそうです。

所有者が圧巻で、足利義輝一三好長慶一織田信長一徳川家康一奥平信昌一松平忠明、と続いています。これだけで価値あるんだなあ、という雰囲気ありありです。

クイズ パンチ de デートさん

# 5 童子切安綱 2007/ 7/17 15:39 [ No.15119 / 15916 ]

国宝。前述の三日月宗近とともに天下五剣の一。大原安綱の作。

源頼光が酒呑童子の腕を切り落としたという伝説のある名刀。

クヴァジルさん

大津和多理という白石藩士若しくは仙台藩士 2007/ 7/18 12:31 [ No.15120 / 15916 ]

安政 5（1857）年に白石藩士若しくは仙台藩士の子として生まれ、維新後は、宮城英語学校在学中の明治 10（1877）年に臨時徴募巡査に参加し西南の役に出征しました。西南の役

終了後、北海道に渡り、翌明治 11 年（1878）年札幌農学校に入学しました。同時期に新渡戸稲造、内村鑑三、有島一郎等が同農学校に在籍していました。その後、当時北海道の殖産政策の為に教育を受ける事ができなかった、札幌とその近郊に開拓の為に入植していた旧伊達家一門の子息達を中心に、明治 18（1885）年、中等教育の為に北海英語学校を創始しました。

しかし、病気のために 2 年後の明治 20（1887）年仙台に帰郷しましたが、大正 6（1917）年に逝去されています。

この、大津和多理についての情報をご存知の方がお出ででしたら、是非ご連絡を頂けると幸甚です。特に北海道から仙台へ帰郷後から逝去されるまでの情報を頂けると更に幸甚です。

また、同様に北海英語学校・北海中学（北海高校）に尽力された

、仙台藩出身の小平元勞・戸津高知のお二人の情報も探しております。何卒宜しくお願い致します。

juurikyo さん

#6 包丁正宗 2007/ 7/18 15:51 [ No.15121 / 15916 ]

鎌倉時代の名工、正宗作の短刀。三つあるらしいのですが、そのうちのひとつが、名古屋の徳川美術館で見られます。

包丁の名が付くだけあって、幅がある短刀でした。これで魚をさばいたら、さぞ贅沢でしょう（笑）。

クイズ パンチ de デートさん

#07 虎徹 2007/ 7/18 17:27 [ No.15122 / 15916 ]

江戸初期に加賀藩に仕えた刀工で、当時は西洋からの「南蛮鉄」が使われ始めていて、西洋の鉄は一度高温の処理が成されていたのに対して、鍋や釘を集めて廻り、古い製鉄法で作られた鉄を使ったのが特徴で、はじめ「古鉄」と号したそうですが、後に「虎徹」と字を変えます。

稲葉正休が殿中で堀田正俊を斬ったのも虎徹だったそうですが、近藤勇がつかまされたのは偽物で、そちらも名刀ではあったようです。

永\_井\_荷\_風さん

#番外 竹光 2007/ 7/19 6:06 [ No.15123 / 15916 ]

刀身状に削った竹の棒に銀箔などを貼り付け刀に見せかけたもの。

武家の下僕や折助あるいは浪人が腰にさしていました。刀工の名

には国光、兼光、吉光と「光」のつく者が多かった事から「竹光」

と洒落のめした名称であり、なまくら刀を指す事もあります。

この名は江戸時代に生まれたようですが、竹に銀箔を貼り付けた

偽刀自体は「竹刀（たけかたな）」という名で 1540 年に成立した

俳諧書に見えているので、戦国時代から刀をもてない者が偽装して

作っていたのかも知れませんね。

非「名刀」の代表、番外です

sakisaki さん

# 8 鎌倉一文字助真 2007/ 7/19 15:35 [ No.15124 / 15916 ]

助真（すげざね）の銘。

上杉謙信が鉄砲を斬ったという鉄砲切助真が有名。謙信といえば、川中島で信玄の軍配を切ったという小豆長光も有名（このエピソードが真実かどうかは怪しいが）。「長光」

は既出の大般若長光（国宝）で有名な備前長船派の代表格の一人。

クヴァジルさん

# 9 小竜景光 2007/ 7/21 13:01 [ No.15125 / 15916 ]

景光は長光（大般若長光の）の子といわれる。俱利伽羅竜の彫り物があるので小竜と呼ばれたらしい。

楠正成の使っていた刀だという。長らく行方不明だったが、江戸末期に見つかり、後、明治天皇のものになった。

クヴァジルさん

# 1 0 備前長船兼光 2007/ 7/22 13:58 [ No.15126 / 15916 ]

名刀の代名詞的業物。

景光の子というから、大般若の長光の孫にあたるか？

クヴァジルさん

# 11 鶴丸国永 2007/ 7/22 21:25 [ No.15127 / 15916 ]

銘の由来は、恐らく鶴の紋をつけた金具がつけられていたことから名付けられたとされています。

仙台伊達家がよく使用しています。

ryozanpaku\_2007 さん

# 1 2 村正 2007/ 7/23 15:27 [ No.15128 / 15916 ]

妖刀伝説で有名。

この伝説は徳川家の人物がこの銘刀で命を失うことが多かったため、江戸期に作られた伝説と思われるが、戦国期、それだけ愛用された銘刀であったという証明でもある。

ちなみに、既出の蜻蛉切も銘村正である。

クヴァジルさん

# 13 一期一振 2007/ 7/24 22:53 [ No.15129 / 15916 ]

「一期一振」という変わった異名を持つ日本刀ですが、これは鎌倉時代初期の京の名工である粟田口吉光の作です。吉光は短刀を多く作っており、長刀はこれしかないであろうということで、細川幽斎が「一期一振」と名付けたそうです。幽斎は信長から譲り受け、その後秀吉の手に渡りました。秀吉の死後も豊臣家が所有していたのですが、大阪の陣のときに他の名刀とともに火災の中で焼けてしまいます。無類の刀好きであった家康は、秀吉が集めていた数々の名刀を惜しみ、康継という名工に命じて焼直させます。その後時代が下り、「一期一振」は明治天皇に献上されました。

ryozanpaku\_2007 さん

# 14 孫六兼元 2007/ 7/25 2:15 [ No.15130 / 15916 ]

最上大業物の一つ。「関の孫六」と通称される。

二代目兼元のものは大永年間から天文年間にかけて作られたとされる。「三本杉」とよばれる刃紋が特徴である。

佩用者には武田信玄、豊臣秀吉、前田利政など。

遺作の「大蛇切兼元」は屈指の名品とされる。

三島由紀夫も軍刀拵えの「孫六」を持っており、自決のさいには介錯に使用されたという。いまでも、警視庁に保管されているとか。真贋は不明。

しゅうじさん

# 1 5 菊一文字則宗 2007/ 7/25 11:33 [ No.15131 / 15916 ]

一文字派の祖、則宗の作の総称。

某ゲームなどでも有名。

天下五剣と並び称されるとあって、ゲーム中でも能力高し。後鳥羽上皇から天皇家の紋である十六弁の菊紋を入れることを許された。

ただし、菊紋の銘刀は見つかっておらず、伝説の域をでない。沖田総司の愛刀としても名高い？がこれは司馬遼太郎の小説、新撰組血風録での創作らしい。

クヴァジルさん

# 16 甕割 2007/ 7/26 23:14 [ No.15132 / 15916 ]

一刀流の祖、伊藤一刀斎景久が宅に押し入った盗賊と一刀で

渡り合い、大甕の後ろに回った賊を甕諸共に斬ったところ、甕も賊も胴を両断されて二つになった。このことからその太刀を

「甕割」と名付け愛蔵し、これを後に弟子の小野忠明に譲ったと

いう。一説に甕割刀は名工一文字が三嶋神社に奉納したもので

三嶋の神主が一刀斎に贈ったものという。

sakisaki さん

# 1 7 薬研通吉光 2007/ 7/27 2:41 [ No.15133 / 15916 ]

粟田口吉光の作の短刀。

畠山政長が自刃の際に投げ捨て、薬研を突き通したという。粟田口吉光は岡崎正宗、郷義弘と共に三作と称された。

クヴァジルさん

# 1 8 左文字 2007/ 7/27 12:23 [ No.15134 / 15916 ]

織田信長が今川義元を討ち取ったとき、義元から奪った戦利品の名刀。

いまは建勳神社に保存されているそうですが、義元が持っていたときは大太刀だったのに、現状は50cm程度と短いそうで、理由はよくわかりませんが、信長が短くしてしまったそうです。

クイズ パンチ de デートさん

# 1 9 呑取り日本号 2007/ 7/27 13:55 [ No.15135 / 15916 ]

無銘ながらも日の本一と謳われた名槍。大和国金房作との説もある。

秀吉が後陽成天皇から賜った、三位の槍。

後、福島正則へ与えられた。

黒田家家臣の母里太兵衛が正則との呑み比べに勝利して強引に貰い受けた。

このことが黒田藩の民謡、黒田節に「日の本一の槍」と歌われた。

クヴァジルさん

# 20 押し切り長谷部 2007/ 7/29 22:32 [ No.15136 / 15916 ]

織田信長は気の短いことでも有名ですが、あるとき無礼を働いた観内という名の茶坊主を切り捨てようと思いました。観内は恐れをなして、膳棚の下に隠れてしまいます。ところが信長はそのまま膳棚ごと観内を切り捨ててしまったのです。このときの刀が長谷部国重です。

この日本刀はその後黒田家に贈られました。黒田官兵衛（如水）は信長を裏切った荒木村重に捕らえられ、何年も牢獄に閉じ込められていたことがあります。それでも官兵衛は信長を裏切ることはありませんでした。「押し切り長谷部」はそ

の功を謝して贈られたものようです。

「押し切り長谷部」は現在は国宝に指定されています。

ryoanpaku\_2007 さん

#### お題【「郡」の名のついた歴史用語】 2007/ 7/30 13:45 [ No.15137 / 15916 ]

実は郡オタクであるという個人的な趣味全開のお題を。  
現存する、あるいは歴史上実在した「郡」の名が付いた  
歴史用語（固有名詞も含む）を20件挙げてください。

「郡」の下に、同名の「郷」が存在する場合、  
「郷」の方を冠した用語であってもOKとします。

歴史用語とは呼べない現代の名産品みたいなものはいちおう番外で。

番外 魚沼こしひかり

信濃川中流域と、支流の魚沼川の、二つの谷を中心とした郡  
で、

魚沼産のこしひかりがブランドになったことから、

平成の合併でも「魚沼市」や「南魚沼市」などが誕生しました。

永\_井 荷\_風さん

#### #01 葛飾北斎 2007/ 7/30 22:51 [ No.15138 / 15916 ]

>歴史用語（固有名詞も含む）

ということなので。

江戸時代の化政文化を代表する浮世絵師の一人ですね。

葛飾というと、東京都葛飾区を思い浮かべますが、律令時代に、下総国の葛飾郡が定められたのが始まりで、下総国の国府は、この葛飾郡に置かれていました（現在の市川市）。

江戸時代、徳川幕府の支配の下で、当郡内のうち江戸城に近い本所や深川は江戸市街地の一部を構成するようになり武蔵国に編入されます。

葛飾北斎は本所の出身です。

ryoanpaku\_2007 さん

#### Re: #02 松浦党 2007/ 7/31 0:03 [ No.15139 / 15916 ]

松浦（マツラ）郡は東西南北の4郡あり、東西は佐賀県に、南北は長崎県にある。昔はそれぞれ上下松浦郡と言っていた。ちなみに唐津は東、伊万里は西、平戸は北、五島列島は南である。

松浦氏は嵯峨源氏の源久が、十一世紀の中頃に宇野御厨の検校として下松浦郡志佐郷に土着したのがはじまりとされる。ただし松浦党には上松浦郡の波多氏も含まれる。現在の松浦市内には、志佐と御厨の地名が残っている。

ara\*\*segis\*nsi さん

#### # 3 奥州九戸の乱 2007/ 7/31 2:36 [ No.15140 / 15916 ]

九戸郡の統治者、九戸政実のおこした大乱。

奥州の覇者、南部晴政の死後のお家騒動が発展した乱。

南部晴継の急死後、南部氏は信直が継いだ、これを不服とした政実との間に不和が生じ、ついに政実が挙兵する。

信直の要請で豊臣家が介入、総勢6万とも10万とも言う大軍が派遣された。

クヴァジルさん

#### #4 印旛沼 2007/ 7/31 14:29 [ No.15141 / 15916 ]

印旛郡は現存していて、7市2町2村（成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、印旛村、本埜村、栄町）で構成されています。

印旛沼は洪水対策のため、新川（海側は花見川と名前が変わる）の流れを逆行させて、東京湾への排水路にする一大事業が江戸時代に始まったのですが、あまりの難工事で、完成したのは昭和40年代と、とてつもない年月が経っていました。

クイズ パンチ de デートさん

#### #05 播州手述素麺揖保乃糸 2007/ 7/31 15:34 [ No.15142 / 15916 ]

ブランド名の「揖保乃糸」ができたのは明治だそうです、素麺自体は室町末期の文献にも出てくる伝統的なものだそ

うです。

播州揖保郡は、兵庫県西部の小京都龍野を中心とする地域で、素麺の産地はここと揖保川の上流の宍粟（しろう）郡になるそうです。

永\_井 荷\_風さん

#### #06 赤穂浪士 2007/ 8/ 1 18:54 [ No.15143 / 15916 ]

揖保郡の西隣、播磨国の西の外れです。

赤穂というのは、城下町の名前であるとともに、

実は相生や上郡も含んだ郡の名前です。

永\_井 荷\_風さん

#### #07 胆沢城 2007/ 8/ 1 23:33 [ No.15144 / 15916 ]

陸奥国胆沢郡（現・岩手県奥州市）にあった城柵。坂上田村麻呂が蝦夷征伐に派遣されたときに築く。まもなくこの地に鎮守府が置かれた。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#### # 8 可児吉長（才蔵） 2007/ 8/ 2 13:55 [ No.15145 / 15916 ]

美濃可児郡の生まれという。当地の豪族とか、そういうのではなく、出身地を姓として名乗っただけのようだが、よくわからん。

笹の才蔵として有名。有名だが、それほど出世したわけではなく、最高でも1000石程度の侍だった。

クヴァジルさん

#### #9 佐久鯉 2007/ 8/ 2 15:08 [ No.15146 / 15916 ]

長野県佐久地方に伝わる鯉料理。もともとは淀川の鯉を、殿様が持ってきて水田で飼育したのがはじまり（だったと思う）。

水がいいのか、川魚特有の泥臭さが無いのが特長、だそうです。

クイズ パンチ de デートさん

#### #10 牟婁の湯 2007/ 8/ 2 22:06 [ No.15147 / 15916 ]

「牟婁郡」は、紀伊国の南半分くらいを占める広大な地域で、東西南北の四郡に分かれて、南牟婁郡は三重県に編入されますが、分け方がちょっと適当だったのか、一部に和歌山県の飛び地が生まれたりもしています。

牟婁の湯というのは今の南紀白浜温泉ですが、日本書紀や万葉集にも現れ、持統天皇をはじめとして多くのセレブがリピーターだったことでも知られます。

永\_井 荷\_風さん

番外？ エバラ焼肉のたれ 2007/ 8/ 3 10:18 [ No.15148 / 15916 ]

荏原郡は東京の城南地域から川崎あたりまでを含むかつて存在した郡。

エバラ食品のほか、荏原製作所、なんていう企業も浮かびましたが、さすがに歴史用語ではないですね。

クイズ パンチ de デートさん

# 1 1 三好長慶 2007/ 8/ 3 15:33 [ No.15149 / 15916 ]

信長以前の近畿の覇者。

細川氏の被官で、もともとは阿波三好郡に勢力をもっていた。

家柄的には甲斐源氏小笠原氏の庶流という。

主家細川家を圧倒して実権を握るも最後は自身も松永久秀に実権を奪われた。

クヴァジルさん

# 12 くきのうみ 2007/ 8/ 3 16:50 [ No.15150 / 15916 ]

郡名がついたというより、郡名の元になったのかも知れないので、順番はちょっと逆になります。

今で言う北九州の「洞海湾」は、古くは「洞海(くきのうみ)」と呼ばれ、「くき」とは「山の洞穴」という意味だそうです。豊前国救企(くき)郡というのは、小倉と門司の全域にほぼ匹敵する地域なので、洞海湾には余り面していませんが、昔は洞海湾ももっと大きかったような気がします。

おそらく「洞海」に面した郡という意味で、後に和銅年間に好字を当てて「救企」となったものと思われます。

永\_井 荷\_風さん

すみません↓キャンセル 2007/ 8/ 3 20:06 [ No.15151 / 15916 ]

なんか変だと思って確認したら、救企郡ではなく、企救郡でした。だから、つながりもないようです。

ずっと勘違いしていました。

撤回します。

永\_井 荷\_風さん

# 12 諏訪大社 2007/ 8/ 3 23:34 [ No.15152 / 15916 ]

全国各地に分布する諏訪神社の総本山で、上社と下社に分かれている。

上社は前宮と本宮、下社は春宮と秋宮のそれぞれ2宮から成る。

前宮は茅野市、本宮は諏訪市、春宮と秋宮はいずれも諏訪郡下諏訪町にある。

茅野市、諏訪市は市制施行前は諏訪郡に属していた。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

1 3. 那須与一 2007/ 8/ 6 1:27 [ No.15153 / 15916 ]

平家物語のヒーローの一人。

下野国那須郡が発祥という。

ちなみに、超有名人ながら、吾妻鏡などに記述がなく、実在性すら怪しいところがある人物だったりする。

クヴァジルさん

# 14 不破関 2007/ 8/ 6 23:48 [ No.15154 / 15916 ]

かつて美濃国不破郡(現・岐阜県不破郡関ヶ原町)に存在した関所。

壬申の乱の翌年、天武天皇の命により鈴鹿関、愛発関とともに設置された。

この関から東にある国・地域が「東国」または「関東」とよばれるようになった。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

# 15 木曾五木 2007/ 8/ 7 20:39 [ No.15155 / 15916 ]

長野県の南部、古くは中山道が通って多くの宿場を擁し、現在ではJ R中央本線が貫く木曾谷周辺は木曾郡に属しますが、その郡名は以外に新しく、昭和43年にそれまでの西筑摩郡から独立して初めてこの名が生まれました。

この「木曾」の名を持った産物として名高いのが「木曾五木」で、この地域の広大な山林で育った檜(ひのき)、樅(さわら)、翌檜(ひば・あすなる)、高野槇(こうやまき)、杜松(ねずこ)の五種の樹木を表し、江戸期の尾張藩の統治時代には、貴重な木材の原料として厳重に保護され、勝手に伐採すれば「檜一本首一つ」と言う厳罰に処せられていました。六文銭さん

# 1 6 埼玉古墳群 2007/ 8/ 7 20:48 [ No.15156 / 15916 ]

現在の埼玉県の東部の地域が多くが埼玉郡に属していて、明治初期に北埼玉郡・南埼玉郡に別れていますが、このさいたま郡、古くはさきたま郡の中心で郡名発祥のちと言われるのが現在は埼玉県行田市に属する埼玉(さきたま)地区で、ここには5世紀から7世紀にかけてこの地域で絶大な権限を振ったと思われる族長たちの大規模な前方後円墳が集中していて、埼玉古墳群と称され、現在このちいきは「さきたま風土記の丘」として歴史散策ができるよう整備されています。六文銭さん

番外 高座豚 2007/ 8/ 7 21:03 [ No.15157 / 15916 ]

神奈川県中部に高座郡があり、かつては現在の相模原、座間、海老名、大和、藤沢、綾瀬市にあたる地域が属していましたが、現在ではこの郡を冠して存続しているのは寒川町のみとなっています。

この高座郡の、現在の綾瀬市の地域で明治時代に英国ヨークシャー種の豚を輸入して牧畜を初め、ブランド物の豚肉として広まったのが高座豚で、しかし昭和50年ごろには衰退して絶滅寸前になったと言いますが、この地域の8人の牧畜家が奮起して復活に努め、現在では再びブランド品の豚肉として人気を集めています。

六文銭さん

**#17 吉備真備** 2007/ 8/ 7 22:51 [ No.15158 / 15916 ]

備中国下道郡（後の岡山県吉備郡真備町、現在の倉敷市真備町）出身の奈良時代の学者・政治家です。

吉備郡自体は現在は岡山市、倉敷市、総社市などと合併し消滅しています。

第三セクターの井原鉄道に「吉備真備駅」なるものがあり、同じ第三セクターの智頭急行の「宮本武蔵駅」同様、人名がフルネームで駅名になっている珍しい例になっています。

ryoanpaku\_2007 さん

**#18 設楽原の戦い** 2007/ 8/ 8 10:17 [ No.15159 / 15916 ]

いわゆる、長篠の戦い。

長篠城が設楽郡に属する。主戦場ともいうべき、いわゆる鉄砲三段撃ちにて武田騎馬軍団を撃破した地が設楽原とよばれる狭隘な丘陵地であった。

クヴァジルさん

**#19 宮城野信夫** 2007/ 8/ 8 20:20 [ No.15160 / 15916 ]

「碁太平記白石噺」という芝居の別名にもなっている奥州出身の姉妹の名で、姉の宮城野は吉原の人気太夫、妹の信夫は、江戸へ出来てたばかりの奥州言葉丸出しの田舎娘。

妹に父の死を知らされて、廓を抜け出して

姉妹手を取り合って仇討ちの旅に出ます。

宮城野は仙台市の「区」にもなっていますが、

宮城郡は仙台の町を含んだ郡で、

仙台藩は戊辰戦役で薩長と対立したため、仙台県ではなく宮城県になりました。

信夫郡は福島市の町を含む郡で、こちらは

一番の大藩の会津藩が反逆したので、県名や県庁所在地はマイナーな町福島に置かれる結果になりました。

もし、二本松に県庁が置かれていたら、

安達県になっていたはずです。

永\_井\_荷\_風さん

**#20 香取神宮** 2007/ 8/ 9 22:34 [ No.15161 / 15916 ]

下総国の一宮とされる大社で同国香取郡に所在。神武天皇のころ紀元前 7 世紀の創建と号するが、それでは「委奴国王」の金印以前の時代の創建となるから、そうではないのは言うまでもない。

平安期には伊勢、鹿島などととも「神宮」を名乗っていたとされる。鹿島神宮とともに関東では崇敬を集めた神社である。

しゅうじさん

**#21 千葉介（ちばのすけ）** 2007/ 8/ 9 22:38 [ No.15162 / 15916 ]

下総国の守護の通称。千葉氏が歴任したことによる。千葉氏は桓武平氏の流れを汲み、下総国千葉郡に拠ったことから、千葉を名字をする。

しゅうじさん

**#22 安曇族** 2007/ 8/ 9 22:55 [ No.15163 / 15916 ]

元は筑紫の海洋民族で、信州安曇郡（梓川から北、信濃大町にかけての地域）に入植したとされる一族。

古代史的には面白いそうだけど、いまいちよく知りません。

永\_井\_荷\_風さん

**お題 戦史** 2007/ 8/10 19:50 [ No.15164 / 15916 ]

というわけで、日本における戦いを時系列順にならべてみようかと。

ちょっと実験的なお題となります。

古代から近代まで、日本国内での戦限定でお願いします。

ので、白村江の戦や元寇、朝鮮の役、近代の戦争などは除外です。

ここでいう国内とは現日本国領土と考えてください。

回答数 20 ということは 50 年 1 個ペースで 1000 年になりますね。

最後にもう一度。時系列順になるようにお願いします（タイトルに年号を入れてください）。ので、あまり年代を飛ばさないようにお願いします。（奈良時代の戦からいっぺんに幕末まで飛ばないように）

では

**#00** 587 年、衣摺の戦い

蘇我馬子と物部守屋の戦い。この戦いで物部氏は滅び、蘇我氏・聖徳太子の連合政権が誕生、仏教擁護派の勝利は日本の仏教史においても重要な戦いとなった。

次は 587 年以降でできれば 700 年以内くらいで・・・（まあ、後々戦国時代のような時代もあるので多少の調整はきまですが）。

クヴァジルさん

**お題 01 壬申の乱 (672 年)** 2007/ 8/10 20:02 [ No.15165 / 15916 ]

天智天皇の皇太子の大友皇子（のちに弘文天皇を追贈）と皇弟の大海人皇子の皇位を巡る争いとされる。日本古代史最大の内戦であり、天皇家が二つに割れて、武器を取り、ガチンコで殺し合いをしたただ一つの例とも（保元の乱などは代理戦争）・・・。

この戦いでは「反乱者」である大海人皇子が勝利し、天武天皇として即位し、いわゆる「天武朝」のもと日本は律令国家としての装いを整え始める。

しゅうじさん

**#02 藤原仲麻呂の乱 (764 年)** 2007/ 8/10 21:28 [ No.15166 / 15916 ]

朝廷の実権を握り太政大臣に昇りつめた仲麻呂であったが、孝謙上皇（後に重祚し称徳天皇となる）のお気に入りである僧・道鏡の専横な振る舞いに憤慨し、遂に挙兵を決意する。近江に入った仲麻呂は塩焼王（天武天皇の孫）を擁し、朝廷軍と近江北部で衝突した。

終始劣勢のまま仲麻呂軍は敗れ、仲麻呂は敗走中に討たれた。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#03 葉子の変(810年) 2007/8/10 21:51 [No.15167/15916]

仲麻呂の乱を挙げようとしていたら、先を越されてしまった。その次となると、この辺でしょうか。

その頃まではブイブイ言わせていた藤原式家を亡ぼす事件でもあったようです。

永\_井\_荷\_風さん

#04 承平天慶の乱(939年~940年) 2007/8/11 18:31 [No.15168/15916]

平安時代はさすがに事例を探すのが難しく、#03から120年経ちました。

承平天慶の乱、またの名を平将門・藤原純友の乱。とはいえ、この二つは全くの別物で単に同時期に起こったからまとめてこう呼ばれているのに過ぎないとのこと。

関目企画さん

#05 前九年の役(~1062年) 2007/8/11 22:27 [No.15169/15916]

奥州の奥六郡と呼ばれた北上川中流域の胆沢、江刺、和賀、稗貫、紫波、岩手の六郡はある程度の自治権を認められた蝦夷の地域で、その地の俘囚を統括する俘囚長を務めていた安倍頼良が朝貢を滞らせ、次第に南部を脅かす力を持ち始めたことから、朝廷方は源頼義と源義家の親子を送り、都合十二年に渡る断続的な戦いの後、安倍氏が滅び、源氏や清原氏が奥州に台頭することになります。

安倍首相はこの安倍氏の末裔とされますが、折りしも今回の選挙は団塊以降の世代が主導する改革に、団塊以上の反動勢力が東になって勝利を得たような図式に加えて、長州大津郡を本貫とする安倍氏が、仙台支藩の胆沢郡水沢出身の小沢一郎に敗れるという、百数十年前と千年前の地縁と血縁とが怨念になってぶつかったような図式も読み取れます。

永\_井\_荷\_風さん

#06 後三年の役(1083~1087年) 2007/8/11 23:46 [No.15170/15916]

後三年の役は、奥州藤原氏の繁栄のきっかけを作った戦いである。

源義家は清原氏の内紛を裁定するために奥州に出征してきた。このとき、前九年の役で処刑された藤原経清の遺児・清原清衡(清原武貞の養子)は義家に味方し清原一族を滅ぼす。清原氏の旧領を手に入れた清衡は藤原に姓を復し、平泉に本拠地を構え奥州藤原氏繁栄の基礎を築く。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#07 保元・平治の乱(1156年・1159年) 2007/8/12 18:53 [No.15171/15916]

武家時代の幕開けとなった二つの乱。

崇徳上皇と後白河天皇の争いは天皇側の勝利となる。(保元の乱)

この乱は天皇、上皇、法皇、また摂政などといった複雑化した平安公家政権が武力という実質的なパワーに屈した最初とも思われる。

三年後、今度は後白河上皇と二条天皇が対立、さらにこれに信西や平氏の思惑がからんで非常にややこしい乱となる。大雑把にいうと、まず保元の乱以降、専横の過ぎた信西が後白河・二条両派に恨まれて排除される。この戦は藤原信頼(後白河派)と源氏主導であったが、今度は信頼の専横に二条側が対立、二条天皇の側についた清盛の謀略が的を射て、信頼と源義朝が討たれた。

こうして後白河政権は崩壊、二条天皇の側にも有力な政治家がおらず、平家時代が到来する。

余談・・・

この時代まで未出の戦をざっと。

740年 藤原広嗣の乱 吉備真備と広嗣の対立から起こった乱。九州を舞台とした大乱だった。

789年 巢伏の戦い 蝦夷の名将アルテイが官軍を破った戦い。この後、801年?アルテイは坂上田村麻呂に破れ、処刑される。780年の宝亀の乱から数えて蝦夷征討戦と考えることもできる。

528年 磐井の乱 新羅出兵を計る朝廷軍と筑紫国造磐井の戦い。詳細は不明だが、新羅の要請をうけて磐井が朝廷軍と対峙したらしい。当時、大和政権の実効的支配力も微妙で、地方政権の磐井が新羅と結んで大和から独立を図った戦争だとも思われる。・・・まあ、これは#01の衣摺の戦い(587年)よりもさらに前の戦ですが。

クヴァジルさん

#08 治承・寿永の内乱(1180年~1185年) 2007/8/13 9:34 [No.15172/15916]

1180年5月	以仁王の挙兵
8月	源頼朝挙兵、石橋山の合戦
9月	木曾義仲挙兵
10月	富士川の合戦
1181年3月	墨俣川の合戦
1183年5月	俱利伽羅峠の合戦
7月	平家一門都落ち
10月	水島の合戦
1184年1月	宇治川の合戦、義仲最期
2月	一の谷の合戦
1185年2月	屋島の合戦
3月	壇ノ浦の合戦、平家滅亡

こうして並べてみると所謂、源平の合戦というのうは意外に長いスパンで戦われたのだなあと思いました。特に、一の谷と屋島の間が1年もあいていたとは予想外でした。小説やドラマではすぐに屋島へ渡ったイメージがあるものですので。

関目企画さん

#09 奥州合戦(1189年) 2007/8/13 23:21 [No.15173/15916]

奥州藤原氏の4代目・藤原泰衡は義経を討って頼朝の追及をかわそうとしたが、奥羽を何としても手に入れたい頼朝は宥赦することなく奥州に攻め込んだ。阿津賀志山の戦いで藤原軍は大敗。泰衡は敗走中家臣の裏切りに遭い殺され、ここに奥州藤原氏は滅亡した。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

# 10 和田合戦 (1213年) 2007/ 8/15 14:57 [ No.15174 / 15916 ]

三代将軍源実朝の時代、幕府の実権を巡って、北条義時をトップに戴く北条氏と和田義盛を頂点とする和田一族が鎌倉市街地で激突した戦い。一時は和田氏が優勢も、本来和田一族の本家である三浦一族が北条方についたこともあって形勢は逆転、結局和田一族は滅亡に追い込まれた。

鎌倉時代前期の御家人たちのサバイバルレース、事実上の準決勝でした。

関目企画さん

番外 実朝暗殺 (1219年) 2007/ 8/15 21:14 [ No.15175 / 15916 ]

詳しくないので間違いかもしれませんが、鎌倉御家人の準決勝が和田合戦だとすると、決勝戦はこの辺かなと思ひ。

それなりの戦闘があったことは知られますが、題意ほどのものではないのでいちおう番外にします。

永\_井\_荷\_風さん

# 11 承久の乱 (1221年) 2007/ 8/15 23:34 [ No.15176 / 15916 ]

将軍実朝暗殺事件を倒幕のチャンスととらえた後鳥羽上皇は、腹心の公卿や反鎌倉の武士たちに檄を飛ばし挙兵。一方鎌倉幕府も執権義時の嫡男泰時を総大将に任命し京へ派兵。戦場となった京は荒廃し上皇方は敗北。後鳥羽上皇は隠岐に、順徳上皇は佐渡に流された。

この乱の勝利によって幕府の権力は増大し、執権政治は強化され皇位継承にも意見を述べるができるまでになる。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

# 12 宝治合戦 (1247年) 2007/ 8/16 21:33 [ No.15177 / 15916 ]

北条家は第5代執権、北条時頼、一方の三浦氏の当主は三浦泰村、熾烈なサバイバルを生き残った両氏が激突したのがこの宝治合戦です。結果、三浦一族は滅亡し、これ以降は北条

氏の内輪の争いとなっていきます。数年前の大河ドラマ『北条時宗』ではこの戦いが第1話で描かれていました。

私は個人的にはこの戦いが決勝戦だと、考えています。

関目企画さん

# 13 元弘の乱 (1331～1333年) 2007/ 8/16 21:57 [ No.15178 / 15916 ]

鎌倉幕府倒幕戦のこと。

おおむね、前半の河内での楠正成の活躍と後半の関東での足利・新田軍の活躍部に分けられる。

赤坂・千早の戦いにおける楠公の戦いは後の戦国時代を彷彿とさせる。と、いうか、こうした籠城戦、ゲリラ戦、民兵戦が後の戦国時代に踏襲されたのだろう。武士の戦として（もっとも、正成が純然たる武士階層とはいいがたい、大義名分主義から実力本位主義へ移行した最初の戦いと思われ、そういう意味でも日本戦史上重要な戦いでは？、とったりする。

政治的には、この後、南北朝時代として北朝足利幕府と南朝が長らく続くことになる。

クヴァジルさん

# 14 中先代の乱 (1535年) 2007/ 8/17 21:45 [ No.15179 / 15916 ]

鎌倉幕府の滅亡後、潜伏していた北条家最後の得宗・北条高時の遺児、時行が烽火をあげた反乱。一時は鎌倉を占拠し、その地に配流されていた大塔宮護良親王の謀殺を誘引しますが、大軍を率いて東下した足利尊氏に敗れて散りぢりになります。

北条氏を先代、足利氏を後代とした場合、その間で一応先代に属することから中先代の乱の名がつけました。

そして、鎌倉へ下った尊氏が後醍醐天皇の召喚に応じなかったことから南北朝の動乱へと繋がっていくことになります。なお、首謀者の時行は、その後南朝に属して転戦を続けるも1352年、つまり17年もたつてからようやく捕らえられ、翌年、処刑されました。

関目企画さん

↓ (1353年) の間違いでした 2007/ 8/17 21:46 [ No.15180 / 15916 ]

すみません

関目企画さん

↓再訂正 (1335年) でした 2007/ 8/17 21:48 [ No.15181 / 15916 ]

重ね重ね申し訳ございません

関目企画さん

# 15 湊川の戦い (1336年) 2007/ 8/19 19:49 [ No.15182 / 15916 ]

南北朝時代のハイライトといえる戦いの一つ。

九州で新たな味方を得て反撃に転じた足利尊氏軍を、後醍醐天皇方の新田義貞・楠木正成が摂津湊川で迎え撃つ。

戦いは尊氏軍の一方的な勝利に終わる。正成は自刃し、義貞は京へ敗走した。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

番外 藤島の戦い (1338年) 2007/ 8/19 21:17 [ No.15183 / 15916 ]

楠公も意外と早く亡くなったのね。

仲間の将軍たちも次々に敗れ、2年後には新田義貞も越前で敗死しますが、日本史全体から言えばまいちマイナーなので、番外で。

永\_井\_荷\_風さん

# 16 応仁の乱 (1467～1477年) 2007/ 8/20 4:50 [ No.15184 / 15916 ]

みなさんが健闘してくれましたんで、ぐぐんと年代を進めたいと思います。

まあ、言わずと知れた戦国時代の幕開けとなった大乱。

以降、戦国時代に突入することになる。

ぶっちゃけ、戦国～安土時代だけでも20個くらい楽勝で戦あるな…。

クヴァジルさん

#17 大阪夏の陣 (1615) 2007/ 8/20 9:09 [ No.15185 / 15916 ]

>戦国～安土時代だけでも20個くらい楽勝で戦あるな・・・。  
とゆー訳で割愛。

豊臣家が滅亡し、戦国時代が完全に終結した戦いまで飛んでみました。

桜ももぞうさん

#18 島原の乱 (1637年) 2007/ 8/20 11:15 [ No.15186 / 15916 ]

江戸時代の戦乱という、これくらいしか思い浮かばん。  
クイズ パンチ de デートさん

#19 戊辰戦争 (1868年) 2007/ 8/20 11:32 [ No.15187 / 15916 ]

平和な時代を一気にスキップして近代へ。

大政を奉還したにも関わらず、ドンパチをやることに意味があるというか、薩長の陰湿さ、執拗さが現れています。会津への仕返しも、確実に徹底的に行われました。

永\_井\_荷\_風さん

#20 西南の役 (1874年-1877年) 2007/ 8/20 21:04 [ No.15188 / 15916 ]

トリはこれしかないでしょう。

\*佐賀の乱 (1874年)

\*神風連の乱(1876年10月24日)

\*秋月の乱(1876年10月27日)

\*萩の乱 (1876年10月28日)

\*西南戦争 (1877年)

日本最後の内戦であり、不平士族による反乱というところに特色があります。

これらの内戦が終結すると明治政府の日本での統治能力が磐石となります。

しゅうじさん

お題【 菩提寺 】 2007/ 8/21 21:32 [ No.15189 / 15916 ]

お題独占状態になりますが、そんなの関係ねえ！

サクッと参りましょオッパッピー。

歴史的に有名な家の代々や、歴史上の有名人の菩提寺とされる寺を20箇所挙げてください。

ひとつの家に二箇所以上の菩提寺のある場合は、家の重複はOKとします。

#00 龍潭寺／井伊家

遠州引佐郡井伊谷 (いいのや) の名族で地域の支配者であった井伊家の菩提寺である龍潭寺の庭園は小堀遠州作と言われます。

今川に父を殺されて奪われた領地を家康が丸ごと取り返して、放浪していた15歳の直政に与えてくれたのですから、そんな主君のために奮闘するのは当然と言えます。

永\_井\_荷\_風さん

#01 鏝阿寺 2007/ 8/22 9:07 [ No.15190 / 15916 ]

足利氏の菩提寺。

八幡太郎の予言「七代後の子孫が天下を取る」が残されていたために、当の足利家時が自害に追い込まれ、さらにその遺言により指名された尊氏が苦悩するという罪作りな展開に。しかし、鏝阿寺自体が八幡太郎の曾孫によって創建されたものであり、義家自体は知るすべもない。

さらに、なんでわざわざ正嫡ではなく三男の系統に天下取りを託したのか、かなり意味不明な遺言ではある。

桜ももぞうさん

#02 東光寺 2007/ 8/22 12:02 [ No.15191 / 15916 ]

萩にある毛利家の菩提寺。松蔭神社、松下村塾跡が近いので、セットでお参りするのが観光の定番です。

クイズ パンチ de デートさん

#03 寛永寺 2007/ 8/22 19:02 [ No.15192 / 15916 ]

寛永 2(1625)年に將軍家光が開基。増上寺と並ぶ徳川將軍家の菩提寺の一つで、歴代將軍のうち6人がこの地で眠っている。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

#04 増上寺 2007/ 8/22 21:59 [ No.15193 / 15916 ]

いちおう家康の元の菩提寺が浄土宗であったので、江戸入部に当って浄土宗の中で江戸で一番の名刹を選んだのが増上寺だったそうで、住職の存応は、その身に余る栄誉に増長して専横の振る舞いも多かったと言われます。

増上寺には、寛永寺と同じ数の、6人の將軍 (秀忠、家宣、家継、家重、家慶、家茂) プラス静寛院宮親子内親王 (家茂室和宮) が葬られています。戦災で改葬されています。

あとの3人はどこかな？

改葬の際に秀忠と思しき遺体の検証を行ったところ、やわらかいものばかりを食べていたことが分かったとか。

永\_井\_荷\_風さん

#05 泉岳寺 2007/ 8/23 15:17 [ No.15194 / 15916 ]

いちおう諸侯の菩提寺は、江戸にも構えることになっていたそうで、

赤穂浅野家の江戸の菩提寺は高輪の泉岳寺で、主君の墓があることから、

四十七士の墓も並べて建てられ、観光スポットにもなっています。

永\_井\_荷\_風さん

#06 林泉寺 2007/ 8/23 23:26 [ No.15195 / 15916 ]

米沢藩上杉家およびその前身である越後守護代長尾家の菩提寺で、上越市 (春日山) と米沢市の2箇所が存在する。

上杉景勝が会津に移ったとき春日山と会津に存在するようになり、更に景勝が米沢に移ると会津の林泉寺も米沢に移った。

尚、春日山の林泉寺は江戸時代は高田藩を治めた各大家名の菩提寺として機能していた。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

#07 栄山寺 2007/ 8/24 5:15 [ No.15196 / 15916 ]

奈良県五條市の吉野川沿いにある古寺、栄山寺は



藤原武智麻呂創建と伝えられ、藤原南家の菩提寺として知られています。

境内には武智麻呂の子、仲麻呂が父の菩提を弔う為に建立したという八角堂があり、法隆寺夢殿、興福寺北円堂と同様に国宝に指定されています。

sakisaki さん

# 0 8 檜尾山観心寺 2007/ 8/24 17:06 [ No.15197 / 15916 ]

楠木正成の楠木家の菩提寺。境内には大楠公首塚がある。

大阪府河内長野市にある、真言宗の寺。

本尊の如意輪観音像は国宝。

伝承では役小角が開いたという。後、空海がこの地で北斗七星を勧請したといい、その伝承にちなんだ星塚なるものがある。

北斗七星を祀った寺は日本ではここしかないらしい。

クヴァジルさん

#09 曹源寺 2007/ 8/25 0:13 [ No.15198 / 15916 ]

臨済宗妙心寺派。岡山藩主池田家の菩提寺で、後樂園を造営したことで知られる藩主池田綱政が父・光政および4代前の祖である恒興の菩提を弔うために創設した。後に綱政は自身の菩提寺もここに定め、綱政を含めた歴代岡山藩主のうち7人がここで眠るようになった。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

# 10 臨済寺 2007/ 8/27 0:37 [ No.15199 / 15916 ]

戦国大名今川氏の菩提寺で、文字通り臨済宗の寺院である。今川義元の軍師として有名な太原崇孚(雪斎)が住職を務め、三河松平氏の幼君・竹千代(後の徳川家康)にエリート教育を行った場所としても知られる。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

# 11 長保寺 2007/ 8/27 6:17 [ No.15200 / 15916 ]

和歌山県下津町にある天台宗の寺。寺伝によれば一条天皇の

勅願により性空上人が草創したとされます。

紀州徳川家の菩提寺として初代頼宣より歴代の藩主がこの寺

に眠っていますが五代吉宗と十三代慶福は徳川将軍就任により、

それぞれ東京の寛永寺、増上寺に眠っています。

鎌倉時代から南北朝時代にかかる本堂、多宝塔、大門が国宝

指定を受けている他、重要文化財として『絹本著色仏涅槃図』や

仏像、絵画、経典、書蹟が多く所蔵されています。

sakisaki さん

# 1 2 東山(泉山) 泉涌寺 2007/ 8/27 14:45 [ No.15201 / 15916 ]

皇室の菩提寺として、「御寺」と呼ばれる。真言宗。

鎌倉期の後堀川天皇、四条天皇、江戸期の後水尾天皇以降幕末までの歴代天皇の陵墓があるらしい。また、天智天皇、光仁天皇から昭和天皇までの尊牌(位牌)が安置されている。しかし、天皇家は神道じゃないのか……?

クヴァジルさん

# 13 豪徳寺 2007/ 8/27 22:12 [ No.15202 / 15916 ]

東京世田谷にある井伊家の菩提寺。

何でも井伊直孝が鷹狩の際ににわか雨に逢い、木の下で雨宿りをしていたところ、この寺の方から猫が手招きするので、不思議に思って木を離れて猫に近づいたところ、雨宿りしていた木に雷が落ち、猫のおかげで命拾いをしたことに感謝し、荒廃していた豪徳寺を菩提寺と定めたといわれ、この故事から寺の土産物として「招き猫」が生まれたと言われます。

永\_井\_荷\_風さん

# 14 宝円寺 2007/ 8/28 22:10 [ No.15203 / 15916 ]

石川県金沢市にある、曹洞宗の寺院で、加賀藩祖・前田利家が創建し、前田家代々の菩提寺となっています。

御影堂は、利家が伏見で徳川家康と会見した際、死を決して

自画像と髪を埋めた場所と言われていて、利家の葬儀もこの寺で行われました。

ryoanpaku\_2007 さん

Re: #番外 力道山(百田光浩) 2007/ 8/29 15:07 [ No.15204 / 15916 ]

いくつか誤りを発見したので指摘させていただきます。

後の養父・百田己之助にスカウトされたのが昭和14年、誕生日前なので14歳。

蔭平虎松(玉の海の実父)は朝鮮からの船を出迎えた人。

入門が1940年、初土俵は1941年初場所

力道山のプロレス興行は1954年シャープ兄弟戦から。

北朝鮮の英雄とあるが、南北問わず英雄であることは紛れも無い事実。生地が今は北朝鮮が統治しているに過ぎない。

[http://www3.ocn.ne.jp/~taugus/martial\\_arts/riki/riki.html](http://www3.ocn.ne.jp/~taugus/martial_arts/riki/riki.html)  
tau\*u\*\_no\*aki さん

# 15 賢崇寺 2007/ 8/29 21:57 [ No.15205 / 15916 ]

東京麻布の大黒坂の近くの高台にある寺院で、肥前佐賀藩鍋島家の菩提寺。

もとは高輪にあった別の名前の寺院を買い取って、麻布に復興して菩提寺にしたそうで、藩祖の嫡男鍋島忠直が若くして亡くなり、その戒名の一部をとって賢崇寺と名づけたとされます。

フェラーリの6気筒にディーノと名づけるようなものかな?

永\_井\_荷\_風さん

# 1 6 . 南照山寿徳寺 2007/ 8/30 12:09 [ No.15206 / 15916 ]

新撰組局長、近藤勇の菩提寺。

同寺には土方歳三や永倉新八の墓もあるが、新撰組の諸士の墓は数箇所にあったりする。

クヴァジルさん

# 17 聚光院 2007/ 9/ 1 23:34 [ No.15207 / 15916 ]

京都は大徳寺山内の塔頭で、戦国武将三好長慶の菩提寺です。永禄七年長慶は没しますがその死は永禄九年まで秘されま  
す。  
その年養子となった義継が創建しています。

この寺の檀那の間の襖絵に狩野松栄、永徳父子が絵筆をとった  
3 8面の障壁画があり、国宝に指定されています。内容は君子の  
必須の教養とされる琴棋書画図と花鳥図で現存する数少ない永徳の  
真筆とされています。父の松栄は迫力ある永徳の画にくらべて静謐  
さの漂う瀟湘八景図、竹虎遊猿図を同じ空間内に遺しています。  
sakisaki さん

#18 興源寺 2007/9/20:10 [No.15208 / 15916]  
徳島市にある臨済宗妙心寺派の寺院で、徳島藩主家である蜂須賀家の菩提寺。  
1586(天正14)年藩祖蜂須賀家政により開基。歴代徳島藩主の霊廟や墓所が併設されている。  
fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#19 可成寺 2007/9/211:56 [No.15209 / 15916]  
美濃可兒郡兼山にある寺で、「なるべくでら」ではなく「かじょうじ」  
と読むそうで、これはとりもなおさず森蘭丸の父でこの地に城下町を築いた  
森可成に由来し、森家の菩提寺として蘭丸の墓などもあるそうです。  
永\_井\_荷\_風さん

#20 瑞巖寺 2007/9/211:57 [No.15210 / 15916]  
宮城県の松島にある古刹で、奥州の臨済宗の拠点として栄え、中世は寂れるものの江戸期に入って伊達政宗が再興し、以来、

伊達家の菩提寺兼別邸のような位置づけで発展します。  
永\_井\_荷\_風さん

**お題【中興】** 2007/9/223:10 [No.15211 / 15916]  
連荘になりますが、でもそんなの関係ねえ。  
範囲は日本史世界史両方。  
どんな小さな世界の人物でも構いません。  
歴史上の人物の中で、いわゆる「中興」と看做されている人を20人挙げてください。  
番外 いしいひさいち  
なんでも「4コマ漫画中興の祖」という異名があるそうです。  
確かに、現在の4コマは、やくみつるのようにテーマから画風まで  
いしいひさいちのエピゴーネンというのが主流です。  
現在では朝日新聞の連載が有名ですが、出世作の「タブチくん」のほか、  
高砂親方の現役時代を主人公にした「ワイはアサシオや」なんていうのもありました。  
永\_井\_荷\_風さん

#01 徳川吉宗 2007/9/223:34 [No.15212 / 15916]  
徳川幕府第8代将軍で、あの「暴れん坊将軍」のモデルでもあります。  
「享保の改革」を行って手詰まり気味の幕政を建て直したことにより徳川幕府の中興の祖とよばれていますが、試行錯誤を重ねながらの改革は常に悪戦苦闘の連続でした。特に米価の調整には非常に頭を悩ませていたため、「米将軍」なるあだ名をつけられています。  
fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#02 文覚 2007/9/223:52 [No.15213 / 15916]  
高雄山神護寺は、和気清麻呂の発願で興され、空海が国家鎮護の寺として発展させますが、平安末期までには衰退し、文

覚上人が復興を期して運動をしますが、やりすぎで後白河院の勘気に触れて伊豆に流され、後に赦されて後白河院や頼朝の協力も取り付けて神護寺再興にこぎつけます。  
永\_井\_荷\_風さん

#03 ピョートル1世 2007/9/31:17 [No.15214 / 15916]  
1672-1725  
ロマノフ朝第5代のツァーリで、後にインペラートルの称号を得た。ロシア帝国を大きく発展させた中興の祖。  
ピョートル1世の大改革は使節団を自ら率いて西欧各国を視察し、先進的な軍事、行政制度、科学技術をロシアに導入するところから始まった。時には皇帝自身が造船所に潜入し自ら職人となって働き造船術を身につけることさえしている。西欧視察によって多くの成果を得たピョートル1世は数多くの優れた人材を「お雇い外国人」としてロシアに招聘した。そしてスウェーデンからバルト海沿岸部を奪取するとこの地に新しい都「サンクトペテルブルク」を築き軍事・行政・経済・文化の中心とした。  
ピョートル1世の何ごとも自分から進んでやらなければ気がすまない性格が、大改革を推し進める原動力になったのは間違いないだろう。  
fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#04 蓮如 2007/9/315:38 [No.15215 / 15916]  
親鸞からはじまった浄土真宗の中興の祖。講とよばれる組織づくり、また民衆にわかりやすい言葉で布教するなどの工夫で、爆発的に信者を伸ばし、反信長勢力のひとつとなるまでになりました。それまでは、他の宗教におされて、浄土真宗は荒廃していたようです。もともとこの宗教は、南無阿弥陀仏を唱えるだけでOK、組織だ金だってものは不要、といたってシンプルだったと思うんですが、それだけでは宗教全体のパワーは生み出せなかったということかな？と思っ  
てます(ちょっと自信なしけど)。  
クイズ パンチ de デートさん

#5 上杉鷹山 2007/9/316:01 [No.15216 / 15916]

米沢藩中興の祖。いみなのは治憲。

日向高鍋の秋月藩からの養子だが、母方の祖母が4代上杉綱憲の子であった縁で上杉家を継いだ。ちなみに、綱憲は吉良上野介の実子なので、赤穂浪士の敵役の血を引いていることになる。

米沢藩の財政建て直しを成功させた、江戸時代を代表する名君。ケネディやクリントンなど、アメリカの大統領にも知られた名政治家。

もともと、米沢藩の財政が完全に立ち直ったのは彼の隠居後ではある。

再来年の大河ドラマの主人公、直江兼続を再評価したのもこの人らしい。

直江は、主家を誤らせた人物として、長らく上杉藩ではまったく評価されなかったどころか、奸臣扱いされていた（もともと、直江の死後、反直江派の台頭がそうさせた、という節もある）。

クヴァジルさん

**#06 康熙帝 2007/ 9/ 3 20:14 [ No.15217 / 15916 ]**

1654-1722

清朝第4代の皇帝。父順治帝の死去に伴い8歳で皇位につく。三藩の乱を鎮圧して清朝の版図を拡大し、国内を安定に導く。また官の大幅な削減を行い国家財政の再建にも成功した。文教政策にも熱心で、「康熙字典」や朱子学関連の書物の編纂に尽力している。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

**#07 ユスティニアヌス1世 2007/ 9/ 3 23:05 [ No.15218 / 15916 ]**

東ローマ帝国の初期の皇帝で、統一ローマ帝国を含めて「大帝」と呼ばれる3人のうちの最後の一人。

一度は東西に分裂し、うち西ローマ帝国はまもなく滅んだが、このユスティニアヌス1世は見事に地中海世界の再統一を成し遂げ、ローマ帝国中興の祖と目されるようになった。

関目企画さん

**#08 伊達政宗（大膳大夫） 2007/ 9/ 4 22:31 [ No.15219 / 15916 ]**

仙台藩初代藩主となる十六代伊達政宗ではなく、伊達家九代当主です。

鎌倉公方足利満兼が弟足利満貞、足利満直を奥州に派遣し、伊達氏に対して領土割譲を求めてきた事を拒み、大崎氏らと同盟して鎌倉方の結城満朝（白河満朝）、上杉氏憲と戦いました（伊達政宗の乱）。

独眼竜とよばれた十六代伊達政宗もこの「中興の祖」にあやかり名づけられました。

ryozanpaku\_2007 さん

**#09 フィリップ2世 2007/ 9/ 4 23:18 [ No.15220 / 15916 ]**

1165-1223

中世フランスの王朝・カペー朝の第7代国王。

プランタジネット朝（イングランド王家）の内紛を扇動してイングランドを弱体化させ、それに乗じてノルマンディやブルターニュなどを獲得しフランス領を拡大させた。

内政では官僚制度の確立やパリの都市基盤の整備などに功績を残している。

フランス史上初めての偉大な王として尊敬され、「尊厳王」と称される。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

**#10 瀬島龍三 2007/ 9/ 4 23:42 [ No.15221 / 15916 ]**

この人が参謀本部にいたことは明らかですが、

若かったはずなので、どの程度の地位にいたかは分かりません。

そもそも参謀本部にいたというのは学校のエリートで、機密情報に触れていたとしても、日本を動かしていたかというところじゃなかったのが参謀本部とも言えます。

シベリア抑留後伊藤忠商事に入って、戦後の発展に力を発揮し、五大商社の一角から売上高でトップを占めるまでになりましたから、

いちおう伊藤忠の中興といえると思います。

永\_井\_荷\_風さん

**#11 細川重賢 2007/ 9/ 5 13:02 [ No.15222 / 15916 ]**

肥後熊本藩の財政を立て直した、名君として知られてる人です。兄が人違いで人傷事件にあい、命を落として藩主の役目がまわってきました。そのときは膨大な借金を藩は抱えていて、鴻池などの豪商は新たな借金を断ったそうですが、加島屋という新興の商人が年貢一手引き受けを条件に応じます。

米依存の財政状況に限界を感じ、殖産興業を命じて楮、生糸、燻などを専売制に切り替え、蠟の生産を藩直営に移行し製蠟施設を設立させ、製品は加島屋を通して販売、功を奏してだんだん財政も好転したそうです。

重賢本人も、そうとう儉約したようです。畳の表替えは死ぬまでやらなかったとか、夏は裸で家臣と討論したとか、そういう逸話があるそうです。

クイズ パンチ de デートさん

**#12 本間光丘 2007/ 9/ 5 14:06 [ No.15223 / 15916 ]**

酒田の豪商本間家の三代目で、本間家中興の祖とも言われます。

上杉鷹山の改革を金銭面で支援したことで知られますが、はじめ上杉の家老が酒田に赴いて金子の用立てを依頼したときには、

再建計画がないという理由で出直させていて、これが上杉の家臣の

意識改革につながったとも言われます。

以来、本間家は24万石に相当するとも言われる日本一の大地主として、

地元では

本間様には 及びもせぬが せめてなりたや 殿様に

と言われるほどの繁栄を誇ることになります。

ただ、鷹山よりも少し前の田沼時代の江戸には

田沼様には 及びもせぬが せめてなりたや 将軍様に

という戯れ歌があったはずですし、権勢を振った田沼と違

って

本間は代々質素な暮らしに徹し、商人としての分を守ったクチなので、

江戸の流行をパクって、さも自分が作ったように地元に帰って吹聴した者がいたようです。

本間家も戦後の農地解放で威勢に終わりを告げ、本間家本邸も酒田の大火で類焼し、戦後始めたゴルフ用品の製造販売の方も順風満帆とまではいかないようです。  
永\_井\_荷\_風さん

# 13 スレイマン 1 世 2007/ 9/ 6 1:33 [ No.15224 / 15916 ] 1494-1566

オスマン帝国第 10 代スルタン。東欧方面に勢力を拡大しハンガリー王国を衰退に追い込む。更に神聖ローマ帝国と対立しウィーンを包囲したが失敗に終わった。しかしこの出来事は西欧中にオスマン帝国の脅威を知らしめることになる。東方ではバグダードを奪取。領土拡大に励む一方学問や芸術、そして建築などを振興しオスマン帝国の最盛期を築いた。  
fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

Re: # 10 瀬島龍三 2007/ 9/ 6 2:58 [ No.15225 / 15916 ] 「まず何より日本の歴史を勉強しなくては」心に沁み入る言葉です。ご冥福をお祈り致します。

<http://www.nikkei.co.jp/news/shasetsu/20070904AS1K0400604092007.html>

>日経新聞：春秋(9/5)

多くを語らない人だった。だが、その読みにくい表情から多くを知っていることが伝わってきた。会話の狭間に視線が合うたびに奇妙な敗北感が背中を走った感触を覚えている。駆け出し記者のころ瀬島龍三氏を取材した思い出である。  
▼大本営、そして関東軍の参謀として旧陸軍の組織や作戦を作った経験が繊維専門だった伊藤忠を総合商社に育て上げた。謎に包まれたシベリア抑留から帰国後、46歳で入社。営業現場には一度も出ず、常に舞台裏の参謀であり続けた。航空機商戦や石油利権をめぐる“戦果”の真相は今も産業史の闇の中にある。

▼世界を駆け回る商社員は格好いいが、その本分とは何か。気楽な質問に一瞬、言葉を強めたことがある。「単なるコスモポリタンでは駄目だ。まず何より日本の歴史を勉強しなくては」。円高で日本企業が海外進出や外資との提携を急いだ時期だった。にわか「国際派」を気取る戦後世代への戒めもあったろう。

▼瀬島氏が嫌った「コスモポリタン」には、国境や国籍にとられない自由人の語感がある。日本が世界経済の大海に漕（こ）ぎ出す先兵が総合商社だった。その触先（へさき）に立った旧陸軍参謀の心は、潮流とは逆に国境と国籍にこだわり続けていたに違いない。軍から経済界へ。95年間にわたる戦いの物語が幕を下ろした。 <

<http://kashiwatara.iza.ne.jp/blog/entry/290218>

<http://abirur.iza.ne.jp/blog/entry/>

>「戦争の真実」を知る世代は、敗戦時、三〇歳以上だった世代ということになるでしょう。彼らは、落ち着いていた頃の日本を知っているだけに、日本がああ戦争にどんどん呑み込まれていった構図を肌身で知っていました。

>だから、その年代の日本人は、占領下であって、占領軍が強制した「歴史教育」、つまり昭和二〇年代前半の時期にNHKラジオなどが大々的に「歴史洗脳」を行っていたのですが、例えば”真実はかうだ”などの「日本は侵略戦争をした邪悪な国だった」ということをくり返し洗脳する”侵略戦争非難宣伝計画”を聞かされても、それが真実ではないことはよく知っていたはずです。

「あれは嘘だが、今は耐えるしかない。そのうち占領が終わり、日本が復興してきたら、そのときには元に戻して、真実の歴史を後世に伝えよう」。そういう二重の精神構造で戦後を生きてきたに違いありません。

>ところが、占領とそれに続いた冷戦の時代があまりにも長かった。その間に戦後教育を受けた世代が学校の先生になり、誤った歴史を教え始めることとなります。そこから強大な左翼勢力の圧力の下、多くのタブーが生まれていく。そして真実を知る世代は、一九八〇年前後に社会の第一線から離れ、次第に死に絶えていく。日本人の中に「いつか本当の歴史を伝えよう」と考える人が、またそれをできる人が、ほとんど

いなくなってしまうわけです。

>しかし、先ほど述べたように戦後五〇～六〇年を境に、冷戦体制の終焉や連合国史料の公開といった外的な環境変化がたまたま起ったことで、私のように戦後教育を一〇〇%受けた人間にも、戦争の真実が見え始めてきたのです。父親の世代が黙って耐えていたことに・・・ようやく気がついてきたのです。 <

（以上引用は中西輝政『日本人としてこれだけは知っておきたいこと』より）

[http://www.amazon.co.jp/gp/product/customer-reviews/4569648444/ref=cm\\_rev\\_next/250-3505023-2276221?ie=UTF8&customer-reviews.sort%5Fby=-SubmissionDate&n=465392&s=books&customer-reviews.start=21ala\\*\\*and\\*alack\\*2\\*07](http://www.amazon.co.jp/gp/product/customer-reviews/4569648444/ref=cm_rev_next/250-3505023-2276221?ie=UTF8&customer-reviews.sort%5Fby=-SubmissionDate&n=465392&s=books&customer-reviews.start=21ala**and*alack*2*07) さん

# 14 アッシジのフランチェスコ 2007/ 9/ 6 13:40 [ No.15226 / 15916 ]

13世紀のイタリア、アッシジの富裕な商人の息子として生まれ、父親が商用で行ったフランスが気に入ったので「フランチェスコ」と名づけられたと言われます。

若い頃は放埒な生活を送ったそうですが、長じて荒廃した教会の改善や、癩病患者の救済、質素や清貧を重んじる生活を説き、フランチェスコ教会を興して庶民や異民族への布教を行い、カトリック中興の祖と言われることがあります。

前のローマ法王ヨハネパウロ二世によって、環境保護の守護聖人とされたそうですから、これからも役割は高まりそうです。

永\_井\_荷\_風さん

# 15 盤庚 2007/ 9/ 7 0:28 [ No.15227 / 15916 ]

中国古代の商（殷）王朝の第19代の王。兄の陽甲を継いで

即位しました。前16世紀頃に成立したと思われる商王朝の実態に

ついてはまだまだ不明な部分も多いのですが、前11世紀に周の

武王に滅ぼされるまで、長期間にわたって王朝は存続していました

が、それは興隆と衰退を繰り返す歴史であったようで少なくとも

5回の遷都を行っているようです。

盤庚の即位前、王朝内では王位の継承をめぐり内部抗争が激化し、

諸侯の離反も多くなっていたようです。盤庚は先王のやり方に習い

遷都を断行して局面の転換を図り、奄（現山東省）から殷（現河南省）

への遷都を決定しました。既得権益を有する王侯貴族から反対が続出

しましたが、臣民に三度講話し説得に努め、遷都を行う事ができまし

た。『尚書』盤庚篇がそのときの講話とされています。

遷都後、殷は多いに栄えました。世界遺産に登録されている殷墟は

盤庚が遷都し紂王が滅んだ商の都であり、絶大な権力の在った事を

感じさせる多くの青銅器や巨大な墳墓が発見されています。

sakisaki さん

# 16 石田退三 2007/ 9/ 7 12:02 [ No.15228 / 15916 ]

トヨタ中興の祖と呼ばれる方です。戦後のトヨタ自動車の経営危機を救い、また現在の自動車業界におけるトヨタの独走態勢をつくったのもこの人だそうです。もう故人ですが、現在は石田財団が研究助成というかたちで遺志が引き継がれているようです。

クイズ パンチ de デートさん

# 17 後鳥羽天皇ほか 2007/ 9/ 9 5:01 [ No.15229 / 15916 ]

承久の乱の結果に見られるように政治的には朝廷の中興に失敗しましたが、「新古今和歌集」を藤原定家などに編纂さ

せ、マンネリズムに陥った和歌の文化の中興に成功しました。しゅうじさん

# 1 8 後漢の光武帝 2007/ 9/ 9 15:36 [ No.15230 / 15916 ]

東漢（後漢）の初代であると同時に前後漢を合わせて考えれば中興の祖というべき名君。

イミナは秀。廟号は世祖。廟号が世祖なのだから、中興の人物と考えたほうが良いような気がする。

日本ではマイナーだが、文武に秀でた名君で、高祖帝とは違って漢朝再興後も元勳の肅清など血なまぐさい行為がなかった。

諸葛孔明なんかも最高の名君とたたえている。

クヴァジルさん

# 1 9 光格天皇 2007/ 9/11 2:55 [ No.15231 / 15916 ]

近世後期の天皇。

何と言っても云百年ぶりに「天皇」という号を復活させたのですから、天皇家中興の祖と言っても良いでしょう。

本当は「後醍醐天皇」とか「桃園天皇」なんて呼ばれた人はいなかったんですよ。そう思うと歴史用語ってけっこういい加減。

そして現在の天皇家につながる直系の祖でもあります。

この天皇は君主意識が強かったといわれ、この時代には朝儀の再興が相次ぎ、朝幕関係史上の画期ともいえる尊号一件も起きてます。大政委任論が前面に押し出されてくるのもこのときでしょうか。

pin\*\*os19 さん

番外 同治帝 2007/ 9/12 1:51 [ No.15232 / 15916 ]

清朝 10 代目の皇帝。母親はあの西太后。その治世は「同治の中興」と呼ばれる。

それは「アヘン戦争」、「太平天国の乱」などの内憂外患が終息し、李鴻章などの漢人官僚によって「中体西用」と呼ばれる、近代化が推し進められたことをさす。

とはいえ、清朝の衰微には歯止めがかからず、日清戦争、義

和団の乱が続き、滅亡への道を進んでいくことになる。

同治帝本人は母の傀儡のような状態で、おしのびで夜の北京でヨダカをあさったの結果、梅毒に罹り死んでしまう。

そんなことで番外。

しゅうじさん

# 20 佐々木道誉 2007/ 9/13 2:12 [ No.15233 / 15916 ]

1296-1373

京極氏第 5 代当主。諱「高氏」は足利高氏（後の尊氏）と同様に執権北条高時から賜ったものである。

足利尊氏が鎌倉幕府にそむくと尊氏に協力し建武新政に参加。そして尊氏が新政から追い出されると尊氏に従い類稀なる智謀で尊氏を支えた。

「ばさら大名」としても有名な道誉は文化・芸術の分野においても優れた業績を残している。ケレン味たっぷりのパフォーマンスもまた大きな魅力であった。

とにかく、道誉は自身の才能によって出世を遂げ、佐々木氏の宗家・六角氏を超えるほどに京極氏を成長させた中興の祖といえる。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

「中興」御礼 2007/ 9/13 18:33 [ No.15234 / 15916 ]

回答ありがとうございます。

和洋中のバランスもちょうど良い感じがしました。

どなたか次のお題を。

永\_井\_荷\_風さん

**お題【先陣！】** 2007/ 9/13 20:18 [ No.15235 / 15916 ]

なんかめっちゃ久しぶりにお題だしてみます（かぶってなければいいですが）

過去の戦いで、先陣を務めた武将を 2 0 名挙げてください。同じ戦いでも陣営が別、あるいは二人先陣がいた、という場合の重複も OK です。逆に同一武将でも戦場が変われば OK

です。日本史世界史共通です。『武将名／戦い名』という形で挙げて下さい。

#00 柿崎景家／川中島の合戦

まずは今年の大河ネタで。

関目企画さん

#01 佐々木高綱 2007/9/13 22:55 [No.15237 / 15916]

宇治川の戦いで梶原景季と先陣を競い、景季より先に宇治川を渡りきって一番乗りを果たした。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#02 竹崎季長 2007/9/14 20:57 [No.15238 / 15916]

元寇のうち、文永の役で少弐氏の下で赤坂で先陣を果たした。菊地武房がすでに蒙古兵を討ち取っていたことなどから、戦功が認められなかった。そこで鎌倉まで赴き、幕府に談判し所領を得る。

弘安の役でも壱岐、志賀島の戦いで武功を上げ肥後国海東郡に領地を得た。

「蒙古襲来絵巻」はそのときのことを記録し後世に残したものである。

しゅうじさん

#03 張遼 2007/9/15 1:09 [No.15239 / 15916]

官渡の戦いで袁紹を破った曹操は、袁紹の二子袁熙と袁尚を追って

烏丸族の地に侵攻します。烏丸は袁紹を支援し、逃げて来た袁熙と

袁尚をかくまっていたが、曹操は呂布の勇将であった張遼を先鋒

とし、烏丸軍を攻撃すると、烏丸軍は総崩れとなり二十万の捕虜を得

る大勝をもたらしました。

以後、張遼は曹操軍きっての勇将としてその名を知られていくように

なります。

sakisaki さん

#04 徳川家康 2007/9/19 22:37 [No.15240 / 15916]

永禄3年（1560年）5月、準備の整った今川義元は駿府城を出発し、尾張に向かいました、桶狭間の戦いですね。

義元に属していた徳川家康（当時は松平元康）を先陣とし丸根砦を落としています。

先陣は名誉なれど、「討ち死にすればもっけの幸い」と義元は思っていたかもしれませんね。

ryoanpaku\_2007 さん

#04 源義経 2007/9/20 16:04 [No.15241 / 15916]

壇ノ浦の戦いでは、梶原景時を差し置いて、自分が先陣やるって主張して不仲になったといわれています。ただ、2年前の大河ドラマじゃ三浦義澄が先陣を命じられていて、どっちが本当かよくわかりません。

クイズ バンチ de デートさん

#04 源義経 2007/9/20 16:04 [No.15242 / 15916]

壇ノ浦の戦いでは、梶原景時を差し置いて、自分が先陣やるって主張して不仲になったといわれています。ただ、2年前の大河ドラマじゃ三浦義澄が先陣を命じられていて、どっちが本当かよくわかりません。

クイズ バンチ de デートさん

#05 藤堂高虎 2007/9/25 23:34 [No.15243 / 15916]

大坂夏の陣で河内方面部隊の先鋒を務める。

八尾の戦いで長宗我部盛親軍の奇襲を受け

壊滅寸前にまで追い込まれるが、井伊直孝

の援軍を得て長宗我部軍を何とか壊滅させ

た。

sakisaki さん

#07 伊勢貞興 2007/9/26 10:03 [No.15244 / 15916]

山崎天王山の戦い。

明智側の武将で、中川清秀隊3500余に伊勢勢2000余が攻撃を仕掛けたのが最初の戦闘であったといわれる。伊勢

勢は当初奮戦したが、中川氏の属する神戸信孝勢と明智勢の兵力差に次第に劣勢になり敗北。殿軍を率いて最後まで戦い、戦死した。24歳。

伊勢流の有職故実の研究者でもあったという。

番号整理いたしました。

クヴァジルさん

#8 酒井忠次・小笠原長忠 2007/9/29 1:44 [No.15245 / 15916]

姉川の戦い。

徳川勢の両隊が朝倉勢に攻めかかったのが戦闘開始であったという。

対する浅井勢は磯野員昌が先鋒として織田勢に突撃、織田の先鋒坂井政尚を破った。

姉川の合戦は後の徳川時代の粉飾疑惑も濃厚で、ほんとのところの評価がよくわからないが、その後、近江一帯で織田軍と浅井軍が戦い続けているので、この一戦が決定的一戦ではないのは間違いなさそうである。

クヴァジルさん

#09 佐久間盛政／賤ヶ岳の戦い 2007/10/1 11:32 [No.15246 / 15916]

柴田側の猛将。

羽柴軍主力が美濃へ引き返したのを機に大岩山砦へ攻撃を開始した。

緒戦には勝利し、砦の守将、中川清秀は戦死した。

羽柴秀吉は美濃からの大返しを決行、柴田勝家の命令を無視して大岩山砦にこだわった佐久間隊は急行した羽柴軍の前に孤立してしまう。柴田軍は佐久間の独断のために戦線を乱し、敗北してしまった。

クヴァジルさん

#10 馬謖 2007/10/4 0:14 [No.15247 / 15916]

三国時代の蜀帝劉備に使えた武将。その才知を丞相の諸葛亮に愛でられた

が、才能を鼻にかけ人を見下す風もあったようです。

蜀の対魏戦争（北伐）で先鋒に抜擢され戦略上の要所であった街亭の守備

につきました。魏軍を迎え撃つ際、諸葛亮の命に背いて攻撃に有利な場所

として山上に布陣したところが魏軍は敵の布陣を見て山上の給水路を断ち

切り、山上の軍勢が弱ったところで攻撃し、蜀軍を大敗させます。

この緒戦の敗退により諸葛亮の北伐は頓挫し、蜀軍は退却のやむなきに至ります。

馬謖は軍律違反を問われ獄に下され没し、知らせを聞いた諸葛亮は涙を流し

たということです。

蜀書の馬謖伝には獄死とありますが、諸葛亮の伝記には処刑したことを示す「戮」字

が使用されており、「泣いて馬謖を斬る」のことわざの元になったようです。

（規律を守るためには心情に忍びないが、愛する者も敢えて処罰すること）

sakisaki さん

# 1 1 池田恒興／小牧長久手の戦い 2007/10/ 4 2:42 [ No.15248 / 15916 ]

小牧長久手の戦いの緒戦で犬山城を攻略した。

開戦直前、秀吉側についた池田恒興は犬山城を占拠、家康は小牧山城に入る。

羽黒に陣取っていた娘婿の森長可は小牧山を狙うが、この動きは家康に知られており、配下の酒井忠次・榊原康政ら5000に羽黒の陣を夜襲させた。

森らも奮戦するが敗退した。

後、三好秀次とともに名誉挽回の奇襲作戦を進言、実行するが、これも失敗、戦死した。

クヴァジルさん

# 1 2 顔良／官渡の戦い 2007/10/ 4 14:18 [ No.15249 / 15916 ]

三国志前半の見せ場、官渡の戦いの緒戦、白馬の戦いでの袁紹軍の武将。

白馬に布陣していた劉延軍に攻撃し追い詰めるが、関羽・張遼のために敗北、関羽によって討ち取られた。

演義では関羽の見せ場の一つだが、戦い全般を見渡せば、あくまで前哨戦。曹操軍は後、官渡まで退いて迎撃体勢を整え

なおすことになり、袁紹軍もこの敗戦で体勢を立て直すことになった。

クヴァジルさん

# 1 3 松平忠吉／関が原 2007/10/ 5 14:14 [ No.15250 / 15916 ]

関が原の戦いの東軍先鋒。本当は福島正則が先鋒だったが、舅の井伊直政といっしょに抜け駆けした。軍令違反のはずなのに、戦後は加増。ただ、このときの戦いで負った傷がもとのちに早世、井伊直政もまた、同じ理由で、しばらくしてこの世を去ることになります。

クイズ パンチ de デートさん

# 1 4 仙石秀久／戸次川の戦い 2007/10/ 5 16:37 [ No.15251 / 15916 ]

兵力において劣勢、士気も低い軍を率いた秀久が戦意高揚を期待して無謀にも先手必勝策に出た。

結果は秀久軍の壊滅におわる。

この戦いで長宗我部信親、十河存保が戦死、仙石秀久は彼らを見捨てるようにして小倉へ撤退した。

クヴァジルさん

# 1 5 脇坂安治／関山島海戦 2007/10/ 7 10:22 [ No.15252 / 15916 ]

文禄の役で快進撃を続けた日本軍が初めて大きく敗れた一戦。

脇坂、九鬼嘉隆、加藤嘉明の三大名が李舜臣率いる朝鮮水軍を討つべく釜山に終結したが、脇坂が抜け駆して単独出撃、大敗した。

後に言われるようにこの一戦で日本軍の海上補給戦が遮断

されたとか、そういうことでもなさそうだが、この戦勝が朝鮮を勇気付けたのは確かなよう。

以来、日韓で政治的に利用され続けた事件として、この海戦の本質以上に意味深な戦いとも思う。

クヴァジルさん

# 1 6 陳式（三国・第三次北伐） 2007/10/10 15:41 [ No.15253 / 15916 ]

中国の三国時代孔明の第三次北伐軍の先鋒大将として武都・陰平を攻略した。

三国志の著者、陳寿の父というのはウソくさい。

クヴァジルさん

# 17 加藤清正・小西行長／文禄の役 2007/10/10 22:45 [ No.15254 / 15916 ]

秀吉の唐入り、第1弾はこの二人がソートップで起用されました。

が、ただでさえ、片や尾張派・武断派の福島正則と並び称される猛将、もう一方は文治派・近江派で石田三成の盟友にして、しかも水面下では密かに和平を画策して宗氏とともに国書偽造までやってのけた能吏、ウマがあうはずもなく、反目は増す一方、出兵失敗の一因となりました。

関目企画さん

# 18 平清盛／保元の乱 2007/10/11 10:19 [ No.15255 / 15916 ]

やっとひとつ見つけた。

保元の乱の夜襲で先陣を切って最初に仕掛けたのは実は安芸守清盛で、

伊勢以来の郎党古市の伊藤六郎という者が為朝に挑んで射落とされます。

永\_井\_荷\_風さん

# 1 9 宗助国／文永の役 2007/10/11 11:30 [ No.15256 / 15916 ]

宗助国（そう すけくに）。平氏。対馬国主。

元寇、文永の役の緒戦、対馬上陸戦において、わずか80騎を率いて応戦して戦死した。

クヴァジルさん

#20 阿倍比羅夫／白村江の戦 2007/10/14 2:40 [No.15257 / 15916]

663年、白村江の戦の第一陣先遣隊の指揮官。

敵密に先陣とは言いがたいが、先遣隊として百濟太子・扶余豊璋を祖国へ帰還させた。

クヴァジルさん

お題：流祖 2007/10/14 2:45 [No.15258 / 15916]

剣術、槍術、弓術、茶道、・・・そのたもろもろの流派の祖となった人物を。

#00 念阿弥慈音 (ねんなみじおん)

念流の流祖にして、兵法の祖とも目される人物。室町中期の人。彼の系譜に有名な新陰流なんかがある。

それにしても、前回のお題は長かった・・・ (かなり強引に終わらせてやった)。

クヴァジルさん

#01 巨勢金岡／巨勢派 2007/10/15 14:06 [No.15259 / 15916]

思いつき古いところから。

宮廷絵画師として、絵師の地位向上に貢献したと言われ、巨勢派と呼ばれる流派の祖となります。

永\_井\_荷\_風さん

#02 金森宗和 2007/10/15 18:59 [No.15260 / 15916]

茶道宗和流の祖。いみなは重近。

父は飛騨高山藩二代目、金森可重。

可重が徳川方に付いたことを非難して廃嫡されてしまうが、おかげで茶道の世界で名を残した。祖父 (といっても可重は

養子) 長近は利休の高弟でもあった。

当時無名だった仁清の作品を見出したことでも知られる。

クヴァジルさん

#03 宮本武蔵 2007/10/15 22:32 [No.15261 / 15916]

剣術二天一流の流祖。右手に大太刀、左手に小太刀を持つ型と

して、晩年の居住地であった熊本を中心に伝えられた。二刀を用

いる流派は種々あるが、二天一流は後世最も著名となり、所謂

「二刀流」は武蔵の代名詞にまでなりました。

sakisakiさん

#04 伊藤一刀斎 2007/10/17 23:28 [No.15262 / 15916]

二刀流に対して一刀流というのではなく、一刀斎の弟子たちが、一刀斎の死後に名づけた流派のようですが、元を辿れば一刀だから一刀斎だったのかもしれない。

江戸期には隆盛を誇り、多くの流派が派生します。

永\_井\_荷\_風さん

#06 國摩真人 2007/10/18 12:16 [No.15263 / 15916]

体系だった兵法としてはおそらく日本最古の「鹿島神流」通称「鹿島の太刀」の開祖と伝えられる。

大化の改新頃の人と言われる。

伝説の中では彼こそ中臣鎌足である、とするものもあるけれど、、

桜ももぞうさん

#07 織田有楽 2007/10/19 0:52 [No.15264 / 15916]

織田信長の弟で、諱は長益。千利休の侘び茶を継承し流派「有楽流」を創始した。

有楽に限らず、同時代の茶人にとって茶の湯は戦国末期をたくましく生き抜くための手段、いや”戦術”だったのかもしれない。

fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

#7 池坊専慶 2007/10/19 16:32 [No.15265 / 15916]

華道の池坊流の流祖。室町中期の人。

番号整理いたしました。

クヴァジルさん

#08 百地丹波 2007/10/20 11:49 [No.15266 / 15916]

あるいは「百地三太夫」とも言われますが、別人だとも言われるそうです。

忍術伊賀流の祖とされる人物で、石川五右衛門の師匠でもあります。

伊賀流の勢力を脅威と感じた信長に攻め亡ぼされます。

永\_井\_荷\_風さん

#09 吉田重賢 2007/10/21 20:46 [No.15267 / 15916]

弓道の日置流の流祖。現在の弓道の源流。

日置流は日置弾正正次が祖とされるが、この人物は架空くさく、正次の弟子の吉田重賢が祖と思われる (同一人物説もある)。

吉田重賢 (1463～1543) は近江六角氏の家臣でもあった。

クヴァジルさん

#10 稲富祐直 2007/10/23 15:32 [No.15268 / 15916]

稲富流砲術の祖。号の一夢のほうが有名かも。

戦国大名の丹後一色氏、後、その丹後を領有した細川氏に仕えた。

戦国期、鉄砲技術も向上し、弾道計算などもなされていたらしく、戦国末には日本は鉄砲大国になっていた。

クヴァジルさん

#11 宝蔵院胤栄 2007/10/26 2:52 [No.15269 / 15916]

宝蔵院流槍術の創始者。

奈良の興福寺・宝蔵院の僧侶であった。

穂先が十字になっている十字槍を創造した。

クヴァジルさん



#12 塚原卜伝 2007/10/27 7:13 [ No.15270 / 15916 ]

兵法が続きますが、この人の流派は「無手勝流」と号します。

命名の由来は、渡し舟の中で兵法自慢の漢に勝負を挑まれた卜伝が

川中の州に兵法自慢を先に降ろし、自分も続くと見せかけるが、

舟中から棹で舟を突き放して、取り残された兵法自慢に我が無手

勝流はこの通りと呼びかけるというもので、講談等でもおなじみ

のモノです。

言葉としては戦わずして勝つ事がその意であります。戦後は

自分流、師伝によらぬ自己流という意味合いも持たされています。

sakisaki さん

番外：シュケン 2007/10/27 15:51 [ No.15271 / 15916 ]

北斗神拳の創始者。

北斗宗家の拳法を継ぎ、無敵の殺人拳を作り上げる。

設定からすると紀元前後の中国のヒトラしいのだが、周囲の服装や顔立ちを見ると古代ギリシャっぽくもあり、だとすると紀元前 2000 年くらいのヒトの可能性あり。

そうすると、「北斗神拳の歴史は 2000 年」とケンシロウが活躍していた当時は紀元前後ということになり、核戦争後の世界という設定は崩壊する。

まあ、いいか。

桜ももぞうさん

# 1 3 山岡鉄舟 2007/10/30 12:07 [ No.15272 / 15916 ]

一刀正伝無刀流の流祖。最後の剣豪なんていわれ方もする。剣、禪、書に堪能であった。

アンパンを世に広めた人物でもある。

クヴァジルさん

#14 三條西実隆 2007/10/30 12:53 [ No.15273 / 15916 ]

金持ちの道楽のように見える香道の祖は佐々木道誉だそうですが、

その弟子にあたる三條西実隆が「御家流」の祖になるそうです。

永\_井 荷\_風さん

#15 小笠原長清 2007/10/30 15:32 [ No.15274 / 15916 ]

弓馬術礼法の有名な流派の祖、小笠原長清は源頼朝の家臣であります。

流鏑馬は有名だと思います。

ただ、小笠原流、と聞いてすぐ連想するのは「礼法」だと思うのですが、調べると「弓馬術礼法小笠原流」「小笠原流礼法」と、ホームページもふたつ出現します。礼法は弓馬術の

ひとつなのはわかるんですが、どうも異なるふたつの流れが、現在はあるようです。

「小笠原流礼法」の現宗家は女性で、一世代前までは礼法は一子相伝だった、なんてことが書かれています。北斗の拳みたいですね。

クイズ パンチ de デートさん

#16 相馬四郎義元（念阿弥） 2007/10/30 18:03 [ No.15275 / 15916 ]

幼い頃に新田義貞の重臣だった父相馬忠重を殺され、藤沢の遊行寺に預けられて「念阿弥」と名づけられますが、

元服して相馬義元と名乗り、父の仇を討つために

鞍馬などで剣術の修行をし、見事に仇を果たします。

剣術念流の始祖であり、また鎖鎌一心流の始祖でもあります。今でも鎖鎌を継いでいる人はいるのかにゃあ？

永\_井 荷\_風さん

# 1 7 藤原行成 2007/10/31 2:13 [ No.15276 / 15916 ]

書道、世尊寺流の祖。平安時代、藤原道長などと同時代の人。小野東風、藤原佐理とあわせて三蹟と称される。

クヴァジルさん

# 1 8 小幡景憲 2007/11/ 1 15:31 [ No.15277 / 15916 ]

甲州流軍学の流祖。

甲陽軍鑑の著者としても知られる。

この軍学は江戸期に栄えたが、軍事研究の学問というより、戦争を知らない世代の武士に戦場の臨場感を伝えるための

軍記物語的要素が強いようす。

今ならさしずめテレビゲームの「信長の野望」みたいなものでしょうか。

クヴァジルさん

#19 小堀遠州 2007/11/ 3 10:48 [ No.15278 / 15916 ]

茶道の遠州流の祖であり、華道の遠州流の祖でもあります。陶器にも遠州好みというものがあります。

造園とかにも遠州流があれば、主流になっていたかもしれません。

永\_井 荷\_風さん

#20 明恵上人 2007/11/ 3 20:12 [ No.15279 / 15916 ]

華道の「古流」の祖だそうで、孫弟子に足利義政、その弟子が千利休というものだそうで、時代が降って是心軒一露という人が中興の祖となり、後に「松月堂古流」と称するようになります。

永\_井 荷\_風さん

**お題【 助さん格さんのな 2 0 組 】** 2007/11/ 3 20:15 [ No.15280 / 15916 ]

自身では、まだ 2 0 件まで挙げていませんが、皆様のお力を恃んで見切り発車で。

範囲は日本史世界史両方。

水戸黄門に登場する助さんと格さんのように、二人の人物が並び立ち、あるいは協力し合い、あるいは競い合って働きを見せたという存在を 2 0 組挙げてください。

二人の人物は、だいたい同格か、働きの拮抗していれば、実際の身分の高下は問いません。

同じ主君の配下であっても、組合せが異なれば重複とはしません。

#00 助さん格さん

ドラマでは体育会系ですが、モデルとして実在した二人は文化系で、大日本史の編纂に奔走します。

永\_井 荷\_風さん

#01 廉頗、藺相如 2007/11/ 4 1:24 [ No.15281 / 15916 ]

まずは古いトコロから。「勿頸の交 (友)」の語でも知られる両者は、

中国戦国時代後期の趙で活躍しました。廉頗は趙では歴戦の名将である

のに対して、藺相如は宦官の長官の近侍にすぎない身分でしたが、胆力

と並外れた洞察力があるのを買われ、秦との外交交渉を引き受けます。

秦が持ちかけたのは趙王の持つ璧玉を十五の城と交換したいというもの、

交渉の中で藺相如は、秦は璧を巻き上げるだけで城を趙に渡すつもりが

ないと見極めると、城を渡すつもりが無いなら璧を叩き割って自分も死

ぬと秦王にきっぱりと言い渡し、結局璧を守って趙に戻ります

(「完璧」の故事)。

こうして藺相如は外交面で名声をあげ、廉頗より上の地位にのぼりますが、

これを不快に思った廉頗が藺相如を辱めてやると放言し、以来藺相如は

廉頗の姿を見るとこれを避けるようになります。藺相如の部下は上位の

藺相如が下の廉頗を憚るのを訝り、その訳を聞くと趙に両雄が健在であ

ればこそ秦は趙に手を出さない、国家の急を先にし私事は後

にするのだ

と応え、これを聞いた廉頗は藺相如に詫び、二人は生死をともし、頸

とともに刎ねられても悔いない友人となったとの由。

かなり年齢の離れていると思われる二人ですが、対斉戦では交互に

将軍として従軍し戦果をあげています。

sakisaki さん

# 0 2 吉川元春・小早川隆景 2007/11/ 4 10:09

[ No.15282 / 15916 ]

毛利の両川と称された兄弟。

毛利元就の次男・三男で、次男元春は山陰方面を、三男隆景は山陽方面を担当した。

ちなみに長男は毛利隆元。

三矢の教えはこの三人という説があるが、違うと思われる。この三人が子供のころの毛利家はまだ弱小だったし。

クヴァジルさん

#03 難波次郎・瀬尾太郎 2007/11/ 4 11:19 [ No.15283 / 15916 ]

備前国住人難波次郎経遠は吉備津彦神社の神職の家系の武将だそうで、備中国住人瀬尾太郎兼康はその名の通り備中妹尾を本貫とする武将。

二人ながら清盛の腹心の武将として平治の乱などで活躍し、平家物語の前半では鹿ヶ谷事件での大納言配流などの担当者としてたびたび現れます。

清盛の専横を忠実に実行しながらも分を弁えた態度を保っていて、それが却って悲劇性を演出する効果をもたらしているように見えます。

永\_井 荷\_風さん

# 0 4 太公望・召公 2007/11/ 6 13:39 [ No.15284 / 15916 ]

周の武王に仕えて殷の受王を倒した。

太公望は元祖軍師とでもいった人物だが、本当のところは軍

師であったかどうかは不明。姜族の長と思われ、周を支えた有力軍閥のリーダーだったと思われる。

召公は西方諸部族のリーダーらしい。中央に近い周に臣従したというよりはこれも軍閥リーダーだったと思われる。

周の天下統一後、太公望は斉に、召公は燕に封じられた。クヴァジルさん

#05 西郷隆盛・大久保利通 2007/11/ 7 23:11 [ No.15285 / 15916 ]

ともに鹿児島城下の下級藩士の家に生まれた幼なじみ同士。西郷が主君島津斉彬の側近に抜擢されてから両者は薩摩藩の政治に深くかかわるようになる。そして討幕運動を経て維新の英傑へと脱皮していく。

征韓論の決裂によって両者は袂を分かたすが、互いに忙しく、また遠くに離れていても常に固い絆で結ばれていたのは間違いないだろう。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#06 小林平八・清水一角 2007/11/ 8 17:52 [ No.15286 / 15916 ]

赤穂浪士の討ち入りに備えて、吉良上野を守る剣豪として控え、討ち入りの際にももつとも奮戦したことになっています。ここまでは芝居の話で、実際は小林平八郎、清水一学といって、討ち入りの際には下僕に成りすまして逃げようとしたところ、バレて斬られてしまったりしたと言われます。

永\_井 荷\_風さん

#07 空海・橘逸勢 2007/11/11 15:15 [ No.15287 / 15916 ]

嵯峨上皇のもと、平城京勢力(南都仏教／藤原一族)に対峙した、平安朝の助格。

このトリオは三筆として有名だが、実際には政治同盟でもあった。

空海、嵯峨上皇が没すると、孤立した橘逸勢も、陰謀に敗れ横死。

その時の黒幕が藤原良房。ここから藤原摂関政治の幕が開く。桜ももぞうさん

#08 王貞治・長嶋茂雄 2007/11/11 15:20 [ No.15288 / 15916 ]

川上巨人軍の助格、と言うよりは飛車角？  
桜ももぞうさん

#09 江戸川乱歩・横溝正史 2007/11/11 23:05 [ No.15289 / 15916 ]

日本の推理小説界の隆盛を築いた双璧。  
ともに明智小五郎、金田一耕助といった名探偵を世に送り出し推理小説ファンやサスペンスドラマファンから熱烈な支持を受けている。  
fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#10 高浜虚子・河東碧梧桐 2007/11/12 10:39 [ No.15290 / 15916 ]

子規門下の両巨頭。  
イメージ的に、繊細でプライド高い虚子に豪壮な歌風の碧梧桐。  
それぞれの個性で、子規の写実主義俳句を発展させてゆきます。  
虚子は「きよし」、碧梧桐は「へいごろう」それぞれの本名をもじったもの。  
桜ももぞうさん

#11 伊達成実・片倉景綱 2007/11/12 11:37 [ No.15291 / 15916 ]

伊達政宗のサポート役として有名、成実は政宗とは従兄弟の間柄で戦働きのほうでおもに活躍。片倉景綱は小十郎と呼んだほうがしっくりくるかもしれませんが、こっちは軍師の役割でした。  
クイズ パンチ de デートさん

#11 小宮豊隆・森田草平 2007/11/12 11:42 [ No.15292 / 15916 ]

漱石の門人は大勢いますが、その中で手兵的な存在だったの

がこの二人になると思います。

小宮は「漱石神社の神主」と呼ばれるほどを漱石を崇拜し、著作も漱石に関するものが大半のようです。

森田は、若い頃から調子に乗りやすく女性問題なども起こし、一高時代に漱石が当時の心情を吐露するような手紙を送ったために、ますます調子に乗ったのか、後に平塚明子（はるこ）と塩原心中未遂事件というスキャンダルを起こしたりします。  
永\_井 荷\_風さん

#12 子路・顔淵 2007/11/13 0:51 [ No.15293 / 15916 ]

子路と顔淵は共に孔子の高弟でした。武侠で名を揚げた子路は政事に優れた能力を発揮し、孔子の故国の魯で家老の宰をつとめ、孔子の亡命中にはその諸国遍歴の道中を導く役割を担っていたようです。  
顔淵は孔子の最も愛した弟子で、その深い思索と学問への情熱は孔子を嘆賞させています。  
両名は孔子の学団を内外から支える存在でしたが、子路も顔淵も師の存命中に世を去り、晩年の孔子を深く嘆かせました。  
sakisaki さん

#14 王貞治・牧野茂 2007/11/13 10:34 [ No.15294 / 15916 ]

巨人の藤田元司監督（第一次）下で、王貞治助監督、牧野茂ヘッドコーチが補佐役として成果をあげ、いわゆる「トロイカ体制」として有名になりました。  
クイズ パンチ de デートさん

番外？ 管直人・鳩山由紀夫 2007/11/13 10:36 [ No.15295 / 15916 ]

現在の民主党・小沢代表を補佐してる両名ですが、ちと歴史のカテゴリーに押し込むのは難しいかもしれませんね。小

沢代表の辞任を押しとどめたのは成果かな？

クイズ パンチ de デートさん

#15 安藤信正・久世広周 2007/11/13 23:54 [ No.15296 / 15916 ]

ともに幕末期の老中。将軍家茂のもとで互いに協力し公武合体を推進したが、和宮降嫁の件で両者は尊皇攘夷派から憎まれるようになる。信正はテロリストに襲撃されて負傷し、老中を辞職させられ隠居に追い込まれた。広周も信正に連座し同様の処分を受けた。  
fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#16 明智秀満・斉藤利三 2007/11/16 13:33 [ No.15297 / 15916 ]

明智光秀の腹心というと、この二人が有名だと思います。助さん、格さんの的な役割だったのではないのでしょうか。  
クイズ パンチ de デートさん

番外 ダンカン・ガダルカナルタカ 2007/11/22 16:33 [ No.15298 / 15916 ]

たけし軍団の助さん格さんのな存在。  
永\_井 荷\_風さん

#17 関羽・張飛 2007/11/22 22:58 [ No.15299 / 15916 ]

三国、蜀の先主劉備の武力面での助・格的な存在。  
『三国志演義』では関羽を教養ある武人、張飛を酒好きの粗野な性格の持ち主として描き分けているようです。  
sakisaki さん

#18 加藤清正・福島正則 2007/11/26 10:14 [ No.15300 / 15916 ]

秀吉配下の内、いわゆる「武断派」と言われる勢力の助・格的な存在。  
二人ながら行政能力も優れていたと言われますが。  
永\_井 荷\_風さん

# 19 北畠親房・四条隆資 2007/11/27 23:37 [ No.15301 / 15916 ]

ともに後醍醐・後村上天皇の時代の南朝の柱石で、政治・軍事双方で活躍した。

両者の協力によって南朝は一時的に京都を回復したが、足利軍の反撃に遭い隆資が退却中に戦死。その翌々年には親房も病死したため、南朝は強力な指導者を失った。そのため北朝に対する戦略もそれまでの強硬一本槍から硬軟織り交ぜた方法へと変化していく。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

# 20 坂本龍馬・中岡慎太郎 2007/12/ 4 0:59 [ No.15302 / 15916 ]

土佐藩を脱藩し京都の薩摩藩邸に匿われていた龍馬のところに同様に浪士となっていた中岡慎太郎が訪れたところから薩長同盟への動きが始まる。両者はそれぞれ海援隊・陸援隊を組織して商売を行い薩長同盟成立のために資金援助や仲介を行った。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

# 21 C3PO&R2D2 2007/12/12 14:08 [ No.15303 / 15916 ]

スター・ウォーズじゃ、この2体のドロイドが格さん・助さんかな？

クイズ パンチ de デートさん

2007 年の重大ニュース 20 選 2007/12/12 14:11 [ No.15304 / 15916 ]

今年も押し迫ってまいりましたので、恒例の毎年の重大ニュースを。

大江戸線のほうで、毎年おこなっていましたが、今年は山手線で平にご容赦。

クイズ パンチ de デートさん

# 01 あるある大事典 やらせ問題 2007/12/12 14:15 [ No.15305 / 15916 ]

お正月あけてすぐ、けっこう大きいニュースだったのがこれ。

納豆ダイエットはウソ、捏造というのがばれて、以前の放送にも怪しいのがゾクゾク。番組は打ち切りに。

識者の「納豆でやせるなら、水戸には肥満者はいない」というコメントが個人的にはウケた。

クイズ パンチ de デートさん

# 02 安倍首相辞任 2007/12/12 22:55 [ No.15307 / 15916 ]

今年夏の参院選で自民党は敗れたものの、安倍首相（当時）は続投を明言し 8 月末には内閣の改造を行った。しかしその半月後、突然投げ出すように首相を辞任し世間から批判を浴びた。かねてから健康問題を抱えていただけに病状が悪化したのが理由といわれているが、真相ははたして・・・

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

# 03 新潟県中越沖地震 2007/12/13 23:08 [ No.15308 / 15916 ]

7 月 16 日 10 時 13 分、新潟県上中越沖を震源とする M6.8 規模の

地震が発生、新潟県柏崎市、刈羽村、長岡市小国町等で死者 14 人

重軽傷者 1900 人以上、損壊した建物は万を数え、ガス、水道、

電気、道路、公共交通機関等に多大の被害をもたらしました。故あって 7 月 23 日に柏崎市に赴きましたが、市内では由緒ある神社

仏閣の倒壊が相次ぎ、貴重な建造物への甚大な被害の一端を目の当り

にしました。地震から半年が過ぎようとしています、被災地の復興

の様子がほとんど伝わって来ないのが気にかかります。

sakisaki さん

# 04 松岡利勝農林水産大臣自殺 2007/12/19 3:56 [ No.15309 / 15916 ]

ことしの 5 月のことでした。事務所経費問題などで野党から追求を受けていた松岡利勝農林水産大臣が議員宿舎で首を吊り自殺。

「ナントカ還元水」という言葉も飛び出して話題になりました。

1882 年に内閣制度ができてから在職中に大臣が自殺したのは阿南惟幾陸軍大臣の自殺（1945 年）以来の 2 度目であり、現在の日本国憲法の下では初めて。そういう点では日本政治史でも重要な事件になるでしょう。

しゅうじさん

# 05 守屋前防衛事務次官逮捕 2007/12/20 0:02 [ No.15310 / 15916 ]

去る 11 月 28 日、守屋武昌・前防衛事務次官は防衛分野の専門商社「山田洋行」の元専務（既に逮捕）から賄賂を受け取った容疑で東京地検特捜部に逮捕された。展開次第では政界に捜査の手が伸び一大疑獄事件に発展する可能性もある。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

# 06 朝青龍サッカー事件 2007/12/20 13:06 [ No.15311 / 15916 ]

全治六か月の重傷を負いながら、モノともせず豪快なゴールを決めた！

これだけ見ると、不屈の闘志のスポコンドラマのようだが、どこでどう間違ったのか、各界を揺るがす大騒ぎに。

八百長、暴行死疑惑など、相撲界に取っては踏んだりけつたり的一年でした。

桜ももぞうさん

# 07 食品の偽装問題相次ぐ 2007/12/25 14:28 [ No.15313 / 15916 ]

あるある大事典でケチがついたか？ 賞味期限（消費期限もあった？）の偽装・不二家、白い恋人、ミートホープ、比内鶏、赤福、御福餅、船場吉兆と、記憶に残ってるだけでこれだけありました。知名度がある会社もやっていた、というのが衝撃でした。

クイズ パンチ de デートさん

#08 石見銀山世界遺産登録 2007/12/26 7:48 [ No.15314 / 15916 ]

6月28日ユネスコの世界遺産委員会は日本の島根県にある石見銀山の世界遺産としての登録を議決しました。日本では14件目の世界遺産登録でした。5月ごろには世界遺産としての普遍性があるかという点で疑問符が付けられていたようですが、石見銀山が周辺の山林を伐採せず坑道を掘り進んで採掘すると自然環境に配慮した点が評価され世界遺産登録に結実したそうです。  
sakisakiさん

#09 ミャンマーで邦人撃たれ死亡 2007/12/30 0:11 [ No.15315 / 15916 ]

9月27日、反政府デモの取材のためにミャンマーを訪れていたジャーナリストの長井健司氏がヤンゴン市内で何者かに撃たれ死亡した。長井氏がどのようにして撃たれたか、また誰が長井氏を撃ったかについてははっきりしないまま月日が過ぎていったように感じられ、何ともやるせない気分が残る。  
fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

#10 最高気温更新 2007/12/30 17:34 [ No.15316 / 15916 ]

天候が不順で比較的涼しい日の続いた7月でしたが、8月からは猛暑が続き、8月16日には、岐阜県多治見市と埼玉県熊谷市において日本における最高気温を74年ぶりに更新する40.9度を記録しました。温暖化の進行によるものなのか、来年の夏の暑さが思いやられます。  
sakisakiさん

#11 中日ドラゴンズ日本一 2007/12/30 23:21 [ No.15317 / 15916 ]

初めて日本一になった昭和29年以来、53年ぶり2度目。クライマックスシリーズでよみがえり、その勢いにのったまま日本ハムを破りました。  
fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

#12 テロ対策特措法失効 2007/12/31 9:13 [ No.15318 / 15916 ]

アメリカの対テロ組織戦争への後方支援を行うテロ対策特措法が11月1日を以って失効し、2001年11月から自衛隊により施行されていたアメリカ軍等へのインド洋上での給油活動等の協力支援活動が停止されました。

この法律は成立時は2年間の時限立法でしたが、それ以降改正によって延長を繰り返していました。しかし安部前総理の9月辞任を受けて国会が空転し日程的に再延長が困難となり、後継の福田総理も再延長への意志を示しましたが、結局失効し11月自衛隊はインド洋から撤退しています。  
sakisakiさん

#13 沢尻エリカの不機嫌騒動 2007/12/31 11:21 [ No.15319 / 15916 ]

沢尻エリカという若手女優さんが、映画に関する質疑応答で「別に」という不機嫌なうけこたえをして騒動になった。映画よりこっちのほうが大きい報道になったが、私のようなおじさん世代じゃ、なぜその沢尻エリカという人は「エリカ様」と呼ばれているのか、なんで不遜な態度をとるに至ったのか、よくわからぬ騒動だった。結局、映画の題名も忘れられているのでは？  
クイズ パンチ de デートさん

#14 中華航空機、那覇空港で炎上 2007/12/31 23:04 [ No.15320 / 15916 ]

8月20日、沖縄・那覇空港にて台北発那覇行の中華航空120便が着陸した後に爆発した。異常が早期に発見されたため乗客・乗員が全員無事に脱出できたのは不幸中の幸いであったが、機体は見るも無残に焼け落ちてしまった。中華航空はその後も佐賀空港で2件トラブルを発生させている。信頼回復への道は益々険しくなるだろう。  
fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

test 2008/1/5 14:09 [ No.15321 / 15916 ]

てすと  
¥¥¥¥¥¥¥さん

#15 大連立構想 2008/1/7 20:12 [ No.15322 / 15916 ]

去る11月、福田首相は民主党の小沢代表に大連立構想をもちかけた。民主党議員の多くが反対したため小沢代表は辞意を表明したが、なぜかまもなく撤回した。読売新聞グループが陰で糸を引いていたといわれるこの出来事は、小沢氏に揺さぶりをかけるために仕組まれたものかもしれない。  
fun\*f\*n\_his\*\*ryさん

#16 亀田問題 2008/1/9 21:58 [ No.15323 / 15916 ]

三人ながら素質もあり、顔を見ると素直そうない子達だけど、一部のテレビ局がトレーナーでセコンドのお父さんを煽りすぎて失敗してしまいました。

ボクシング協会の処分は厳しいけれど情理を弁えたものでしたが、それを期に今度はその他のテレビ局が亀田家を追い回すようになりました。

roxonwau さん

**#17 能登半島地震 2008/ 1/10 22:30 [ No.15324 / 15916 ]**  
能登国の半島だから能登半島と呼ばれているのであって、能登半島地震と言えるのなら能登地震でもよかったです。被害の中心は輪島市とあるけれど、合併前の門前町、つまり総持寺のある辺りだそうです。

roxonwau さん

**#18 ねじれ国会 2008/ 1/11 18:13 [ No.15325 / 15916 ]**  
夏の参議院選挙で民主党が勝利の結果、衆議院と参議院で第一党が異なり、「ねじれ国会」と呼ばれることとなりました。紆余曲折の末、大連立構想（#15）も拒否されたので、国政の停滞が危惧されていますが、私はむしろ良いことではないだろうかと考えます。多様な意見を考慮することができるようになるわけですから。

先日の薬害肝炎のようなスピードが必要な案件は問題なく通過していますしね。

aki\*on\*m\*kaku さん

**#19 ブット元首相暗殺 2008/ 1/11 23:37 [ No.15326 / 15916 ]**

年も押し迫った12月27日、パキスタンの元首相であった「パキスタン人民党」党首、ベナジル・ブット氏が選挙演説直後に銃撃と自爆テロにより暗殺されました。

パキスタンでは2008年1月8日に総選挙を予定しており、首相在任中の

汚職訴追を逃れて国外に亡命していたブット氏も2007年10月にパキス

タンに帰国し、政界復帰を目指していた矢先のことでした。パキスタン政権は犯行についてアルカイダに関連する武装勢力の通話

記録を傍受したと発表しましたが、ブット氏の政界復帰を阻もうとする現政権が事件に関与しているのではと噂され、予定されていた総選

挙も事件の影響のため2008年2月18日に延期となりました。  
sakisaki さん

**#20 パヴァロッチェ死す 2008/ 1/12 21:41 [ No.15327 / 15916 ]**

欧州にいた頃、五万人収容のサッカースタジアムのリサイタルで、米粒大のパヴァロッチェを見たことがあるので、パヴァロッチェの訃報は結構ショックでした。RAIというイタリアの国営放送のテレビ番組で、コメディアン連中がパヴァロッチェの豪邸を訪問するという企画があり、気さくに迎えてみんなでお馴染みのアロハシャツを着てというような、アホみたいなものでしたが、要は日本で言うサブちゃんのようなタイプの大物芸能人だったと思います。

roxonwau さん

**お題【外見上の特徴が知られる人物】 2008/ 1/13 21:24 [ No.15328 / 15916 ]**

丸一日お題が出ないので、僭越ながら。テレビや映画がなかった時代の人物で（写真は可）、外見上の特徴が知られている、あるいは歴史資料に記述されている人物を20人挙げてください。

**#00 夏目漱石／あばた顔**  
子供のときの種痘が原因で疱瘡になった跡があるとか。

見栄っ張りの漱石は、写真では修整させていますが。  
roxonwau さん

**#01 平忠盛／斜視 2008/ 1/14 22:32 [ No.15329 / 15916 ]**  
平家物語の鹿ヶ谷の謀議あたりに出てきたと思います。

「伊勢の瓶子は素瓶」というのと「伊勢の平氏は眇目」とをかけていて、忠盛を揶揄していて、徳利を倒して「瓶子が倒れた」なんて喜んでいますが。「眇目」とは片目が悪いことも意味するそうですが、一般には斜視のことをいうそうです。手術すれば治るのに。

roxonwau さん

**#02 孔子/長身 2008/ 1/14 23:14 [ No.15330 / 15916 ]**

孔子が長身であったことは種々の書物に記されていますが、『史記』孔子世家には九尺六寸、人々は長人と呼んで珍しがったとあります。身の丈は我が国の六寸あまりになるようで、当時としては巨大な人物だったのでしょう。

sakisaki さん

**#03 アイスキュロス／禿頭 2008/ 1/15 22:23 [ No.15331 / 15916 ]**

特徴というよりは、職業に共通の外見をしていたそうですが、夏目漱石「吾輩は猫である」より。

どうせ著作権は切れているので長めに引用します。昔し希臘にイスキラスと云う作家があったそうだ。この男は学者作家に共通なる頭を有していたと云う。吾輩のいわゆる学者作家に共通なる頭とは禿と云う意味である。なぜ頭が禿げるかと云えば頭の栄養不足で毛が生長するほど活気がないからに相違ない。学者作家はもっとも多く頭を使うものであって大概は貧乏に極まっている。だから学者作家の頭はみんな栄養不足でみんな禿げている。さてイスキラスも作家であるから自然の勢い禿げなくてはならん。彼はつるつる然たる

金柑頭を有しておった。ところがある日の事、先生例の頭――頭に外行も普段着もないから例の頭に極ってるが――その例の頭を振り立て振り立て、太陽に照らしつけて往来をあるいていた。これが間違いのもとである。禿げ頭を日にあてて遠方から見ると、大変よく光るものだ。高い木には風があたる、光かる頭にも何かあたらなくてはならん。この時イスキラスの頭の上に一羽の鷺が舞っていたが、見るとどこかで生捕った一疋の亀を爪の先に攫んだままである。亀、スポンなどは美味に相違ないが、希臘時代から堅い甲羅をつけている。いくら美味でも甲羅つきではどうする事も出来ん。海老の鬼殻焼はあるが亀の子の甲羅煮は今でさえないくらいだから、当時は無論なかったに極っている。さすがの鷺も少々持て余した折柄、遙かの下界にぴかと光った者がある。その時鷺はしめたと思った。あの光ったものの上へ亀の子を落したなら、甲羅は正しく砕けるに極わまった。砕けたあとから舞い下りて中味を頂戴すれば訳はない。そうだそうだと覗を定めて、かの亀の子を高い所から挨拶も無く頭の上へ落した。生憎作家の頭の方が亀の甲より軟らかであったものだから、禿はめっちゃめっちゃに砕けて有名なるイスキラスはここに無惨の最後を遂げた。

roxonwau さん

#03 劉邦／ほくろ 2008/ 1/16 1:43 [ No.15332 / 15916 ]

『史記』によれば漢王朝の創始者である劉邦には左の股に七十二の

黒子（ほくろ）があったそうです。

この「七十二」という数は陽の最高数である九と陰の最高数である八

をかけた数で中国では非常にめでたい数だそうで、泰山で封禅を受けた

聖王の数も七十二である由。そんな知識を聞きかじっていたためか無名

時代の劉邦は、このほくろを自慢の種に大言壮語をしていたようです。

sakisaki さん

#04 伊達政宗/隻眼 2008/ 1/16 14:31 [ No.15333 / 15916 ]

政宗は幼少時、疱瘡がもとで片目になってしまった。しかし、松島の瑞巖寺にある政宗像は両目である。作った正室の方の希望とも、政宗の遺言とも言われてます。

クイズ パンチ de デートさん

#05 源義経/反っ歯 2008/ 1/17 20:41 [ No.15334 / 15916 ]

『平家物語』巻十一には、平家側の武士の言に「九郎はせい

の小さき男の、色の白かんなるが、當門歯（むかば）の少し差し出でて、殊に

しるかんなるぞ」とあり、義経が小柄で色白、上の前歯が少し前に出

ていて殊に目立つと描写されています。

sakisaki さん

#06 武田信玄/猪首 2008/ 1/20 20:30 [ No.15335 / 15916 ]

なんでも、黒沢明が「影武者」を作る際には、猪首の人物にこだわったそうですが、うってつけだった勝新が途中で喧嘩して降板したので、仲代達也に代わったとか。

最後まで猪首にこだわって欲しかった。

roxonwau さん

#07 西郷隆盛/大目玉 2008/ 1/23 11:31 [ No.15336 / 15916 ]

写真でもわかりますが、西郷さんは「大目玉さん」という意味のあだ名を付けられていたそうです。

クイズ パンチ de デートさん

#08 英布/入墨 2008/ 1/23 19:53 [ No.15337 / 15916 ]

秦帝国末期に各地で蜂起した武装勢力の頭目として項羽に仕えた英布は、顔面に入墨を施されていました。古代中国では刑罰として罪人の面に入墨する決まりがあり

若い頃人相を相てもらった英布は「刑に処せられてから王になる」相と告げられ、壮年になって罪人として面に入墨されたとき、これで王になれると喜んだそうです。

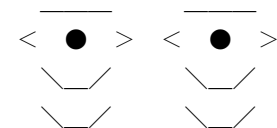
秦の滅亡後、項羽は西楚の霸王を称し、寡兵で大軍を破る大功を立てた布を九江王に封じました。布はその後劉邦に寝返り、項羽が倒れた後も九江王として領土を安ぜられましたが、漢の天下統一後、叛意ありとして捕らえられ、殺害されています。

なお、英布は入墨されていたことから一般には「黥布」（げいふ）と称されます。

sakisaki さん

#09 徳川家康/三白眼 2008/ 1/25 18:30 [ No.15338 / 15916 ]

家康の場合は、下のまぶたがたるんでいるので、こんな感じでしょうか。



roxonwau さん

#10 豊臣秀吉/多指症 2008/ 1/30 20:36 [ No.15339 / 15916 ]

フロイスの『日本史』に片方の手の指が六本、とありまして日本側にも同様の記録があるようです。

現代では赤ちゃんのときに治してしまうみたいです。

pip\*37\*さん

#11 明恵/耳 2008/ 1/31 21:06 [ No.15340 / 15916 ]

高山寺を開山した中世の高僧明恵は、仏眼仏母尊への信仰心篤く、二十三のときこれに帰依し捧げる為に自分の右の耳朶を切り落としたそうです。

自らを耳無し法師と号したこともあるとか。

sakisaki さん

#番外 和泉式部／蹄 2008/ 1/31 23:09 [ No.15341 / 15916 ]

足袋は和歌の名手である和泉式部に由来するものという伝承があるそうです。

佐賀の福泉禅寺の寺伝には、境内に一匹の鹿が入り込み、一人の女兒を産み落としていった。子に恵まれない夫婦が女兒を引き取るとその娘は美しく成長し京で宮仕えをした。娘は和泉式部と呼ばれ、和歌に優れていたが、鹿の子であったので足の先が二つに割れていた。足を隠す為に母は足袋をつくって娘にはかせたということです。

伝説なので番外です。

sakisaki さん

#12 徳川家慶／大頭 2008/ 2/10 0:22 [ No.15342 / 15916 ]

肖像画に描かれている風貌は信憑性が高いといわれ、大きな頭がとりわけ目立っている。

最後の将軍・徳川慶喜の名付け親であり、慶喜を一橋家に移籍させ将軍にさせる道を開いている。

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#番外 都怒我阿羅斯等／角 2008/ 2/10 15:17 [ No.15343 / 15916 ]

『日本書紀』垂仁紀に、渡来人の都怒我阿羅斯等（つぬがあらしと）

の伝承があります。この人は名が示すように「額に角有ひたる人」と

形容されていますが、実際に額から角が生じていたとは思われないと

いうことで、冠を被った姿、甲冑、「都怒我」という人名に由来した

捏造と諸説を学者が立てています。

伝承上の人物ということで、番外です。

sakisaki さん

#13 シラノ・ド・ベルジュラック／デカ鼻 2008/ 2/10

15:34 [ No.15344 / 15916 ]

もともと鼻が高い西洋人の間では

「鼻がデカイ」とか「鼻が長い」といって、

褒め言葉にはならないようで、

この十七世紀に実在した貴族の鼻デカぶりは、

十九世紀にエドモン・ロスタンによって

戯曲に描かれています。

roxonwau さん

#番外 井光／尻尾 2008/ 2/10 19:43 [ No.15345 / 15916 ]

日本書紀神武氣に記述されている尻尾をもち、全身が光っていたという怪人。

井戸から出て来たそうで、、、

<http://www.norichan.jp/jinja/renai2/nagao.htm>

↑こちらによれば、女性だった可能性もあるので、お菊さんのご先祖かもしれません>なんでやねん

sak\*r\*\_to\*mom\*zou さん

#14 劉備／大耳 2008/ 2/10 22:59 [ No.15346 / 15916 ]

蜀の先主として有名なこの方は、耳の大きさでも特異な人だったようで、『三国志』先主伝には「振り返ると自分の耳を見えた」と記されています。

この耳は悪口雑言の種にもなりました。

曹操・劉備連合軍の前に生け捕りにされた猛将呂布は、裁きの場に引き出され、劉備に曹操への口添えを願いますが、逆に劉備が呂布がこれまでに為して来た背信行為を指摘すると呂布は「大耳の小僧め、お前が最も信用できない奴だ」と恨みの一声を残し処刑されてしまいます。

sakisaki さん

Re: #13 シラノ.. 2008/ 2/15 1:06 [ No.15347 / 15916 ]

くまへいよ、それは新しいギャグなのか？

ここは日本史トピじゃないのか？

min\*\_mi\*i\_c\*im\*o さん

#番外 ミダス王／ロバ耳 2008/ 2/15 23:04 [ No.15348 /

15916 ]

耳つながりで・・・ギリシア神話より

葦笛の創作者パーン神はこの笛で堅琴の神アポロンに音楽の腕前を競お

うと挑戦した。初めに演奏した葦笛の素朴な笛の響きに、パーン神の崇拜

者であるミダス王はパーンの勝利を確信したが、審判に選出された山の神は、

次に演奏したアポロン神の堅琴に軍配を上げる。

この裁定に納得のいかないミダス王は山の神の判定ミスだと抗議する。

アポロン神はかような不浄の耳に人間の形をさせることはできぬと震怒

され、王の耳をロバのそれに変えてしまう。王はこの災難を悲しみ、こ

れ以後耳を人前では布で隠すようになったが、理髪師にだけはその秘密

を隠す事はできなかった。王は理髪師に秘密の保持を約させたが、理髪師

はこの秘密を話さずにはいられず、野原に穴を掘り「王様の耳はロバの耳」

と穴に向かって秘密をぶちまけてしまう。

それからというもの野原では草たちが「王様の耳はロバの耳」と声をあげ

王の秘密は衆人の知るところになったという。

王の耳がその後どうなったかは、記憶が定かではありません。そのままなら、

悲劇・・・

sakisaki さん

#15 馬良／白眉 2008/ 2/16 21:32 [ No.15349 / 15916 ]

大耳の劉備に仕えた馬良には五人の兄弟があり、みな才知を称せられて

いましたが、なかでも馬良は最も秀でた人物でその眉に白毛があった事

から「白眉」と呼ばれました。多人数、或いは同種のなかで



最も優れた

人や物を「白眉」というのはこの事に由ります。

なお、才知を称されながらも慢心から蜀軍の北伐を烏有に帰せしめ、

「泣いて馬謖を斬る」の諺の元になった馬謖はこの「白眉」の実弟に

あたります。

sakisaki さん

# 16 源頼朝／大頭 2008/ 2/21 22:08 [ No.15351 / 15916 ]

この辺は江戸時代に流布されたとも言われますし、あるいは「こうのと」なんかから、それに近い尊称があって、それが誤解されて伝わった可能性もありますが、とりあえず頼朝といえば大頭ということで。

実際に、あの頃だったら「顔がちっちゃい」男の子は軽く見られていたはずですし。

roxonwau さん

# 番外 平将門／重瞳 2008/ 2/24 7:10 [ No.15352 / 15916 ]

「重瞳」とは眼に二つの瞳があることで、これを

持つ者は天下人になるという伝承があります。

平安中期の関東に「新皇」を名乗って反乱を起こした平将門は左眼が重瞳であったとされ、影武者六人を引き連れる不死身の武将であったと後世の庶民に語られました。怨みを残して滅んだ将門の塚は、今も人々の畏敬の対象として語られる処のようです。

sakisaki さん

# 17 源為朝／左右非対称の腕 2008/ 3/ 2 20:32 [ No.15353 / 15916 ]

源為朝は身の丈は七尺と言われ、目の隅が切れ上がった容貌魁偉で、左腕が右腕よりも四寸も長いという外観上の特徴が記されています。

伊予大三島の大山祇神社では、実際に為朝が使った強弓が見られます。

実際にすごい力だったと言われます。

青山ハリマさん

# 18 典偉／角 2008/ 3/21 13:41 [ No.15356 / 15916 ]

三国志の曹操の武将。

角が生えていたとされます。

近年でも四川省などで角と称する突起物を持つ人物が時々あらわれますが、変形した頭蓋骨が皮膚を破って突出するものだそうです。

なんかイタそう。

さくらまいちるなかにわすれたきおさん

# 19 布袋／太鼓腹 2008/ 3/21 13:46 [ No.15357 / 15916 ]

日本では七福神に数えられる福の神「布袋」。

実在した中国の禅僧です。

しかも、唐末の人物だそうですから、リアル過ぎる感じも(三蔵法師よりも新しい)。

太鼓腹は生前からのトレードマークだったそうです。

さくらまいちるなかにわすれたきおさん

# 20 モーゼ／角 2008/ 3/29 23:25 [ No.15358 / 15916 ]

一説には、誤訳に基づく情報をミケランジェロが信じてしまっただけでも言われますが、ローマにあるモーゼ像にはしっかり角が生えていて、それが一般のモーゼのイメージになっています。

青山ハリマさん

# 20 釈迦ヶ嶽雲右衛門／長身 2008/ 3/29 23:41 [ No.15359 / 15916 ]

江戸時代中期の力士で松江藩主松平南海侯のお抱えでした。

身長は七尺五寸(約226cm)とされています。

当時の笑話に、力士の寄り合いで釈迦ヶ嶽が豆腐を買いに行く事になった。夜遅くのことで豆腐屋は店じまいしていたが、釈迦ヶ嶽が力任せに戸を叩くと亭主が眼を覚まし、「二階を叩く奴は誰だ」と叫んだ、とやら。

深川の富岡八幡宮にその身の丈と同寸の石碑が建てられています。

sakisaki さん

お題【 ナンバーがついた兄弟 】 2008/ 4/ 1 22:18 [ No.15360 / 15916 ]

僭越ながら軽めのお題で出題させていただきます。

歴史上の兄弟たちで、名前に生まれた順番を示す数字が含まれる兄弟を、20組挙げてください。

兄弟全部にナンバーがついていれば一番ですが、兄弟の内の二人以上についていれば有効とします。

ただし、「太郎」や「次郎」は、本来は順番を表すものの、今回はいちおうなしでお願いします。

番外 太平サブロー・シロー

歴史上の人物でも、兄弟でもないし、カタカナだし。

青山ハリマさん

#01 斎藤五、斎藤六 2008/ 4/ 4 0:47 [ No.15361 / 15916 ]

平維盛に仕えた兄弟の侍。父は白髪染めの斎藤実盛。

『平家物語』では、西国へ都落ちする維盛に従おうとするが、維盛から子の六代を託され、都にとどまる。また、平家が敗れてからは源氏の探索から六代を匿い、六代が逮捕され、処刑寸前になっても傍を離れず、付き従っていました。

sakisaki さん

【 お題条件訂正 】 太郎・次郎OKで 2008/ 4/ 4 20:22 [ No.15362 / 15916 ]

すみません、「太郎」や「次郎」を除外すると言いましたが、訂正して、

「長男の意味で使われる『太』と「次男の意味で使われる『次』」はOKとします。

失礼しました（汗…  
青山ハリマさん

番外 石原慎太郎・裕次郎 2008/ 4/ 4 20:24 [ No.15363 / 15916 ]

弟の方はすでに歴史上の人物ですが、  
兄の方は現役バリバリなので番外で。  
青山ハリマさん

#02 谷崎潤一郎・谷崎精二 2008/ 4/ 5 22:28 [ No.15364 / 15916 ]

谷崎潤一郎は小説家、弟の精二も小説をものしましたが、  
あまりぱっとせず、早大の英文科でのエドガー・アラン・  
ポオの研究と翻訳の方で有名ですね。  
兄弟仲も疎遠がちだったようです。

sakisaki さん

#03 徳富猪一郎・徳富健次郎 2008/ 4/ 5 22:48 [ No.15365 / 15916 ]

文学者の兄弟をもう一組。こちらは兄弟そろって有名  
ですが、徳富蘇峰・徳富蘆花兄弟として文学史に名を  
遺しています。（タイトルはご本名）  
蘇峰は文学者というよりは絶大な政治的影響力を有する  
ジャーナリスト、蘆花は詩人からスタートして小説家と  
なりましたが、国家主義的な兄とは疎遠になりついには  
絶縁宣言までしましたが、死の直前に和解しています。

sakisaki さん

番外：風魔小太郎／風魔の小次郎 2008/ 4/ 8 11:58 [ No.15366 / 15916 ]

後北条氏子飼の忍者集団の頭と、車田正巳のカルトなマンガ  
の主人公で、風魔忍軍のトップ。  
当然インスパイアされたんでしょうが、他人です。

sak\*r\*\_to\*mom\*zou さん

番外:納谷五郎、六郎 2008/ 4/ 9 12:42 [ No.15367 / 15916 ]

声優業をされてる兄弟、五郎さんは銭形警部などでおなじ  
み。六郎さんは・・・最近の名前見ないかな。

クイズ パンチ de デートさん

#04 河野一郎・河野謙三 2008/ 4/ 9 23:42 [ No.15368 / 15916 ]

兄・一郎(1898-1965)は自民党政権の基礎を築いた立役者の  
一人であったが総裁になれなかった。弟・謙三(1901-1983)  
は参議院で活躍し参議院議長などを務めた。

ちょっとイレギュラーな形になってしまいましたが、大丈夫  
でしょうか？

fun\*f\*n\_his\*\*ry さん

#05 正田健次郎、英三郎 2008/ 4/12 9:11 [ No.15369 / 15916 ]

長兄は早世したそうで、お兄さんの方は数学者で大阪大学の  
学長を務めた人。

弟は家業を継いで日清製粉の社長というよりは皇后陛下の  
お父様として知られます。

お兄さんが学長に就任したのは縁談より前だったそうですが、  
文化勲章を受章したのいんは姪の存在が関係していたと  
思います。

青山ハリマさん

#06 樋口次郎・今井四郎 2008/ 4/12 9:12 [ No.15370 / 15916 ]

木曾義仲の乳母を妻とした中原兼遠の息子の中では、  
樋口次郎兼光と今井四郎兼平、それから巴御前が知られてい  
ますが、

来年の大河で妻夫木クンが演じる直江山城守は樋口次郎の  
末裔と

称するそうで、確かに名前には「兼」の字が入っています。  
新潟の方では早くも観光資源としての利用が始まっていま  
した。

青山ハリマさん

#番外 女二宮、女三宮 2008/ 4/22 2:17 [ No.15371 / 15916 ]

女性の該当者がなかなか思い当たらず、そう言えばと  
思い出したのがこの姉妹。

『源氏物語』の朱雀院の皇女ですが、物語の後半で源氏  
に降嫁した女三宮の方が有名で、柏木と結ばれても妹の  
三宮に夫が懸想してしまうという立場の二宮はすこし影  
が薄い存在ですね。

架空の人物、しかも本名不明なので番外です。

sakisaki さん

#07 鎮西八郎・新宮十郎 2008/ 4/30 23:51 [ No.15372 / 15916 ]

源為義は艶福家で、子供は四十数人を数えたといわれますが、  
そのうちのナンバー8とナンバー10が割合有名です。

他にはいるのかなあ？

青山ハリマさん

#08 森林太郎・篤次郎・潤三郎 2008/ 5/ 7 22:57 [ No.15373 / 15916 ]

鷗外森林太郎の上の弟は、医師のかたわら「三木竹二」のペ  
ンネームで演劇批評家としても知られています。

青山ハリマさん

Re: 歴史山手線ゲ〜ム 2008/ 5/ 9 21:02 [ No.15374 / 15916 ]

島勝猛

gwm\*p\*01 さん

#09 八幡太郎・加茂次郎・新羅三郎 2008/ 5/13 22:57 [ No.15375 / 15916 ]

それぞれ元服した神社の名前が付けられてい（ると思）ま  
す。

青山ハリマさん

#10 佐藤三郎継信・四郎忠信 2008/ 5/17 13:05

[ No.15376 / 15916 ]

継信は屋島で義経をかばって討ち死にし、  
忠信は義経が吉野を逃れる際に身代りになります。  
青山ハリマさん

# 11 柴四朗・柴五郎 2008/ 5/25 22:54 [ No.15377 / 15916 ]

江戸時代末期、会津に生まれ明治中期に小説家・政治家として名を馳  
せたのが柴四朗。「東海散士」の筆名で政治小説『佳人之奇遇』を  
表し、衆議院議員としても活躍しました。

実弟の五郎は陸軍士官学校卒業後、陸軍省に勤務し清国公使館附を  
命じられ赴任した直後、義和団の乱に遭遇、紫禁城の一角に  
各国公使  
らとともに籠城の已む無きに至りますが、外国留学の経験が  
豊富で数  
ヶ国語に通じていた五郎は各国公使と連絡調整の任にあたり、  
各国が  
団結して籠城戦を持ちこたえるのに寄与しました。

乱の鎮圧までの2ヶ月弱の籠城を成功裡に終わらせた功は柴  
五郎に帰  
せられると言えましょう。  
sakisaki さん

番外 甲賀太郎・次郎・三郎 2008/ 6/ 7 21:45 [ No.15378 / 15916 ]

三郎がきれいな嫁をもらって幸せになったのを、二人の兄が  
嫉んで、  
嫁を横取りにしようと三郎を騙して蓼科の火口に落とした  
ところ、  
三郎は地底の世界を生き抜き、そこでも富裕な家の婿となっ  
て  
それなりの幸せを掴んだものの、そのうち地上の妻も恋しく  
なって、

地上に出たところ、自身の姿は龍に変わっていて、実は妻の  
方も  
悲嘆の余り諏訪湖に身を投げて龍に変わっていて、二人なが  
ら  
諏訪湖の守り神となって名か睦まじく暮らしたとのことで  
す。  
青山ハリマさん

# 12 橋本家の兄弟 2008/ 6/ 9 6:00 [ No.15379 / 15916 ]

岡山出身の実業家、橋本卯太郎は八人の子宝に恵まれ、うち  
男児六人  
を「宇宙乾坤龍虎」に漢数字を添えて命名しました。  
宇一、宙二、乾三、坤四郎、龍伍、虎六の兄弟です。  
兄弟は学者、軍人、官僚となりましたが、五男の龍伍は官僚  
を経て  
政治家を志し衆議院議員となりました。  
彼の子息、橋本龍太郎は総理大臣に就任し、弟の大二郎も高  
知県知事  
を経て次期衆議院選挙に打って出る意向を示しています。  
sakisaki さん

# 番外 春日家の兄弟 2008/ 6/16 19:43 [ No.15380 / 15916 ]

その昔、特撮TV番組として、裏番組の『ミラーマン』と覇  
を競っ  
た(?)『シルバー仮面』に登場する春日三兄弟は、長兄：  
春日光一、  
次兄：春日光二、末弟：春日光三でした。彼らは天才的な科  
学者春日  
勝一郎博士の息子で、父が未完のまま遺した「光子ロケット」  
の秘密  
を探りつつ、襲い掛ってくる宇宙人と闘うという内容でした。  
主人公はシルバー仮面に変身する光二で、演じていたのは  
柴俊夫、  
光一は亀石征一郎氏、光三は篠田三郎氏が演じており、役者  
の名が

役の兄弟の俳優に対応しているという例でした。  
sakisaki さん

# 1 3 中島恒太郎・英次郎 2008/ 6/20 7:59 [ No.15381 / 15916 ]

幕末。戊辰戦争の最終決戦地、函館五稜郭の箱館奉行・中島  
三郎助の長男と次男。  
2人とも父と共に五稜郭の戦いで戦死。  
kitanokuni\_new127 さん

# 14 悪源太義平、源九郎判官義経 2008/ 6/24 8:34 [ No.15382 / 15916 ]

義朝の子供たちの中で、ナンバーがつくのはこの二人くらい  
でしょうか。  
青山ハリマさん

# 15 横山隆一 横山泰三 2008/ 6/24 23:21 [ No.15383 / 15916 ]

兄弟ともに漫画家として一家を成した人物。漫画家が多い  
とされる  
高知県の出身です。兄の隆一は学帽がトレードマークの  
『フクチャン』  
で、実弟の泰三は朝日新聞に長期連載された1コマ漫画  
『社会戯評』で  
有名です。また兄弟ともに長命でもありました。  
sakisaki さん

番外 オバケのQ太郎、O次郎 2008/ 7/ 5 9:34 [ No.15384 / 15916 ]

あとP子とかU子とかもいたかな？  
青山ハリマさん

番外 くいだおれ太郎・くいだおれ次郎 2008/ 7/ 8 22:15 [ No.15385 / 15916 ]

先日閉店したそうですが、多忙の際には協力して店頭に立っ  
たといわれます。

青山ハリマさん

# 16 佐々木太郎・次郎・三郎・四郎 2008/ 7/11 23:58 [ No.15386 / 15916 ]

佐々木太郎定綱、次郎経高、三郎盛綱（守綱）、四郎高綱、四人揃うのは目出度いのだそうです。

近江宇多源氏佐々木秀義と四人の息子たちは、平家台頭の圧力を逃れて関東方の食客となり、後に源平の合戦で活躍します。

四郎高綱は父親が借りてくれた池月を駆って梶原源太との宇治川先陣争いに勝利して名を上げ、三郎盛綱は藤戸の合戦で功を挙げて多大な恩賞を賜り、備前児島の藤戸町と天城町との間にかかる「盛綱橋」の欄干には像が建てられています。「吾妻鑑」で藤戸で盛綱に従ったとされる「与野太郎」という人物に目をつけた埼玉県与野市に住む元電通マンが、定年後の筆すさびとして書いた「与野太郎と探せ」という本がちょっと面白くて、それによると盛綱は頼朝の意を受けて、浦和宿近くに「守綱院」という寺院を建てて拠点とし、大蔵合戦などでバラバラになっていた関東の中小の武将をリクルートして回る活動を担っていたと言われます。

晩年の盛綱は上州磯辺温泉の松岸寺に隠居しますが、ここには後に、赤穂の家老で悪役にさせられた大野九郎兵衛も隠遁生活を送っていたそうで、明治期にこの地に逗留した岡本綺堂は、功名のために罪のない漁民を殺して鎌倉武士の忠勇と賛美される盛綱と、不忠の悪名を一身に負いながらも、好々爺然と暮らして村人に敬愛された大野とを対比しています。青山ハリマさん

# 17 梶原源太景季、平次景高、三郎景家 2008/ 7/20 12:09 [ No.15387 / 15916 ]

他にも兄弟はいるそうですが、父親は平三景時。

芝居などでは、少し柔弱だけど美男で風流を解する源太に対して、

平次は家督や源太の恋人を狙う人物としてキャラ設定されています。

青山ハリマさん

番外 村崎太郎・村崎次郎 2008/ 7/26 11:38 [ No.15388 / 15916 ]

血はつながっていないのかな。

青山ハリマさん

#番外 タロとジロ 2008/ 7/26 14:41 [ No.15389 / 15916 ]  
南極物語。

兄弟だったか???

うらわさん

番外 熊谷次郎、小次郎 2008/ 8/ 6 9:00 [ No.15390 / 15916 ]

ぜんぜんダメじゃん。

青山ハリマさん

あとひといき 2008/ 8/14 20:34 [ No.15391 / 15916 ]

あと兄弟3組です。

青山ハリマさん

# 18 岡田三郎 岡田五郎 2008/ 8/14 22:34 [ No.15392 / 15916 ]

文人の兄弟です。岡田三郎は明治 23 年北海道に生まれ、早大で徳田秋声

に師事し、パリに遊学、帰国後長編小説「巴里」を発表、「コント」とい

う語を紹介しました。数回の結婚と離婚を繰り返し、47 歳で妻子を棄てて

19 歳の喫茶店の女性店員と駆け落ちするという恋多き作家でした。

弟の岡田五郎は牧屋善三の筆名で小説を物し、芥川賞候補にもなりまし

たが、活躍したのはごく短期間だったようです。

彼ら兄弟の資料は所縁の地である小樽文学館に展示されている由。

sakisaki さん

番外 曾我五郎・十郎 2008/ 8/14 22:42 [ No.15393 / 15916 ]

こちらは、

名前の数字 = 1 0 / (兄弟の序列の n 番目)

なので番外で。

もし三男がいたら

曾我三郎三分三厘三毛...

青山ハリマさん

# 19 小坂善太郎 ・ 小坂徳三郎 2008/ 8/17 9:36 [ No.15394 / 15916 ]

政治家の兄弟。兄善太郎は長野出身の衆議院議員として活躍、

吉田茂内閣で労働大臣、池田内閣で外務大臣を務めました。弟の徳三郎は新聞記者から実業界を経て政界入り、自民党

の

衆議院議員として経済界での人脈を生かして活躍、田中内閣

では総理府総務庁長官、大平内閣では経済企画庁長官、鈴木

内閣では運輸大臣と歴代内閣で入閣を果たしています。

さあ、あと 1 組・・・

sakisaki さん

番外 1、2、3、4 宮 2008/ 8/30 22:57 [ No.15395 / 15916 ]

男子の直宮の中で、わりあい有名なところとしては、高倉院の四人の皇子がいます。一宮は安徳天皇で平家とともに西

国に行幸し、二宮で後に後高倉院と諡号される守貞親王も念のため行啓され、三宮は母親の位が低く、後白河院によくな

ついた四宮が皇位につき、後鳥羽天皇になります。

青山ハリマさん

番外 ジョーとベン 2008/ 9/ 9 22:40 [ No.15396 / 15916 ]

初もないので。なんとなく、アメリカ辺りの大家族の男の子は、長男がジョー(ジヨセフ)、末っ子がベン(ベンジャミン)というイメージがあ

りますが、旧約聖書の創世記のヤコブが正室ラケルに産ませた二人の男の子が、ヨブとベニヤミンだったのに由来しているのかもしれない。日本なら太郎と留吉？

青山ハリマさん

#20 西園寺公一 ・ 西園寺不二男 2008/ 9/14 9:33 [ No.15397 / 15916 ]

宮内省の官僚・西園寺八郎の嫡男と三男。祖父は西園寺公望。公一は、内閣囑託として尾崎秀実と共に近衛首相のブレーンとなるも、ゾルゲ事件に連座して廃嫡。昭和 42 年に日本共産党を除名処分となると、家族とともに中華人民共和国へ移住。文化大革命開始当初に、いち早く支持を表明。晩年は創価学会に傾倒。

不二男は、日産コンツェルン総裁・鮎川義介を義父に持ち、日産興業社長などの要職を歴任した。

cau\*d\*on\_72\*8 さん

番外 麻生太郎 ・ 麻生二郎 2008/ 9/14 9:36 [ No.15398 / 15916 ]

今現在、自民党総裁選挙に忙しい政治家一族の良血・麻生太郎氏の弟は二郎さん。

cau\*d\*on\_72\*8 さん

**お題【家康の家臣】** 2008/ 9/19 18:20 [ No.15399 / 15916 ]

何のひねりもないですが。

徳川家康と、直接主従関係を結んだ武将を 20 人、あげてください。

いわゆる外様大名は除きます。

#00 大久保 忠教

大久保彦左衛門の通称の方が有名。三河物語を著して、家康の天下取りの軌跡を後世に残す。

講談の名コンビ一心太助は、なんと実在したとの説もあるらしい。

sak\*r\*\_to\*mom\*zou さん

#01 井伊直政 2008/ 9/20 11:08 [ No.15400 / 15916 ]

ベタですが、優等生から。

井伊家は遠州引佐の名門豪族ですが、今川に親を殺され、領地を奪われて放浪していた十五歳の少年を取り立てて、元の領地を安堵していますから、よほど見所のある少年だったのでしょう。

井伊の赤備として敵方に恐れられ、数々の勲功を挙げます。

青山ハリマさん

#02 本多正信 2008/ 9/24 22:43 [ No.15401 / 15916 ]

これまた大物で。

家康に対等にもものが言えた唯一の家臣だと言われるばかりでなく、元は本多が本家で、葵の家紋も元は本多のもので、それが、他の家が遠慮して家紋を変える中、本多だけが茎付きの葵を使い続けられた理由だとも言われます。

青山ハリマさん

#03 本多忠勝 2008/ 9/29 12:37 [ No.15402 / 15916 ]

大物中のオオモノ、家臣では一番有名かもしれませんが。戦上手で、秀吉も感嘆したそうですから、相当な人物だったのは間違いありません。

set\*\*chi\_j\*a\*utyo さん

#04 酒井重忠 2008/10/ 4 16:21 [ No.15403 / 15916 ]

何をしたかはほとんど知られていませんが、「関東の華を取らず」と言って前橋に封じられたので、信頼はされていたのでしょう。

青山ハリマさん

#05 石川数正 2008/10/ 9 23:53 [ No.15404 / 15916 ]

詳しくないので、ちょっと調べました。

家康長男の岡崎信康を人質から救い後見人になるなどしましたが、信康切腹後、秀吉の下に寝返り、その後子孫が関が原で東軍につき、松本五万石を安堵されるものの、最後は案

の定改易されます。

青山ハリマさん

#06 本多重次 2008/10/13 22:56 [ No.15405 / 15916 ]

通称は作左衛門、「鬼作左」の異名あり。家康の三河以来の家臣で

行政面で家康を補佐しました。

妻に宛てた「一筆啓上、火の用心、お仙泣かすな、馬肥やせ」の便り

は、日本で最も短い手紙の一つとされています。

前出の石川数正が、秀吉のもとに出奔したのは、数正が作左衛門と

事前に示し合わせて敢えて秀吉に寝返ったと見せかけ、その実、外交

面で秀吉側から徳川方を助ける方策であった、と山岡荘八の小説で見

た覚えがあります。

sakisaki さん

#07 榊原康政 2008/10/24 10:29 [ No.15407 / 15916 ]

四天王のひとりですね。武功もさることながら、文才もあったようで、家康の代わりに檄文を書いたりしていたようです。幕府成立後は、やはり他の武闘派の家臣同様、ちょっと冷遇されていたようです。

set\*\*chi\_j\*a\*utyo さん

#08 服部正成 2008/10/31 4:28 [ No.15409 / 15916 ]

通称は半蔵。徳川家の譜代の家臣で、伊賀甲賀忍者を指揮する立場にありましたが、ご自身は忍者ではなかったそうです。

堺で本能寺の変に遭遇した家康を三河に逃すため、伊賀越えの

先導役を果たし、数々の戦功をあげた槍の名手としても名高い

武将です。

sakisaki さん

#### #09 三浦按針 2008/11/12 23:41 [ No.15411 / 15916 ]

少し毛並みの変わった人にしましょう。三浦按針は、元々英国出身のウィリアム・アダムスという航海士でした。彼の乗船した舟は、極東への航海の途中、疫病や寄港地での住民による攻撃に遭い、惨憺たる有様で1600年の春に豊後に漂着しました。

その後家康による数回の引見を経たのち、外交の相談役および通訳として家康の傍に仕えるようになります。

江戸幕府成立後、アダムスは大型の帆船の設計と建造を家康から命じられこれを完成させ、その褒章として相模の逸見知行地を与えられます。名も三浦按針と改め、正式に家康の旗本となり、その生涯を日本で閉じました。  
sakisaki さん

#### #10 坂崎直盛 2008/11/21 21:17 [ No.15412 / 15916 ]

関が原で東軍につきますが、家康の家来にしては珍しく反抗した人物。大阪の陣で千姫を救ったらくれるという約束が反古にされたとか、ぶ男だったとか、いろいろありますが、真相は不明です。  
青山ハリマさん

#### #11 牧野康成 2008/11/27 8:51 [ No.15413 / 15916 ]

元是三河の国人として牛久保城主の地位にありましたが、後に家康に仕えて偏諱を拝領し、譜代に列せられるようになります。関が原では秀忠の軍にあって遅刻しますが、譜代の家臣団を温存するための出来レースだったという説もあり、息子の代には秀忠によって加増が繰り返されて、長岡七万石の地位に上ります。  
青山ハリマさん

#### #12 天野康景 2008/12/ 3 13:15 [ No.15414 / 15916 ]

家康に幼少から仕えていた古参の家臣で、興国寺城を賜るまで出世しますが、手下の足軽が盗賊を切りつけたら百姓だった、といういざこざで、城を捨てて蟄居し、人生を全うします。彼の失脚は本多正純の仕組んだことともいわれています。子供たちは許されて、旗本になったりしています。  
set\*\*chi\_j\*a\*utyо さん

#### #13 藤堂高虎 2008/12/11 8:05 [ No.15415 / 15916 ]

外様ですが、築城には卓抜した能力を持ち、家康もこの怪しげな人物をけっこう頼りにしていました。  
青山ハリマさん

#### #14 渡辺守綱 2008/12/18 21:34 [ No.15416 / 15916 ]

#8の服部正成さんと同様、こちらの通称も「半蔵」です。服部さん同様、武勇で名高く、こちらは「鍵半蔵」、服部さんは「鬼半蔵」(逆だったかも)の異名がありました。生年もいっしょだったかな？  
sakisaki さん

#### #15 青山忠成 2008/12/20 9:34 [ No.15417 / 15916 ]

青山家は最も古い譜代七家のひとつだそうで、特に武勲などはないものの、家康の近習として信頼され、後に秀忠の養育係などを務めています。家康が江戸の西南郊を指して「馬で駆けてみよ、駆けられただけの土地を与える」と言ったので、その通りにしてもらった広大な屋敷が今の東京の青山一帯で、常陸江戸崎に封じられた本家の下屋敷が北青山、郡上八幡の分家が南青山くらいになるそうです。  
青山ハリマさん

#### #16 本多正純 2008/12/29 6:48 [ No.15418 / 15916 ]

父親とともに家康に直接仕え、一時は父親が二代秀忠に、息子が駿府の大御所に近侍するという時期がありました。でもそのせいで家康亡き後は秀忠に煙たがられた可能性が

あり...

青山ハリマさん

#### #17 鳥居元忠 2009/ 1/ 5 21:51 [ No.15419 / 15916 ]

今川人質時代を共に過ごした昵懇の間柄で、関が原の前哨戦、家康の上杉征伐の際には、玉砕を覚悟で伏見を守って石田光成に攻められ自刃し、「三河武士の鑑」と称されています。  
青山ハリマさん

#### Re: 歴史山手線ゲーム 2009/ 1/13 22:37 [ No.15420 / 15916 ]

あげ  
青山ハリマさん

#### #18 松平信一 2009/ 1/15 21:56 [ No.15421 / 15916 ]

藤井松平家の初代。松平長親の五男・松平利長の長男。徳川家康の祖父・松平清康の従兄弟。通称、勘四郎。1539年生-1624年没。家康の初戦から従軍、永禄元(1558)年尾張品野城の夜襲戦に加わり、織田方の竹村、磯田、戸崎、滝山ら守将を含む50名余りを討ち取り、その名を轟かせた。永禄6(1563)年三河一向一揆鎮圧戦でも活躍。永禄11(1568)年より織田信長上洛軍の援軍として派遣され、対六角氏戦で18の城を落とし、信長から激賞された。天正18(1590)年の関東国替えに際し、下総布川に五千石を与えられた。関ヶ原の戦いでは江戸崎で、西軍寄りの佐竹義宣に備え、その戦功により常陸土浦に三万五千石を与えられた。長男に久清がいたが、1592年に早世。桜井松平家・忠吉の長男・信吉(母は久松俊勝の娘で家康の異父妹・多劫姫)を養子に迎えて家督を譲った。信吉は上野高崎五万石、丹波篠山五万石へと移封され、元和6(1620)年に死去。信吉の長男・忠国が家督を継いだ。

寛永元(1624)年、丹波篠山城内で死去。

ggctakat さん

#### #19 高力清長 2009/ 1/16 16:20 [ No.15422 / 15916 ]

家康の古くからの家臣、三奉行のひとりに数えられる。  
とりあえず UP.

set\*\*chi\_j\*a\*utyo さん

#20 松平忠直 2009/ 1/17 20:47 [ No.15423 / 15916 ]

結城秀康の嫡男すなわち家康の孫として、  
越前75万石を領有する大大名となり、  
大阪夏の陣では真田幸村を討ち取る軍功を上げたものの、  
その後の論功には不満であったと言われます。  
後に奇行が目立つようになり、改易されて豊後に流されます。  
青山ハリマさん

お題【代官所のある町】 2009/ 1/17 20:49 [ No.15424 / 15916 ]

維新以前の都市の起源としては、城下町、宿場町、門前町、  
港町などさまざまありますが、江戸期に代官所などの  
役所を中心に発展した町を、20件挙げてください。  
条件としては、大名のいる城や陣屋がなく、  
幕府や諸藩の代官所、城代のいる城、  
あるいは万石以下の旗本の陣屋を中心とした町で、  
門前町、港町、宿場町などを兼ねている場合はOKとします。  
#00 大阪  
言うまでもなく秀吉の城下町ですが、  
江戸期を通じて城代の下に奉行所がある  
直轄地の扱いでした。  
青山ハリマさん

【代官所のある町】お題キャンセルします 2009/ 1/19  
22:19 [ No.15425 / 15916 ]

山の手にはそぐわないので、大江戸に移行しました。  
どなたか次のお題を。  
青山ハリマさん

お題【動物の種類を表す字を含む名前の人】 2009/ 1/21  
21:52 [ No.15426 / 15916 ]

大昔のお題をパクって第二弾にしたいと思います。  
第一弾  
http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=GN&action=l&board=1835208&tid=nrbkbb3bcjc0fea52a1aa5e0&sid=1835208&mid=2032  
のお題条件は、  
\*\*\*\*\*  
前回の「植物編」(#1174)と同じルールで、  
動物の種を表す漢字（や熟語、平仮名もOK）が  
名前に含まれる人物です。  
十二支に使われる漢字もOKとします。  
既出の漢字はNGですが、同じ動物でも  
漢字が異なればOKとします。  
想像上の動物もいちおうOKです。  
動物の分類に関する一般的な名詞（魚、鳥、虫、貝など）や  
パーツ名などはNGです。  
\*\*\*\*\*  
でしたが、今回は前回の解答ででた動物をNGとし、かつ十  
二支に使われている漢字もNGとします。  
青山ハリマさん

#01 烏丸光広 2009/ 1/21 23:57 [ No.15427 / 15916 ]

烏（からす）  
江戸時代初期の歌人で、細川幽齋の弟子にあたります。  
時代劇『柳生一族の陰謀』に登場する公家の剣豪、  
烏丸少将文麿のモデルになりました。  
sakisaki さん

#02 鷹見泉石 2009/ 1/22 1:22 [ No.15428 / 15916 ]

鷹（たか）  
鷹見泉石は江戸時代後期の蘭学者で、下総古河藩の家老職  
でもありました。同時代の蘭学者である渡辺崋山と交流があ  
り、

崋山の描いた「鷹見泉石像」は東京国立博物館の蔵する国  
宝

に指定されています。

sakisaki さん

お題補足 2009/ 1/22 7:46 [ No.15429 / 15916 ]

第一弾では番外の回答が多かったようですが、本編回答で挙  
げられた動物だけNGとします。

その動物（あるいは動物の別名）は、

蝶

ひばり

牛

蜂

鮪

熊

鳶

蔵六（亀）

猫

鶴

鹿

象

犬

猿

亀

子規（ほととぎす）

らいてう（雷鳥）

虎

馬

蝦

で、十二支の漢字はNGとしますが、漢字が異なればOKで  
す。

青山ハリマさん

番外 市川海老蔵 2009/ 1/22 7:50 [ No.15430 / 15916 ]

今でも新之助という名前の方がじっくり来る。

青山ハリマさん

**#03 河内鯨 2009/ 1/25 10:47 [ No.15431 / 15916 ]**

天武朝の第七次遣唐大使。

この頃は唐が朝鮮半島に侵攻し、宿敵の新羅が日本に同盟を求めてきたため、河内鯨のあとしばらく遣唐使は中断します。

青山ハリマさん

**#04 西門豹 2009/ 1/26 23:50 [ No.15432 / 15916 ]**

豹（ひょう）

西門豹というのは中国戦国時代の魏の偉物で、魏の文侯に仕えた人です。

現代から見るとなかなか合理的な思考力を有していたようで、県令とし

て派遣された地方で、河の神に人身御供をささげる風習に民衆が苦しん

でいるという事を聞き及ぶと、その儀式を取り仕切っている巫女たちを

根こそぎ河に叩き込んで民の苦しみを救ったという話が『史記』に伝え

られています。

sakisaki さん

**#05 燕文貴 2009/ 1/28 4:50 [ No.15433 / 15916 ]**

燕（つばめ）

燕文貴は北宋初期の水墨画家で、宋の太宗に召抱えられた宮廷画家です。大阪市立美術館の蔵する「江山楼観図」は燕文貴の数少ない真筆と目されている貴重な作品だそうです。

sakisaki さん

**#06 鮑叔牙 2009/ 2/ 3 5:36 [ No.15434 / 15916 ]**

鮑（あわび）

鮑叔牙は中国春秋時代の斉の大夫です。斉の桓公に仕え、親友の管仲を推薦しました。管仲は斉の宰相となって桓公を覇者たらしめましたが、鮑叔牙自身は管仲の下位に甘んじ、

人々は管仲の賢より鮑叔牙の人を知る明察を讃えたそうです。

友情の厚さを喩えるのに「管鮑の交わり」という語もありました。

昨今はあまり耳にしませんが・・・

sakisaki さん

**#07 鳩摩羅什 2009/ 2/ 6 8:22 [ No.15435 / 15916 ]**

梵語の「クマラジーヴァ」への当て字で「くまらじゅう」と読みます。

仏典の多くを漢訳した人物です。

「鳩」のつく人は、このほかに、

柴田鳩翁

鵜殿鳩翁

室鳩巢

棕鳩十

鳩山一郎

なんかがいます。

青山ハリマさん

**#08 親鸞 2009/ 2/11 7:10 [ No.15436 / 15916 ]**

鸞（らん）

浄土真宗の宗祖である「親鸞」については、いまさら云々する

までもありませんが、「鸞」について申しますと、鳳凰の一種

とされています。外見はにわとりに似て羽毛は赤を基調にした

五色を交え、その鳴声は中国の音階である五音にかなうとされ

ています。

周の成王の時代にチベット系の遊牧民がこの瑞鳥を王に献上した

という伝承があるそうです。

sakisaki さん

**#09 蟬丸 2009/ 2/11 22:47 [ No.15437 / 15916 ]**

逢坂山に住んだ盲目の法師で、琵琶を良くし、琵琶の名手博雅三位が通いつめてようやく蟬丸の秘曲を教わったという話が伝わります。

逢坂山には蟬丸神社もあり、「蟬丸」とは関守も兼ねたような賤民職能集団の総称だったなんていう説もあります。

青山ハリマさん

**#10 野狐三次 2009/ 2/13 23:56 [ No.15438 / 15916 ]**

狐（きつね）

野狐三次は、文政の頃に活躍した火消しの纏持ちです。浅草観音堂前で野狐模様の産着に包まれ捨てられていた

子を大工の

夫婦が拾い、子は三次と名付けられ、成人してから生みの親との再会

を願い、背に野狐の彫り物を入れます。大工の修行中に喧嘩の仲裁が

縁で「に組」の頭上州屋秀五郎に見込まれ、火消しの仲間入りを果た

します。

深川の火消しとの争いで奪われた纏の頭を単身で取り返し男をあげた

三次でしたが、養父を殺害した相撲取りを討ち、これが無届の仇討ちで

あったため伊豆大島への遠島となりますが、裁きを下した南町奉行筒井

伊賀守は三次の実父でそのはからいにより、大島で病死の扱いとし、名

を秀之助とあらため放免となります。江戸に戻った後、闇討ちで落命し

た秀五郎の仇をうち、二代目上州屋秀五郎を襲名、その俠客としての名

声を高めたということです。その生涯は講談や浪曲の人気の演目として

語られています。

sakisaki さん



#11 高橋泥舟 2009/ 2/17 21:09 [ No.15439 / 15916 ]  
泥（でい）

先日の先進7カ国財務相・中央銀行総裁会議（G7）後、もうろうとした状態で記者会見した某財務大臣の話で想い出

したのが、「泥」（でい）という想像上の生物です。古書によれば、南海に棲むこの物は骨がなく、水中では活発ですが、水がなくなると酔ってぐだぐだになってしまう。「泥酔」とい

う語はこれに由来するとか。

同じ「泥」の語がついても「幕末の三舟」の一たる傑物、高橋泥舟と泥酔会見の果てに辞任に追い込まれる某財務大臣とでは天と地との差がありますが・・・

sakisaki さん

#12 森鷗外 2009/ 2/25 22:37 [ No.15440 / 15916 ]

意外なところがありました。

カモメ入りです。

夏目漱石と並ぶ明治の文豪ですが、

「青年」や「キタ・セクスアリス」なんかには、けっこう強いライバル意識を感じます。

個人的には、抑制の効いたあの文体が好きですが。

青山ハリマさん

#13 孔鯉 2009/ 2/28 4:52 [ No.15441 / 15916 ]

鯉（こい）

孔鯉は孔子の子で字は伯魚、孔子に先立って亡くなったとされ

ています。ある日、鯉が庭を走り過ぎることがあった。孔子は

その様子を見て、鯉に詩を学ぶ事を教え、別の日に鯉がまた庭

を走って過ぎるところを声をかけ、礼を学ぶ事を論じた、これ

が「庭訓」（ていきん＝家庭教育）の語の由来とされている

ます。

また「鯉庭」（りてい）という語もあり、家庭教育の場の意であ

るとか。いずれも最近はトンと耳にしない言葉ですが。

sakisaki さん

#14 鮎川義介 2009/ 3/ 8 12:48 [ No.15442 / 15916 ]

長州出身で帝大出の技師でしたが、日立鉱山から日本産業を興し、自動車を中心とした鮎川コンツェルンを作り上げます。

後に満州への進出し、2キ3スケの一角として満州経営の一翼を担いますが、早めに満州を撤退したと言われます。

この人の孫に当たる純太さんという人が、女優の杉田かおると結婚してすぐに別れたことでも最近注目されました。

青山ハリマさん

#番外 山田パンダ 2009/ 3/ 8 19:26 [ No.15443 / 15916 ]

フォークシンガーですね。元「かぐや姫」メンバーでヴォーカルとベース（だったか？）担当。

本名は「山田嗣人」さんだそうですが、なぜ「パンダ」なのかは・・・？？

sakisaki さん

番外 鱒皇子 2009/ 3/15 9:18 [ No.15444 / 15916 ]

桓武天皇の皇太弟だった... ってなんか違う。

青山ハリマさん

#15 鷲尾三郎義久 2009/ 3/15 21:28 [ No.15445 / 15916 ]

鷲（ワシ）

『平家物語』によれば一の谷に住まう獵師の子です。

鴨越の険阻な坂を一気に下り、平家の陣を奇襲しようとする

源義経が、土地の案内者として見出したのが縁で、義経の

郎党になり、衣川での戦では義経の自刃に殉じたと言えられ

ています。

sakisaki さん

#16 鴨長明 2009/ 3/18 22:32 [ No.15446 / 15916 ]

今回は割合鳥系の名前が多いのですが、意外なところが出ていませんでした。

鴨長明は元は山城の豪族賀茂氏の流れを汲む中級貴族であったと思われ

ます。

青山ハリマさん

#17 菟道貝蛸皇女 2009/ 3/25 0:22 [ No.15447 / 15916 ]

貝蛸（かいだこ）

菟道貝蛸皇女：うちのかひだこのひめみこ

『日本書紀』によれば敏達帝と豊御食炊屋姫尊（後の推古帝）の

間に生まれた皇女で、聖徳太子と結婚したと記されています。

今回ようやく女性を見つけることができました・・・

ところで貝蛸というのはたこの一種で、雌は殻をもつのでこの

名があるとやら。食られるのか知らん？

sakisaki さん

番外 鳳晶 2009/ 3/26 22:50 [ No.15448 / 15916 ]

「ほうしょう」と読み、娘時代の与謝野晶子の名前です。

「鳳」は堺の大鳥神社の鳳の意味もありますが、想像上の鳥でもあるので、一応番外で。

鉄幹与謝野寛にかどわかされたようなイメージが強いものの、実際には鉄幹のプロデューサーの腕が彼女の才能を世に

知らしめたとも言えるそうです。

与謝野馨財務始経済系雑多大臣のお祖母さまです。

青山ハリマさん

#18 朱雀院 2009/ 3/29 11:44 [ No.15449 / 15916 ]

醍醐天皇の皇子で、兄弟の夭折が相続く中で幼少のまま即位し、怨霊の恐怖にさいなまれた治世でした。

東では将門、西では純友が反乱を起こし、当時の朝廷権威の

不安定さを露呈しながらも、これらが平定されて京の朝廷の有難さが定着した時期でもあったようです。

青山ハリマさん

#19 少子部栖軽 2009/ 3/30 20:26 [ No.15450 / 15916 ]

ちいさこべのすがる

雄略天皇の侍臣とされます。栖軽はジガバチの意で、ジガバチ

は桑虫(蚕)を自らの子として養うという伝承があるとやら。

ある時雄略天皇から「蚕(こ)を集めよ」と命じられた栖軽は

誤って子どもを集めて養い、天皇から「少子部連」の姓を賜

りました。また、雷を捕らえた事でも有名で、栖軽が雷を捕ら

えた場所が雷岡(いかづちのおか)と呼ばれたという伝承もあります。

いずれにしる雷神信仰と養蚕の関わりを示す人物といえそうです。

sakisaki さん

#20 蜂子皇子 2009/ 4/ 2 22:42 [ No.15451 / 15916 ]

なんでも、崇峻天皇の第一皇子らしいよ。

こんなひとがほんとにいたのかなあ？

ten\*at\*i\*ei\_g さん

お題 新聞に関係する人を書いてね 2009/ 4/ 2 22:50

[ No.15452 / 15916 ]

創業者 経営者 記者 その他日本の新聞に関係するひとを書いてね。

#0 水野成夫

戦前は共産党員だったけど、戦後は財界に転じて、フジテレビ初代社長。

そして、1958年には、当時経営危機にあった産経新聞の社長に就任して、「産経残酷物語」といわれつつも経営再建に成功。

後には「財界四天王」と言われることになっちゃう。

ten\*at\*i\*ei\_g さん

「蜂」は既出です + 番外 蜂谷真由美 2009/ 4/ 3 7:43

[ No.15453 / 15916 ]

たぶん蜂須賀小六だと思うけど、前回で既出ということで。

番外 蜂谷真由美

二十数年前に爆破された大韓航空機の搭乗者名簿にあった謎の日本人女性。

その正体は金賢姫という北の工作人員でした。

青山ハリマさん

#20 石川啄木 2009/ 4/ 3 18:16 [ No.15454 / 15916 ]

ごめんね。昔のことなんか、気づかなくてさ

啄木=きつつき

ということでもいいよね？

ten\*at\*i\*ei\_g さん

#01 福田定一 2009/ 4/ 7 23:51 [ No.15455 / 15916 ]

作家 司馬遼太郎の本名です。

戦後新日本新聞という新興の新聞社に記者として入社しますが

間もなく会社が倒産し、産経新聞社に移ります。文化部の記者

として勤務する傍ら小説を発表し、38歳で退社、以後は作家

として活躍します。

sakisaki さん

#02 成島柳北 2009/ 4/ 9 22:56 [ No.15456 / 15916 ]

元は將軍の奥儒家の成島家に養子に行ったほどの秀才で、家定や家茂が言うとおりに動かなかったのを狂歌で批判して儒家を罷免されたような人物です。

こういうピカピカの教養を持った人物だったので、維新後は野にあって薩長政府を批判的に見る言論活動をして、その中心は「朝野新聞」だったそうです。

柳橋の北の蔵前の生まれなので、号が柳北だったようです。青山ハリマさん

#03 石川啄木 2009/ 4/11 22:29 [ No.15457 / 15916 ]

前回のお題に顔を出したこの人も新聞に関わる人物ですね。

北海道の地方紙の記者を経て、朝日新聞に移って記者でなく

校正を担当し、その傍ら作歌活動をしていたと記憶しています。

sakisaki さん

番外 石橋湛山 2009/ 4/12 21:07 [ No.15458 / 15916 ]

石橋湛山が在野の時代に属し、今では四季報なんかで知られている東洋経済は、てっきり湛山の時代には新聞であったと思いついていたのですが、昔から雑誌だったことが分かったので、番外です。

青山ハリマさん

#04 今東光 2009/ 4/13 22:24 [ No.15459 / 15916 ]

作家で僧侶、参議院議員としても有名な方ですが、昭和30年代には新聞社の社長をしてました。

中外日報は京都の宗教文化の専門紙ですが、今氏が社長をしていた頃、小説『梟のいる都城』を連載していました。作者は#01の福田定一さん。

この作品は後に『梟の城』と改題され、直木賞を授賞、福田さんは司馬遼太郎として世に出る事になります。

sakisaki さん

#05 黒岩涙香 2009/ 4/19 21:08 [ No.15460 / 15916 ]

日本の新聞の黎明期に、萬朝報を主催し、外国の小説などの翻案(翻訳ではない)するなどで評判をとりました。

当時のライバルは「新聞H」で、こちらは形を変えて今も続

いています。

青山ハリマさん

**#06 前島密 2009/ 4/23 21:59 [ No.15461 / 15916 ]**

**#05**で萬朝報のライバルを「新聞報知」と書きましたが、二重にミセスを犯してしまいました。

萬朝報のライバルは「二六新報」でしたが、著名人は関係していなかったようです。

でもって、当時の別の新聞は「新聞報知」ではなく「郵便報知」で、こちらは前島密が始めて、幾多の変遷を経て、今では読売ジャイアンツの機関紙にその名をとどめています。

前島は元幕臣で、大阪遷都を考えていた大久保利通に江戸への遷都を建白して翻意させた人物であり、もちろん地方の素封家を利用して短い期間で近代郵便制度を整備した人物としても知られ、こちらも先年の郵政民営化まで百年以上続いたわけですから、なかなか射程距離のある政策案を打ち出した人物であると言えます。

青山ハリマさん

**#07 西園寺公望 2009/ 4/25 12:05 [ No.15462 / 15916 ]**

西園寺も何か新聞を出していたと思って調べたら、「東洋自由新聞」というもので、フランスで知り合って帰国後はしばらく居候させていたNを主筆に据えましたが、程なく発行禁止になります。

西園寺は若い頃には戊辰戦役にも参加したことがあり、長くフランスに留学したため、尊皇おフランス流という立ち位置でしたが、長く国内政治に翻弄され、晩年に渡仏してクレマンソーに会った時には、聞く方は出来ても話す方は出来なくなっていたそうです。

青山ハリマさん

**#08 半井桃水 2009/ 4/27 21:41 [ No.15463 / 15916 ]**

今でいうと、少しマイナーな文芸誌風小新聞であった初期の朝日新聞の記者として、黄表紙風の通俗小説を書いていました。

樋口一葉の師匠として、一葉を世に出した人物であり、一葉

が胸をときめかせた美男でしたが、職業小説家として生きようとする一葉には大衆小説家としての立場を説き、一葉の文名が上がるとともに方向性の違いにより疎遠になります。

半井家は対馬藩の典医の家系で、当然室町期の医家半井驢庵や、古くは和氣清麻呂の末裔に当たります。

青山ハリマさん

**#09 犬養毅 2009/ 5/ 2 8:00 [ No.15464 / 15916 ]**

犬養は備前庭瀬の藩士で、若い頃は郵便報知の従軍記者として西南戦争を目の当たりにしているため、維新の元勳にはそれなりに近い位置にいたようです。

青山ハリマさん

**#10 内藤虎次郎 2009/ 5/ 2 8:53 [ No.15465 / 15916 ]**

号は湖南、戦前の日本を代表する東洋史学者としてあまりにも有名な方ですが、京都大学に招聘される以前は、大阪朝日新聞や台湾日報、万朝報等で筆を揮っていました。

京都大学に招かれた後は桑原隲蔵、狩野直喜らとともに東洋史学における京都学派を形成します。

ジャーナリスト出身の学者として、当時としては異色の存在でした。

sakisaki さん

**#11 荒畑寒村 2009/ 5/ 9 21:47 [ No.15466 / 15916 ]**

横浜出身の社会主義者であり、作家、ジャーナリスト、政治家としても

活躍しました。万朝報に在籍していた幸徳秋水らが興した平民新聞に

参画しています。1908 年社会主義者への弾圧事件である「赤旗事件」に

連座して禁固刑をうけた寒村氏は、2年後に起きた「大逆事件」の際は

入獄していた為検挙を免れています。

その後も社会主義者への弾圧は続き、寒村氏の苦闘も長く続きましたが、

戦後は日本社会党の結成に参画、1981 年に 94 年の人生に終止符をうちま

した。

sakisaki さん

**#12 陸羯南 2009/ 5/13 8:27 [ No.15467 / 15916 ]**

初期の新聞は、朝日や読売のように、市井のゴシップなんかを主に扱い、早くから口語体が使われた「小(こ)新聞」と、政治的なスタンスを明確にして、教養層をターゲットにして文語文を用いた「大(おお)新聞」とがあり、陸羯南の「日本」は大新聞の代表格で、ルビがないため紙面が白かったとも言われます。

「日本」は、西洋と肩を並べようといきみかえる流れに対して、日本の美質を守ろうとする日本主義を中心に展開しますが、それゆえ国粋主義の潮流を造ったとする見方もされるそうです。

青山ハリマさん

**#13 夏目漱石 2009/ 5/15 10:48 [ No.15468 / 15916 ]**

漱石は、朝日新聞社に入社して「虞美人草」を執筆し、職業作家の道を歩んでおります。当時の人は、新聞を購入する大きな目的は「小説を読む」ためだったそうですね。

set\*\*chi\_j\*a\*utyo さん

**#14 斎藤緑雨 2009/ 5/16 14:22 [ No.15469 / 15916 ]**

伊勢神戸の生まれで、藤堂の奥医師だった父親がなくなると、二人の弟を帝大に進ませるために物書きになり、萬朝報をはじめ各社を渡り歩きます。

鷗外や露伴とともに、樋口一葉を早くから認め、一葉の死後は全集をまとめて序を書きますが、後に窮乏して若くして亡くなります。

「ギョエテとはおれのことかとゲーテ云い」とは緑雨の句だそうですが、実際のドイツ語の発音はけっこう

「ギョエテ」に近いので、そこは鷗外の方が正しいと思います。

青山ハリマさん

# 15 中江兆民 2009/ 5/20 22:44 [ No.15470 / 15916 ]

「三酔人経綸問答」くらいは読んだことがあります。中江兆民は土佐藩の出身で、藩命で長崎に留学してフランス語の通詞になり、明治になってフランスに留学し、そこで西園寺公望と知り合います。

帰国後は西園寺家に居候し、「東洋自由新聞」でルソーの翻訳を紹介しますが、当時は欧州でさえ危険思想と思われていたルソーを日本に紹介することは問題が多すぎ、程なく廃刊になったほか、さまざまな形で軋轢を生じます。

兆民は、漢文を白文で読めた最後の世代とも言われ、欧州語を冗長とし、自分なら半分の分量の漢文に訳せると考えていたそうですが、その後はその漢文自体を読める層が急速に減っていきます。

実は、一連の新聞関連人物に関しては、山本夏彦さんの「完本 文語文」（文春文庫）を参考にしています。

青山ハリマさん

# 16 徳富蘇峰 2009/ 5/23 9:30 [ No.15471 / 15916 ]

肥後藩の郷土の子として生まれ、同志社英学校等で学び、『将来之日本』『新日本之青年』といった著作で名声を博し民友社を設立、その後国民新聞を創立し言論界の雄となります。

その論調は簡単に言ってしまうと軍国主義=帝国主義的であり、彼の政府寄りの主張に対して、自由主義的な論調を好む人々は

蛇蝎の如くその論を憎んだという。

戦時中には皇室、軍部、東条首相と並んで徳富蘇峰に対する批判は「不敬罪」にあたるという知識人は吐きすてています。  
sakisaki さん

# 17 池辺三山 2009/ 5/25 7:51 [ No.15472 / 15916 ]

池辺三山の「明治三代政治家」は、積ん読している間にどこかにまぎれてしまった。

漱石を朝日新聞に引き入れた名編集者くらいしか知りませ

んでしたが、陸羯南、徳富蘇峰と並ぶ明治の三大記者と称されるそうです。

「新聞は商品であり、記者はその商品を作る職人」「文章は平明で達意であるべし」という考えで、当時弱小の小新聞だった朝日新聞を飛躍させるきっかけを作りますが、若くして亡くなり、漱石もその死を惜しんでいます。

青山ハリマさん

# 18 福地桜痴 2009/ 5/27 7:17 [ No.15473 / 15916 ]

元幕臣で、明治初期に「明治維新と言っても幕府から薩長の幕府に代わっただけ」と書いて、政府に睨まれ、明治最初の筆禍となりますが、木戸らの高官のとりなしで大事に至らずに済みます。

成島柳北と似たような立場で、東日を中心に言論活動を続けますが、次第に新聞を離れて芝居の復活に力を注ぎ、銀座の木挽町の歌舞伎座の建設に奔走し、座付き作家としていくつかの芝居を書いています。

青山ハリマさん

# 19 市島春城 2009/ 5/30 9:49 [ No.15474 / 15916 ]

春城市島謙吉は、初めは読売新聞の主筆なども務め、随筆家としても知られますが、早稲田大学草創のメンバーとして、初代図書館長などを務めます。

青山ハリマさん

# 20 百目鬼恭三郎 2009/ 6/ 1 8:06 [ No.15475 / 15916 ]

文芸評論家として名高い人ですが、その以前は朝日新聞の学芸欄

担当記者でした。70年代後半、週刊文春誌上で「風」の筆名でものした書評はその毒舌と博覧強記で大変な評判となりました。  
sakisaki さん

お題・正室の名前 2009/ 6/ 5 1:27 [ No.15476 / 15916 ]

平安・鎌倉・室町・戦国・江戸、将軍でも武将でも構いません。

正室の名前20人。

kit\*\*okuni\*n\*ww17 さん

# 1 瀬名（築山殿） 2009/ 6/ 5 1:32 [ No.15477 / 15916 ]

徳川家康の正室。

武田と通じたとの誤報を鵜呑みにした織田信長の命で、息子信康は切腹、自身も殺害される。

kit\*\*okuni\*n\*ww17 さん

# 2 北条政子 2009/ 6/ 5 16:51 [ No.15478 / 15916 ]

源頼朝の正室。北条時政の娘。のちに尼将軍と呼ばれる。

dogtag040 さん

# 3 山内千代 2009/ 6/ 7 1:09 [ No.15479 / 15916 ]

土佐24万石、山内一豊の妻。

梅安 baian さん

# 4 お市の方 2009/ 6/ 8 21:19 [ No.15480 / 15916 ]

浅井長政の正室（ただし2人目の妻）

kit\*\*okuni\*n\*ww17 さん

# 5 ねね（北政所） 2009/ 6/14 3:53 [ No.15481 / 15916 ]

誰もこないね・・・落としたほうがいいかな、このトビ。

kit\*\*okuni\*n\*ww17 さん

# 6 愛姫 2009/ 6/16 12:28 [ No.15482 / 15916 ]

めぐひめ 伊達政宗の正室

大河ドラマでは桜田淳子が演じた。

pip\*37\*さん

# 07 お江 2009/ 6/18 14:48 [ No.15483 / 15916 ]

浅井三姉妹の末にして、家光の生母。秀忠の正室。

再来年の大河ドラマになるそうですね。

set\*\*chi\_j\*a\*utyo さん

#08 井上内親王 2009/6/20 8:31 [No.15484 / 15916]

聖武天皇の皇女で、天智天皇の孫の白壁王の妃です。

白壁王の父志貴皇子は、壬申の乱の後の肅清を逃れて宇治田原に隠棲し、

白壁王も酒ばかり飲んでいるだらしない人物を装って政争に巻き込まれるのを

逃れたといわれますが、内親王を妃としたこともあって、天皇のお鉢が回ってきて、

光仁天皇として即位し、内親王は皇后になります。

けれども、その後は藤原氏の勢力の変化などもあって廃后されて、

廃太子された他戸皇子とともに幽閉され、暗殺されたと言われます。

次の桓武天皇の時代に、平安京で疫病が相次いだときに造られた御霊神社には、

井上内親王も祭られていて、祟りを恐れられたようです。

青山ハリマさん

#09 日野富子 2009/6/24 6:34 [No.15485 / 15916]

8代将軍足利義政の正室。夫の愛人を陥れて死に追い込み、高利貸しで莫大な財を築き、果ては応仁の乱のきっかけをつくった天下の悪妻・として有名だがほんとはどうだったのか。

何しろ夫はやる気なしの腑抜け将軍。大飢饉で民の多くが餓死して苦しむ中、税を取り立てて自分の豪邸造りに執着する駄目男。妻としては表に出て手腕をふるい、頼りにならない夫に代わり息子を護るしかなかったかもしれない。

tsu\*\*yono\*tamat\*ba\*o さん

#10 濃姫 2009/6/24 6:42 [No.15486 / 15916]

織田信長の正室。

一人1日2回までいいのよね。

あと10人・・・

tsu\*\*yono\*tamat\*ba\*o さん

#11 和宮 2009/6/24 9:59 [No.15487 / 15916]

江戸幕府第14代将軍徳川家茂の正室であって、孝明天皇の妹。幕末でもっとも有名なヒロインでしょう。

yamayukaba2005 さん

#12 まつ 2009/6/25 12:00 [No.15488 / 15916]

前田利家の正室。

kit\*\*okuni\*n\*ww17 さん

#13 愛姫 2009/6/25 12:56 [No.15489 / 15916]

伊達政宗の正室。

大河ドラマ・独眼竜政宗じゃ、桜田淳子がやってた。

いまの天地人じゃ、杏という人が演じるそうです。

set\*\*chi\_j\*a\*utyo さん

#13 細川ガラシャ 2009/6/26 14:19 [No.15490 / 15916]

setouchi\_jyakutyo さん

桜田淳子が演じた愛姫は私も覚えています。残念ながら、愛姫は#6で既に登場しているので、ここは違う女性に替えますね。

細川ガラシャ

豊前・小倉(ぶぜん・こくら 今の福岡県)藩主 細川忠興の正室。ガラシャはクリスチャンネームで本名は「たま」。

絶世の美女とのことですが、明智光秀の娘だったため辛い人生を送った悲劇の女性。

tsu\*\*yono\*tamat\*ba\*o さん

#14 菊姫 2009/6/26 18:02 [No.15491 / 15916]

これは不注意で失礼しました、

代わりに投稿します。

菊姫は上杉景勝の正室ですね。天地人でも登場しました。

set\*\*chi\_j\*a\*utyo さん

#15 茂姫 2009/6/27 8:42 [No.15492 / 15916]

徳川第11代将軍家斉の正室。後の広大院。薩摩出身で茂姫のほか篤姫とも呼ばれていた。夫の家斉は16人の妻妾を持ち、子どもは53人。茂姫が生んだ子は2人だけ。どんな気持ちだったのでしょうか。それにしても53人とは、立派と誉めるべきか、アホかと呆れるべきか、どちらでしょう？

tsu\*\*yono\*tamat\*ba\*o さん

#16 督姫 2009/6/27 11:09 [No.15493 / 15916]

家康の娘で、北條との和睦の条件として北條氏直の正室となります。

小田原落城後、家康は娘婿氏直の助命を求め、督姫も氏直に付き添い

ますが、氏直の没後は池田輝政に再嫁し、徳川と池田の紐帯を担います。

夫婦仲がよく、督姫自ら五人の男子を産んだため、その系統にも家督を

継がせるため、鳥取池田藩という30万石の分家が出来上がります。

青山ハリマさん

#17 勝姫 2009/6/27 11:15 [No.15494 / 15916]

秀忠の娘で秀頼の正室となったS姫が、大阪落城の際に救い出され、本多忠刻に再嫁しますが、S姫が生んだ勝姫が一旦

秀忠の養女となった後、池田光政の正室となります。

光政は督姫の系統ではありませんが、祖父の輝政に似ていて「眼光鋭し、末恐ろし」と家康に気に入られたそうです。

青山ハリマさん

#18 三条の方 2009/6/28 15:34 [No.15495 / 15916]

武田信玄の正室、京都の公家の三条家の出のようです。

NHK大河「武田信玄」では紺野美紗子が演じてました。

「風林火山」では池脇千鶴で「三条夫人」と記されてるようです。

なんか「諏訪」の側室とのエピソードが目立った。

pip\*37\*さん

#19 竹姫 2009/6/29 12:31 [ No.15496 / 15916 ]

真田幸村の正室。竹林院。関が原で西軍についたため高野山に幽閉された夫とともに紀州へ。ここで真田一家が真田紐を考案。家臣がそれを売りさばき生活の糧を得ていたが、主な考案者は竹姫といわれている。

tsu\*\*yono\*tamat\*ba\*o さん

#20 時子 2009/6/30 2:45 [ No.15497 / 15916 ]

平清盛の正室。建礼門院とともに、壇ノ浦にて入水。  
※当トピ常連の皆様、新参者が勝手に出したお題に付き合っ  
ていただきまして、ありがとうございます。

次のお題、どなたか、よろしく願います。

kit\*\*okuni\*n\*ww17 さん

**お題：キリシタン大名、武将 20 人** 2009/7/1 23:11  
[ No.15498 / 15916 ]

新参者ですが、お題を出させていただきます。

よろしく願います。

tsu\*\*yono\*tamat\*ba\*o さん

#1 高山右近 2009/7/2 10:47 [ No.15499 / 15916 ]

キリシタン大名。秀吉の信任厚く、山崎合戦では先鋒を勤める。

しかし、加賀にいる時、弾圧により国外追放になる。

kit\*\*okuni\*n\*ww17 さん

#2 毛利 秀包 2009/7/2 23:24 [ No.15500 / 15916 ]

毛利 秀包（もうり ひでかね）は、戦国時代の大名。毛利元就の9男。

大友宗麟の娘を妻とした縁もあり洗礼を受ける。早川隆景の養子となり、元服して後は小早川元総を名乗る。隆景が彼を養子としたのは、秀包が

父の毛利元就の武勇を兄・元春と並び最も受け継いでいたためだと

言われている。

tsu\*\*yono\*tamat\*ba\*o さん

#3 黒田如水 2009/7/3 21:24 [ No.15501 / 15916 ]

黒田如水（くろだ じょすい） 通称「官兵衛」。豊臣秀吉の側近として仕えた豊前国中津城主。

最近の大河ドラマ『功名が辻』では 斉藤洋介さんが演じていました。

お題、ちょっと地味だったでしょうか？

tsu\*\*yono\*tamat\*ba\*o さん

#4 有馬晴信 2009/7/6 14:46 [ No.15502 / 15916 ]

九州の大名で、ローマ法王へ少年使節団を送りました。岡本大八事件で晩年はつまづき、甲州で蟄居したあと、死罪になっています。

set\*\*chi\_j\*a\*utyo さん

#05 大友宗麟 2009/7/6 15:14 [ No.15503 / 15916 ]

一時は九州に覇を唱えたが、キリシタンになって以降、領国経営よりも宗教活動が忙しくなり、島津、龍造寺の台頭を許す。

さくらまいちるなかにわすれたきおさん

#06 益田甚兵衛 2009/7/6 23:49 [ No.15504 / 15916 ]

小西行長の家臣。関が原の戦いに敗れた行長が斬首されたのちは

故郷の天草に戻り、農業に交易に従事していたが、領主による厳し

い年貢の取立てとキリシタン弾圧に対し、旧小西家浪人は団結して

キリシタンや農民を巻き込んだ一揆を画策し、甚兵衛の子四郎を

一揆のシンボリック的存在として祭り上げました。

寛永十四年、天草のキリシタンが蜂起し島原の乱が勃発、甚

兵衛は

反乱軍の武将として廃城となっていた原城址に籠城、翌年二月、総

攻撃に出た幕府軍と激闘の末、甚兵衛は討ち死に、子の四郎もその

場で斬首されたと伝えられています。

sakisaki さん

#07 細川興元 2009/7/8 0:39 [ No.15505 / 15916 ]

細川興元（ほそかわおきもと）

安土桃山時代の武将。ガラシャ夫人のダンナさん、細川忠興の弟。兄嫁であるガラシャを好きだったらしく、彼女をかばってたびたび兄である忠興と衝突。忠興とガラシャの次男、

興秋を自分の養子にした。興元、興秋ともに洗礼を受ける。

＊＊天草四郎のお父さんは益田甚兵衛という武将だったのですね。

書き込みをしてくださった皆様、ありがとうございます。

tsu\*\*yono\*tamat\*ba\*o さん

#08 小西行長 2009/7/10 15:27 [ No.15506 / 15916 ]

知るところでは毛利の使者で秀吉に気に入られてスカウトされた。

朝鮮出兵のときは2つの部隊で攻め上ったが、その一方の長。関が原で打ち首だったかな。

pip\*37\*さん

#09 蒲生氏郷 2009/7/12 21:53 [ No.15507 / 15916 ]

洗礼名はレオン。信長在世中は彼に気に入られ娘婿となり一門衆扱いになり、秀吉にも気に入られ会津黒川で9万2万石に封じられ「羽柴」の姓を与えられた。よほど有能な武将だったのでしょう。

文禄の役で名護屋に出陣中に病を得て、40歳の若さで死去しました。

yamayukaba2005 さん

#10 大村純忠 2009/7/16 12:58 [ No.15508 / 15916 ]

宗麟らとともに、ローマ法王へ少年使節団を送ったひとりです。千々石ミゲルは甥にあたります。

set\*\*chi\_j\*a\*utyo さん

# 1 1 小西隆佐 2009/ 7/17 18:55 [ No.15509 / 15916 ]

小西隆佐（こにしりゅうさ）

豊臣秀吉の重臣

堺奉行

小西行長の父

ルイス・フロイスの師事で洗礼を受ける。

堺の豪商だったそうですので、行長は経済的にも坊ちゃん育ちですね。

ぷっちーにさん

# 1 2 織田長益 2009/ 7/18 1:02 [ No.15510 / 15916 ]

織田信長の弟、戦国末期から江戸時代初期の大名、茶人。利休七哲のひとり。号を有楽斎といい、有楽町の地名の由来となった。洗礼名はジョアン。

yamayukaba2005 さん

# 1 3 織田 秀信 2009/ 7/23 12:44 [ No.15511 / 15916 ]

織田信忠の嫡男で信長の孫。

幼名は三法師。

岐阜城主。

ぷっちーにさん

# 1 4 宋 義智 2009/ 7/23 14:14 [ No.15512 / 15916 ]

洗礼名、ダリオ。対馬の大名、宗氏の当主であり、小西行長の娘婿。

yamayukaba2005 さん

# 1 5 黒田 長政 2009/ 7/30 21:06 [ No.15513 / 15916 ]

秀吉の名軍師、黒田官兵衛の長男。パテレン追放令で秀吉から改宗を迫られキリスト教から改宗。秀吉死去の後、徳川家康に接近し、関が原では東軍として一番の功績を挙げた。徳川時代にはキリシタンの迫害者に転じた。

tsu\*\*yono\*tamat\*ba\*o さん

# 1 6 明石全登 2009/ 8/ 4 22:06 [ No.15514 / 15916 ]

宇喜多秀家家中の武将。洗礼名はジョアン・ジュスト。

関が原の戦いでは宇喜多軍の先鋒として奮戦し、そこを生き延びて、大阪の陣にも参戦。そこでも生き延びたとも言われている。

yamayukaba2005 さん

# 1 7 和田惟政 2009/ 8/11 23:58 [ No.15515 / 15916 ]

キリスト教の布教に務め、ルイス・フロイスと織田信長との会見の斡旋をしています。

もとは、足利義輝や足利義昭の幕臣として仕え、のちに信長によって高槻城を与えられますが、松永ら三好三人衆と手を結んだ池田知正を討つ戦いで荒木村重に敗れ戦死したと言われます。

青山ハリマさん

番外 大平正芳 2009/ 8/18 23:39 [ No.15516 / 15916 ]

この人は亡くなった時にクリスチャンだとわかりました。このほかにも、日本の首相は、キリシタンの割合が意外に高いです。

青山ハリマさん

足利義昭 2009/ 8/20 10:45 [ No.15517 / 15916 ]

兄義輝暗殺後将軍になる。その後織田信長に京都を追放される。

1597 年死去 61 歳。

mitukitky さん

足利義輝 2009/ 8/20 10:52 [ No.15518 / 15916 ]

剣豪将軍として有名。松永三好を倒すクーデターを作ったが、その前に倒された。

享年 30 歳。

たかやみつきさん

細川藤たか 2009/ 8/20 10:57 [ No.15519 / 15916 ]

将軍義輝の家臣として仕え死去ごは義昭に仕えた。

mitukitky さん

# 1 8 斯波義銀 2009/ 8/20 12:51 [ No.15520 / 15916 ]

洗礼名、サンショ。

元々尾張守護の斯波家の嫡男。父親の斯波義統が天文 2 3 年に尾張守護代・織田信友に殺害される事件が起こり、そのときに難を逃れ織田信長によって庇護された。

後に信長に逆らって追放された。

yamayukaba2005 さん

# 19 内藤 如安 2009/ 8/20 13:43 [ No.15521 / 15916 ]

松永久秀の甥にあたる。ルイス・フロイスによって入信したとか。

内藤如安は、三好氏に仕えていたが明智光秀によって城が落とされ、所領を失ったようだ。しかしそのときは、足利義昭に随行していた。のち、小西行長に仕え、重用されている。加藤清正、前田利長に客将として仕えたのち、キリシタン追放令後、高山右近同様、マニラに行き生涯を終えている。

set\*\*chi\_j\*a\*utyo さん

Re: # 2 0 三箇頼照 2009/ 8/20 21:56 [ No.15522 / 15916 ]

さんかよりてる

備後守。洗礼名マンショ。畿内で最も古いキリシタンの一人。明智光秀に味方し没落。のち豊臣秀次に仕えるも秀次事件に連座し切腹。不運な武将ですね。

みなさま、ご協力、本当にありがとうございます。

お陰様でようやく次の御題にバトンタッチできます。

こころより御礼申し上げます。

どなたか、是非次の御題をお願い致します。

tsu\*\*yono\*tamat\*ba\*o さん

## お題 天下分け目 2009/ 8/21 21:03 [ No.15523 / 15916 ]

僭越ながら、時事ネタに絡めてお題を。

衆議院選が近づいて来ました。政権交代必至といわれますが、どうなるのでしょうか。

という訳で、ここで天下が決まった、という勝負をあげてください。

政権与党が負けると決まった訳ではないので、覇者が交代した戦いである必要はありません。

すとら\_\_えふえうる\_\_bbさん

## # 1 壇ノ浦の戦い 2009/ 8/22 21:18 [ No.15524 / 15916 ]

1185年3月24日 平氏軍と源頼朝率いる関東武士軍の決戦。当初有利だった平氏軍だったが水軍の源氏側への寝返りもあって平氏軍は敗北。貴族よりだった六波羅の平氏政権は滅亡。関東武士たちによる鎌倉政権樹立への第一歩となった。番外：

アメリカ大統領選初テレビ討論 ケネディ 対 ニクソン  
1960年9月26日 それまでニクソン有利だった選挙戦がこのテレビ討論で一転。有利となったケネディがそのまま勝利。ぷっちゃんにさん

## #02 壬申の乱 2009/ 8/24 6:30 [ No.15525 / 15916 ]

弘文 VS 天武、古代最大の決戦。勝利した天武系は、以後白鳳～奈良時代に君臨します。

さくらまいちるなかにわすれたきおさん

## # 03 垓下の戦い 2009/ 8/28 19:41 [ No.15526 / 15916 ]

中国戦国時代を真に終結させた一戦です。秦帝国を滅ぼした項羽と劉邦は中国の支配権を巡り三年にわたって闘い続けました。劉邦は項羽と直接対決すると決まって敗北し、そのたびに虎口を危ういところで逃れつつ、反項羽勢力を糾合することに成功、ついに垓下に項羽

軍を大軍で包囲します。

項羽が籠城するなか、四方を囲む敵陣から故郷の楚の歌が聴こえて

くる、「四面楚歌」楚の人間が自分を見捨てて漢についたと悟った

項羽は城の囲みを精兵と突破し、包囲する漢兵数百人を一人で屠り、

最期は自裁して果てます。漢は天下を統一し、その後約四百年にわた

って漢が中華を支配します。

sakisakiさん

## #04 承久の乱 2009/ 8/28 23:05 [ No.15527 / 15916 ]

ちょっとお題さんの意図からは外れるかもしれませんが、歴史の中では結構重要だと見えています。

これは、直接的にはやんちゃな後鳥羽院が、愛妾への土地の安堵をめぐるちょっとした鎌倉政府とのいさかきにカッとして、鎌倉幕府に喧嘩を仕掛けたということですが、東国武士勢力に対する西国の正統性の回復でもあったと思われま

す。結局は後鳥羽院に応じた関東の不平武士団に対して、北条政子自らが士気を鼓舞して送った東国武士団の力が勝り、関東方の圧勝に終わり、三上皇配流などの処分が下されますが、反面、武力こそが正統という実例を作ってしまったことで、結局は鎌倉倒幕への正当性を与えることになり、他の関東武士勢力による倒幕活動が盛んになるという結果をもたらしました。

その意味では、重要なターニングポイントですが、結局は次の時代の混乱へとつながり....

青山ハリマさん

## # 05 関ヶ原の戦い 2009/ 9/ 4 22:53 [ No.15528 / 15916 ]

簡単すぎる答えですみません。。。

「天地人」もうすぐですね。

稀に見るお粗末大河なので期待できませんが、西軍から見た関ヶ原がどう描かれるのか

注目です。

tsu\*\*yono\*tamat\*ba\*oさん

## #06 丁未の乱 2009/ 9/ 6 9:45 [ No.15529 / 15916 ]

クニツカミ系の有力氏族と、渡来系氏族の天下分け目の戦い。一般的に崇神派と崇仏派の戦いといわれますが、どちらかかという、新羅派と百済派の戦いであったようです。

この一戦に勝利した渡来系氏族は、蘇我氏をトップに据えて、政治改革を行います。厩戸皇子が政治の表舞台に立つのも、この戦いがきっかけになります。

さくらまいちるなかにわすれたきおさん

## #07 牧野の戦い 2009/ 9/11 23:55 [ No.15530 / 15916 ]

中国古代の商（殷）帝国を周の姬発が滅ぼした一戦。『史記』および

諸書によれば、商の最後の君主、帝辛（紂王）は暴政の限りを尽くし、離反した姫氏を始め多くの諸侯は、姫発（後の周武王）を推戴して挙兵におよびます。

商と諸侯の連合軍は、商の都朝歌に程近い牧野で激突しますが、奴隸を中心に構成された商軍は戦意を喪失しており、敵に向ける矛を逆にし、商軍に襲い掛かり、商軍は壊滅、諸侯軍は帝辛を追って朝歌に攻め入り、追いつめられた帝辛は王宮で火を放ち炎の中で絶命し、商王朝は滅亡します。

中国の王朝交代の形態は伝統的に禅譲と放伐に分けて説明されますが、この故事は徳を失った王朝が武力で倒される放伐のケースとして後世に語り伝えられることになります。

sakisakiさん



#08 山崎の戦い 2009/ 9/16 8:45 [ No.15531 / 15916 ]

明智光秀を羽柴秀吉が倒した一戦。

勝負所を意味する天王山の攻防があったのがこの戦いで、秀吉の天下を決める第一歩になりました。

oja\*o\*a\_hoi\*h\*i さん

# 09 日本海海戦 2009/ 9/25 7:23 [ No.15532 / 15916 ]

日露戦争の戦局はよく分からないのですが、

東郷平八郎を中心としたこの海戦が、極東に広がるロシアの野望を

アジアが食い止めた重要な戦いになっていたと思います。

日英同盟を背景にイギリスがバルチック艦隊の邪魔をしたため、

アジアに到達する前にはすでに疲弊していたとも言われます。

青山ハリマさん

# 10 官渡の戦い 2009/ 9/30 21:29 [ No.15533 / 15916 ]

後漢末の群雄、曹操と袁紹の決戦です。并・幽・青・冀の四州を領有

する名族袁紹は十万の大軍を率いて南下、曹操の根拠地である許を一気

に陥そうと迫ります。食糧、軍備に勝る袁紹軍に対して曹操軍は許の北

方に位置する官渡に軍勢を集結させ、袁紹軍を待ち、数度の局地戦では

全勝して曹操軍の優勢を印象付けたうえで、決戦に臨みます。

曹操は袁紹軍の糧食基地である烏巢を自ら率いる軽装の兵五千で焼き

払い、大混乱の袁紹軍を大破、ついに華北の覇権を握りました。

sakisaki さん

# 11 竹の下の戦い 2009/10/11 18:33 [ No.15535 / 15916 ]

足利尊氏と新田義貞の直接対決。

鎌倉を占領して事実上の独立を宣言した足利勢に対して、後醍醐朝は新田義貞を派遣。東海道をドミノ倒しに連戦連勝して鎌倉に迫る新田勢に対して、足利勢は箱根竹の下を最終防衛ラインとして迎撃する。

この戦いで優勝した足利尊氏は、逆に京都へ一気に進撃。

後醍醐帝は吉野へ逃れ、南北朝の幕が切れて落とされる。

足利尊氏がその意思は別にして、天下を取った一戦である。

さくらまいちるなかにわすれたきおさん

# 12 会津征伐 革篋原の陣 2009/10/20 20:16 [ No.15537 / 15916 ]

実戦はありませんでしたが、

もし徳川軍が攻め込んでいたら、または、

もし小山から引き返した徳川軍に上杉軍が

追い討ちをかけていたら、

そして戦国時代最強といわれた上杉軍に

徳川軍が敗れたとしたら、

関が原はなく、

歴史はまったく違ったものになったでしょう。

tsu\*\*yono\*tamat\*ba\*o さん

# 13 ワーテルローの戦い 2009/10/26 7:05 [ No.15538 / 15916 ]

ベルギーのワーテルロー付近で、ナポレオン軍と、ウェリントン率いるイギリスとブリュッヒャー率いるプロシアの連合軍が会戦し、ナポレオン軍はネイ將軍を先鋒として奮戦するも大敗北を喫し、百日天下は終了します。

青山ハリマさん

松平忠直 2009/11/ 2 13:55 [ No.15540 / 15916 ]

越前福井藩主幕府の冷遇に反発して改易された大名藩は弟の忠昌が継いだこには越後騒動で有名な越後高田藩主松平光長

tom\*\*esfs さん

松平忠直 2009/11/ 2 13:55 [ No.15541 / 15916 ]

越前福井藩主幕府の冷遇に反発して改易された大名藩は弟の忠昌が継いだ子には越後騒動で有名な越後高田藩主松平光長

tom\*\*esfs さん

有馬豊氏 2009/11/ 2 13:59 [ No.15542 / 15916 ]

筑後久留米藩主関が原の戦いで東軍に属し戦功をたてた

tom\*\*esfs さん

南部利直 2009/11/ 2 14:03 [ No.15543 / 15916 ]

戦国大名南部信直を父に持ち関が原の戦いのときは東軍として戦った

tom\*\*esfs さん

# 14 小牧長久手の戦い 2009/11/ 9 7:16 [ No.15544 / 15916 ]

秀吉が家康軍と初めて対峙して、三河武士の実力を見せつけられた戦い。

ある意味天下分け目と言えると思います。

青山ハリマさん

#15 白村江の戦い 2009/11/ 9 16:46 [ No.15545 / 15916 ]

百濟復興運動に倭国が助太刀、唐・新羅連合軍と戦った決戦。結果、負けたために半島への影響力は縮小、国内経営に重点が置かれ、律令国家への発展となり倭国は「日本」としての

国家体制を調えることとなる。

百濟の遺民は、日本へかなりの数が亡命したという。

set\*\*chi\_j\*a\*utyо さん

#16 レバントの海戦 2009/11/23 1:23 [ No.15547 / 15916 ]

オスマン帝国艦隊を、イタリア都市国家連合が壊滅させた一戦。

これを契機にオスマン帝国は地中海の覇権を失い、以降、イスラム勢力が地中海を「自分の庭」にすることはなくなった。

さくらまいちるなかにわすれたきおさん

#17 アメリカ大統領選初テレビ討論 2009/11/26 19:14  
[ No.15548 / 15916 ]

アメリカ大統領選初テレビ討論 ケネディ対ニクソン  
ここは日本史のカテなので、日本の歴史に基づく天下分け目でなくてはと思っていましたが、世界規模になっているようですので

以前、番外で書いた記述を昇格させました〔笑〕

1960年9月26日 それまでニクソン有利だった選挙戦がこのテレビ討論で一転。有利となったケネディがそのまま勝利。

WASP（ホワイト、アングロサクソン、プロテスタント）が政治の中枢を担っていたアメリカで、アイルランド系でカトリックのケネディが大統領になったことは大変なできごとだった。以来、テレビメディアの重要性が認識されるようになった。ぷっちゃんにさん

#18 キューバ危機 2009/11/28 11:25 [ No.15549 / 15916 ]

アメリカ人の中には、これをケネディの汚点と見る人もいますが、一般的な評価としては東西冷戦のもっとも重要な局面で、このときのケネディの行動が冷戦の帰趨をほぼ決定し、あとは時間の問題として、四半世紀後のソ連邦崩壊を待つだけになったと言われます。

青山ハリマさん

#19 乙巳の変 2009/12/13 11:08 [ No.15551 / 15916 ]

蘇我入鹿の暗殺と、それに引き続くそれなりに大きな戦いで、大和朝廷内の勢力分布が大きく変わりました。

青山ハリマさん

#20 第45回衆議院総選挙 2009/12/15 22:58  
[ No.15552 / 15916 ]

この御題が提示された8月はまだ自民党が政権を握って

いたのです

ねえ・・・

2009年7月21日に衆議院解散、8月18日に公示、8月30日に投票

が行われた選挙です。自民党は小泉政権後、安倍、福田の二人の首

相が任期途中で政権を投げ出し、跡を受けた麻生首相（当時）も

凋落する自民党を救うことができず、歴史的な惨敗を喫し、連立与

党であった公明党とともに下野しました。

一方、308議席を獲得した民主党は衆議院第一党に躍進し、選挙

後の9月19日に召集された国会での内閣総理大臣選挙において党首で

ある鳩山由紀夫氏が第93代内閣総理大臣に指名されました。

天下分け目の総選挙で政権を奪取した民主党は、これからの日本を

どうしていくのか、9月の頃は大きな期待を寄せていた国民も現時点

では、期待よりもさらに大きな不安を抱いているような気がします・・・

sakisakiさん

**お題【戦死した武将】** 2009/12/17 22:03 [ No.15553 / 15916 ]

いろいろ調べてみましたが、意外にもこのくくりはなかったようです。

範囲は日本史限定、日本氏にかかわらない戦死武将は番外でお願いします。

日本史上で戦死した武将を20人挙げてください。

#00 山本五十六／太平洋戦争

新潟県の長岡には山本五十六の記念館がありますが、幼少よ

り俊才の誉れ高く、長岡藩牧野家ではぼっと出の河井家とは別格の筆頭家老の山本家に養子に入り、海軍でカリスマ的な存在になりますが、アメリカを相手に河井継之助ばりにひと暴れて見せたものの、後にソロモン諸島沖で撃墜されます。青山ハリマさん

#01 真田幸村 2009/12/19 3:46 [ No.15554 / 15916 ]

8年も続いているトピで、この御題が今までなかったというのが不思議ですね。

まずは戦国武将人気ナンバーワンのヒーローを。

大坂夏の陣、幸村率いる赤備え軍団は家康本陣まで迫った。その武勇ぶりは敵将からも讃えられたという。

ぷっちゃんにさん

#00 安曇比羅夫／白村江の戦い 2009/12/24 1:57  
[ No.15555 / 15916 ]

国家的戦闘での戦死武将（武将）

古代日本を代表する海人族・安曇氏は神系氏族とされ、大和朝廷以前、弥生時代の頃から重要な地位にあったと伝えられている。本拠地は北九州の志賀島一帯、遠く中国まで交易をし、海部を支配して勢力を誇った有力な豪族である。律令制の下で、宮内省に属する内膳司（天皇の食事の調理を司る）の長官（相当官位は正六位上）を務める。古来より神に供される御贄には海産物が主に供えられた為、海人系氏族の役割とされたことに由来する。

安曇比羅夫(比良夫とも)は、舒明天皇の頃に百済へ派遣されていたが、641年の舒明天皇崩御に際し、翌年百済の弔使をともなって帰国し、その接待役を務めた。このとき百済の王子・靉岐を自分の家に迎えている。

660年、唐・新羅連合軍が急に百済を滅ぼした。唐軍の百済駐留軍1万名に対し、百済の遺臣鬼室福信らが復興すべく反乱を起こした。中大兄王は倭国の総力を挙げて百済復興を支援することを決定、都を筑紫朝倉宮に移し。661年5月、旧百済の盟友・高句麗が唐の攻撃を受けると、百済遺臣の救援軍の将軍となり、日本に人質として滞在していた百済義慈王の王子・豊璋(扶余豊璋)を王位に就かせるために、狭井檣榔・

秦田来津の将と兵5千名・水軍170隻を率いて百済に渡った。大錦中に任じられた。

約30年ぶりに帰国した豊璋と倭軍は鬼室福信と合流し、豊璋は百済王に推戴された。倭国の援軍を得た百済復興軍は、百済南部に侵入した新羅軍の駆逐に成功した。しかし、実権を握る鬼室福信との確執が生まれ、663年6月に豊璋は鬼室福信を殺害した。この暴挙により百済復興軍は分裂し、著しく弱体化した。

百済の再起に対し、唐は劉仁軌率いる水軍7千名を増援。杜爽及び元百済太子の扶余隆が率いる水軍は応援を受け、唐の孫仁師・劉仁原両将軍及び新羅王の金法敏(文武王)が指揮する陸上部隊と熊津江河口で会合し、倭国軍を挟撃した。豊璋は周留城に籠城して倭国の援軍を待ったが、8月13日、城兵を見捨てて脱出し、倭国の援軍に合流した。

福信事件の影響により到着が遅れた倭国援軍は、8月27・28日の両日、唐・新羅軍と白村江(白江、白馬江とも)河口で衝突した。倭国軍は三軍編成をとり4度攻撃したと伝えられるが、火計、干潮の時間差などにより大敗を喫した。同時に陸で唐・新羅の軍は倭国・百済の軍を破り、百済復興勢力は崩壊した。白村江に集結した1000隻余りの倭船の中で400隻余りが炎上し、安曇比羅夫は戦死したと伝えられる。

長野県安曇野市にある穂高神社の祭神は、中央に穂高見神、左が綿津見神、右が瓊瓊杵神であるが、若宮と称して安曇連比羅夫命が祀られている。同社のお船祭りは毎年9月27日に行われるが、これは安曇比羅夫の命日であるとされている。

ggctakatさん

↓ #02 安曇比羅夫/白村江の戦い 2009/12/24 1:59 [No.15556 / 15916]

タイトル訂正

ggctakatさん

#03 佐藤継信／治承・寿永の乱 2009/12/26 3:25 [No.15557 / 15916]

いわゆる平安時代末期の「源平合戦」で、『平家物語』によると、屋島の戦いにおいて、矢先にまわる者で射落とされな

いものはなかったといわれた王城一の強弓精兵・平教経が。源氏の大將・義経を一矢で射落とそうとねらった。源氏方も一騎当千の兵たちがそれを防ごうと矢面に馳せ、真っ先に進んだ継信が弓手の肩から馬手の脇へと射抜かれて落馬した。義経は継信を陣の後ろにかつごこませ、手を取って「この世に思い置くことはないか」と尋ねると、継信は「別に何事も思い置くべきことはない。しかし、主君が世の中で栄達するのを見ずに死ぬことが心に懸かることです。武士は、敵の矢に当たって死ぬことは元より期するところです。なかでも、源平の合戦に奥州の佐藤三郎兵衛継信という者が、讃岐の国屋島の磯で、主に代わって討たれたなどと、末代までの物語に語られることこそ、今生の面目、冥途の思い出です」と答えて絶命した。

『吾妻鏡』によると、義経は継信の死を非常に嘆き悲しみ、一人の僧侶を招き千株松の根元に葬った。御幸供奉の時に後白河院から賜った名馬「太夫黒」を僧侶に与えた。「これは戦士を慈しむ手本である。これを美談としない者はない。」と書いている。高松市牟礼町洲崎寺に継信と太夫黒の墓がある。

1158(1150?)年生・1185年没。源義経の家臣。『源平盛衰記』では義経四天王に数えられる。

奥州藤原氏・藤原元衡秀衡に仕えた佐藤基治の子。母は藤原清綱(亙理権十郎)の娘(乙和御前)。通称は三郎兵衛、諱は嗣信とも。弟・忠信も『源平盛衰記』の義経四天王。

1180(治承4)年、奥州にいた義経が挙兵した源頼朝の陣に赴く際、藤原秀衡の命により弟と共に義経に随行。義経の郎党として平氏追討軍に加わった。

出身地の奥州信夫郡(福島市飯坂町)にある佐藤氏の菩提寺「医王寺」には、継信・忠信兄弟が奉っており、その石塔(墓)は「粉にして飲むと体が強くなる」という言い伝えにより、薬として利用され、石塔の半ばほどが大きく削り取られている。寺の敷地内には母・乙和御前の悲しみが乗り移って、花が咲く前につぼみが落ちてしまうという「乙和の椿」がある。ggctakatさん

#04 斎藤実盛 2010/1/4 22:49 [No.15558 / 15916]

関東においては源氏方に恩顧があるものの、平氏に与する武将として、老体に鞭打って、白髪を黒く染めて最後の戦いに挑んだのが俱利伽羅峠の後の加賀篠原の戦いで、源氏方の手塚太郎に打ち取られ、首実検で髪を洗い落とすとみるみる髪が白く戻り、幼児期に育てられた義仲は号泣したと言われます。青山ハリマさん

#05 平将門 2010/1/5 20:08 [No.15559 / 15916]

これまた豪く古い方ですが。元々下総北部を地盤としていた

豪族です。叔父の平国香らとの武力抗争を経て、関東の諸豪族

と国府をも巻き込む争いに荷担し、ついには関東一帯を武力で

平定、「新皇」を名乗りますが、国家に反逆した者として討伐

をうけ、藤原秀郷、平貞盛らの前に敗れます。

その最期は秀郷軍の放った矢に額(こめかみとも)を射抜か

れ討ち死にしたとも伝えられています。

sakisakiさん

#06 長宗我部信親 2010/1/6 13:51 [No.15560 / 15916]

四国の覇者長宗我部元親の嫡男。

人物器量拔群と将来を嘱望されていたが、秀吉の九州平定戦に駆り出され、戸次川の合戦で戦死。

以降、長宗我部家はガタガタになり、関ヶ原で改易の憂き目を見ることになる。

さくらまいちるなかにわすれたきおさん

#07 武田信繁 2010/1/6 22:29 [No.15561 / 15916]

武田信玄の実弟。川中島の戦い(第四次)で戦死。武田家のNo.2だった。

rosskemp09さん

#08 今川義元 2010/1/6 22:34 [No.15562 / 15916]

桶狭間の戦いで戦死。公家風の軟弱な武将のイメージがあるが、実際は戦略に長けた名将。彼の在世時は、北条氏康、武田信玄と互角以上に渡り合っている。

rosskemp09 さん

#### #09 平忠度 2010/ 1/14 7:21 [ No.15563 / 15916 ]

俊成とも交際のある歌人であった薩摩守忠度は、それまで源氏方に紛れる戦術が、鉄槩が原因でばれて、一の谷で討ち取られます。

討ち取ったのは武州岡部を本貫とする岡部六弥太で、この一件で後世に名を残しますが、後に忠度の菩提を弔うために、近くの深谷に供養塔を建てます。

青山ハリマさん

#### #10 物部守屋 2010/ 1/18 12:05 [ No.15564 / 15916 ]

6世紀の大和朝廷の実力者。蘇我馬子と対立。ついに軍事対決に及び、河内国で蘇我馬子ら連合軍と戦って、奮戦の末、戦死した。

この戦いで若き日の聖徳太子が、四天王に祈って蘇我軍の勝利を招いたといわれる。

rosskemp09 さん

#### #11 大谷吉継 2010/ 1/23 15:06 [ No.15565 / 15916 ]

癩病を患い頭巾で顔を覆っていたそうですが、関ヶ原で西軍に属するものの、小早川秀秋の寝返りにあって討ち死にし、その際に三年以内に小早川に祟りをなすと言ったことから、小早川は祟りを恐れて狂死したと言われます。

青山ハリマさん

#### #12 新田義貞／燈明寺畷の戦い 2010/ 1/28 18:17 [ No.15566 / 15916 ]

建武 3(1336)年、湊川の戦いの後、比叡山に逃れていた後醍醐天皇は、三木一草で生き残っていた千種忠顕と名和伯耆守長年も討ち死にしたため、足利軍に投降した。新田義貞は、後醍醐天皇から皇位を譲られた恒良親王と尊良親王を擁して官軍であることを担保しながら下山。新田軍は両親王とと

もに北陸路を進み、足利軍の追撃をかわし、凍死者を出しながら、越前国金ヶ崎城に入った。

間もなく、高師泰・今川頼貞・小笠原貞宗・塩冶高貞・仁木頼章ら率いる 2 万騎にも及ぶ大軍勢に包囲された。建武 4(1337, 延元 2)年 3 月 5 日、新田義貞・脇屋義助兄弟は、呼びかけに応じた瓜生保が守る杣山城へ脱出し、金ヶ崎城の包囲陣を破ろうとするも失敗。翌日、金ヶ崎城は落城し、嫡子・新田義頭をはじめ、城主気比氏治・尊良親王・里見時義らは自害、恒良親王は捕らえられ京へ護送された。

義貞は杣山城に潜み、北陸路で同志を募ることに専念。翌年、鯖江合戦で越前の守護・斯波高経に勝利して国府城を占拠し、足羽・藤島の平原を掌握し越前地方の中心地の大半を平定した。

そんな頃、幽閉先から吉野に脱出していた後醍醐上皇より、再び進軍上洛し男山八幡にて京をうかがっていた北畠顕信率いる奥羽軍に対し、援軍の催促状が届いた。脇屋義助に軍勢の半数を持たせ京都へむけ進発させたが、敦賀にさしかかった頃、奥羽軍敗走の報が入り、脇屋軍は引き返すこととなった。

一方で義貞は燈明寺に陣を構え、国府城より逃走した斯波高経が潜伏していた小黒丸城を攻撃中であった。小黒丸城の外周にはいくつかの城砦があり、寝返った平泉寺衆徒が籠もる藤島砦を攻撃していたが、戦局がなかなか開けず、同年閏 7 月に義貞自ら出陣し指揮をとるべく手勢で藤島砦へ向かった。そこへ、小黒丸城より藤島砦へ向かう細川出羽守孝基率いる 300 騎の軍勢と鉢合せした。

小雨ふる燈明寺畷のぬかるみに足を取られながらも、必死に大将を逃がそうと戦う家臣たちの頭上を飛ぶ流れ矢が、義貞が騎乗する馬に当たり転倒。左足が馬の下敷きになり、起き上がろうとしたその時、さらに一本の流れ矢が義貞の眉間を貫き、崩れるように死んだという。

また、『太平記』には矢を受けてから自ら首を掻き切ったとも記されている。

首級は泥にまみれて誰か分からないまま、斯波高経の元に運ばれ、実検によって義貞のものと判明し、京都に送られた。この時義貞が鎌倉幕府滅亡時に入手した清和源氏累代の家

宝・名刀「鬼切丸」は、足利氏の手に入ったという。また、明暦 2(1656)年にこの古戦場を耕作していた百姓・嘉兵衛が兜を掘り出し、福井藩主・松平光通に献上した。福井藩軍法師範・井原番右衛門の鑑定で、新田義貞着用の兜とされ、明治維新後、義貞を祀る藤島神社を創建した際、越前松平家より神社宝物として献納され、国の重要文化財に指定された。年月日不明ながら、正二位を贈位、大納言を贈官され、明治 15(1882)年 8 月 7 日に贈正一位。

ggctakat さん

#### #13 楠木正行 2010/ 1/30 11:32 [ No.15567 / 15916 ]

太平記中の人物なので、史実云々を言い出すと怪しくなるのですが、桜井で湊川へ向かう父正成と別れ、後に楠木氏の惣領として四条畷で足利軍の高師直と対峙し、弟と刺し違える形で亡くなったとされます。

青山ハリマさん

#### #14 北畠顕家 2010/ 1/30 16:35 [ No.15568 / 15916 ]

名門の公家の貴公子ですが、南朝の武士団を率いて大いに活躍した、れっきとした武将です。それもかなりな名将でしょう。

「顕家はこの年に従三位陸奥守となる。翌 1334 年（建武元年）、後醍醐天皇の皇子である義良親王（のちの後村上天皇）を奉じ、父とともに陸奥国の多賀城（宮城県多賀城市）に下向し、東北地方経営を始める。同年、従二位に叙任し、1335 年（建武 2 年）鎮守府將軍に任ぜられる。

同年、足利尊氏軍が鎌倉にて建武政権に反旗を翻し、京都へ迫ったため、顕家は 12 月、奥州の兵を引き連れ、尊氏軍を追って上京し、これを新田義貞、楠木正成とともに破り、京より追い出す。翌 1336 年（建武 3 年）1 月、再度の入京を目指す尊氏を摂津国で破り、尊氏は九州へと落ち延びる（豊島河原合戦）。

3 月、権中納言に任官、蜂起した足利方を掃討するため再び奥州へ戻る。1337 年（延元 2 年/建武 4 年）には足利方に多賀城を攻略されるが、この時は顕家は国府を靈山（福島県相馬市および伊達市）に移していたため難を逃れる。同年 9

月、武蔵国児玉郡浅見山（別名、大久保山）周辺城（現埼玉県本庄市から児玉町一帯）で、薊山合戦を起こす（元弘日記によれば、この戦は官軍が皆有利とある）。

1338年（延元3年/建武5年）5月、再び西上して足利方と戦い、義良親王を奉じて鎌倉を攻略する。美濃国青野原の戦い（現、岐阜県大垣市）で足利方に勝利したものの、兵力の減少や疲弊により京攻略を諦め伊勢に後退し、次いで伊賀に進出した。以後も奈良などを中心に高師直の大軍を相手に互角に戦い一進一退を繰り返したが、遂に和泉国堺浦石津に追い詰められ、なおも奮戦したものの、予定していた味方の援軍到着遅延の為に高師直軍との戦いでは劣勢に回り全軍は潰走。その後、共廻り等二百騎を従えて尚も奮戦したが戦死した（石津の戦い）。享年21。堺市西区の紀州街道と石津川の交差する場所に架かる太陽橋の南詰めには、顕家が戦死したとされる場所と伝えられており、現在は供養塔が建てられている。」ウキペディアより。

立派なものです。  
rosskemp09さん

#15 鬼庭左月 2010/2/6 0:39 [No.15569 / 15916]

伊達政宗の重臣。

「伊達対奥羽大名連合」の闘いとなった人取橋の合戦で、伊達軍不利を、最後まで支え、政宗を逃がすものの、自らは玉砕する。

歳すでに70余ながら、見事な采配だったと伝わる。

さくらまいちるなかにわすれたきおさん

#15 五瀬命 2010/2/6 0:46 [No.15570 / 15916]

神武天皇の兄にあたる皇子です。神武天皇が東征の旅の途上、孔舎衛坂（現在の東大阪市日下町付近）で土地の豪族、長髓彦の軍勢と交戦になり、矢が五瀬命の肘脛に命中、傷が悪化した命は数日後に雄たけびをあげて落命したとされ

ます。皇族で戦死されたとされる最初の方だそうです。

sakisakiさん

#17 平敦盛 2010/2/12 23:08 [No.15571 / 15916]

はたして「戦死」の列に加えていいものかと思うほどはかない命でしたが、十七歳の美しい公達は、一の谷で劣勢になり船に逃げようとしたところを熊谷次郎直実に見つけられます。

その少し前に直実の息子で十六歳の小次郎直家がちょっと怪我をただけでとって心配になって落ち込んでしまった直実は、武士のならわしとして同じ年頃で薄く化粧さえている美しい若者の首を刎ねるものの、このことに無常観を観じて出家したということになっています。

青山ハリマさん

#番外 大平正芳 2010/2/14 0:25 [No.15572 / 15916]

第六十九代内閣総理大臣を務めた政治家です。所属は自民党。

この方が総理をしていた時代の自民党は、田中角栄と大平の派閥が主流派であり、福田赳夫の派閥は反主流派として激しく党内抗争を繰り返していました。

昭和五十五年五月の国会で野党が提出した内閣不信任案に対して

自民党の反主流派を中心とする議員が本会議を欠席し、提出した野

党も通らないと思っていた内閣不信任案が可決してしまい、大平は衆議院を解散、投票日を参議院選挙の日に合わせる史上初の衆参同

日選挙の実施を決断します。

選挙公示の日、第一声を新宿であげた大平総理でしたが、その後体

調を崩し入院、おそよ二週間後に心不全のため死去します。

自民党はこの選挙を「弔い合戦」と称して挙党態勢をつくり、有権者の同情票もあり、結果として衆参両院とも自民党の大勝

に終わりました。

現代の政治家としては選挙遊説中の「戦死」にあたるどころでしょうか。

sakisakiさん

#18 朴市秦造田来津 2010/2/20 9:12 [No.15573 / 15916]

読みは「えちのはたのみやつこのたきつ」くらいでしょうか。歴史の表舞台にあまり登場しない秦氏の一族で近江愛知（えち）郡に依拠した豪族で、古人大兄皇子の謀反に加担したことになっているものの、処罰は受けていないので、謀反を唆す側の役割だったとも言われます。

白村江の戦いでは造船の責任者として参戦しますが、建言した戦術が受け入れられないことで全体が劣勢に陥る中で、壮絶な戦死を遂げたと言われます。

青山ハリマさん

#19 篠原国幹 2010/2/24 13:39 [No.15574 / 15916]

明治10年の西南戦争当時西郷軍の副将格を務めた。元近衛少将。

吉次越えの戦闘で、狙撃され戦死した。

rosskemp09さん

#20 木村重成 2010/2/25 20:26 [No.15575 / 15916]

幼少の頃より豊臣秀頼に仕えた武将。大野治長とともに徳川強硬派の一人とされます。

大阪夏の陣にて井伊直孝と若江で矛を交え戦死。

その首級の鬘には香がたきこめられており、首の検分をした徳川方の武将もその覚悟と周到な配慮に感じ入ったという事です。

sakisakiさん

【戦死した武将】御礼 2010/2/27 14:48 [No.15576 / 15916]

だいぶ時間がかかりましたが、回答ありがとうございました。あまり有名人は多くないので、有力な武将の戦死は少ないの

かも知れませんね。  
どなたか次のお題を。  
青山ハリマさん

**お題【大臣 2 0 選】** 2010/ 3/ 4 23:26 [ No.15577 / 15916 ]

新題が出ないのも何なので、

ちょっと軽めのお題で行ってみましょう。

日本史上で、正式に「大臣」の称号を有した人物を 2 0 人挙げてください。

ただし、故人に限ります。

元気な人は番外でお願いします。

#00 徳川家康／内大臣

あまり詳しくはないけど、「内府」と呼ばれていたの。

青山ハリマさん

**お題【庚寅年生まれの虎っぽい人物】** 2010/ 3/ 4 23:29 [ No.15578 / 15916 ]

遅きに失した感がありますが、今年の干支は、寅(庚寅)です。先日 3 月 3 日は亡きカレン・カーペンターの 60 回目の誕生日でした。寅年生まれだったんですね。彼女がそうだというわけではありませんが、虎っぽい(?)和田アキ子も今年 60 歳で寅年生まれのようにです。

ということで、寅年、特に庚寅(かのえとら)年生まれの世界史上の人物を 10 人挙げて下さい。範囲は日本史限定、日本史にかかわらない人物は番外でお願いします。

ちなみに庚寅年は、以下の西暦年で、一の位が 0 となります。

30 年/垂仁天皇 59 年、90 年/景行天皇 20 年、150 年/成務天皇 20 年、210 年/神功皇后摂政 10 年、270 年/応神天皇元年、330 年/仁徳天皇 18 年、390 年/仁徳天皇 78 年、450 年/允恭天皇 39 年、510 年/継体天皇 4 年、570 年/欽明天皇 31 年、630 年/舒明天皇 2 年、690 年/持統天皇 4 年、750 年/天平勝宝 2 年、810 年/大同 5 年・弘仁元年、870 年/貞観 12 年、930 年/延長 8 年、990 年/永祚 2 年・正暦元年、1050 年/永承 5 年、

1110 年/天仁 3 年・天永元年、1170 年/嘉応 2 年、1230 年/寛喜 2 年、1290 年/正応 3 年、1350 年/南朝:正平 5 年/北朝:貞和 6 年・観応元年、1410 年/応永 17 年、1470 年/文明 2 年、1530 年/享禄 3 年、1590 年/天正 18 年、1650 年/慶安 3 年、1710 年/宝永 7 年、1770 年/明和 7 年、1830 年/文政 13 年、1890 年/明治 23 年、1950 年/昭和 25 年

#00 上杉謙信／享禄 3 年 1 月 21 日 (1530 年 2 月 18 日) 生まれ

戦国時代の越後国の武将・大名。後世、越後の虎(龍?)とも呼ばれた。

越後守護代・長尾為景(三条長尾家)の四男で、春日山城に生まれた。幼名は、虎千代。母は越後・栖吉城主・長尾房景(古志長尾家)の娘で虎御前と呼ばれた。虎千代は父・為景と折り合いが悪く、城下の林泉寺にあずけられたという。

1543(天文 12)年に元服して長尾景虎と名乗り、黒滝城の戦いなどで武名が上がると、越後の国人の一部から守護代擁立に動きだした。1548(天文 17)年に守護・上杉定実の調停によって、晴景の養子として家督を相続して守護代となった。

越後統一後の 1551(天文 21)年、北条氏康に領国・上野を攻められた関東管領・上杉憲政は、居城を棄てて景虎を頼って越後へ逃亡。景虎は憲政を迎え入れ、北条氏と敵対した。1560(永禄 3)年 5 月より、北条氏康を討伐するため関東へ向けて出陣、上野の諸城を攻略し、翌年には関東管領・上杉憲政を擁して、小田原城を包囲した。小田原へ向かう途中、関東公方の古河御所を制圧し、足利義氏を放逐して足利藤氏を御所に迎えた。小田原城を落城させるまでには至らず、鎌倉に兵を引いた。このとき鎌倉・鶴岡八幡宮において、上杉憲政の要請によって山内上杉家の家督と関東管領職を相続し、名を上杉政虎と改めた。

同年 12 月には、将軍・足利義輝より偏諱を受けて上杉輝虎と名乗った。

1569(永禄 12)年和を請う北条氏康と越相同盟を結んだ。1570(元亀元)年、氏康の 7 男三郎を養子として迎え、大いに気に入って景虎という自らの初名を与えるとともに、一族衆として厚遇した。同 12 月に法号「不識庵謙信」を称した。

ggctakat さん

#01 平 清盛/太政大臣 2010/ 3/ 5 0:06 [ No.15579 / 15916 ]

#01 平 清盛/太政大臣

1118 年生-1181 年没。平安時代末期の武将。公卿。政治家。高望王流坂東平氏の庶流であった伊勢平氏は、正盛の代で伊賀国の所領を白河院に献上して北面の武士に列せられた。その子・忠盛も鳥羽院より内昇殿を許され、寵愛を受けて殿上人・刑部卿にまで累進。播磨・伊勢の国守となり、伊勢平氏の豊かな財政を築いた。

忠盛の嫡子・清盛は、保元の乱で後白河天皇の信頼を得て、平治の乱では勝利者となり、武士の第一人者として朝廷の軍事力・警察力を掌握した。二条天皇の後見役をつとめて檢非違使別当・中納言になる一方、後白河上皇の院庁の別当にもなり、天皇・上皇の双方に仕え、関白・藤原基実(に娘・盛子を嫁がせて、摂関家とも緊密な関係を結んだ。後白河院政を停止した二条天皇の支持を明確にしながらも、蓮華王院を後白河上皇のために造営し、蓮華王院に荘園・所領を寄進した。二条天皇の急逝に、幼少の六条天皇が即位、藤原基実が摂政し、清盛は大納言に昇進して基実を補佐した。清盛は、憲仁親王(高倉天皇)が親王宣下を受けたとき勅別当に、1166(永万 2)年 10 月に立太子されると春宮大夫となり、11 月には内大臣となった。翌年 2 月には太政大臣となった。

太政大臣は、白河天皇の治世に藤原師実と摂関職を争って敗れた藤原信長が就任してから、実権のない名誉職に過ぎなかった。そのため、わずか 3 ヶ月で辞任し、政界から引退した。私のお題【寅年、庚寅年生まれの虎っぽい人物】は、下げときます。

ggctakat さん

#02 大炊御門経宗 2010/ 3/ 6 23:04 [ No.15580 / 15916 ]

平治の乱では、甥にあたる主上(二条天皇だったかな)を拉致することに成功し、以来主上を守っていたはずの義朝方は賊軍になったので、乱の帰趨を決定した立役者と言える存在です。

その後、ちょっと調子に乗って後白河院にひどく嫌われて阿

波に流されますが、後に復帰して左大臣まで上り詰め、「阿波の大臣」と呼ばれたと「平治物語」にあります。

青山ハリマさん

#03 源実朝／右大臣 2010/ 3/10 23:09 [ No.15581 / 15916 ]

なんでも、実朝が暗殺された際に公暁が隠れたと言われる鶴岡八幡宮の大銀杏が雪と風で倒れたそうですが、三代目にしてすでに公卿化の極みにあり、歌ばかり詠んでいた実朝を葬って、本来の武家政権に帰るのは北条としては既定の流れであったんでしょうね。

実朝は、百人一首では「鎌倉の右大臣」となっていますが、「鎌倉」の「金へん」と「(右) 大臣」の象徴である「槐(エンジュ)」から、その歌集は「金槐和歌集」と名付けられています。

青山ハリマさん

#04 恵美押勝／太政大臣 2010/ 3/17 7:23 [ No.15582 / 15916 ]

元は藤原仲麻呂といい、孝謙女帝に寵愛され、恵美押勝という名を与えられて、太政大臣まで引き上げられますが、女帝の寵が次第にDに移り、これを除こうとして敗れます。

青山ハリマさん

#05 蘇我稲目 2010/ 3/20 11:25 [ No.15583 / 15916 ]

宣化朝、欽明朝に仕えた大臣です。蘇我馬子の父にあたります。

大和政権の直轄地経営の倉庫として、屯倉の設置や運営に携わる

経済政策の推進と伝来した仏教の積極的な受容を主張したことで

知られています。

sakisaki さん

#06 武内宿禰 2010/ 3/26 23:55 [ No.15584 / 15916 ]

#05 の祖先に当たったと思いますが、大臣在位では史上最長

でしょう。

青山ハリマさん

#07 菅原道真 2010/ 3/29 21:56 [ No.15585 / 15916 ]

生前の最高位は、従二位右大臣。藤原氏の立場を脅かすほど重用されたが、左大臣・藤原時平の陰謀で失脚した。

彼の死後、天変地異が多発し、時の朝廷は祟りであると恐れた。

lcvp2010 さん

#08 橘諸兄(井出左大臣) 2010/ 3/31 22:17 [ No.15586 / 15916 ]

敏達天皇の5世孫で葛城王、天平8(736)年に弟・佐為王と共に母・橘三千代の橘宿禰を継ぐことを許可され、臣籍降下。天平9(737)年、天然痘の流行により藤原不比等の子で右大臣・武智麻呂を筆頭とする参議に列する四兄弟が相次いで病死、中納言・多治比呂守も病死した。また、大宅大国・小野老・長田王・大野王・百濟王郎眞・橘佐為ら多くの公卿も病死した。天武天皇の皇子で長老の舎人親王も735年の天然痘流行で病死していた。

生き残った公卿は従三位左大弁・橘諸兄と同大蔵卿鈴鹿王(天智天皇の皇孫で長屋王の弟)のみであった。聖武天皇と光明皇后は急遽、異父兄の橘諸兄を次期大臣の資格・大納言に、鈴鹿王を知太政官事に任命。翌年、諸兄は正三位右大臣に任命され、朝廷の中心的地位に出世。唐から帰国した吉備真備と玄昉を登用。天平15(743)年には従一位左大臣となった。その間、天平12(740)年藤原四兄弟・宇合の長男・広嗣が、大養徳守から大宰少弐に任じられたことに立腹し政治を批判・挙兵。叛乱を極度に恐れた聖武天皇は、大野東人を大將軍に任じ討伐させ、藤原氏の出仕を避けた。天平感宝元(749)年に正一位に陞階。

天平勝宝元(749)年孝謙天皇に譲位されると、後見する光明皇太后の補佐に紫微中台を新設し、紫微令(長官)に藤原四兄弟・武智麻呂の次男・仲麻呂が任命され、吉備真備と玄昉は失脚。天平勝宝7(755)年聖武上皇の病床に際し、酒席で不敬の歌を詠んだと佐味宮守に讒言され、辞職を申し出て隠居、天平勝

宝9(757)年死去、享年74。同年、仲麻呂の挑発に乗って嫡子・奈良麻呂は謀反を起こし逮捕され獄死。

山城国井手村が本拠地であり、北王塚と呼ばれる墓が残っている。井出左大臣または西院大臣と呼ばれた。『万葉集』に7首の歌を残し、撰者の一人ともいわれている。

ggctakat さん

#09 吉備真備 2010/ 4/ 9 17:06 [ No.15587 / 15916 ]

NHKの「大仏開眼」前篇見ましたので。

以下はウキペディアからです。

「716年(霊亀2年)、下道真備は22歳のときに遣唐留学生となり、翌年の717年(養老年元)に阿倍仲麻呂、玄昉らと共に入唐した。帰路では種子島に漂着するが、735年(天平7年)に多くの典籍を携えて帰国した。唐では儒学のほか、天文学や音楽、兵学などを学び、帰朝時には、経書(『唐礼』130巻)、天文曆書(『大衍曆経』1巻、『大衍曆立成』12巻)、日時計(測影鉄尺)、楽器(銅律管、鉄如方響、写律管声12条)、音楽書(『楽書要録』10巻)、弓(絃纏漆角弓、馬上飲水漆角弓、露面漆四節角弓各1張)、矢(射甲箭20隻、平射箭10隻)などを献上し、『東漢観記』を持ち来たらした。帰朝後は聖武天皇や光明皇后の寵愛を得て、737年(天平9年)に従五位に列せられた。738年(天平10年)に橘諸兄が右大臣に任ぜられて政権を握ると、同時に帰国した僧玄昉とともに重用され、真備は右衛士督の役職を兼ねた。740年には、真備と玄昉を除くのを名目に、大宰府で藤原広嗣が反乱を起こしている。741年に東宮学士として皇太子阿倍内親王(後の孝謙天皇・称徳天皇)に『漢書』や『礼記』を教授した。」

前篇は、この辺までを描いていましたよね。

でもこの人、最後は右大臣まで出世したんですね。知りませんでした。

lcvp2010 さん

#10 藤原時平 2010/ 4/14 22:24 [ No.15588 / 15916 ]

右大臣菅原道真が出ているので、左大臣の方も。

おそらく、同時代に生きていたならば、堅物で理屈っぽい道

真よりは、明るく闊達な時平の方が人気があったのかも知れません。

笑い上戸で好色、それでいて有能な政治家でしたが、道真との競争に勝って左遷に成功したものの、ほどなく亡くなり、そのほか道真の祟りと思われることが起こったことから、歴史的には悪役としての役割を担うことになります。

青山ハリマさん

# 11 有栖川宮熾仁親王/左大臣 2010/ 4/19 17:34 [ No.15589 / 15916 ]

1880(明治 13)年 2 月 28 日、左大臣に就任。1885(明治 18)年 12 月 22 日、内閣制度発足に伴い太政官制度廃止、左大臣職を解かれた。

1835(天保 6)年、有栖川宮熾仁親王の第 1 子として誕生。生母は京都若宮八幡宮官司・佐々祐條の娘の佐伯祐子。1848(嘉永元)年仁孝天皇の猶子となり、翌年孝明天皇より「熾仁」の諱を賜り、親王宣下。同年近衛忠熙の加冠により元服し大宰帥に任命、三品に叙せられた。1851 年、孝明天皇の妹和宮親子内親王と婚約。

1858(安政 5)年、条約の勅許を求めて老中堀田正睦が上洛すると、外交拒絶・条約批准不可の建白書を朝廷に提出。教育係であった飯田忠彦と諸大夫豊島泰盛の二人は、建白書起案に関わったとして安政の大獄に連座し投獄。1860(万延元)年、関白九条尚忠が有栖川宮邸で父・熾仁親王と面談の上、和宮との婚約を辞退。

1864(元治元)年、国事御用掛に任命されて朝政に参画するも、親長州派の立場からの言動に、孝明天皇は不快感と警戒心を示した。同年、禁門の変に対し長州討伐の勅命が下り、国事御用掛を解任のうえ謹慎・蟄居。孝明天皇はその勅勘を解かぬまま崩御。

1867(慶応 3)年、明治天皇が踐祚すると謹慎を解かれ、新政府に総裁・議定・参与の三職が新たに設けられると、総裁職に就任。翌年戊辰戦争が勃発すると東征大総督の職を志願、西郷隆盛らに補佐され幕府の武力抵抗に遭遇することなく江戸城に到着。徳川慶喜の助命と徳川亀之助の宗家相続を許可。太政官制度が発足し総裁職を解かれ、江戸鎮台並びに会

津征伐大総督に就任。旧水戸藩主・徳川斉昭の娘・貞子と成婚。遷都とともに東京に移住。1870(明治 3)年兵部卿、1871 年福岡藩知事(福岡県令)、1876 年元老院議長に就任。また、1871 年に有栖川宮家を相続し、第 9 代当主となった。1877 年、西南戦争で鹿児島県逆徒征討総督を兼帯し、西郷隆盛と対峙。戦後、陸軍大将となった。

1880 年左大臣に異動、1882 年には明治天皇の名代としてモスクワで行われたロシア帝国アレクサンドル 3 世の即位式に出席。解職後、1891 年 5 月 12 日大津事件発生に伴い、明治天皇に従って京都へ向かい、ロシア帝国のニコライ皇太子を、宿舎である常盤ホテルに赴いて怪我を見舞った。

1894 年日清戦争開戦に際し、参謀総長として広島大本営に下るが、腸チフスを発症し、兵庫県明石郡舞子の有栖川宮舞子別邸にて静養。翌年再び悪化し、ベルツらによる治療もむなしく 61 歳で薨去。葬儀は国葬となり、豊島岡墓地に埋葬。

ggctakat さん

# 12 大友皇子 2010/ 4/19 23:20 [ No.15590 / 15916 ]

太政大臣は数人既出ですが、天智天皇の第一皇子であったこの方は、

天智天皇十年に初代の太政大臣になっています。近江令に基づくとされ

るこの職がどのような権限を有していたかは不明ですが、当時の最高位

の官職であり、皇太子と摂政を兼ねて国政を統理する立場にあったと思

われます。

sakisaki さん

番外 中臣鎌足 2010/ 4/21 17:03 [ No.15591 / 15916 ]

乙巳の変後、褒賞され「内臣(うちつおみ)」に任ぜられます。

後世の人がこれを「内大臣のこと」と解釈し、太政大臣同様、最高位に任ぜられたとする意見もありました。

最近では、どうやら中大兄又は孝徳天皇の私的顧問官のことではないか、という説が出ています。「公的な臣＝外向きの臣」

とした場合の「私的な臣＝内向きの臣」という意味ではないかというのですが。。

子孫がのし上がった結果、先祖の官位もいつの間にか高く設定されてしまうのは良くある例ではあります。

さくらまいちるなかにわすれたきおさん

# 13 平重盛 2010/ 4/28 21:25 [ No.15592 / 15916 ]

清盛の嫡男として、保元平治の乱では武将としての勇猛さも示し、後白河院の信頼もあって、奢れる平氏の中の良識派として、父の専横を諫めたりもしています。

左大将でありながら、空席になった内大臣にも就任し、大将の大臣というのは、明治期にはいっぱいいますが、当時は大変にめでたいことであつたと言われ、小松内大臣(こまつのないふ)と呼ばれます。

もともとニヒルな面があつたのか、義理の兄である大納言藤原成親が鹿ヶ谷の謀議により吉備中山に流されて殺されるとさらに無気力に陥り、父よりも早く亡くなり、そのことが平家の没落を早めた可能性もあります。

青山ハリマさん

番外 藤原種継 2010/ 5/15 9:57 [ No.15595 / 15916 ]

藤原式家全盛時代の中心人物で、桓武天皇の覚えも目出度く、長岡京造営の責任者でしたが、おそらく桓武の弟早良皇子の関係者に射殺されてしまいます。

その後平城天皇の時代に種継の娘葉子が天皇の寵愛を受け、大納言であった種継に、皇后の父親並みの太政大臣が追贈されます。

平城帝の代までブイブイ言わせていた式家でしたが、嵯峨天皇によって葉子と兄仲成とが排されて衰えます。

青山ハリマさん

# 14 源信 2010/ 5/21 7:34 [ No.15596 / 15916 ]

横川の源信僧都ではなく、嵯峨天皇の皇子から臣籍降下した左大臣源信(みなもとのまこと)です。

大納言まで登り詰めた伴善男にとって、上には三人の大臣しかなく、太政大臣と右大臣は藤原北家で対抗できないと見て、



応天門に火を放って、その放火犯を伴氏を嫌う源信であるという噂を流布させたとされます。

「応天門」は伴氏が寄進した門として「大伴の門」と語呂が似た名前にしたものだそうで、その門に火をかけるあたり、伴善男は本当は伴氏の生まれではないとも言われます。

青山ハリマさん

#15 藤原高藤／内大臣 2010/ 5/26 23:04 [ No.15597 / 15916 ]

今昔物語に、高藤が宇治郡（宇治の宇治川北岸から山科にかけて）に鷹狩りに出かけ、宇治大領という身分の低い家の娘を見初めて契ると、その産んだ娘が宇多天皇の女御となって醍醐天皇らを生んだことで、天皇の外祖父となった高藤は大納言まで昇進します。

高藤の死に臨んで醍醐天皇は何とか大臣にしたいと考えますが、上には左大臣藤原の時平右大臣菅原道真がいて、どちらも太政大臣の資格がなかったため、急遽藤原魚名以来途絶えていた内大臣の地位を復活させて、高藤は内大臣に就任した直後に亡くなります。

青山ハリマさん

番外 藤原房前 2010/ 6/ 3 23:35 [ No.15598 / 15916 ]

能の「海土」では、不比等と契って房前を生んだ讃岐志度浦の海女は、息子のために龍の玉を、自分の乳房を掻き切って乳房の中に埋めて奪い去ったことで、不比等の正式な息子に認められたものの、その傷がもとで亡くなった、その母を、讃岐を訪ねた房前が弔うという話になっています。

なので、大臣かと思ったら、四兄弟では真っ先に天然痘で亡くなったため参議止まりで、藤原北家の祖として、後に太政大臣が追号されています。

青山ハリマさん

#16 足利義満 2010/ 6/15 1:41 [ No.15600 / 15916 ]

第三代室町将軍ですが、内大臣、左大臣と昇進を続け、短期間ではありますが太政大臣の地位にも就きました。太政大臣を辞任した後に出家し、数年後に明の永楽帝

から「日本国王」の称号を与えられています。

sakisaki さん

#17 源融 2010/ 6/15 17:00 [ No.15601 / 15916 ]

嵯峨天皇の皇子で、源姓を与えられて臣籍降下。嵯峨流源氏の始祖の一人となった。従一位左大臣。

大変な金持ちで、その邸宅河原院は歴代貴族の大邸宅の中でも最大級。

源氏物語の光源氏のモデルとも言われる。

lcvp2010 さん

#18 織田信長／右大臣 2010/ 6/22 22:55 [ No.15602 / 15916 ]

たとえば、親王任国であるのに常陸守を称したりと、なんていうか、それまでの常識を無視することも、当時の勢いのある連中を集めて勢力を拡大するのに役立ったようです。

その信長が、足利将軍を追い出して、天皇を守護するという名目で上洛を果たすと、権威が地に落ちていたはずの正親町天皇が勢いを盛り返して、信長上洛の労をねぎらって「右大臣」の官位を授けます。

でも、そうすると、さしもの信長も牙を丸く研がれたように、保守反動への流れに焦り始めて行きます。

青山ハリマさん

#19 一条兼良 2010/ 6/23 2:11 [ No.15603 / 15916 ]

たしか日本史の教科書では、室町時代を代表する文人、学者として掲載されていた記憶があります。

しかし政治家としては関白、太政大臣にまで上った偉い人だったとは知りませんでした。

lcvp2010 さん

#20 蘇我馬子 2010/ 6/29 8:19 [ No.15604 / 15916 ]

敏達、用明、崇峻、推古天皇の四代にわたって「大臣」の地位にありました。

それも、「なになに大臣」ではなく「ザ・大臣」です。

屋敷の池に島を造ったので、「島の大臣（おとど）」と呼ばれ、

権勢を誇りました。

崇峻天皇に至っては、蘇我馬子に暗殺されたことが正史に載っています。

青山ハリマさん

#21 蓮ほう 2010/ 7/ 5 21:10 [ No.15605 / 15916 ]

お題の条件から言えば、この人も回答として有効なはずですが。

青山ハリマさん

Re: 歴史山手線ゲーム 2010/ 7/10 12:04 [ No.15606 / 15916 ]

どなたか次のお題を

青山ハリマさん

**お題【散り際、引き際】** 2010/ 7/16 21:18 [ No.15607 / 15916 ]

だいたい晩節は汚れるものですが、にもかかわらず、潔くラストを飾った、人や組織を挙げてください。

#00 伊達輝宗 伊達政宗に家督を譲ると潔く隠居。その後、畠山義継に拉致されると、自らを射殺させ、伊達の禍根となることを防いだ。

mak\*\*nu\_ga\*h\*eteir\*さん

#01 トスカニーニ 2010/ 7/17 13:36 [ No.15608 / 15916 ]

イタリアオペラの代表的な指揮者、演出家であったのが、アメリカに招かれてメトロポリタン歌劇場に移り、オペラ後進国アメリカで活躍します。

ずばぬけた暗譜能力を誇り、譜面を見ながらの指揮は邪道だとして、

譜面なしでの指揮がそのスタイルになりましたが、晩年になつて、

公演中に突然指揮棒が止まる事件が発生し、直後に引退を表明して、

死ぬまで指揮棒を振ることはありませんでした。

青山ハリマさん

#02 畠山重忠 2010/ 7/24 11:09 [ No.15609 / 15916 ]

その清廉潔白な人品から、坂東武士の鏡と称賛された畠山重忠も、それゆえ北条氏による排除の犠牲になり、騙し打ちで呼び出されて二俣川で数十倍の大軍に囲まれ、善戦空しく敗死します。

青山ハリマさん

#番外 修羊公 2010/ 7/28 1:34 [ No.15610 / 15916 ]

中国の仙人と称される人々には怪しげな伝説がつきものですが、なかにはとぼけた引き際を見せる人もおまして・・・

華陰山のうえに住んでいた修羊公という仙人は石室の中の石の

寝床で何年も寝ていて、しまいには寝床の石がくぼんでしまうほど

でした。道術で時の皇帝（漢の景帝＝武帝の父）に仕えようと宮

殿にやってくると、帝はこれを非常に礼遇して王族の邸宅に住まわ

せました。ところがこの修羊公先生、何の術も示さないまま数年

が過ぎ、しびれを切らせた帝は「修羊公には何時になればご技量

を示されるのか」とご下問あったが、その言が終わらぬうちに、

修羊公は寝台の上で白い羊の石像と化してしまいました・・・その脇腹には「修羊公、天子に謝す」とあったやら。その石の羊

は宮殿の庭園に移されましたが、それも何時しか所在が分からな

くなったそうです。

引き際は見事(?)ですが、そもそも何をしに来たのだから、現代人には分からない。

sakisaki さん

#03 桂文楽 2010/ 7/31 11:17 [ No.15611 / 15916 ]

盟友の古今亭志ん生が、酔って高座に上がって寝込んだりしたほどの猛者だったのに対して、文楽の方は一字一句間違いない洗練された芸を見せるマンネリズムの代表格でしたが、晩年になって高座で次の言葉が出なくなり、観客に向かって「勉強し直してまいります」と言って下がり、以来死ぬまで高座に上がることはありませんでした。

青山ハリマさん

#04 ソクラテス 2010/ 8/14 15:49 [ No.15614 / 15916 ]

サッカー選手でない紀元前の哲学者の方ですが、当時のアテナイの

青少年に害毒をもたらすとかという言いがかりに近い判決でアテナ

イ市民から死刑の判決を受けました。弟子や知人たちが逃亡する手

段を用意したにも関わらず、死刑判決を受け入れ毒ニンジンの杯を

飲み干しアテナイの法律に殉じました。

sakisaki さん

#05 平知盛 2010/ 8/19 7:02 [ No.15615 / 15916 ]

平家中の知将と言われた平知盛は、壇ノ浦での平家滅亡に際して

「見るべきほどのものは見つ」という言葉を残して入水します。

後に知盛の亡霊が嵐を起こして義経主従を悩ませる「船弁慶」などの

謡曲ができ、歌舞伎では実は生き残った知盛が実は生き残った安徳帝を

擁して義経暗殺を企み、正体がばれてことが成就しないことを悟って、

摂津大物浦から碇を抱いて入水するというストーリーになっています。

数年前のNHKの大河では、壇ノ浦で知盛が碇を抱いて入水していました。

青山ハリマさん

#06 豫譲 2010/ 8/28 6:02 [ No.15616 / 15916 ]

中国春秋時代の末期、北方の超大国である晋には六つの有力家系、

范氏・智氏・中行氏・趙氏・韓氏・魏氏が勢力争いをしていました。

豫譲は范氏、中行氏に仕えたものの認められず、智氏（智伯）の

下に行くに甚だ尊重され、豫譲もこれを恩義に感じ、事あれば智伯

の為に動く心づもりでありました。

さて、智伯は趙氏を攻撃しましたが、趙氏は韓氏・魏氏と共謀し

て智伯を滅ぼしてしまいます。趙氏の当主である趙襄子は智伯を

深く怨んでおり、智伯を殺害した後、その頭蓋骨に漆を塗って酒器

にしたそうです。（日本にも同じ事をした戦国武将がいますね）

主家を失った豫譲は趙襄子を主人の仇として付狙うようになり

ますが、趙襄子のガードは堅く、一度は捕縛されますが、その忠義に免

じて釈放されます。

主家の仇討ちを諦めない豫譲は、趙襄子の外出のルートを探り出し

通過する橋の下に身を潜めますが、発覚し再度捕縛されます。

死を覚悟した豫譲は、趙襄子に着ている上衣をいただきたいと願い

出て、趙襄子の臣下からそれを与えられると、趙襄子の身代わりと

してその衣を剣で斬裂き、その剣で自刃しました。

豫譲は、趙襄子が自らの手で上衣を下賜するのを最後のチャンスと

思っていたかも知れませんが、その思いを果たす事はできませんで

した。

sakisaki さん

#07 山口百恵 2010/ 9/ 2 17:34 [ No.15617 / 15916 ]

人気絶頂で結婚、引退。

引退した多くのアイドルが再登場する中で、今でも一主婦として芸能界にでてくることがありません。

さくらまいちるなかにわすれたきおさん

番外 都はるみ 2010/ 9/ 8 7:04 [ No.15618 / 15916 ]

普通のオバサンに戻りたいと、その年の紅白を最後に引退を宣言しましたが、肝心の紅白では紹介される際に、NHKの生方アナウンサーが間違えて「みそら」と言ってしまい、国民のだれもが思っていた、一番言ってはいけない名前が引退に花を添えることになりました。

結局、普通のおばさんには戻れなかったので番外で。

青山ハリマさん

#08 北条時政 2010/ 9/13 22:50 [ No.15619 / 15916 ]

危険な娘婿の頼朝を擁して天下を平定した時政は、頼朝の没後（と言っても暗殺説が残る）、姦計を以って多くの御家人を葬り去り、最大の難関畠山重忠を騙し討ちにすると、息子の圧力で出家し、伊豆に隠退してしまいます。

けれども、このことで、歴史的に最悪の汚名は息子が引き継いでくれた感じがします。

青山ハリマさん

#09 佐藤方哉 2010/ 9/18 9:53 [ No.15620 / 15916 ]

先日、京王線の新宿駅で、電車を待つ列に酔っぱらいがよろけてぶつかり、先頭に立っていた老人が押し出されて、入ってきた電車で挟まれて亡くなる事故があり、その犠牲になった人がある大学の学長ということも、東京らしい出来事と言

えます。

ところがその亡くなった佐藤方哉という人物が、佐藤春夫が友人である谷崎潤一郎の奥さんに横恋慕し、谷崎が奥さんを譲る旨の手紙を周囲に出した「細君譲渡事件」で譲られた千代夫人が母親という、いわゆる運命の子でもありました。佐藤家は元は紀州の医師の家系だそうです。慶応の医学部に進むものの、文学部に転じて結局父親と同じ文学者の道を歩み、慶応の教授などを経て、星槎大学学長という地位にあったようです。

青山ハリマさん

#10 快川紹喜 2010/ 9/23 10:10 [ No.15621 / 15916 ]

戦国時代の禅僧です。武田信玄に迎えられ甲斐の恵林寺の住持となります。

武田氏滅亡後、織田信長に敵対し、武田を頼って甲斐に亡命していた六角義治が恵林寺に身を隠すと、織田軍を率いる織田信忠は六角義治の身柄の引渡しを要求しますが、快川はこれを拒否、信忠は恵林寺を焼き討ちし、快川和尚は燃え盛る山門のうでで「安禅不必須山水 滅却心頭火亦涼」（安禅必ずしも山水を須いず、心頭滅却すれば火も亦涼し）の偈を遺して遷化されました。

後年、この遺偈はこの際に発せられたものでないとする説が出されましたが、逃げ込んできた者を庇護して亡くなられた事には変わりなく、潔い最期と言えましょう。

sakisaki さん

#11 最上義守 2010/ 9/23 11:44 [ No.15622 / 15916 ]

嫡男義光との亀裂が生じ一時は重臣氏家定直の仲裁で和解し義光が家督を相続することで納まったかに見えたが翌年再び陰悪になると、伊達氏からの独立傾向を強めていた義光を抑えるべく、伊達輝宗が岳父・義守救援の名目で最上領内に出兵する。天童頼貞・白鳥長久・蔵増頼真・延沢満延らが輝宗に同調するなど四面楚歌の状況であったが、義光はこれらの攻勢を巧みに退けた。9月10日には義光有利のうちに和議が成立し、最上氏は伊達氏からの完全な独立に成功した。

以後、義守・義光父子は完全に和解し、再び争うことはなかった

him\*bu\*yo\*さん

#12 ジネディーヌ・ジダン 2010/ 9/26 22:53 [ No.15623 / 15916 ]

長くフランスのスーパースターとして君臨しましたが、引退を表明した現役最後の試合であるドイツワールドカップ決勝戦では、しつこく絡んでくるイタリアのディフェンダーに頭突きをして退場になるという形で現役生活を終えました。マスコミは叩いたものの、そういうにもアリとらえた人も多かったようです。

青山ハリマさん

#13 岸信介 2010/10/ 3 22:13 [ No.15624 / 15916 ]

裏番組で藤山愛一郎を書き込んでいて思いつきましたが、岸が首相だった時代は日米安保条約の改定が一番の課題で、これに反対する学生運動が最高潮を迎え、安保改定に反対するデモでは東大の女子学生に死者が出たりしました。

結局アイゼンハワー大統領訪日は中止になり、先輩首相経験者の諫言というか、

いささか世論におもねった忠告を受け入れて、内閣総辞職ということになりました。

青山ハリマさん

#14 山背大兄王 2010/10/11 9:29 [ No.15625 / 15916 ]

聖徳太子の息子と言われ人望も厚かった山背大兄王は、その人望を蘇我蝦夷に疎まれ、入鹿に攻められて生駒山に退きますが、深草の秦氏を頼って再起を図ることを勧める家来に対して、戦闘になれば百姓、つまり民間人を傷つけることになる、とこれを拒否して斑鳩寺に入り、そこで入鹿に討たれたと言われます。

青山ハリマさん

# 15 マルクス・アントニウス 2010/10/17 9:28  
[ No.15626 / 15916 ]

っていうか、シェイクスピアでの英語読みマーク・アントニーの方がメジャーかも知れません。

「ジュリアス・シーザー」では見事な演説というか庶民の感情に訴える詭弁を駆使してブルータスを倒して政権を手にしますが、「アントニーとクレオパトラ」では、大人の愛の世界に浸りながら、オクタヴィアヌスに敗れます。

進退きわまった二人でしたが、クレオパトラが夫を試すために自分が自殺したという誤報を流すと、これを聞いたアントニーはいとも簡単に自殺してしまい、その亡骸を見たクレオパトラも壺に入れた毒蛇に手をかませて自殺します。

青山ハリマさん

# 16 熊谷直実 2010/10/24 11:05 [ No.15628 / 15916 ]

熊谷次郎直実は、一の谷で自分の息子と同じくらいの年齢の平敦盛を討ち取ったことで無常観を感じ出家したということになっていますが、直接のきっかけは伯父である久下直光との所領争いがきっかけとも言われます。

ただ、頼朝の御家人になった時に安堵された領地に対して、幕府が成立して以後になって久下に有利な沙汰が下ったので、時代の変化を無常に見たのかも知れません。

出家して蓮生と号し、山城国乙訓郡粟生の光明寺に籠り、頼朝も強くは言えないので、時々は立ち寄ってくれよ、という程度にとどまります。

青山ハリマさん

# 17 ジョアッキーノ・ロッシーニ 2010/10/25 1:44  
[ No.15629 / 15916 ]

年代的にはベートーヴェンのすぐ下の後輩に当たるロッシーニは

オペラ作曲家としての類稀な才能を開花させ、「セビリアの理髪師」

「泥棒かささぎ」「ウィリアム・テル」といった傑作を矢継ぎ早に

世に送り出しますが、37歳で引退を発表、以後は小品や宗

教曲を

少々作る程度の作曲活動となります。

オペラ引退以後のロッシーニは美食の世界に足を踏み入れ、優れた

食材を自分で調達し、料理の創作に打ち込む日々を送ります。

実際彼の名を冠した料理も「・・・のロッシーニ風」といった具

合で遺されているそうです。

sakisaki さん

# 18 松永久秀 2010/10/29 2:58 [ No.15630 / 15916 ]

最後まで信長に歯向かった。所望されてた茶釜をクビに巻きつけ当時はめずらしい火薬による自爆。

woplll11 さん

# 19 荒木村重 2010/11/ 3 10:49 [ No.15631 / 15916 ]

信長に対する謀反シリーズ。

この人も謀反するすると思われながら、一度は明智らの説得を受け入れて謀反を思いとどまりますが、信長公は一度疑いを持って必ず滅ぼすと言われたために結局謀反、有岡城を見捨てて逐電したため、残された妻子百二十二名が処刑されています。

本能寺の後は茶人として復帰して千利休とも交わっています。

青山ハリマさん

# 20 石橋湛山 2010/11/ 3 11:13 [ No.15632 / 15916 ]

第二代自民党総裁選挙の際には、石井光次郎との二位三位連合で岸信介を逆転して首相の地位につきますが、首相としての最初の仕事で全国を廻った際に軽い脳梗塞で倒れ、肺炎も併発して首相としての任務が果たせなくなると、「政治的良心に従う」として総辞職し、社会党の浅沼委員長も、その潔さに感銘を受けたと言われます。

もともと、戦前の浜口雄幸首相が東京駅で撃たれて重傷を負い、登壇できなくなった際に、野党だった鳩山一郎らはこれをしきりに攻撃し、当時はジャーナリストであった石橋も浜

口首相を批判していて、無理を押しして登院した浜口首相はそれがもとで命を落とした経緯もあるため、さすがに首相を続けるわけにもいかなかったとも言われます。

青山ハリマさん

【 中四国九州の地名に由来する苗字の人 】 2010/11/ 3  
12:41 [ No.15633 / 15916 ]

僭越ながら、新しいお題に進んでみたいと思います。

歴史上で知られる人物の中で、中国（山陰・山陽）、四国、九州の地名に由来する苗字を名乗った人物を20人挙げてください。

ただし、山陰は丹波国から西、山陽は播磨国から西ですから、この地域までが含まれます。

番外 北九州男

昔はよくドラマのクレジットで見かけた脇役俳優さんで「きたくすお」と読むはずです。

北九州出身と思われませんが、芸名のはずなので番外で。

青山ハリマさん

# 01 河野通信 2010/11/ 6 9:22 [ No.15634 / 15916 ]

伊予の名門〇氏の一族で、松山の北方北条近くの河野郷を本貫として瀬戸内最大の水軍へと成長します。

源平の合戦の際には河野四郎通信は真っ先に源氏方に与し、これが壇ノ浦での帰趨を決したとも言えます。

四郎通信の孫には一遍が出て、やや退廃しはじめた鎌倉などで布教し、没後には藤沢に道場が開かれて時宗の本山になります。

青山ハリマさん

# 02 大内義弘 2010/11/ 9 9:22 [ No.15635 / 15916 ]

大内氏は室町時代における最も有力な守護大名のひとつ。その由来は、周防国大内村の地名による。

大内氏であれば誰でもいいのですが、確か高校の教科書で

知ったのは大内義弘。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E5%86%85%E7%BE%A9%E5%BC%98>

こんな人です。

lcvp2010 さん

#03 飯尾常房 2010/11/9 9:31 [ No.15636 / 15916 ]

高校の教科書からもう一つ。

日本史の史料集に出ている

「なれや知る都は野辺の夕雲雀 あがるを見ても落つる涙は」の作者。

彼は、応仁の乱ごろの幕府奉行人で、阿波の有力国人。その姓の「飯尾」は、根拠地の阿波国麻殖郡飯尾から来たものです。

lcvp2010 さん

番外 与謝蕪村 2010/11/9 22:14 [ No.15637 / 15916 ]

自分で山陰の地域を京都府下まで拡大したので、ひょっとしたらと思って調べてみましたが、丹後与謝郡との直接の関係は分かりませんでした。

大阪の出身で本姓は谷口、母親が与謝郡の出身という説もあるそうですが確証はありません。

天橋立あたりが気に入って俳号にしたのかも知れません。

青山ハリマさん

#04 陶晴賢 2010/11/11 22:53 [ No.15638 / 15916 ]

陶氏は百済の聖明王の子孫を称し大内氏と同族で、大内氏の重臣でしたが、戦国時代に陶晴賢が謀叛して大内氏を滅ぼし、その後厳島の戦いで毛利に敗れて亡くなり、陶氏は衰微します。

一文字姓なので、何か百済に由来する意味があるのかと思っていましたが、周防国吉城郡陶村に住んだことから陶と称するようになったとのことでした。

青山ハリマさん

番外 鎮西八郎 2010/11/17 16:56 [ No.15639 / 15916 ]

日本のサムソン、源為朝です。

鎮西総追捕使と名乗って、九州を席卷しますが、そんな官名はありません。

保元の乱で大活躍したあと、伊豆大島に流されますが、島を乗っ取って大暴れ（実は保元の勝者である義朝よりも長生きしています）

結局追討軍に敗れて自決しますが、生き伸びて、琉球王に成ったという伝説を残します。

沖縄に「運天」という地名があるそうで、「為朝が運を天にまかせて出港した船が漂着したところ」という意味だそうです。

さくらまいちるなかにわすれたきおさん

ですから琉球は我が一族です 2010/11/18 23:20 [ No.15640 / 15916 ]

しかしそれは王朝であってすべての島民に行き渡ったかは、難問ですが

凡梵真摯さん

#05 清水宗治 2010/11/20 18:10 [ No.15641 / 15916 ]

備中高松城主。羽柴秀吉、明智光秀、本能寺の変という事件に絡み、日本史の中では欠かせないビッグネーム。

そして彼は、備中国賀陽郡清水村（現在の岡山県総社市井手）の生まれ。

lcvp2010 さん

#06 名和長年 2010/11/20 18:14 [ No.15642 / 15916 ]

南北朝時代の武将である。

隠岐に流された後醍醐天皇に味方して、後の建武の新政下で重用された。楠木正成、結城親光、千種忠顕と合わせて「三木一草」と称された。

名和の名和は、伯耆国名和（鳥取県西伯郡大山町名和）からきている。

lcvp2010 さん

番外 蒲池法子 2010/11/26 23:45 [ No.15643 / 15916 ]

ご存じ松田聖子の結婚前の本名で、M氏の庶流で筑後国三潯郡蒲池郷に依拠したことから蒲池氏と名乗り、近世では柳川藩家老格として存続し、現代に至って松田聖子を輩出したことで知られます。

歴史上の蒲池さんを知らないのが、番外で。

青山ハリマさん

Re: 番外 蒲池法子 2010/11/27 15:02 [ No.15644 / 15916 ]

正確にいうと少し違います。

蒲池氏は、嵯峨天皇の子の源融を祖とする嵯峨源氏の源満末が九州に下り、その孫の源久直が源平合戦の勲功で所領とした地が蒲池といい、そこから蒲池久直と名のつたのが始まりです。

南北朝時代に南朝方だった蒲池武久が嫡子のないまま討ち死にし、同じ南朝方だった関東の宇都宮氏の一族で、九州にいた宇都宮久憲が婿養子となり名跡を継ぎます。

戦国時代は、柳川城主で、筑後12万石の筆頭大名。

松田聖子の生家の蒲池家は、義将として名高い蒲池氏16代目の蒲池鑑盛（蒲池宗雪）の三男で塩塚城主だった蒲池統安の子孫で、江戸時代は柳川藩の家老格の武家。

幕末の蒲池鎮之が松田聖子の高祖父。

hjk\*gt\*ubnd\*s さん

番外 ねじめ正一 2010/12/4 10:26 [ No.15645 / 15916 ]

本名は「禰寝」だそうで、大隅国根占を本貫とする禰寝氏の系統ではないかと思われませんが、良く分かりません。

青山ハリマさん

番外 八代亜紀 2010/12/12 20:38 [ No.15646 / 15916 ]

肥後八代出身の歌手。

すみません、こんなんばかりで。

青山ハリマさん

番外 水前寺清子 2010/12/15 7:20 [ No.15647 / 15916 ]

この人も熊本の名地名から。

青山ハリマさん

#07 天草四郎 2010/12/18 10:14 [ No.15648 / 15916 ]

「島原の乱の指導者とされている人物で、幕府の攻撃による原城陥落により自害したとされる。本名は益田四郎（ますだしろ）。諱は時貞（ときさだ）。洗礼名は「ジェロニモ」もしくは「フランシスコ」。一般には天草四郎時貞という名で知られる。」ウキペディアより。

lcvp2010 さん

#08 出雲阿国 2010/12/18 10:16 [ No.15649 / 15916 ]

「歌舞伎の創始者といわれる安土桃山時代の女性芸能者。・・・伝承によれば、出雲国松江の鍛冶中村三右衛門の娘といい、出雲大社の巫女となり、文禄年間に出雲大社勸進のため諸国を巡回したところ評判となったといわれている。」ウキペディアより。

lcvp2010 さん

#09 上杉謙信 2010/12/23 22:14 [ No.15650 / 15916 ]

元は丹波にある地名に由来すると聞きます。

青山ハリマさん

#10 太田道灌 2010/12/26 20:12 [ No.15651 / 15916 ]

丹波桑田郡太田庄に由来すると聞きます。

ただ、その太田が見つかりませんが。

青山ハリマさん

#11 阿蘇惟光 2011/ 1/ 3 12:54 [ No.15652 / 15916 ]

阿蘇氏は阿蘇神社の司祭でもあり豪族でもあり、成り立ちとしては大和朝廷にも似ている日本でも最も古い家柄の一つであると思われます。

その司祭的豪族も、南北朝の動乱などではそれなりの武力で関わり、戦国期には島津や大友に囲まれて戦国大名的な働きもしますが、最後は秀吉に嫌疑を受けて惟光が切腹という形で阿蘇氏は衰微します。

後に肥後に封じられた加藤清正が神官としての地位を安堵

し、明治に至り男爵に列せられます。

青山ハリマさん

#12 松浦静山 2011/ 1/ 9 22:30 [ No.15653 / 15916 ]

「甲子夜話」で知られる江戸末期の平戸藩主ですが、松浦氏はもともと肥前松浦郡に依拠した豪族で、嵯峨源氏の子孫を自称して一文字のイミナが多く見られません。

青山ハリマさん

#13 吉備真備 2011/ 1/11 0:09 [ No.15654 / 15916 ]

奈良時代の左大臣。唐の留学生あがりの学者でもある。下道（しもつみち）真備とも。何れにしても、吉備国（現岡山県）の地名。

lcvp2010 さん

番外 児島高德 2011/ 1/15 17:06 [ No.15655 / 15916 ]

備前児島の出身かと思いましたが、あまりはっきりしたことは分かりません。

実際に、太平記の作者と同一人物だとか、とかく実在を疑問視する話が多いので、番外で。

青山ハリマさん

#14 和氣清麻呂 2011/ 1/23 11:23 [ No.15656 / 15916 ]

結構重要な人物を見落としていました。

吉備国和氣郡の出身で、早く入内した姉の広虫の引きで朝廷に関わるようになり、道鏡による皇位の篡奪を阻止し、桓武天皇に仕えて平安遷都を建白したりします。

青山ハリマさん

#15 桂小五郎（木戸孝允） 2011/ 1/28 15:31 [ No.15657 / 15916 ]

桂城とは、安芸国、現在の広島県安芸高田市吉田町桂にあった城。その城主の家系が桂氏。その家系の末裔の一人が、桂小五郎。

彼のほかに、一族の有名人としては桂太郎（第 15 代総理大臣、陸軍大将）がいる。

lcvp2010 さん

#16 竜造寺隆信 2011/ 2/ 5 11:02 [ No.15658 / 15916 ]

肥前国小津郡龍造寺を発祥の地とするそうですが、見当たりません。

そもそも「小津郡」なんてないし。

青山ハリマさん

#17 棕梨藤太 2011/ 2/10 6:59 [ No.15659 / 15916 ]

この人物は、高杉晋作関係の話には、必ず敵役としてでてくる。長州藩俗論党のトップ。

長州藩の名門であって、その姓「棕梨」は、一族の本拠地であった安芸国棕梨の地名による。

lcvp2010 さん

番外 阿武教子 2011/ 2/15 22:27 [ No.15660 / 15916 ]

アテネオリンピックの女子柔道の金メダリストに阿武教子（あんのりこ）さん

という人がいて、名字からして長門国阿武（あぶ）郡を本貫とするんじゃないか

と思って調べたら、そのまま阿武郡の出身の人でした。

隣の石見国鹿足郡津和野には安野光雅という人もいて、何か因縁を感じますが、

なにゆえ「阿武」と書いて「あんの」と読むのかは分かりません。

青山ハリマさん

#18 浦上玉堂 2011/ 2/22 7:14 [ No.15661 / 15916 ]

備中鴨方藩士でしたが、浦上氏は元は紀氏の一族で播磨国揖保郡浦上に依拠した戦国大名であったそうです。

青山ハリマさん

#19 大村益次郎 2011/ 2/23 18:05 [ No.15662 / 15916 ]

幕末長州藩士。蘭方医、兵学者。緒方洪庵の適塾出身。日

本陸軍の創始者である。

もともと農民出身で、村田蔵六などと名乗っていた。大村の姓は、出身の周防国鑄銭司村字大村からとられた。

lcvp2010 さん

# 20 中浜万次郎 2011/ 2/28 22:38 [ No.15663 / 15916 ]

意外なところが見つかりました。

ジョン万次郎は足摺岬の付け根の西側、土佐清水の南にある中浜という小さな漁村の貧しい漁師の子供で、父親を亡くし、病気の母と兄に代わって幼い頃から漁船に乗り込み、その果てに鳥島に漂流し、アメリカの捕鯨船に救われますが、他の漁師がハワイで降ろされる中、船長が頭の良い万次郎を気に入って養子にして、アメリカで育てます。

後に帰国した時には、日本は未曾有の国難に直面していたため、幕府も万次郎の英語力と教養を利用するよりなく、旗本として取り立てて生まれ故郷の地名から中浜の姓を与えます。

明治に入って帝大の教授などを務めますが、万次郎の息子中浜東一は帝大の医学部で森鷗外と仲良しで、その子孫も代々医者を務めているそうで、それぞれが万次郎に関する書物を残しています。

青山ハリマさん

あの法令が現代でも有効だったらいいのに 2011/ 3/ 5

19:11 [ No.15664 / 15916 ]

20個に達したみたいだから、お題出してあげるね。

明治維新より前の法令で、現代でも有効だったらいいのになと思うのを書いてね。

例えば、「墾田永年私財法が今も有効だったら、ご先祖様が耕したって噂のあの土地、今頃ボクのもんなのになあ」でな

よろしくう

ten\*at\*i\*ei\_g さん

# 01 朝敵認定 2011/ 3/ 6 9:23 [ No.15665 / 15916 ]

面白いお題ですね。

自身も似たような、法令集的なお題を考えたことがあります

が、出題者が20件以上を把握していなければならないという

出題の条件をクリアできなかったのであきらめたことがあ

り、さらに難しい条件でのお題なので、進行が遅い場合はお題主

様の権限で条件を緩和するとか、自身で一生懸命に回答を並べる

とか、極端な場合はお題の撤回なども必要になりますので、

その際にはよろしく願いいたします。

さて、「朝敵」は制度として成文化されたわけではないよう

ですが、慣習法的不文法ということで。

朝廷内で戦い合っていた平安初期までははっきりしていな

かったのかも知れませんが、将門の乱あたりから朝敵とか官賊の概念が定

着したようで要は天皇を奉じている限りは官軍なので、平治の乱では藤原

信頼が二条天皇を幽閉して清盛に手出しできないようにしたところ、藤原経宗が

一旦降伏和睦したあと、二条天皇を女装させて連れ出して一

気に形勢逆転。その後も、義仲上洛の際には、後白河院は平家に捕まらない

ようにこっそり比叡山に移って平家追討の論旨を出すなどの形で、朝敵概念

を駆使しています。少し変わったのは承久の乱で、この際には後鳥羽院御謀反と

されて勝った側が官軍になって、関係した貴族を斬っていますが、事態を矮小化するために承久の変と呼んだりしますが、同時に北条氏を滅ぼすことに

も大義が発生し、

倒幕の一番の功労者であった足利尊氏が将軍に就くことにな

ります。徳川慶喜はこの朝敵になることを何よりも恐れて、朝敵にな

る可能性が出てくるとビビって何もできなくなったと言われますが、戊辰戦争の際

には、基本的には私闘に過ぎないものの、幕府や奥州列藩には輪王寺宮を奉じ

るという大義があり、それでもやはり勝てば官軍という論理で決着しました。

西南戦争までは官賊の違いが明確でしたが、いちおう立憲君

主国になってからは天皇が意志を示すことはなくなり、一度だけ昭和天皇が二二

六事件で股肱の老臣を殺されて怒りを表すと、将校らをそそのかした山下や

真崎が知らんぷりを決め込む中、青年将校たちは弁明の機会も与えられず処刑さ

れたため、以後は終戦の詔勅まで立憲君主としての則を越えないように注意

深くなくなってしまいました。

青山ハリマさん

# 02 徳政令 2011/ 3/17 0:50 [ No.15667 / 15916 ]

今回の大震災の被災地に限って、やってみてはどうだろう

か。

lcvp2010 さん

# 番外 オストラキスマス（陶片追放） 2011/ 3/20 6:43

[ No.15668 / 15916 ]

いろいろな国で（我が国も含め）これが有効ならば・・・と思う人は多いかも

知れません。

古代ギリシア発祥の法なので番外です。

sakisaki さん

# 03 仇討ち 2011/ 3/21 21:26 [ No.15669 / 15916 ]

ただし、返り討ちになったらそこまでよ、というリスクと背中合わせです。

oja\*o\*a\_hoi\*h\*i さん

#番外 法三章 2011/4/5 23:12 [No.15671 / 15916]

秦の始皇帝の死後、秦帝国への反乱は中国各地で相次ぎ、秦の都咸陽を陥落させた劉邦が、土地の長老に約したのが「法三章」です。即ち秦の煩瑣な法令を廃し、「人を殺した者は死刑、人を傷つけたら処罰、人の物を盗んだら処罰」という簡便なものに変えることで、劉邦は秦の法律万能の苛烈な政治に疲弊した民から絶大な人気を得ることになりました。

古代中国の法なので番外です。

sakisaki さん

#04 連判状 2011/4/12 6:58 [No.15672 / 15916]

鎌倉時代のオストラシズムとも言える制度、と言うよりも事件が「連判状」による梶原景時追放で、景時は抗弁をせずに一族で京都を目指しますが、

駿州清美関で土地の者に襲われて滅亡します。

吾妻鏡を読み進むと、はじめのうちは陰湿ながら明快な頼朝の論理がなかなか

小気味よく、他の書物では悪役と言っても良いほど評判の悪い梶原景時も、

頼朝の意を代弁して精力的に事務を処理していく能吏の面が目立つのですが、

頼朝が薨じた後は、御家人たちの判断能力が一様に曇り始め、そのターニング

ポイントにもなる例が、御家人一同が感情的な理由だけで梶原を追い落とす

ことになった連判状の件で、この後は、冷静な判断ができるのは大江広元だけとなり、

他の御家人たちは北条氏にそそのかされるままに、殲滅戦を展開し始めることとなります。

青山ハリマさん

#05 三行半 2011/4/20 8:25 [No.15674 / 15916]

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%9B%A2%E7%B8%81%E7%8A%B6>

昔は、たしか男尊女卑の代名詞のように言われていたと思うが。実際は、夫婦間のトラブルを解消する、非常に合理的な方法だったようですね。

現代の、離婚訴訟とか調停とかの制度より有効では？

lcvp2010 さん

#06 御成敗式目 2011/4/25 6:35 [No.15675 / 15916]

こんな法律があったら、というものではありませんが、制定から五百年余りが経過して、形骸化しまくっていた律令に対して、頼朝の裁定を先例とする慣習法を、北条泰時が体系化して全国に発布したもので、この後は形式的には律令を利用しながらも、実質的には武家の法律で運営され、ことに民法の分野については後の明治の民法に影響を与えたとも言われます。

青山ハリマさん

#07 縁切寺 2011/5/1 22:59 [No.15676 / 15916]

#05 三行半とも関連しますが、女性からの夫婦間の離婚が困難な

場合、女性が尼寺に逃げ込んで3年間尼僧としての修行を積めば離

縁が成立するという制度です。寺には女性を保護し、離婚の調停を

進める権限が与えられてそうで、鎌倉の東慶寺、群馬県の満徳寺が

有名です。

配偶者からの暴力に苦しむ現代の女性にとって、こうした施設が

あればと願っている方は決して少なくないと思います

が・・・  
sakisaki さん

Re: 歴史山手線ゲーム 2011/5/9 7:01 [No.15677 / 15916]

ぶちあげ

青山ハリマさん

#08 異国船打ち払い令 2011/5/25 8:45 [No.15679 / 15916]

いやなに。むやみやたらに隣国に喧嘩をふっかけたいからじゃない。ただ法的裏付けがあれば、最前線の海保や自衛隊の仕事がやり易いだろうから。

lcvp2010 さん

#09 三世一身の法 2011/5/27 19:47 [No.15680 / 15916]

あまりに高い相続税を課するくらいなら、この方が良くないか？

lcvp2010 さん

番外 一国一城令 2011/6/4 13:03 [No.15681 / 15916]

だからどうと言うわけではありませんが。

青山ハリマさん

#10 将軍宣下 2011/6/5 0:22 [No.15682 / 15916]

民主主義は日本人の肌合わない。

ヒャクショウが為政者を選ぶから政治がめちゃくちゃになるのだよ。

個人タクシーさん

#11 竹内柳右衛門の新法 2011/6/5 10:17 [No.15683 / 15916]

法学者である穂積陳重の『法窓夜話』に以下の様な話が記載されています。

伊予の西条領では賭博が大いに流行し、度重なる禁令も効果がなかったが、

郡奉行の竹内柳右衛門が新法を実施すると賭博を行う者がいなくなり

皆正業に復したという。その法とは、賭博の禁令は廃止するが、賭博に負



けた者が訴え出て相手方を呼び出し、賭博が行われたことが証明された場

合は、被告（賭博に勝った者）が原告（賭博に負けた者）に対して賭博で

勝ち得た金額を返すというものであった。

これでは賭博に勝っても訴えれば儲けもなく、汚名を世に曝すことに

なるので賭博の流行も衰えたとのことですよ。

穂積陳重さんは、この法は悪事に加担しながら自分に損失が生じれば

相手方を訴えることで損失を免れようとする不徳を民に教えるようなもの

で全くの悪法であるとの見解を述べています。

sakisaki さん

Re : #09 三世一身の法 2011/ 6/12 12:03 [ No.15685 / 15916 ]

三世一身の法と対の法制とも云え、お題にも言及のある、墾田永年私財法について。

<http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=GN&action=m&board=1835558&tid=bfm8a2a4ka4a4a4a4f&sid=1835558&mid=12963>

>>結論だけ云っちゃうとな、自由主義も資本主義も社会主義も共産主義もな、

>>何の違いも無いという事なんだよ。

>>土地の私有・所有と云うのはね、実は所有ではなくてね、

>>税金払って占有を保証されてるにしか過ぎないんだよ。

>>土地の私有という表現を否定している地域だって、土地の占有権は否定はしてないだろ。

>>それ否定しちゃうとね、社会体制の如何に係らず、社会・経済が成立しなくなっちゃうんだよ。

>>俗に、墾田永年私財法は現在でも有効なんて云うけどさ、それを云うくらいならさ、

>>公地公民制こそが現在も有効なんだよ。

>>これは メッセージ 12962 a\_few\_bad\_men こと、幼女趣味℃変態犯罪者国\_松孝\_次に対する返信//

[http://www.google.co.jp/search?hl=ja&source=hp&ie=Shift\\_JIS&q=%91%AB%97%98%8E%96%8C%8F%90%5E%94%C6%90%8D%91%8F%BC&btnG=Google+%8C%9F%8D%F5&lr=](http://www.google.co.jp/search?hl=ja&source=hp&ie=Shift_JIS&q=%91%AB%97%98%8E%96%8C%8F%90%5E%94%C6%90%8D%91%8F%BC&btnG=Google+%8C%9F%8D%F5&lr=)

「カラんで来た者」である、アナタに関して・・・

<http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=GN&action=m&board=1835208&tid=c0bbfab0bbra1a2bfa5edbfaed9a4knxa47a4fa4a4a4dea49a1a3&sid=1835208&mid=12215&thr=12215&cur=12215>

>>あ、織田信長関係のお話（丹羽長秀が本能寺の変の協力者だった？）を、他トビでやってます。

>>まあ、カラんで来た者は、何だかもう終わったハナシみたいなツモリの様ですが、

>>小休止中なだけです。

>>私は、もし丹羽長秀が光秀公に協力していたらどうであろうか、

>>なんて話をしている訳ではないので、以下の通りです。  
htt・・・//

\* 官僚上がりの堺屋太一というヒトは、今ではあまり好きではありません。

longinus\_bouz さん

Re: Re : #09 三世一身の法 2011/ 6/12 15:25 [ No.15686 / 15916 ]

やあ、おひさしぶり。小休止だって？いや、からんできたワリにはあっさりと消えたんで、なんだかな、と思ってたんだけど。また何か思いついたんなら、こっちではなく本来のトビにどうぞ。

lcvp2010 さん

はあ >なんだかな、と思ってたんだけど 2011/ 6/12 16:55 [ No.15687 / 15916 ]

頓珍漢な突込みになんだかなとオモタのはコッチなんだがね。

>からんできたワリにはあっさりと消えたんで//

粘着に絡んだのは御前さんだろ。

>また何か思いついたんなら//

碌な思い付きもないのに、人様には絡まない事だね。

>やあ、おひさしぶり。小休止だって？・・・こっちはなく本来のトビにどうぞ//

そういうタメ口差し出口を叩いたって、人様と対等になれる訳ではないよ。

御前さんの書き込みって何だか、堺屋の書き物の域を全く出る処が無かったんだけどさ、もう少しいろんな物を読んだ方がいいね。特に堺屋のってさ、明智光秀に関するクダリは、巷間云われてる事を、真偽に係らずそのまま羅列してるだけだったよな。

今やってる大河ドラマなんだけどさ、あれは明確に堺屋の読み物を意識してるね。

ドラマでは、お猿さんの関白就任時、母親ナカが大政所に叙されるクダリでは、帝の手が付いて宿下がりして生まれたのがお猿さんだった、なんて作り話を三成がして、ナカがワシヤ百姓だがね、なんて応じてたが、このエピソードは堺屋の読み物にもあったよな。

この部分は、同調的とも云える、が。

堺屋の読み物では、黒田官兵衛はその野心故に、中国大返し以降はお猿さんに遠ざけられた様な構成だったんだが、ドラマでは以降も重用されている（官兵衛、秀長、三成による、羽柴政権お笑い政治局、といった構成）。

この2、3回は見損なってるんだが、完全にアンチテーゼみたいだね。

longinus\_bouz さん

トビ 違いだよ 2011/ 6/12 17:19 [ No.15688 / 15916 ]

何か面白いことを考えついなんなら、前のトビにね。

lcvp2010 さん

>トビ 違いだよ 2011/ 6/12 17:31 [ No.15689 / 15916 ]

<http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=GN&action=m&board=1835208&tid=nrbkbb3bcjc0fea52a1aa5e0&sid=1835208&mid=15687&thr=15687&cur=15687>

>>そういうタメ口差し出口を叩いたって、人様と対等にな

れる訳ではないよ。

>>これは メッセージ 15686 lcvp2010 さんに対する返信  
//

お返事ありがとうございます。普通云うもんだぜ。  
カヲルさん

#12 楽市楽座 2011/ 7/ 5 9:48 [ No.15692 / 15916 ]

やっぱり、日本復興は大規模な規制緩和でしかない。復興財源確保のため、増税もやむなし？それはもっともなんだけど。

法人税の引き下げの可能性が遠のいたのもなあ。企業が外国に逃げていくのは、いかにもまずいと思うが。

lcvp2010 さん

#13 摂政・関白制度 2011/ 7/10 12:24 [ No.15693 / 15916 ]

関白の制度は、確か後三条天皇の頃に始まり、一時期後醍醐天皇の親政時代もあったものの、大政奉還直後の王政復古のクーデターで廃止されるまで続きました。

摂政は、聖徳太子や昭和天皇も摂政に就いているので、幼帝、女帝、あるいは天皇が病氣の際には摂政という名称が良いでしょう。

候補者は、藤原五摂家のほか、旧皇族、旧華族あたりの人に少し働いてもらう形で。  
青山ハリマさん

#14 お雇い外国人制度 2011/ 7/12 1:21 [ No.15694 / 15916 ]

江戸時代初期に徳川家康がウィリアム・アダムスを外交顧問  
問  
に迎えたのが嚆矢だと思いますが、本格的になったのは幕末か  
ら明治維新以降でしょう。

大震災以降の政界の混乱を見ると、もう人材を諸外国に求め

てはどうかと言いたくなります。

sakisaki さん

#15 検非違使 2011/ 7/19 17:46 [ No.15695 / 15916 ]

かなり強力な治安機関だった。こういうものが近い将来、日本にも必要になるかも。

lcvp2010 さん

#16 従五位下 2011/ 7/25 22:44 [ No.15696 / 15916 ]

昇殿を許される基準が「五位」なので、立場としては、この官位を  
持っているかどうかで雲泥の差があった時代もありました。  
佐官屋さんが佐官なもの、昇殿しないと仕事にならないので、  
とりあえず五位に相当する「佐官」に任命して、仕事がすんだら

即座に剥奪、驚にも醍醐天皇の御所に飛んできたので五位に任命した

「五位驚」なんて言うのもいます。

官位が形骸化した戦国期も江戸期も幕末でも、結構「五位」は重要だったりします。

青山ハリマさん

#17 寺社奉行 2011/ 8/ 2 23:16 [ No.15697 / 15916 ]

鎌倉～江戸時代にかけて設置された宗教行政機関です。  
現代に復活させるとすれば、宗教法人に課税するよう  
法律を改正し、その業務を担わせるのが可と思います。

sakisaki さん

#18 喫煙禁止令 2011/ 8/16 5:55 [ No.15699 / 15916 ]

江戸時代初期の薩摩のように喫煙すれば死罪とは  
申しませんが、煙草の煙が苦手なもので・・・

sakisaki さん

#19 禁酒法 2011/ 8/20 11:59 [ No.15700 / 15916 ]

アメリカという国が、清教徒の理想を実現しようとした宗教国家であることがよくわかる法律ですが、マフィアの暗躍を

許すだけの結果に終わりました。

ただ、今でも郡単位では「ドライカウンティ」という禁酒法を敷いている土地もあるそうで、バーボンの醸造所の多い南部の北の方の州にも多いので、本場へ行って買っても飲めないということもあるそうです。

青山ハリマさん

#20 奢侈禁止令 2011/ 9/ 1 20:18 [ No.15702 / 15916 ]

「奢侈」は人間の有する悪徳として古来より取締りの対象となっていました。現代の「奢侈」に当たるものを挙げるとすれば、

個人的には食物の大量消費に伴う残飯の大量廃棄がそれに該当するように思います。

sakisaki さん

おっと 2011/ 9/19 22:34 [ No.15704 / 15916 ]

おっと一二世

青山ハリマさん

**お題【 お〇の方 】** 2011/ 9/24 21:43 [ No.15705 / 15916 ]

震災後初の新題になりますが、戦国期を中心として、貴人の婦女にはこうした呼び名が多く見られますから、そう呼ばれていた、あるいは絶対にそう呼ばれていたはず、という女性の例を20人挙げてください。

名前のかぶりはOKとします。

#00 お江の方

かつては、「お江の方」とか「小督」などと呼ばれていましたが、その後は研究が進んで「お江与の方」に強引に統一されました。

今回の大河では、なぜか統一前の名称を使って、そのプロットの杜撰さで低迷しています。

青山ハリマさん

#01 お亀の方 2011/9/28 6:32 [ No.15706 / 15916 ]

石清水八幡宮の社家志水氏の娘で、初め竹腰氏に嫁して子供を産みますが、夫の没後は家康の愛妾として、尾張大納言義直の生母となります。

後に尾張家は志水氏の菩提寺正法寺に朱印を与え、異母兄である

竹腰正信も尾張藩付家老として仕えます。

青山ハリマさん

お題プチ変更【 ○の方 】(「お」なし OK) 2011/10/10 22:36 [ No.15708 / 15916 ]

ということをお願いします。

青山ハリマさん

#02 備前の方 2011/10/10 23:36 [ No.15709 / 15916 ]

備前の方は備前美作（現在の岡山県）の大名、宇喜多秀家の室で、豪姫

と名づけられた方です。元々前田利家と妻まつとの間に生まれた女でしたが、

子のない羽柴秀吉夫妻に養女として出されます。豪姫は秀吉に大変可

愛いがられ、秀吉子飼いの宇喜多秀家に嫁ぎますが、関が原の戦いに敗れ

た秀家は八丈島に流刑になり、備前の方は金沢に戻されその地で没します。

sakisaki さん

#03 三条の方 2011/10/23 22:08 [ No.15711 / 15916 ]

甲斐の守護大名武田信玄の正室です。公家である三条公頼の次女で、姉は細川晴元の妻、妹は本願寺頭如の妻と、三姉妹みな相応の実力者のもとに嫁いでいますな。大変な美貌と篤い信仰心の持ち主でしたが、父親の横死や子の夭折に遭うなどの不運の星の元に生涯を送られたようです。

sakisaki さん

#04 お松の方 2011/11/ 3 0:55 [ No.15713 / 15916 ]

前田利家の正室です。2男9女の子をなしたということで多産の女性が多い時代ではありますが、11人もの実子がいる稀有な方とされています。

sakisaki さん

#05 お市の方 2011/11/12 19:49 [ No.15715 / 15916 ]

ご存知の通り、織田信長の妹で、浅井長政に嫁ぎ、死別して柴田勝家に嫁ぎ、最期は勝家とともに死んだ。淀、初、江の母親。

ま、ガチすぎて恐縮ですが。

nhk720630 さん

#06 お江与の方 2011/11/17 7:45 [ No.15716 / 15916 ]

お市の方の三女です。

昔は「小督」とも言われましたが、今年の大河のように「お江」が一般的で、

NHK御用学者たちは、この「お江与」を流布させようとしていました。

本当の本名がどうだったかよりは、芝居や当時の小説でどう呼ばれていたかの方が大事だとは思いますが。

青山ハリマさん

#07 お喜世の方 2011/11/24 11:56 [ No.15717 / 15916 ]

6代将軍、徳川家宣の側室にして、7代将軍、徳川家継の母。家宣の死後、落飾して月光院となる。8代将軍徳川吉宗の將軍位継承にも大きな影響力を行使した。

nhk720630 さん

#08 お玉の方 2011/12/ 6 7:26 [ No.15718 / 15916 ]

京都の八百屋の娘だとか西陣の織り屋の娘だとか言われ、大奥勤めから家光の側室となって生んだ綱吉が將軍になると権勢をふるったといわれ、柳沢吉保のgori押しで朝廷から

従一位を送られています。

いわゆる「玉の輿」の由来であるといわれています。

青山ハリマさん

#09 牧の方 2011/12/13 7:30 [ No.15719 / 15916 ]

時政のもとに来た若い継室ですが、頼朝が○の前を囲っていることを政子に教えて、怒った政子が囲われている屋敷を壊させたり、畠山重忠を無実の罪に陥れたりというトラブルメーカー。

実朝暗殺計画の方は政子にバレて果たせず、時政の手で幽閉されてしまいます。

青山ハリマさん

#10 お由羅の方 2011/12/18 20:51 [ No.15720 / 15916 ]

江戸後期の薩摩藩主、島津斉興の側室であり、島津久光の母。お由羅騒動という島津家のお家騒動で、その名は有名。nhk720630 さん

#11 於大の方 2011/12/19 16:12 [ No.15721 / 15916 ]

松平広忠の正室で、徳川家康の母。

尾張国知多郡の豪族・水野忠政と継室・於富の方(華陽院)の娘。隣国三河での領地紛争で松平清康に破れ、講和条件として於富の方を清康の後妻に譲った。清康の横死後、今川義元の仲介によって岡崎へ帰城した清康の子・広忠に、水野忠政は友好の証として於大を嫁がせた。於大は広忠の長男・竹千代(後の家康)を出産。

忠政の死後、水野信元が今川家と絶縁して織田家に従ったため、於大は広忠により離縁され水野家に返された。その後、於大は水野家と松平家の間で帰趨が定まらぬ久松俊勝に再嫁。俊勝との間には三男三女をもうけた。

桶狭間で今川義元が横死すると、織田家と同盟し自立した家康は、俊勝と於大の三人の息子に松平姓を与えて家臣とし、於大を母として迎えた。三人の娘も、松平氏連枝へ嫁いだ。於大は俊勝の死後、剃髪。

関ヶ原の戦いの後、高台院や後陽成天皇に拝謁し、豊国神社に詣でた後、家康の滞在する伏見城で死去。遺骨は江戸小石

川の伝通院に埋葬。法名は傳通院殿蓉誉光岳智香大禪定尼。嘉永3年(1850年)10月29日に従一位が贈位された。

ggctakat さん

#12 於万の方 2011/12/26 8:00 [No.15722 / 15916]

保科正之の側室から継室に昇格し、4男5女を儲けますが、後に側室が生んだ姫が前田家に嫁すことに嫉妬してこれを毒殺しようとし、あべこべに隣国の上杉家に嫁していた

自分が生んだ姫が食べて亡くなってしまいます。

正之の没後も自身の実家の甥を近習に取り立てたりと、ありがちな欲深さを示してもいます。

青山ハリマさん

#13 お須摩の方 2011/12/27 15:57 [No.15723 / 15916]

お須磨の方とも。紀州和歌山藩の第5代藩主であった頃の徳川吉宗の側室。和歌山藩士・大久保忠直の娘。

正徳元(1711)年に、和歌山藩赤坂邸で男子を生んだ。吉宗に正室・理子女王との間の子がなく、前年に死去していたため、男子は藩主累代の幼名「永福丸」と命名され、のちに吉宗の将軍就任後、元服して家重と名乗り、吉宗の生存中に譲位され9代将軍となった。

正徳3年にも懐妊したが、同年難産のため母子ともに死去した。享年26。戒名は深徳院妙順日喜大姉。墓所は池上本門寺。家重は鷹狩に行く途中20回以上も小用を必要とする体質のため、小便公方とまで呼ばれ、将軍就任以前には、老中・松平乗邑等によって田安宗武を推す声もあったが、宗武の生母・お古傘の方も、出産後に病気となり死去したため、大奥の確執は生じなかったとされる。

ちなみに、吉宗は11歳で女中に手をつけ、16歳の頃には山伏の娘を懐妊させたとある。この時は紀州徳川家の部屋住みであった。

吉宗が和歌山藩主となり、伏見宮家より真宮理子女王が正室に迎えられた頃には、既にお須磨の方、お古傘の方(本徳院、竹本茂兵衛正長の娘、田安宗武の生母)、お梅の方(深心院、谷口長右衛門正次の娘、和歌山城の奥勤め：吉宗の生母・於

由利の方に仕出、一橋宗尹の生母)、お久免の方(覚樹院、稲葉彦五郎の娘、芳姫：早世の生母)らが側室となっていた。7代将軍家継の生母・お喜世の方(落飾して月光院)は、6代将軍家宣の正室・天英院と張り合うために吉宗を8代将軍に強く推したことから、醜聞が噂された。一説に、吉宗が将軍になってから正室をとらなかったのは、月光院が大奥にいたからといわれている。

ggctakat さん

#14 お杉の方 2011/12/31 10:01 [No.15724 / 15916]

なんているんじゃないかと思って調べたら、安芸高田郡吉田時代の毛利家に側室として入り、幼くして生母を亡くした元就の養母として功績のあった女性だそうです。

青山ハリマさん

#15 お船の方 2012/1/4 11:28 [No.15725 / 15916]

直江兼続の正室

上杉謙信の重臣・直江景綱の娘として生まれ、景綱に男児が無かったため、総社長尾氏・長尾藤九郎を婿とし、直江信綱と名乗らせた。

景綱の死後・信綱が家督を相続したが、恩賞問題から、春日山城内で毛利秀広によって山崎秀仙とともに殺害された。その後、上杉景勝の命令で直江家を相続することになった樋口兼続を婿に迎えた。

兼続との間には1男2女に恵まれた。兼続は本多正信の次男・政重を長女・於松の婿養子に迎えたが、翌年於松は早世、長男・景明の成長後、政重が出奔。景明も慶長20(1615)年に早世した。

兼続は生涯、側室を持つことがなかったため、兼続の死後、直江家は断絶となった。

剃髪して貞心尼と号し、景勝より3000石の化粧料を与えられ、直江家の江戸鱗屋敷に住んだ。

『米沢雑事記』には、直江家における船を北条政子に投影した記述が残る。

慶長9(1604)年、景勝の側室・四辻氏が定勝を産んだが、四

辻氏が8月に死んだため、直江夫妻が定勝の養育を担当した。定勝が米沢藩主になった後も、化粧料3000石に加え手明組40人を与えられ、船が病に倒れると、定勝は自ら見舞いに訪れ病氣平癒を祈願した。

寛永14(1637)年1月4日死去。享年81。定勝は高野山に使者を派遣し、船のために墓石を立てたという。

ggctakat さん

#16 お犬の方 2012/1/10 7:38 [No.15726 / 15916]

信長の妹で、知多郡大野に拠点構えていた佐治氏に嫁してお江の最初の夫である佐治一成の生母に当たるそうですから、お江とはいとこ同士になりますね。

青山ハリマさん

#17 廊御方 2012/1/17 22:19 [No.15727 / 15916]

「ろうのおんかた」鎌倉時代の女官。

田楽能師・玄駒(げんく)の娘。通称ははじめ下野の名で、北白河院(後高倉院守貞親王の女院:持明院陳子の娘で同母弟・後堀河天皇の准母となった安嘉門院邦子内親王:1209~1283)の女房・大納言局の曹司として仕えていた。

北白河院にて亀山天皇(在位:1259~1274)に見初められ、太政大臣・花山院通雅(1233~1276)の養女となり、廊御方の名が付けられた。亀山天皇の後宮にはいり、弘安9(1286)年に第12皇子・兼良親王を生んだ。

ggctakat さん

#18 おはるの方 2012/1/22 12:31 [No.15728 / 15916]

八代将軍吉宗の緊縮政策になにかと対抗した尾張中納言宗春は、領内では

規制緩和による景気浮揚策を実施し「温知政要」という著書まで出版しますが、

正室は持たず、若い頃は廓通いもして、吉原の太夫春日野を見受けして

「おはるの方」として側室にしています。

青山ハリマさん

#19 お万の方Ⅱ 2012/ 1/29 0:27 [ No.15729 / 15916 ]  
徳川家康の正室関口氏築山殿の奥女中だったのが家康の手つきとなり身ごもり、築山殿の勘気を恐れて実家でひっそりと結城秀康を生んだとされます。  
なんでも、生まれたのが双子で、当時は双子は畜生腹と忌み嫌われていたそうで、そのほか秀康の容貌が醜く、ギギという魚に似ていることから義丸と名付けられたともいわれ、家康には嫌われて対面を果たせず、異母兄の信康のとりなしで三歳で初めてお目見えしたと言われます。  
秀康は後には秀吉の下で人質として成長して、長じて結城氏に養子に行きますが、武人としての素質が高く、関が原の勲功などによって越前67万石に封ぜられます。  
青山ハリマさん

#20 お梶の方 2012/ 2/ 5 13:09 [ No.15730 / 15916 ]  
里見の旧臣太田氏の娘と言われ、関東に入部した徳川家に奉公に出て、家康の側室になり、家康の最後の子を産みますが、産まれた娘が四歳で亡くなると、後に水戸藩主になる頼房の養母として育てます。  
家康はお梶の聡明さと儉約ぶりを気に入って寵愛したと言われ、正室のいない家中で、春日局とツートップで正室に代わる役割を与えたそうです。  
後に、生家の甥を養子にして秀忠に近侍させ、それが譜代の太田家につながり、名門の家柄を発展させることにも成功します。  
青山ハリマさん

お題 【 名前に「すけ」がつく人物 】 2012/ 2/12 16:25 [ No.15731 / 15916 ]  
すでに出されたことがあるような気もしますが、軽いノリのお題で行きましょう。  
歴史上の人物の中で、名前や呼称に「すけ」と読む文字列を含む人物を20人挙げてください。  
苗字と名前とにまたがっても構いません。  
青山ハリマさん

#01 西郷吉之助 2012/ 2/16 7:47 [ No.15732 / 15916 ]  
とこんな感じです。  
青山ハリマさん  
  
質疑 2012/ 2/16 14:51 [ No.15733 / 15916 ]  
スケとなると、吉良上野介義央、織田上総介信長みたいな、律令制の官職が名前に入っているケースは、可？それとも不可？  
nhk720630 さん

どちらもおっケーで 2012/ 2/17 7:41 [ No.15734 / 15916 ]  
よろしくお願いします。  
青山ハリマさん  
  
#02 吉良上野介義央 2012/ 2/21 7:39 [ No.15735 / 15916 ]  
止まってしまうといけないので、一個だけ採用させていただきました。  
青山ハリマさん

#03 小栗上野介忠順 2012/ 2/21 7:57 [ No.15736 / 15916 ]  
幕末では、この人が一番好きかな。  
nhk720630 さん

#04 伊東祐亨 2012/ 2/24 19:29 [ No.15737 / 15916 ]  
元薩摩藩士であり、明治維新後、海軍にはいる。日清戦争

においては連合艦隊司令長官を務め、黄海海戦において清国北洋艦隊をやぶった。  
nhk720630 さん

#05 工藤祐経 2012/ 2/27 8:08 [ No.15738 / 15916 ]  
京に勤めている間に伯父である伊藤祐親に所領を横領され、妻まで勝手に他人の元へ再嫁させられ、これを恨んで祐親の息子の河津三郎を殺したため、遺児の曾我五郎十郎兄弟は長じて富士の巻狩りの最中に祐経の宿所を襲って仇討を果たします。  
祐経は長く暮らした都の文化に通じ、鼓が達者であったので、頼朝は都からの貴人の饗応などに重用していますが、なんとなく軽率な面もあるのか、双六に参加した際に座るところがないので、先に座っていた佐々木盛綱の嫡男で十五歳の信実をひょいと持ち上げて横にずらして自分が割り込んだために、怒った信実は庭に下りて石つぶてを取ってきて祐経の額に投げつけ、祐経は流血、信実は蓄電という事態に至ります。  
頼朝が詫びを入れさせようというのと、祐経は、「あれは自分が悪かったのだからその必要はない」と弁護し、盛綱は信実を勘当することでことは収まりますが、なんとなく若い奴から見てもかつかくタイプだったのかも知れません。  
祐経横死ののち、伊東氏の宗家は祐経の子供が継ぎ、後に日向の地頭として赴任し、そのまま土着して後には戦国大名として、たびたび島津と干戈を交えながらも生き延びて日向飫肥藩主として幕末まで続きますが、伊東祐亨もその一族の可能性は高いです。

青山ハリマさん

#06 中島三郎助 2012/ 3/ 2 11:12 [ No.15739 / 15916 ]

幕末のころの幕臣。浦賀奉行所与力のときペリーの来航を迎えた。後、幕府海軍に入った、戊辰戦争においては榎本武揚と行動を共にし、蝦夷共和国の幹部となり、新政府軍と戦って戦死した。

nhk720630 さん

#07 松岡洋右 2012/ 3/ 5 23:00 [ No.15740 / 15916 ]

戦前の日本の政治家、外交官。日本の国際連盟脱退、日独伊三国同盟の締結、日ソ中立条約の締結など第二次世界大戦前夜の日本外交の重要な局面に関与した。

nhk720630 さん

#08 佐々介三郎 2012/ 3/12 7:37 [ No.15741 / 15916 ]

若い頃はやんちゃだったのを、心を入れ替えて藩政と学問に傾注し始めた水戸光圀が、日本の通史をまとめようと諸国の歴史資料を集めるために送ったのがこの人で、後に水戸黄門漫遊記での佐々木助三郎、すなわちスケさんのモデルになった人物です。

青山ハリマさん

#09 薄田 兼相 2012/ 3/13 16:52 [ No.15742 / 15916 ]

戦国時代の武将。大阪城に籠って守備軍を指揮、大坂夏の陣の道明寺の戦いにおいて戦死した。

nhk720630 さん

#10 冷泉為相 2012/ 3/21 7:28 [ No.15743 / 15916 ]

御子左家藤原為家が阿仏尼のもとに通うようになって産ませた子供で、阿仏尼は播磨細川荘をこの子に相続させるために本妻のことに争って、その訴訟のために鎌倉に赴く紀行が「十六夜の日記」になります。その甲斐あって為相は冷泉家の祖となり、藤谷黄門と呼ばれ、

幕府とも

近い関係で、鎌倉の浄光明寺という真言宗のお寺に墓があります。

青山ハリマさん

#11 大岡越前守忠相 2012/ 3/24 9:39 [ No.15744 / 15916 ]

史上、もっとも有名なお奉行様。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E5%B2%A1%E5%BF%A0%E7%9B%B8>

nhk720630 さん

#12 岸 信介 2012/ 3/30 10:46 [ No.15745 / 15916 ]

<キ>ノブ>1896年生～1987年没。官僚、政治家。第56・57代内閣総理大臣。昭和の妖怪。

山口県庁官吏であった佐藤(旧姓・岸)秀助[!]と茂世夫妻の第5子・次男として生まれた。信介が生まれた時、曾祖父で元島根県令・佐藤信寛が自分の名前の一字を取って名付けられた。叔父で岡山医専の教授であった佐藤松介[!]の家に下宿して、岡山中学に進学したが、叔父の急逝により山口中学に転校。中学3年の時、父の実家・岸家の養子となった。

東京帝国大学法学部を経て農商務省に入省。商務局商事課長だった同郷の先輩、伊藤文吉(伊藤俊輔博文[!]の養子)から外国貿易に関する調査事務を囑託された。

農商務省が商工省と農林省に分割されると商工省に配属され、商工省工務局長などを歴任し、1936(昭和11)年に満州国國務院実業部総務司長に就任し渡満。産業部次長・総務庁次長に就任し、満州産業開発5ヶ年計画を実施。満鉄総裁・松岡洋右[!]や國務院総務長官・星野直樹らとともに、満州経営に辣腕を振るい、関東軍参謀長・東條英機や日産コンツェルン総帥・鮎川義介[!]らとともに、満州国の5人の大物「忒キ参スケ」の1人に数えられた。

1939(昭和14)年に帰国し商工次官に就任。東條内閣の商工大臣として入閣、戦時物資動員を担当。1942(昭和17)年の衆院総選挙で初当選。戦局悪化により商工省が軍需省へ改組され、大臣を東條首相が兼務し、次官に降格されたため東條と軋轢

が生じた。サイパン島陥落により敗色濃厚となると、戦争の早期終結を望む木戸幸一内大臣を中心に、海軍大将(予備役)・岡田啓介[!]らが、東條内閣倒閣工作を密かに進めた。岡田と気脈を通じていた岸は辞任要請を拒否し内閣総辞職を要求、木戸の意を汲んだ重臣らも入閣要請を拒否したため、東條内閣は総辞職。

戦後A級戦犯容疑者として逮捕、不起訴となるも公職追放。解除後に自由党に入党するが、吉田茂首相の「軽武装・対米協調」路線に反発したため除名。日本民主党の結党に加わり、保守合同で自由民主党が結党されると初代幹事長となった。石橋内閣で外務大臣に就任し、病気で倒れた石橋湛山の首相臨時代理を務め、後任の内閣総理大臣に指名された。就任会見の「汚職・貧乏・暴力の三悪を追放したい」は流行語になった。最低賃金制や国民皆保険など社会保障制度を導入し、高度経済成長の礎を構築。また、鳩山一郎とともに復古的改憲論を主張。中華民国の蒋介石[?]総統とは勝共連合の設立を通じて親密となり、首相就任後に台湾を訪問、日華協力委員会を作った。

新日米安保条約の承認をめぐり、国会審議が紛糾。社会党議員を国会に入れずに強行採決するが、国会外での安保闘争が激化。警察や右翼団体だけでデモを抑えられないと判断し、児玉誉士夫を頼り、錦政会会長・稲川角二、住吉会会長・磧上義光や関東尾津組組長・尾津喜之助[!]らの協力を得た。デモ隊襲撃で多くの重傷者を出し、国会構内でも警官隊と衝突したデモ隊の東大生樺美智子が死亡するなどの強硬姿勢に、東久邇稔彦・片山哲・石橋の3元首相が退陣勧告した。アイゼンハワー大統領の訪日中止や自衛隊の出動拒否により、首相官邸で実弟・佐藤栄作と自決を覚悟したが、条約は自然成立。新安保条約の批准書交換の日に辞意を表明、辞任直前に暴漢に襲われ、瀕死の重傷を負った。首相退陣後も政界に強い影響力を保持し、満州国軍将校であった韓国大統領・朴正熙との人脈から日韓国交回復にも関与。1979(昭和54)年衆院解散を機に、政界を引退。国際連合から「国連の人口活動の理想を深く理解し、推進のためにたゆまぬ努力をされた」と評価された。死ぬまで自民党内での影響力は衰えなかった。

ggctakat さん

# 13 日野資朝 2012/ 4/ 2 17:50 [ No.15746 / 15916 ]

(ひのすけとも)

後醍醐天皇の腹心として、討幕計画に参画。正中の変（1324）で捕らえられ、佐渡に流罪。1332年に、佐渡で処刑された。

nhk720630 さん

# 12 鷹司輔平 2012/ 4/ 3 15:33 [ No.15747 / 15916 ]

1739年生～1813年没

第113代東山天皇の孫にあたり、閑院宮直仁親王の第4皇子。幼名は淳宮。

寛保3(1743)年、従二位内大臣・鷹司基輝が17歳で急死したため、基輝の父で関白・一条兼香は、実家・鷹司家の断絶を憂慮し、春日大社の神託により、閑院宮の皇子・淳宮が養子に選ばれた。まず、淳宮は従兄で第115代桜町天皇の猶子となり、続いて一条兼香の養子となり、鷹司家へ養子に出され相続させた。当時数えて4歳。

左大臣を経て、天明7(1787)年に九条尚実の後を受けて、関白に補任、藤氏長者となった。

当時の天皇は、同じく閑院宮家から第118代後桃園天皇の養子として即位した第119代光格天皇で、甥にあたる。天明8(1788)年天皇は実父・閑院宮典仁親王へ尊号(太上天皇)宣下を幕府に事前通告すると、朝幕間で学問的論争に発展した。寛政3(1791)年に朝廷は宣下強行を採決、同年すでに関白を一条輝良に譲っていた輔平はこれに憂慮し、老中・松平定信に相談、宣下中止を天皇へ奏上、換えて閑院宮典仁親王への待遇改善を取り付けた。

寛政9(1797)年に出家、理延と号した。文化10(1813)年、75歳で薨去。戒名は後心空華院理延。

ggctakat さん

↓ # 14 鷹司輔平 2012/ 4/ 3 15:36 [ No.15748 / 15916 ]

訂正

ggctakat さん

# 15 太田資長 2012/ 4/ 5 15:14 [ No.15749 / 15916 ]

「おおたすけなが」だが、太田道灌の方が、ずっと通りがいい。室町時代の関東の武将で、扇谷上杉家の家老。江戸城を築城した名将でもある。

nhk720630 さん

「三浦介」というのは「相模介」の意味で、武家が国の次官を世襲する

「八介」と呼ばれる家柄のひとつで、三浦義明はその中でも「大介（おおすけ）」と尊称されたそうです。

相模にあった源義朝と閩閩関係があり、頼朝の石橋山挙兵を快挙と喜ぶものの

援軍は間に合わず、帰路の逗子小坪では畠山重忠に襲われ、その後は子息たちを

頼朝とともに安房に逃がした後に、一人衣笠城を守り、源氏の再興のはじめに

立ち会えたことを無上の喜びとして、八十九歳にして城を枕とします。

横須賀の方では、長寿のものを「大介」と呼ぶ風習でもあるのか、

衣笠山には樹齢百年を超える「大介桜」というのもありました。

青山ハリマさん

# 17 山中鹿之助幸盛 2012/ 4/11 18:18 [ No.15751 / 15916 ]

伝1545年生～1578年没。出雲国に拠点をもつ戦国大名尼子氏の家臣。山中家は宇多源氏佐々木氏(京極氏)の支流で、尼子氏の庶流。

父は山中三河守満幸、幼名は甚次郎。病弱な兄幸高から家督を譲られ、山中家に代々伝わる三日月の前立と鹿の角の脇立のある冑を譲り受けた。16歳の時に「30日以内に戦功を挙げたい」と三日月に願い、山名氏との戦いで、菊池音八を一騎打ちで討ち取った。

永禄6(1563)年には、毛利勢に攻められた白鹿城を救援する

ため駆けつけた尼子倫久が潰走。毛利軍の追撃を、叔父・立原久綱とともに殿を担当し防いだ。また、永禄8(1565)年の毛利元就による月山富田城攻めに際し、高野監物を討ち取るなどで家内の士気を上げ、元就を撃退させた。優れた武勇が「山陰の麒麟児」の異名を与えた。

同年、元就の月山富田城再攻で、狼介と名乗った品川将員(大膳)を一騎打ちで討ち取ったが、翌年当主尼子義久が元就に降り、戦国大名尼子氏は滅亡した。鹿之助は尼子氏再興のため尽力する。講談などによく知られる逸話に、「願わくは、我に七難八苦を与えたまえ」と三日月に祈ったという。

永禄11(1568)年、京都で僧籍にあった尼子国久の孫・勝久を還俗させた尼子遺臣団は、但馬国の山名豊祐の家老・垣屋播磨守や奈佐日本之介の手を借りて隠岐国に依り、隠岐の豪族・隠岐為清の協力を得て、翌年出雲国忠山を占領。尼子遺臣の勢力を糾合し、月山富田城を除く出雲ほぼ一国を手中にするまでに勢力を伸張したが、統制不能となり隠岐為清の離反を招き、布部山の戦いの敗北をはじめとして衰勢し、拠点・新山城が落城。幸盛は吉川元春に捕らえられたが、腹痛を装って厠から糞にまみれながら脱走し、勝久とともに京に逃れた。

京では織田信長に謁し、中国攻めの先方となることを誓い、山名軍に加わり、鳥取城の武田高信と闘い、因幡国を転戦し、甕山城での戦いにて決定的な勝利を得た。その後、武田氏に味方した毛利氏に鳥取城を奪われた。当時毛利寄りであった山名氏と絶縁し、織田方の浦上宗景の助力を得て天正2(1574)年に若桜鬼ヶ城・私都城を確保し、一時的に尼子氏を再興することに成功した。翌年毛利勢吉川軍が私都城を攻略し、尼子遺臣の一部が毛利勢に降り、居城の若桜鬼ヶ城を支えることができず丹波方面へ落ち延びた。

天正5(1577)年、織田信忠に従い松永久秀の信貴山城攻略に参加し、河内片岡城にて松永久秀の部将の河合将監を討ち取っている。羽柴秀吉の中国遠征が始まると、先鋒として播磨国に送り込まれ、上月城に拠って尼子氏の再興を目指した。翌年毛利軍に攻められたが、織田軍が播磨から軍を引いたため上月城は孤立し、城を支えきれず降伏した。尼子勝久は自害したが、幸盛は自害せず、毛利氏に降った。

備後国鞆の浦にいた毛利輝元の下へ護送される途上、備中国合の渡の阿井の渡しにて謀殺された。首級は備後国鞆に在していた足利義昭や毛利輝元により首実検が行われ晒し首となった。

胴体は殺害現場近くの観泉寺住職珊牛和尚によって埋葬された胴塚が観泉寺墓地に残る。首級は鞆の浦の静観寺住職に引き取られ葬った首塚が残る。

上月城陥落時、尼子遺臣の亀井茲矩(幸盛の正室千明の妹時子の婿となり、亀井秀綱の養子)率いる部隊が秀吉に従い難を逃れていた。江戸時代になって因幡国鹿野の大名となった茲矩の手により、菩提寺として幸盛寺が建立され、境内に墓所が建立された。

江戸時代、根岸鎮衛の随筆『耳囊』に山中鹿之介についての逸話が収録。忠義の武将としての側面が描かれ、悲運の英雄としての「山中鹿之助」が創られ、武士道を精神的な支柱とした明治以降の国民教育の題材として、月に七難八苦を祈った話が教科書に採用された。

長男(?)山中幸元(鴻池新六)は父の死後、摂津国川辺郡鴻池村で酒造業を始めて財をなし、のちに大坂に移住して江戸時代以降の豪商鴻池財閥の始祖となったとされる。

ggctakat さん

# 18 大鳥圭介 2012/ 4/13 22:44 [ No.15752 / 15916 ]

旧幕臣、明治政府の官僚。

江戸幕府の洋式陸軍の幹部として、新政府軍に抵抗。榎本武揚らの函館政府にも加わり、函館戦争を戦った。のち明治政府に出仕し、要職を歴任した。

nhk720630 さん

# 19 井伊直弼 2012/ 4/19 11:23 [ No.15753 / 15916 ]

1815年生～1860年没

近江国彦根藩 13代藩主井伊直中の 14男として生まれた。母は側室のお富の方。幼名は鉄之介、のち鉄三郎。諱は直輔、のちに直弼と改めた。兄弟が多かった上に庶子で、養子先もなかったため、父の死後三の丸尾末町の屋敷に移り、32歳まで300俵の捨扶持部屋住みとして過ごした。この間に、長野

主膳と師弟関係を結び国学を学んだ。

弘化 3(1846)年、兄で 14代藩主直亮(なおあき,直中の 3男)の子であった直元(直中の 11男)が死去し、直亮の養子となった。嘉永 3(1850)年、直亮が死去し 15代藩主となり掃部頭に叙任された。

江戸城では溜間詰上席にあり、嘉永 6(1853)年のペリ一艦隊来航に伴い、攘夷を主張する譜代大名雄藩(徳川斉昭,松平慶永ら)と連携する老中首座阿部正弘と、直弼ら溜間詰諸侯は日米和親条約の締結をめぐる討議で対立。斉昭の要求により阿部は、開国通商派の老中松平乗全と松平忠固を更迭すると、直弼らの猛抗議により溜間の堀田正睦が老中首座に起用された。阿部の死去後、堀田は松平忠固を老中に再任、溜間の意向を反映した幕政が開始。直弼は 13代将軍家定の継嗣に紀伊藩主徳川慶福を推挙したため、一橋慶喜を推す斉昭と対立を深めた。

安政 5(1858)年、松平忠固や紀州藩付家老水野忠央らの工作により、直弼は大老に就任。日米修好通商条約調印に際し、孝明天皇の勅許を得られぬまま、下田奉行井上清直と目付岩瀬忠震に調印を命じた。また将軍継嗣に慶福を決め、慶福は家茂と改めて将軍宣下を受けた。

直弼の対応に憤った水戸藩士らの働きかけに、孝明天皇は密勅を水戸藩に下し、直弼排斥を呼びかけた。直弼は朝廷の政治関与に態度を硬化。密勅に関与した者の摘発や幕閣諸侯の粛清を行い、水戸藩には密勅の返納を命じた。無勅許調印の責任を堀田正睦と松平忠固に着せて罷免し、太田資始、間部詮勝、松平乗全を老中に起用したが、直弼の強権政治に反対した太田と間部も罷免された。安政 7(1860)年、水戸藩主慶篤に対して重ねて勅の返納を催促させ、1月 25日の期限を遅延したら水戸藩を改易するとまで述べたという。

この対応に水戸藩士は憤激。3月 3日 5ツ半、雪の中に藩邸を出て江戸城に向かう直弼一行は、桜田門外の杵築藩邸門前で、関鉄之介を中心とする水戸脱藩浪士 17名と薩摩藩士有村次左衛門の襲撃を受けた。直弼は短銃で撃たれて駕籠から動けずにいたところを、何度も刀で突き刺され、瀕死状態で引きずり出されると首を刎ねられた。首を刎ねた有村も重傷で歩行困難となり、若年寄遠藤胤統邸の門前で自決した。

混乱を恐れた幕府は、表向き直弼は負傷によりしばらく休養とし、3月晦日に大老職を正式に免じ、閏 3月晦日にその死を公表した。

ggctakat さん

# 20 松下幸之助 2012/ 4/19 13:30 [ No.15754 / 15916 ]

もうこの人も歴史上の人物でしょう

hinominami さん